

# 秋田自動車道 横手工事

設 計 図 ( 5 / 1 1 )

中里橋

令和6年6月

東日本高速道路株式会社 東北支社  
横手工事事務所

図面目録

【中里橋】

No	図面名	図面番号	No	図面名	図面番号
【共通】			20	中里橋（上り線）上部工線形図（１）～（２）	46 ～ 47
1	中里橋（上り線）数量総括表	1	21	中里橋（上り線）上部工構造一般図	48
2	中里橋（上り線）橋梁一般図	2	22	中里橋（上り線）主桁断面詳細図	49
			23	中里橋（上り線）P C鋼材配置図（１）～（２）	50 ～ 51
【下部工】			24	中里橋（上り線）主桁配筋図（１）～（６）	52 ～ 57
3	中里橋（上り線）下部工座標図	3	25	中里橋（上り線）床版横締配置図	58
4	中里橋（上り線）A 1 橋台構造一般図	4	26	中里橋（上り線）壁高欄配筋図（１）～（３）	59 ～ 61
5	中里橋（上り線）A 1 橋台裏込め工詳細図	5	27	中里橋（上り線）排水装置詳細図（１）～（３）	62 ～ 64
6	中里橋（上り線）A 1 橋台配筋図（１）～（７）	6 ～ 12	28	中里橋（上り線）落下物防止柵詳細図（飛雪防止柵兼用）（１）～（３）	65 ～ 67
7	中里橋（上り線）A 1 橋台場所打ち杭配筋図	13	29	中里橋（上り線）橋名板・橋歴板詳細図	68
8	中里橋（上り線）A 1 橋台踏掛版配筋図	14	30	中里橋（上り線）通信管路工配置図（参考図）	69
9	中里橋（上り線）A 1 橋台土留工詳細図（１）～（３）	15 ～ 17	31	中里橋（上り線）はく落防止対策工詳細図	70
10	中里橋（上り線）A 1 橋台除去式アンカー土留工詳細図（１）～（５）（参考図）	18 ～ 22	32	中里橋（上り線）上部工支保工計画図（参考図）	71
11	中里橋（上り線）A 2 橋台構造一般図	23	33	中里橋（上り線）上部工架設要領図（参考図）	72
12	中里橋（上り線）A 2 橋台裏込め工詳細図	24			
13	中里橋（上り線）A 2 橋台配筋図（１）～（６）	25 ～ 30			
14	中里橋（上り線）A 2 橋台場所打ち杭配筋図	31			
15	中里橋（上り線）A 2 橋台踏掛版配筋図	32	【A2橋台擁壁工】		
16	中里橋（上り線）A 2 橋台土留工詳細図（１）～（６）	33 ～ 38	34	中里橋（上り線）A2橋台擁壁構造一般図	73
17	中里橋（上り線）A 2 橋台除去式アンカー土留工詳細図（１）～（２）（参考図）	39 ～ 40	35	中里橋（上り線）A2橋台擁壁配筋図（１）～（４）	74 ～ 77
18	中里橋（上り線）地盤改良工配置図	41	36	中里橋（上り線）A2橋台擁壁場所打ち杭配筋図	78
19	中里橋（上り線）下部工施工計画図（１）～（４）（参考図）	42 ～ 45	37	中里橋（上り線）A2橋台擁壁裏込め工詳細図	79

中里橋(上り線) 数量総括表

項 目	種 別		単 位	上部工	A1橋台	A2橋台	擁壁工	合 計	摘 要	
構造物掘削	特殊部 N1		m3	----	2065.7	----	----	2065.7	※1	
	特殊部 N2		m3	----	----	1702.5	----	1702.5	※2 擁壁部の掘削土量を含む	
基礎材	B1		m3	----	18.6	18.3	7.5	44.4		
地下排水工	Du-P(Dp) φ0.15・0.50・0.50		m	----	20.9	19.0	7.5	47.4	フィルター材 C=80	
基礎杭	場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1500mm）		m	----	297.0	333.0	148.0	778.0		
コンクリート	A1-3		m3	----	202.6	169.7	65.7	438.0	下部工	
	A1-4		m3	33.8	----	----	2.8	36.6	地覆・壁高欄	
	B2-1		m3	----	254.9	256.1	81.2	592.2	フーチング	
	D1-1		m3	----	9.3	9.1	3.8	22.2	均しコンクリート	
	P3-2		m3	415.3	----	----	----	415.3	主桁	
型わく	C		m2	----	414.5	339.1	174.2	927.8		
	D		m2	----	4.6	4.2	2.3	11.1		
	P1		m2	849.8	----	----	----	849.8		
鉄 筋	A	D16～D25		t	----	4.506	4.506	4.337	13.349	SD345
		D29～D32		t	----	12.602	12.602	----	25.204	
		D35		t	----	10.030	10.030	----	20.060	
		合計		t	----	27.138	27.138	4.337	58.613	
	A(E)	D13		t	----	0.084	0.072	0.387	0.543	SD345 エポキシ樹脂塗装鉄筋
		D16		t	----	0.742	0.796	1.496	3.034	
		D19～D25		t	----	5.370	4.001	1.730	11.101	
		D29～D32		t	----	12.478	8.439	----	20.917	
		D38		t	----	5.311	5.078	----	10.389	
		合計		t	----	23.985	18.386	3.613	45.984	
	C	D16～D25		t	----	5.858	5.858	0.188	11.904	SD345
		合計		t	----	5.858	5.858	0.188	11.904	
		機械式定着箇所数	D16	箇所	----	----	----	66	66	
			D25	箇所	----	580	580	----	1160	
	C(E)	合計		箇所	----	580	580	66	1226	SD345 エポキシ樹脂塗装鉄筋
		D16		t	----	0.128	----	----	0.128	
		D19		t	----	3.247	3.247	----	6.494	
		合計		t	----	3.375	3.247	----	6.622	
		機械式定着箇所数	D16	箇所	----	96	----	----	96	
			D19	箇所	----	557	557	----	1114	
	P(E)	合計		箇所	----	653	557	----	1210	SD345 エポキシ樹脂塗装鉄筋
		D13		t	10.272	----	----	----	10.272	
		D16		t	9.131	----	----	----	9.131	
		D19～D22		t	17.510	----	----	----	17.510	
	Y	合計		t	36.913	----	----	----	36.913	SD345
		D13		t	----	0.180	0.180	0.080	0.440	
		D16～D25		t	----	23.031	27.900	12.424	63.355	
		D29～D32		t	----	----	----	11.860	11.860	
		D35		t	----	38.952	32.985	----	71.937	
合計		t	----	62.163	61.065	24.364	147.592			
PC鋼材引張	PC鋼より線 (1S21.8) S		kg	2293.0	----	----	----	2293.0	SWPR19L 床版横締めケーブル	
	PC鋼より線 (1S28.6) S		kg	8121.0	----	----	----	8121.0	SWPR19L 縦締め 内ケーブル	
排水装置	排水ますA		箇所	3	----	----	----	3	FRP	
	排水管A		m	27.2	----	9.7	----	36.9	VP200A	
橋名板			箇所	1	----	----	----	1		
橋座板			箇所	1	----	----	----	1		
落下物防止柵	G1-2(A)		m	88.8	----	----	----	88.8	飛雪防止柵兼用	
橋梁、高架部管路工	B1-VE φ54(2)		m	91.2	----	----	7.5	98.7		
はく落防止対策工	A		m2	368.4	----	----	----	368.4		
踏掛版工	t=41cm		m2	----	73.3	78.7	----	152.0		
軟弱地盤改良工	深層混合処理B		m3	----	1935.6	647.9	----	2583.5		
軟弱地盤改良工	改良材A		t	----	387.1	129.6	----	516.7		

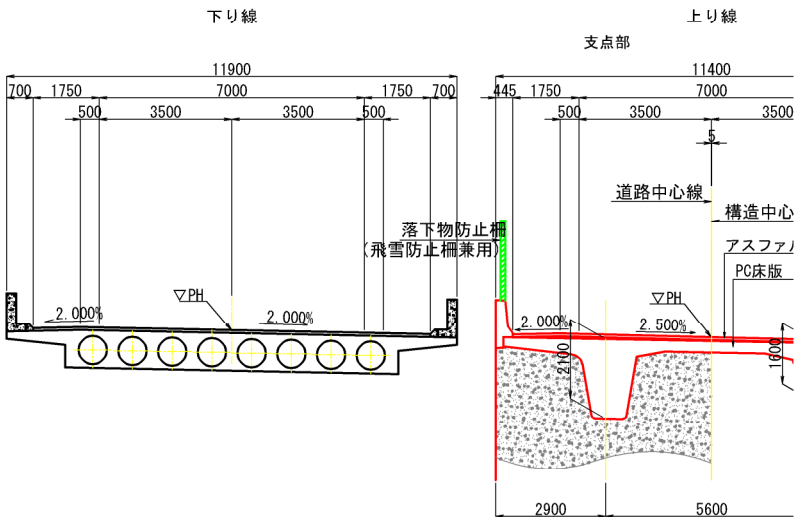
※1) 残土運搬先：本線（横手トンネル起点側坑口～中里橋A1橋台）前郷地区本線外盛土場、美砂古沼本線外盛土場、新町橋P3橋脚埋戻し部  
※2) 残土運搬先：本線（柳田橋A2橋台～工事終点間）、美砂古沼本線外盛土場

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 数量総括表		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

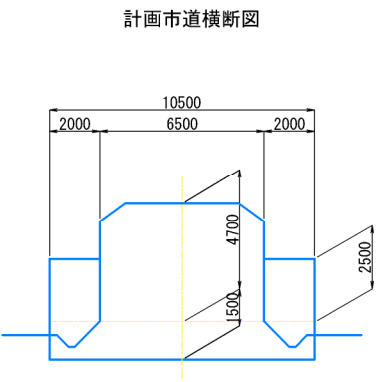


中里橋（上り線）橋梁一般図

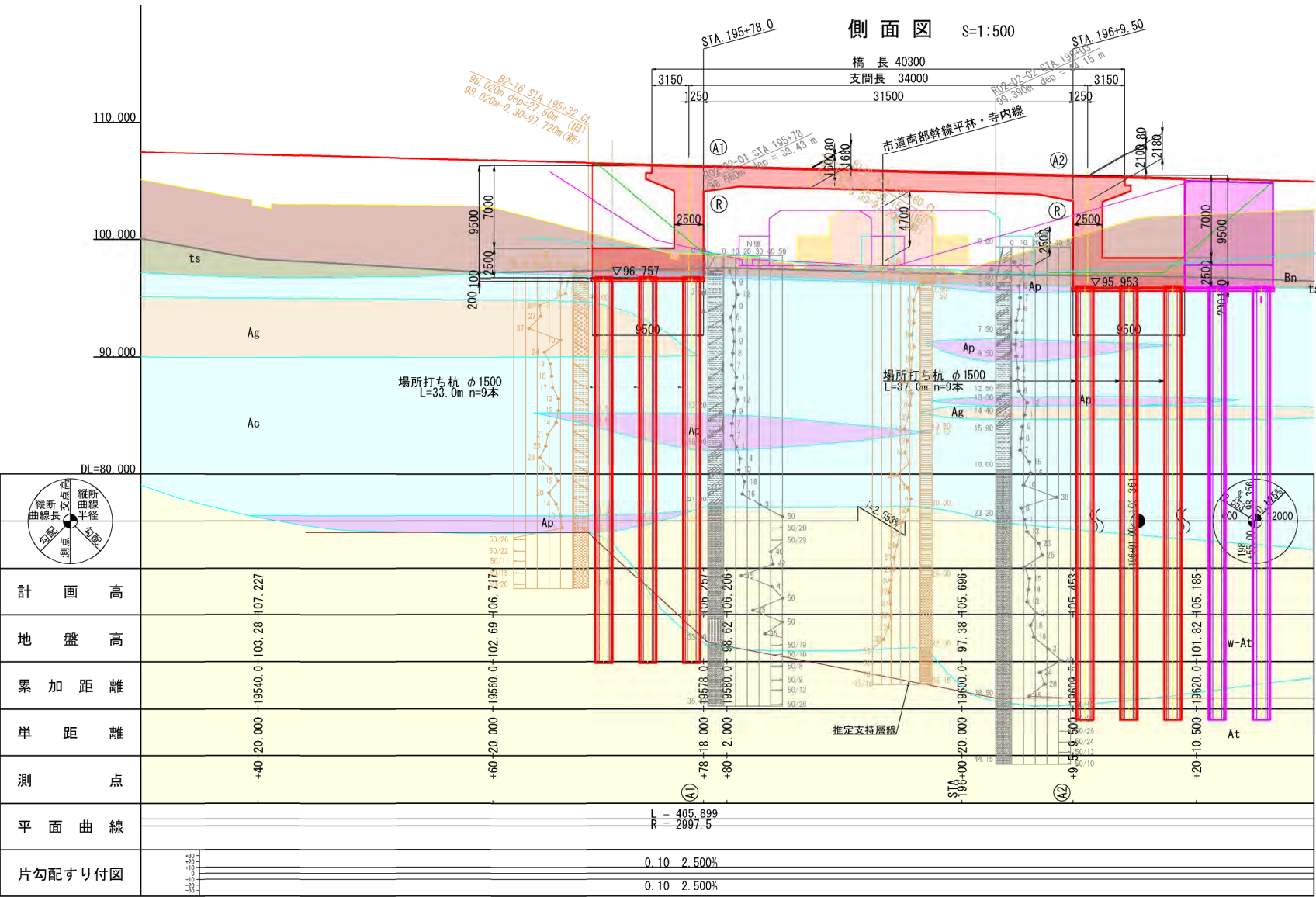
上部工断面図 S=1:200



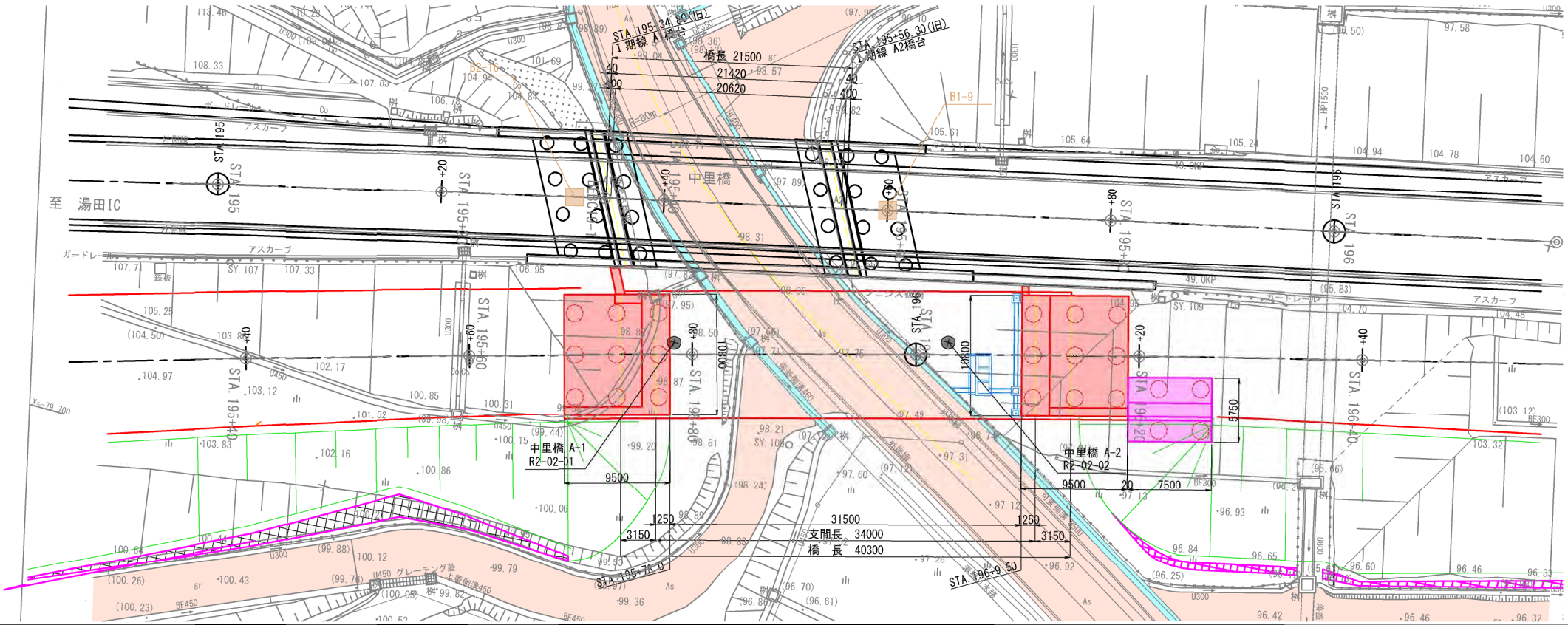
交差条件 S=1:300



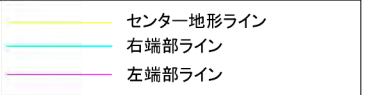
側面図 S=1:500



平面図 S=1:500



地形線凡例

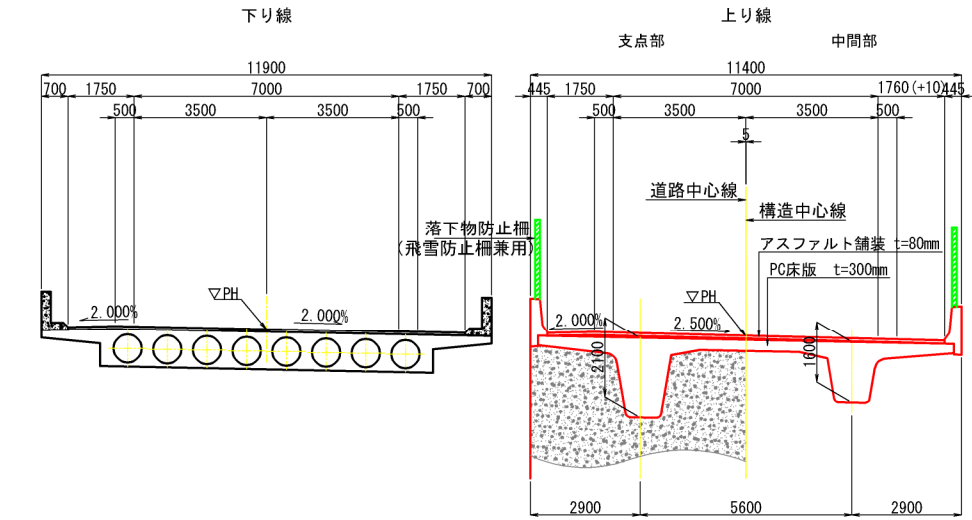


地質・岩体区分凡例

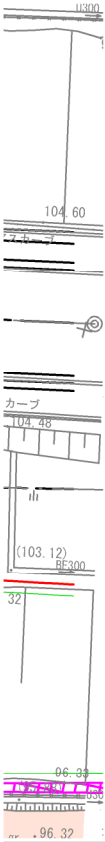
地層名	地質	断面図記号
沖積層	表土・盛土	ts
	腐植土	Bn
	粘性土	Ap
	礫質土	Ac
相野々層	風化泥岩	w-At
	砂岩・凝灰岩・泥岩の互層	At



上部工断面図 S=1:200

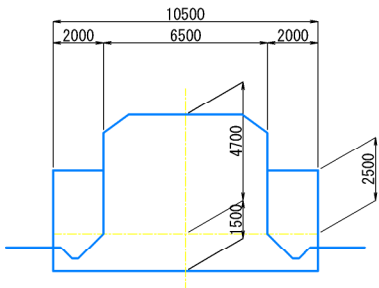


断面図記号
ts
Bn
Ap
Ac
Ag
w-At
At

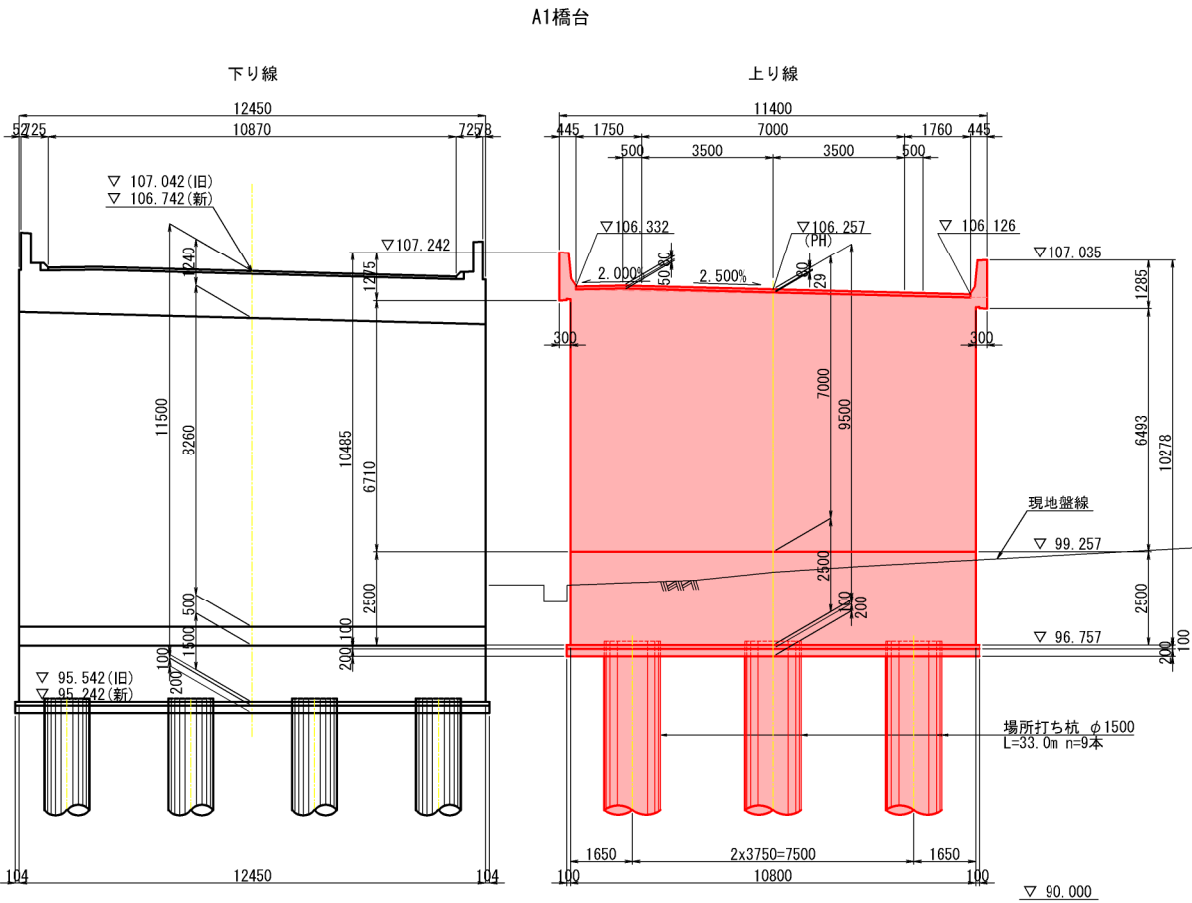


交差条件 S=1:300

計画市道横断面図

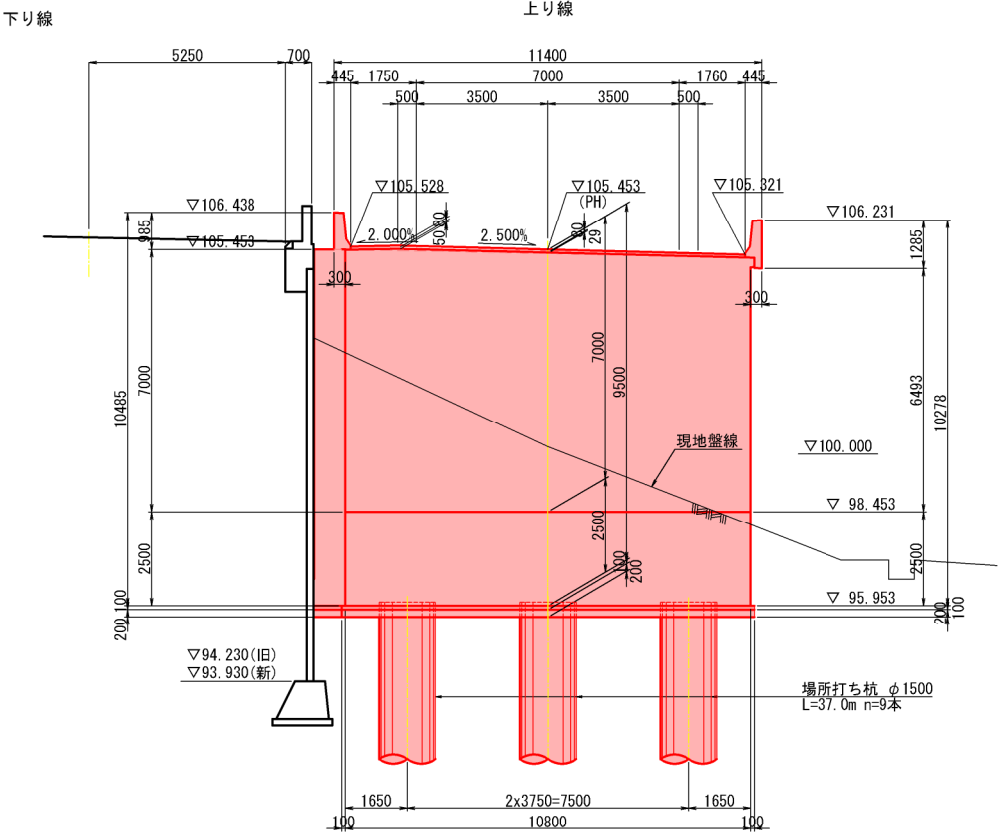


下部工断面図 S=1:200



A1橋台

A2橋台



設 計 条 件					
基本 条件	道 路 規 格	第 1 種 3 級 B 規格	設計速度	√ = 80km/h	
	計 画 交 通 量	- - - -			
	活 荷 重	B 活荷重			
	死 荷 重	遮音壁 1.45kN/m (H=3.0m)			
	橋 長	40.300m	桁 長	31.500m	
	支 間 長	34.000m			
	有 効 幅 員	10.510m			
	縦 断 勾 配	2.553%			
	平 面 線 形	R=2997.5m			
	横 断 勾 配	2.500%			
	斜 角	90° 00' 00"			
	重 要 度 区 分	B種の橋		地域区分	B2地域(秋田県)
設計水平震度		レベル1	レベル2(タイプⅠ)	レベル2(タイプⅡ)	
	橋軸方向	kh=0.22	kh=0.40	kh=0.51	
	直角方向	- - -	- - -	- - -	
		レベル1	レベル2(タイプⅠ)	レベル2(タイプⅡ)	
固 有 周 期	橋軸方向	0.19(s)	- - -	- - -	
	直角方向	- - -	- - -	- - -	
地 盤 種 別	Ⅲ種地盤				
支 持 地 盤	相野々層 At (砂岩・凝灰岩・泥岩の互層)				
上部 工	上 部 工 形 式	P Cポータルラーメン2主版桁橋			
	架 設 工 法	固定支保工架設			
	舗 装	アスファルト舗装 t=80mm			
	床 版	P C床版 (t=300mm)			
	支 承 形 式	剛結構造			
	高 欄 形 式	フロリダ型壁高欄SB種			
	添 架 物	- - -			
	使用材料	主要鋼材	- - -		
		PC鋼材	SWPR19L 1S28.6 , SWPR19L 1S21.8		
		鉄 筋	SD345		
コンクリート		$\sigma_{ck}=36\text{N/mm}^2$ (主桁) $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ (壁高欄)			
下部 工	下 部 工 形 式	L 型橋台			
	材 料	鉄 筋	SD345		
		コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ (躯体), $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ (底版)		
	基 礎 工 形 式	場所打ち杭 $\phi 1500$			
基礎 工	材 料	鉄 筋	SD345		
		コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$		
設計要領第一集 令和 2年7月 東日本高速株式会社					
設計要領第二集 平成28年8月 東日本高速株式会社					
設計要領第四集 令和 4年7月 東日本高速株式会社					
適用示方書 道橋橋示方書・同解説 (平成29年11月)					

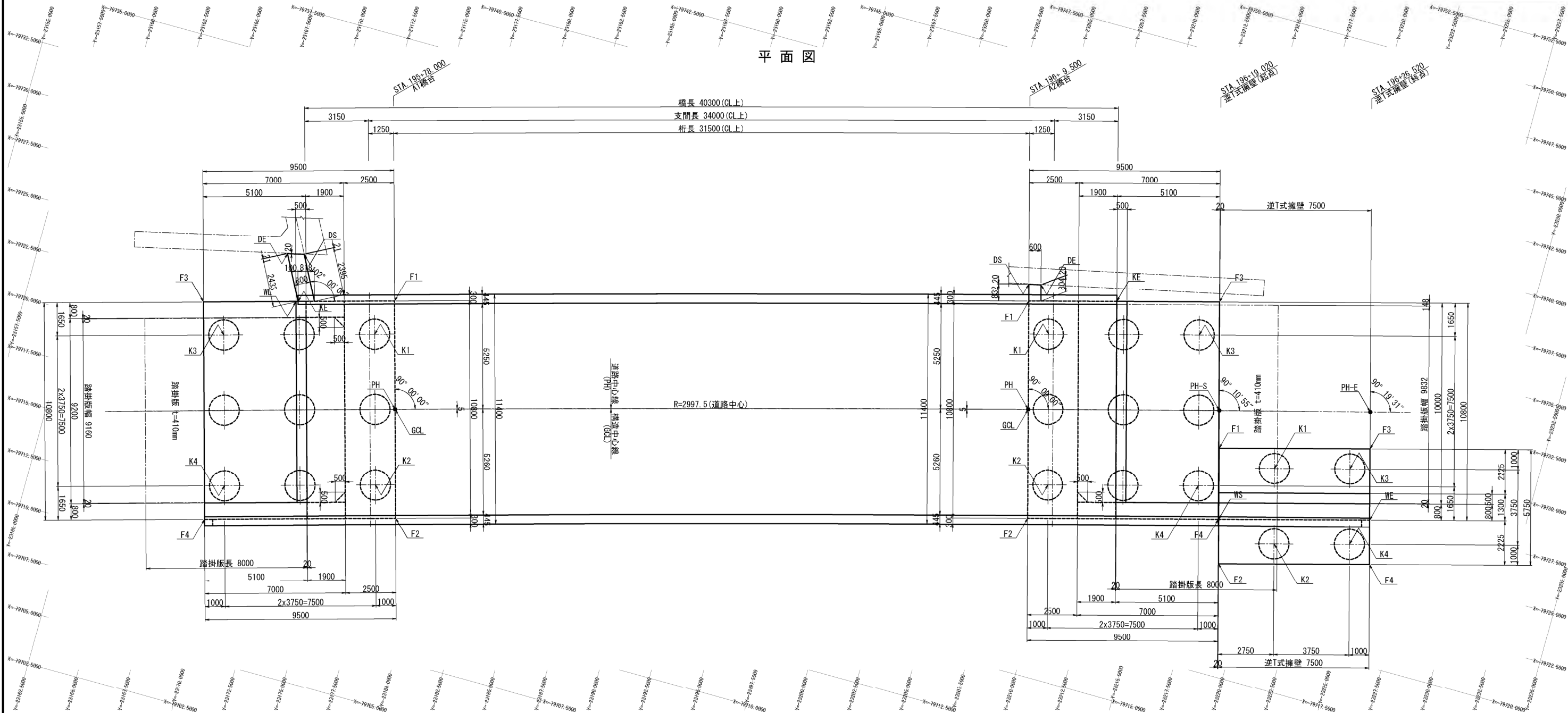
- ※1 現地盤高は「秋田自動車道 横手地区地形詳細測量 令和4年11月」成果を適用する。
- ※2 1期線完成図の標高・計画高は新水準点の補正により-0.30mの読み替えとする。
- ※3 縦断計画は「秋田自動車道 横手地区附帯工設計 令和4年10月」を適用する。
- ※4 地質縦断図は「山内～土淵間構造物基礎調査 令和3年9月」を参照すること。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線）橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

中里橋（上り線）下部工座標図 S=1:200

3 / 79

平面図



A1橋台大座標表 (STA. 195+78.000)

PH	X	-79719.5376	KE	X	-79723.4369
	Y	-23176.7522		Y	-23170.6742
GCL	X	-79719.5328	K1	X	-79722.8737
	Y	-23176.7535		Y	-23174.7785
F1	X	-79724.7324	K2	X	-79715.6521
	Y	-23175.2961		Y	-23176.8028
F2	X	-79714.3332	K3	X	-79720.8495
	Y	-23178.2110		Y	-23167.5569
F3	X	-79722.1684	K4	X	-79713.6278
	Y	-23166.1487		Y	-23169.5811
F4	X	-79711.7692			
	Y	-23169.0635			
WL	X	-79723.4099			
	Y	-23170.5779			
DS	X	-79725.7785			
	Y	-23170.3502			
DE	X	-79725.5920			
	Y	-23169.5448			

A2橋台大座標表 (STA. 196+ 9.500)

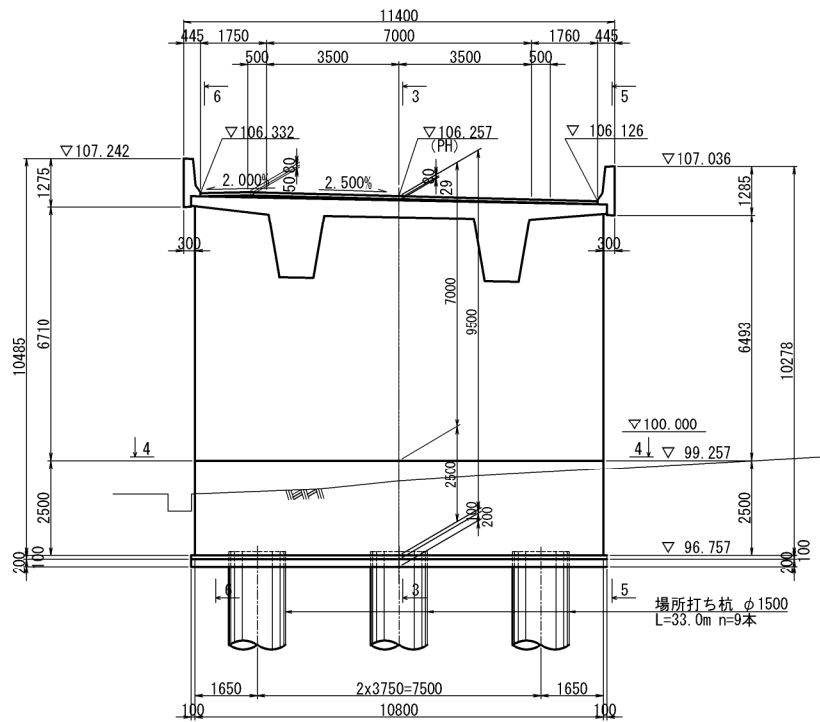
PH	X	-79727.8798	KE	X	-79734.2326
	Y	-23207.1273		Y	-23209.9749
GCL	X	-79727.8750	K1	X	-79731.7560
	Y	-23207.1286		Y	-23207.1202
F1	X	-79733.0896	K2	X	-79724.5135
	Y	-23205.7259		Y	-23209.0684
F2	X	-79722.6604	K3	X	-79733.7042
	Y	-23208.5313		Y	-23214.3627
F3	X	-79735.5574	K4	X	-79726.4617
	Y	-23214.8998		Y	-23216.3109
F4	X	-79725.1281			
	Y	-23211.7062			
DS	X	-79733.8931			
	Y	-23205.5098			
DE	X	-79734.0219			
	Y	-23206.0965			

逆T式擁壁大座標表 (STA. 196+19.020~STA. 196+26.520)

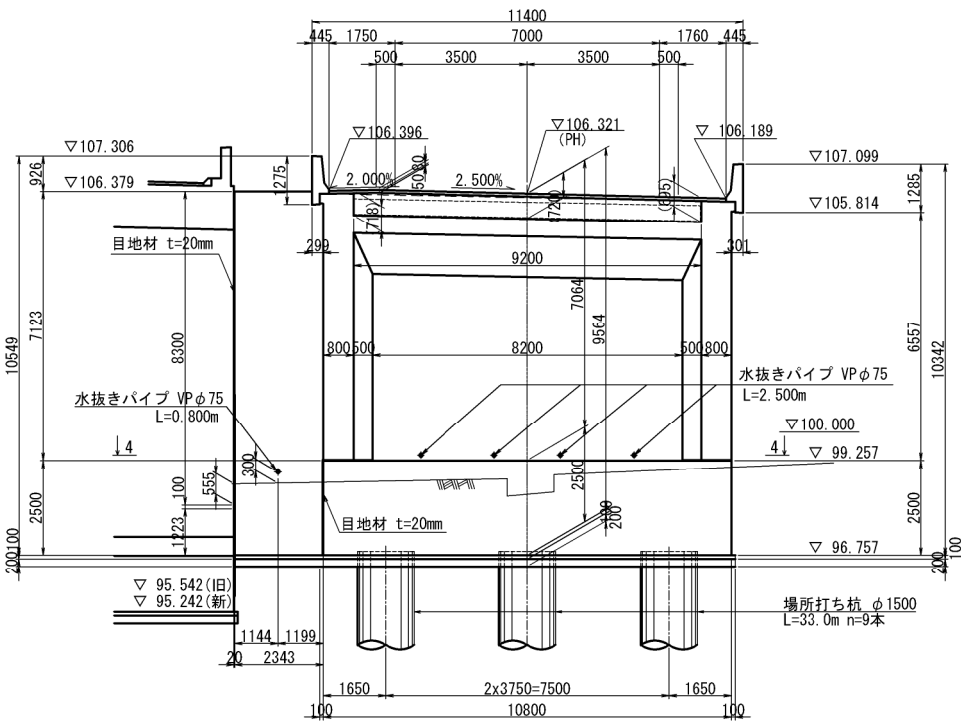
PH-S	X	-79730.3382	K1	X	-79728.2860
	Y	-23216.3245		Y	-23219.7242
PH-E	X	-79732.2543	K2	X	-79724.6647
	Y	-23223.5756		Y	-23220.6983
WS	X	-79725.1333	K3	X	-79729.2601
	Y	-23217.7245		Y	-23223.3455
WE	X	-79727.0815	K4	X	-79725.6388
	Y	-23224.9671		Y	-23224.3196
F1	X	-79728.5373			
	Y	-23216.8089			
F2	X	-79722.9847			
	Y	-23218.3025			
F3	X	-79730.4855			
	Y	-23224.0514			
F4	X	-79724.9329			
	Y	-23225.5451			

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線） 下部工座標図		
縮 尺	1:200	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

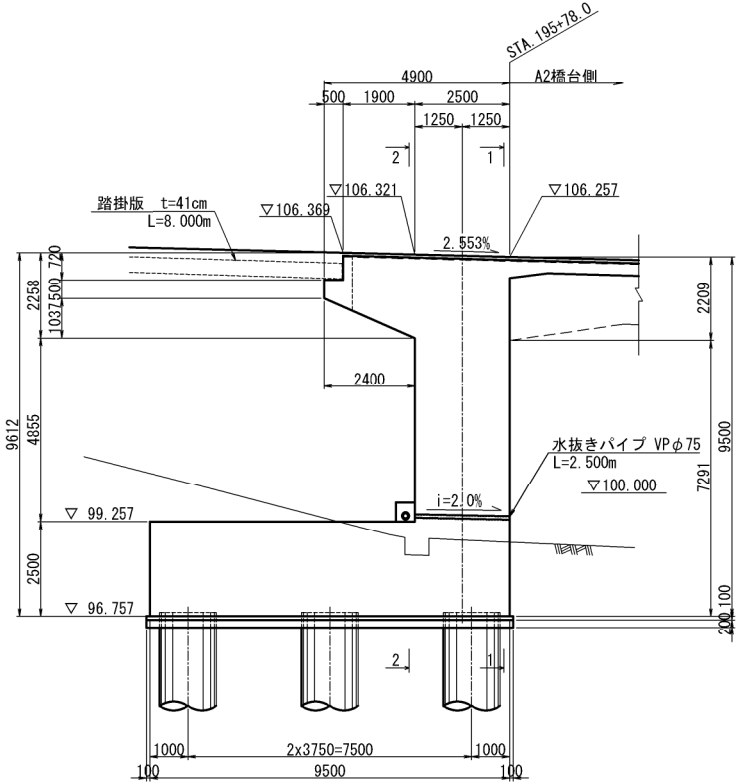
正面図(1-1)



背面図(2-2)

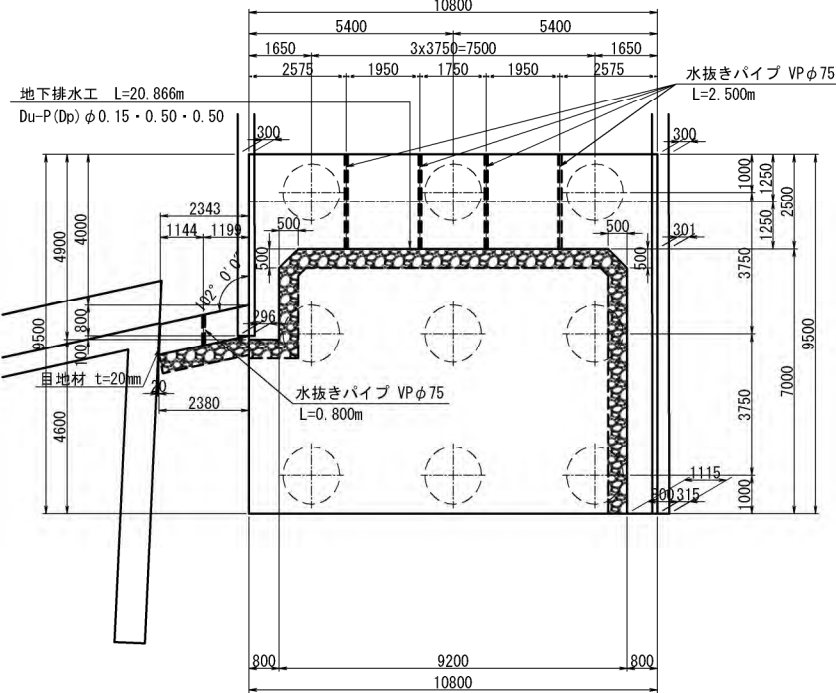


側面図(3-3)

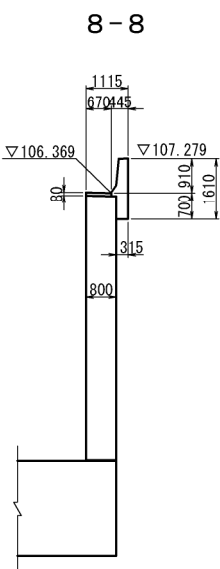


※( )内寸法は舗装面から受台天端までの高さを示す

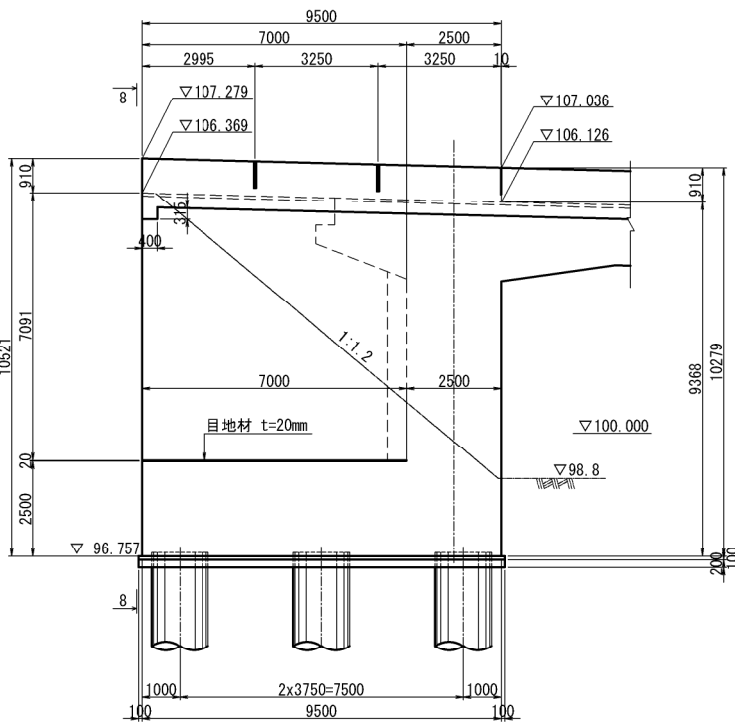
平面図(4-4)



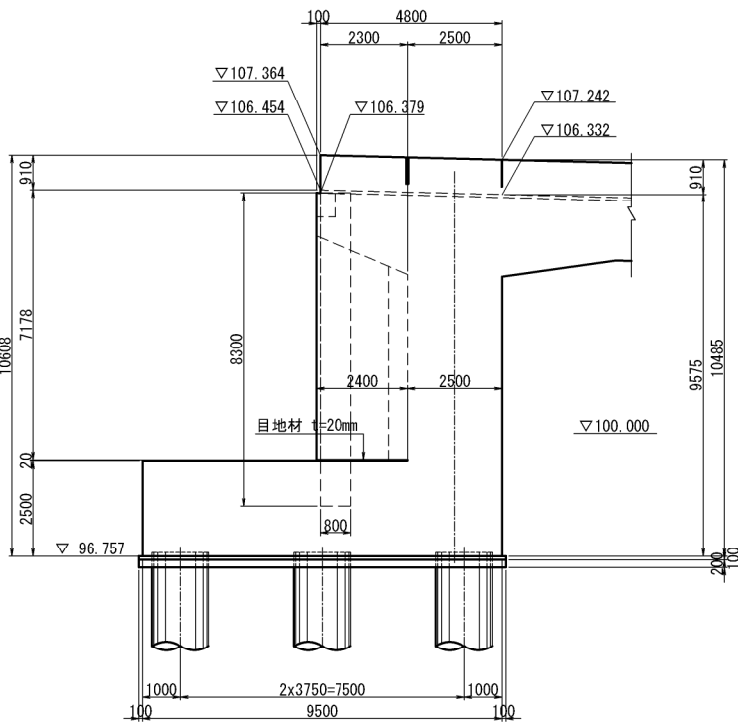
8-8



側面図(5-5)



側面図(6-6)



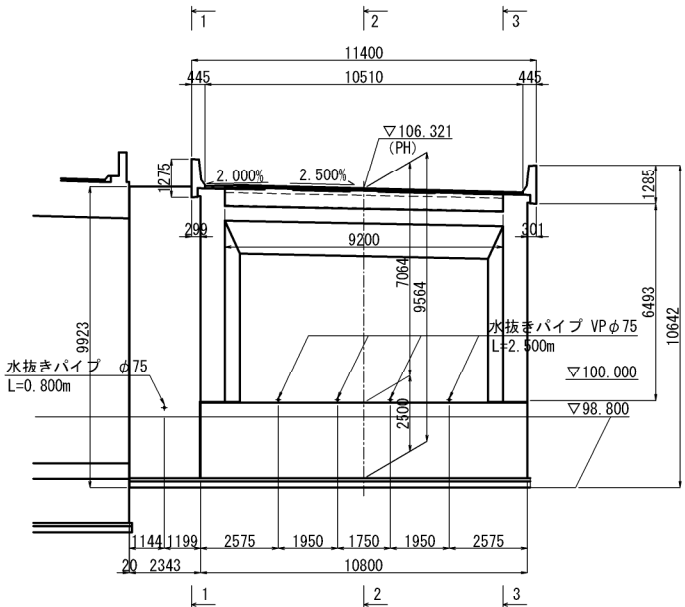
使用材料一覧表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
躯体コンクリート	$\sigma_{ck}=36\text{N/mm}^2$	SD345
土留め壁	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	---

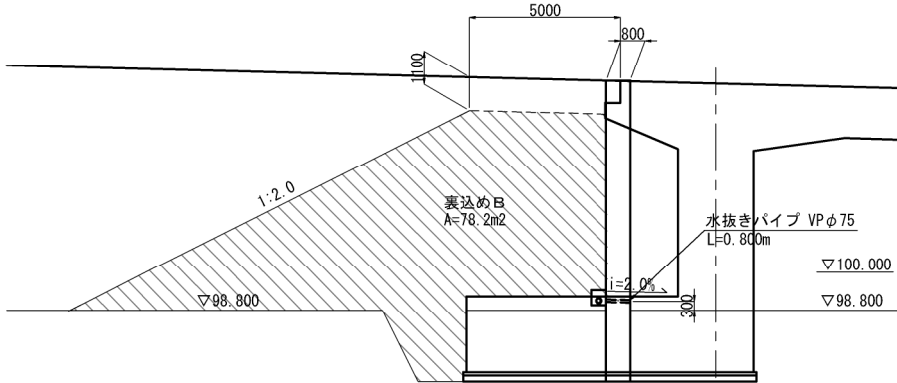
秋田自動車道 橋手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台構造一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 橋手工事事務所		



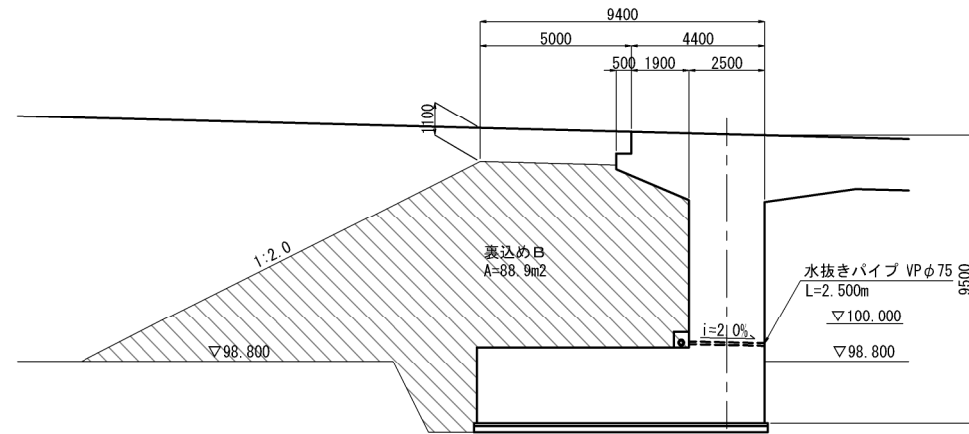
背面図



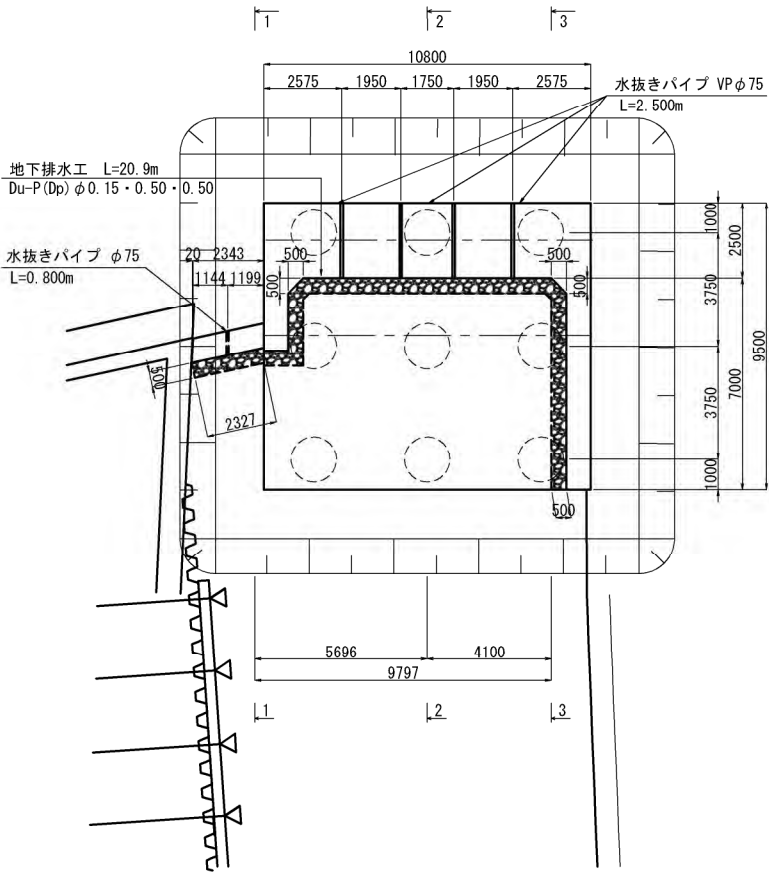
1 - 1



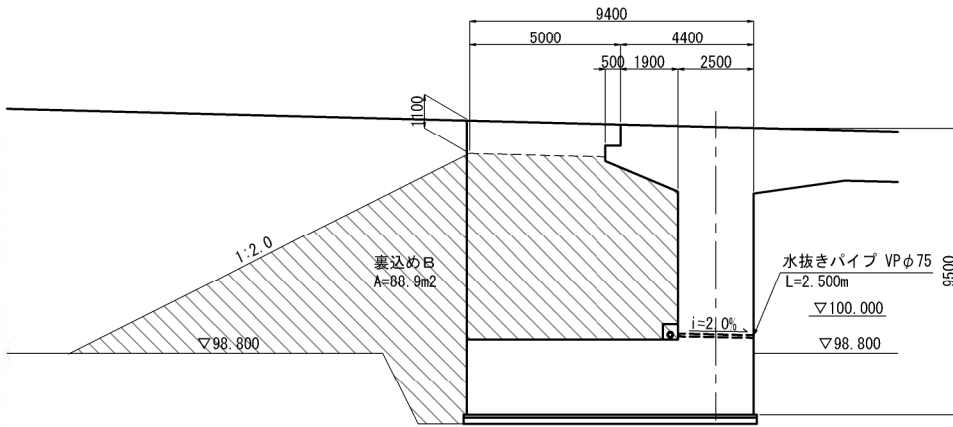
2 - 2



平面図

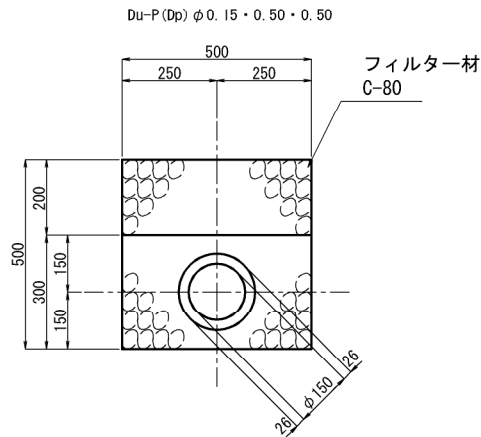


3 - 3



地下排水工詳細図

S=1:20



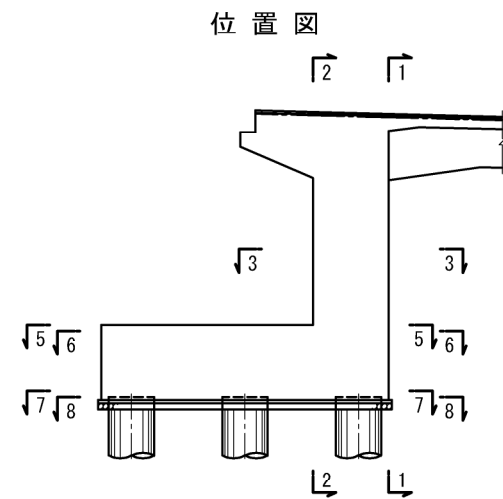
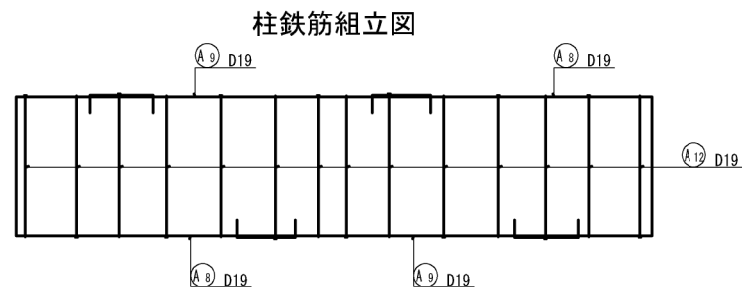
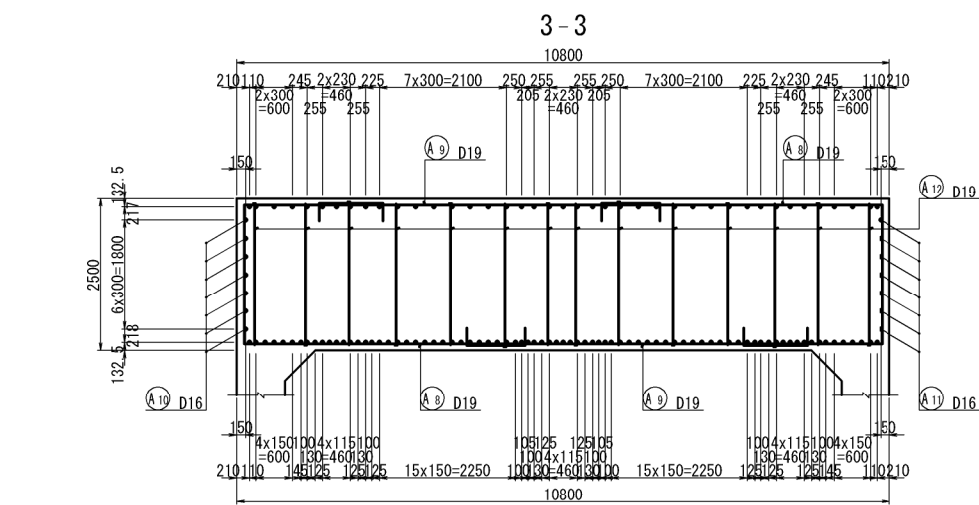
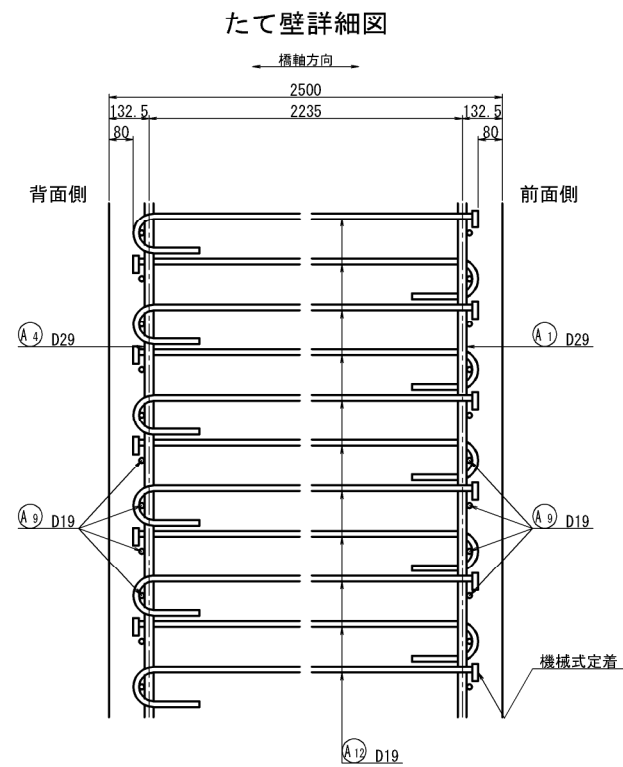
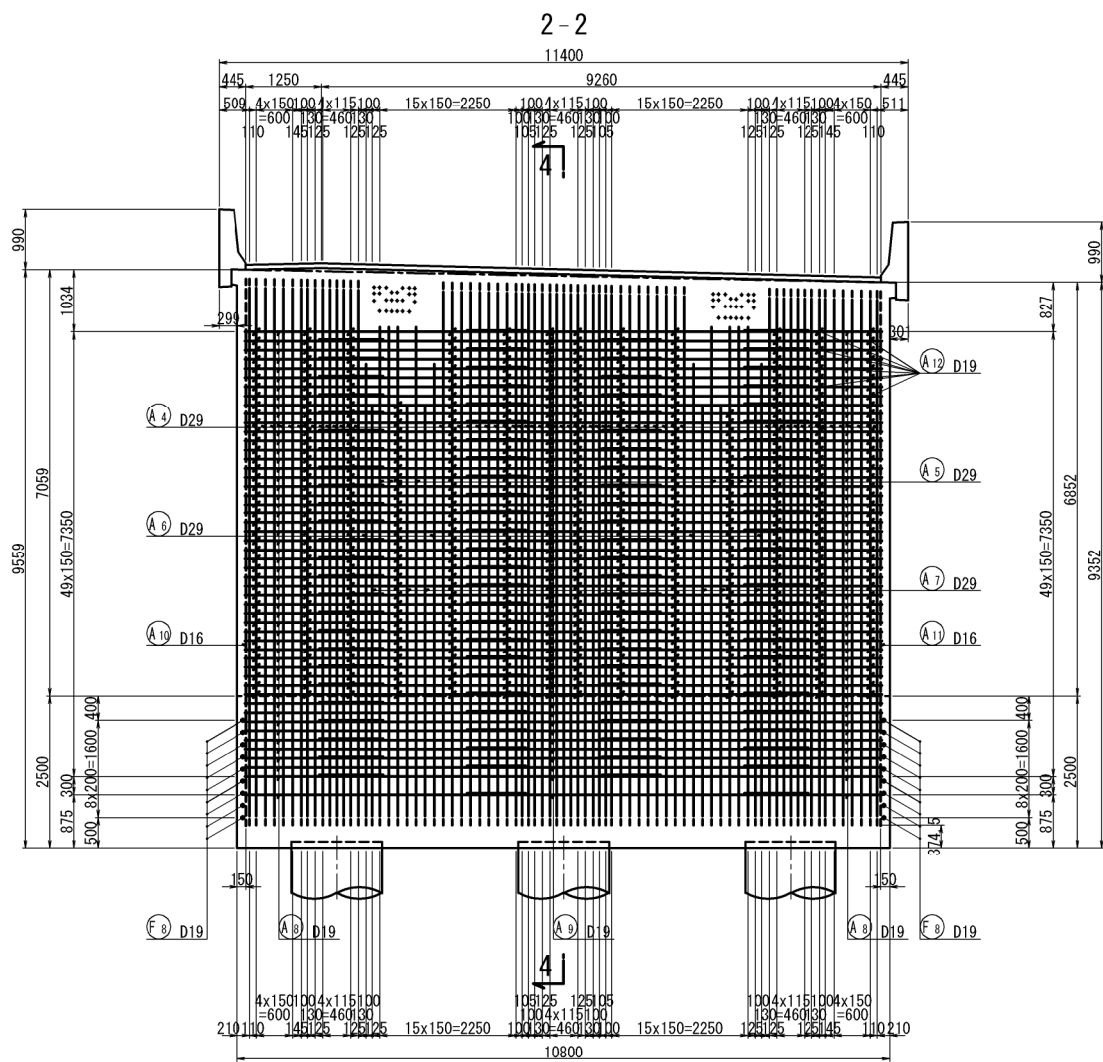
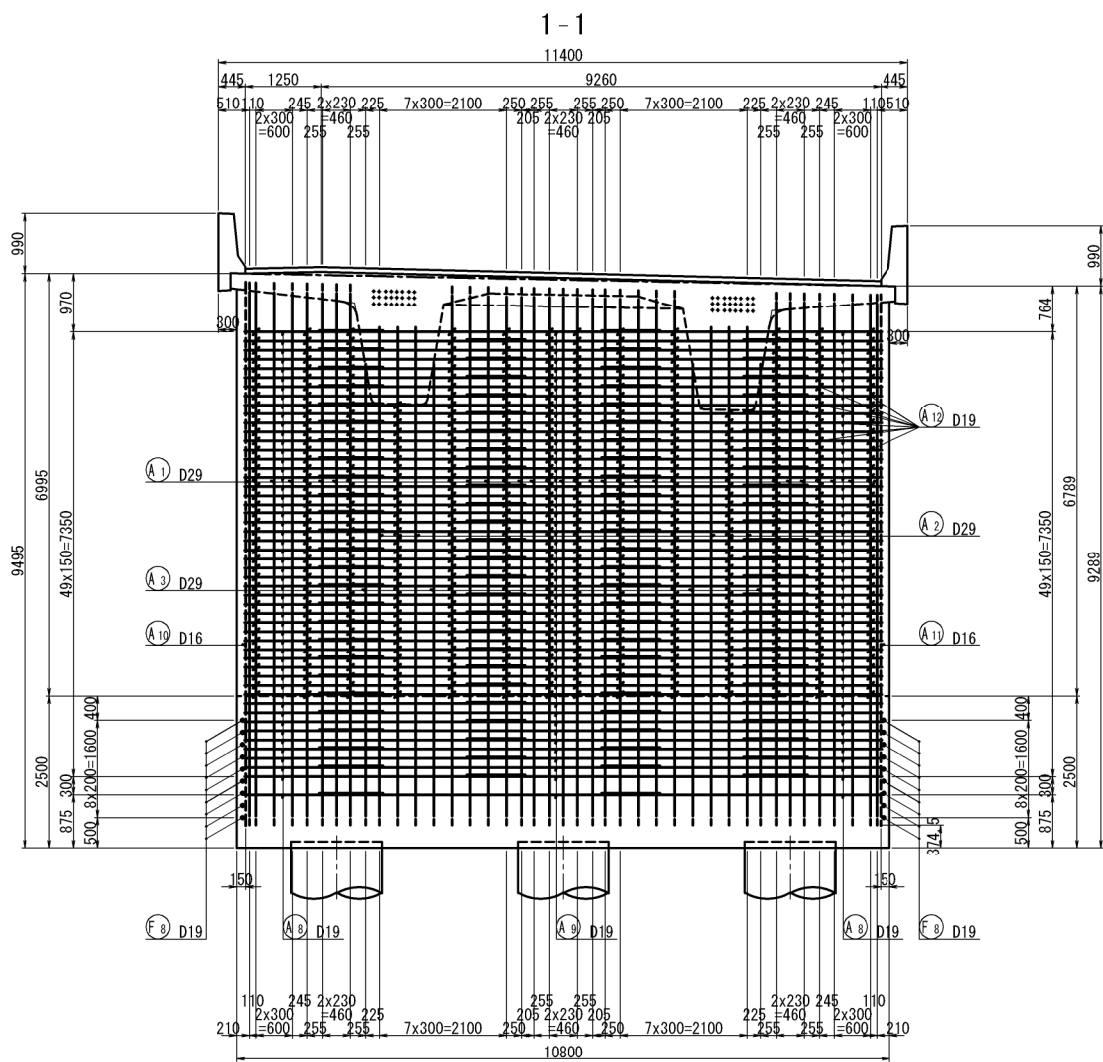
数量表

項目	種別	単位	数量	摘要
構造物裏込め	裏込め B	m <sup>3</sup>	1083.4	単備項目「道路掘削軟岩A2」に含む
地下排水工	Du-P (Dp) $\phi 0.15 \cdot 0.50 \cdot 0.50$	m	20.9	
水抜きパイプ	VP $\phi 75$	m	10.8	

特記事項

- ※1 土留め壁の施工に先立ち、現地にて詳細な計測を行うこと。  
また、計測にて確認した寸法で土留め壁の構造寸法を決定すること。
- ※2 I 期線構造物との離隔は細部測量結果を考慮した値とする。

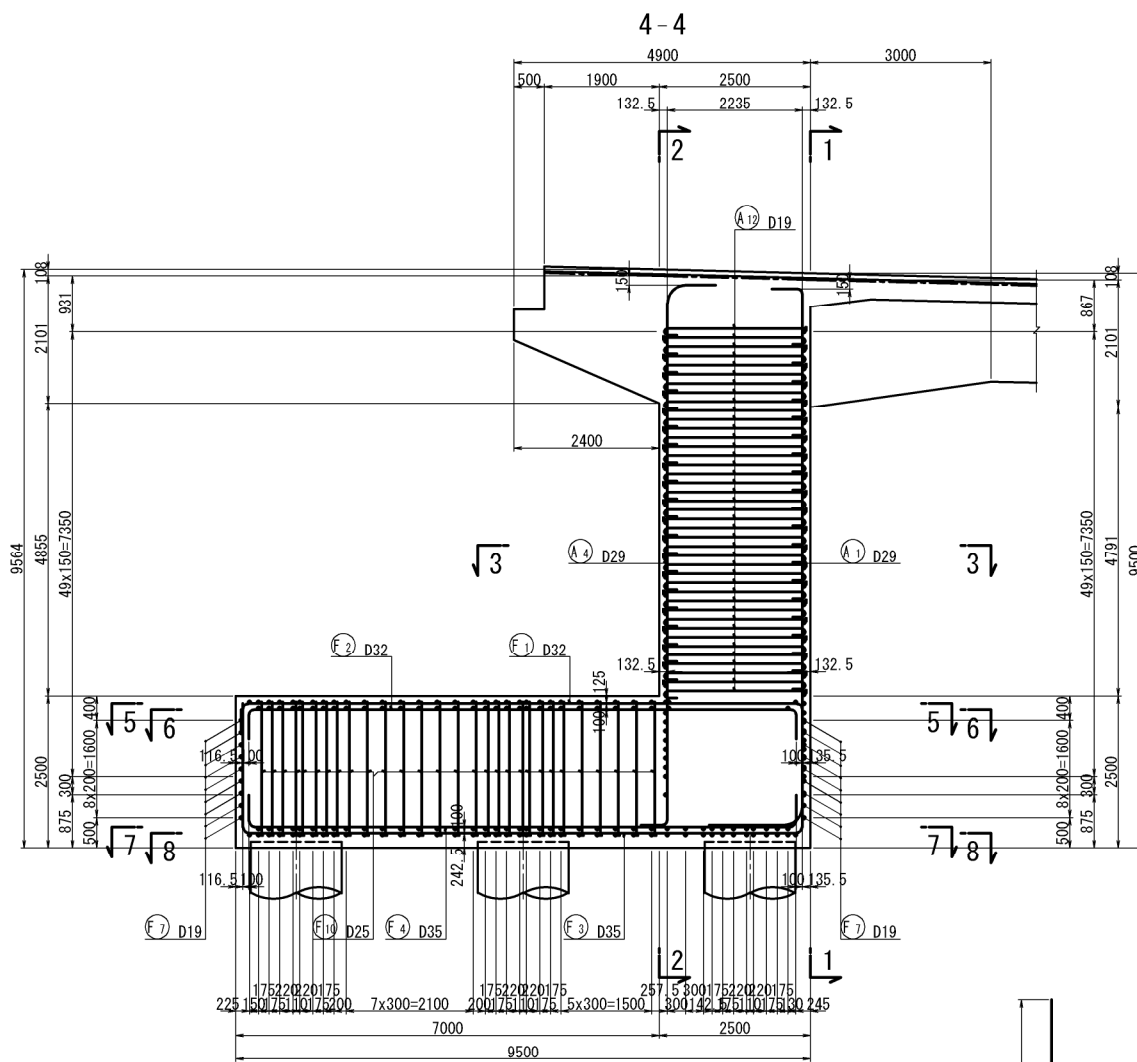
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台裏込め工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



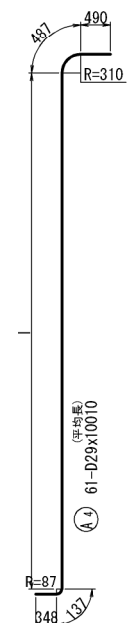
特記事項

- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- たて壁部材の主鉄筋および鉛直鉄筋のピッチは、150mmまたは300mm間隔を基本とし、フーチング部の鉄筋および場所打ち杭の鉄筋との干渉を考慮して決定をしている。施工時に再度確認の後、調整すること。
- たて壁部材の鉄筋のかぶり値は、中間帯鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
- また、たて壁端部はウイング部材最外縁鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

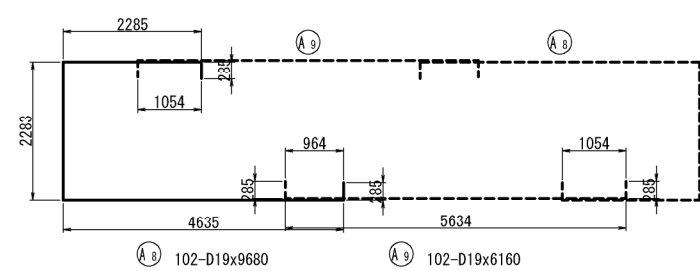
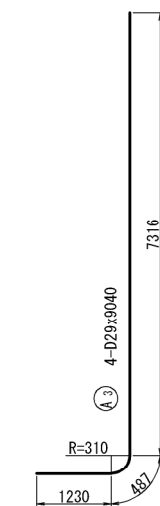
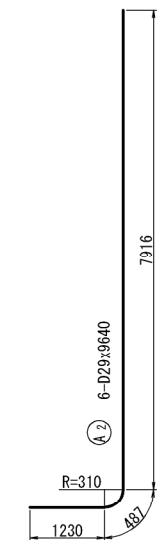
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台配筋図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



記号	径	本数	l	L
1	D29	1	8369	10650
2	"	1	8371	10650
3	"	1	8377	10660
4	"	1	8383	10660
5	"	1	8388	10670
6	"	1	8393	10670
7	"	1	8397	10680
8	"	1	8402	10680
9	"	1	8435	10710
10	"	1	8440	10720
11	"	1	8446	10720
12	"	1	8452	10730
13	"	1	8457	10740
14	"	1	8461	10740
15	"	1	8466	10740
16	"	1	8470	10750
17	"	1	8475	10750
18	"	1	8480	10760
19	"	1	8484	10760
20	"	1	8489	10770
21	"	1	8495	10770
22	"	1	8501	10780
23	"	1	8506	10780
24	"	1	8539	10820
25	"	1	8544	10820
26	"	1	8548	10830
27	"	1	8553	10830
28	"	1	8558	10840
29	"	1	8564	10840
30	"	1	8570	10850
31	"	1	8572	10850
平均		31		10750

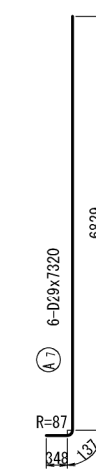
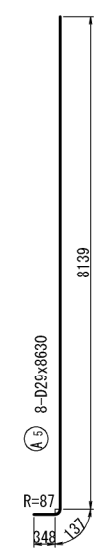


記号	径	本数	l	L
1	D29	1	8433	9900
2	"	1	8435	9900
3	"	1	8438	9900
4	"	1	8441	9910
5	"	1	8444	9910
6	"	1	8447	9910
7	"	1	8450	9920
8	"	1	8452	9920
9	"	1	8454	9920
10	"	1	8457	9920
11	"	1	8459	9930
12	"	1	8461	9930
13	"	1	8463	9930
14	"	1	8466	9930
15	"	1	8468	9930
16	"	1	8495	9960
17	"	1	8498	9960
18	"	1	8501	9970
19	"	1	8504	9970
20	"	1	8507	9970
21	"	1	8510	9980
22	"	1	8513	9980
23	"	1	8516	9980
24	"	1	8519	9990
25	"	1	8521	9990
26	"	1	8523	9990
27	"	1	8525	9990
28	"	1	8527	9990
29	"	1	8530	10000
30	"	1	8532	10000
31	"	1	8534	10000
32	"	1	8537	10000
33	"	1	8539	10010
34	"	1	8541	10010
35	"	1	8544	10010
36	"	1	8546	10010
37	"	1	8548	10010
38	"	1	8550	10020
39	"	1	8553	10020
40	"	1	8556	10020
41	"	1	8559	10030
42	"	1	8562	10030
43	"	1	8565	10030
44	"	1	8567	10030
45	"	1	8570	10040
46	"	1	8573	10040
47	"	1	8601	10070
48	"	1	8603	10070
49	"	1	8606	10070
50	"	1	8608	10070
51	"	1	8610	10080
52	"	1	8612	10080
53	"	1	8615	10080
54	"	1	8617	10080
55	"	1	8619	10090
56	"	1	8622	10090
57	"	1	8625	10090
58	"	1	8628	10090
59	"	1	8631	10100
60	"	1	8634	10100
61	"	1	8636	10100
平均		61		10010

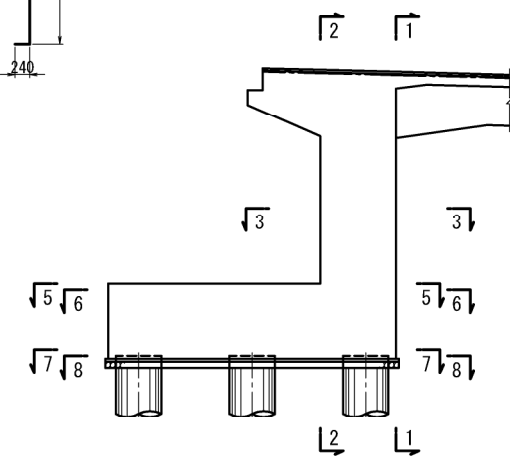


記号	径	本数	l	L
1	D16	1	8983	9210
2	"	1	8992	9220
3	"	1	9000	9220
4	"	1	9009	9230
5	"	1	9018	9240
6	"	1	9026	9250
7	"	1	9035	9260
平均		7		9240

記号	径	本数	l	L
1	D16	1	8777	9000
2	"	1	8786	9010
3	"	1	8795	9020
4	"	1	8803	9030
5	"	1	8812	9040
6	"	1	8821	9040
7	"	1	8830	9050
平均		7		9030



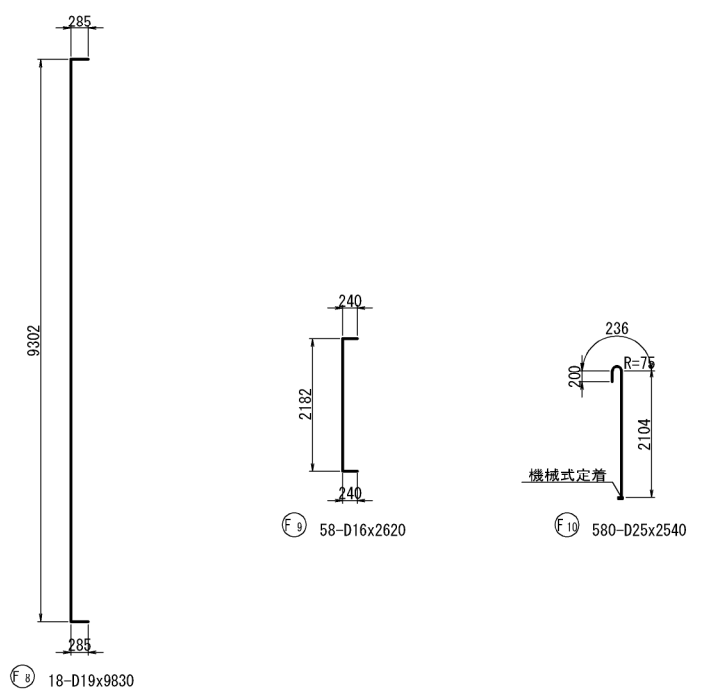
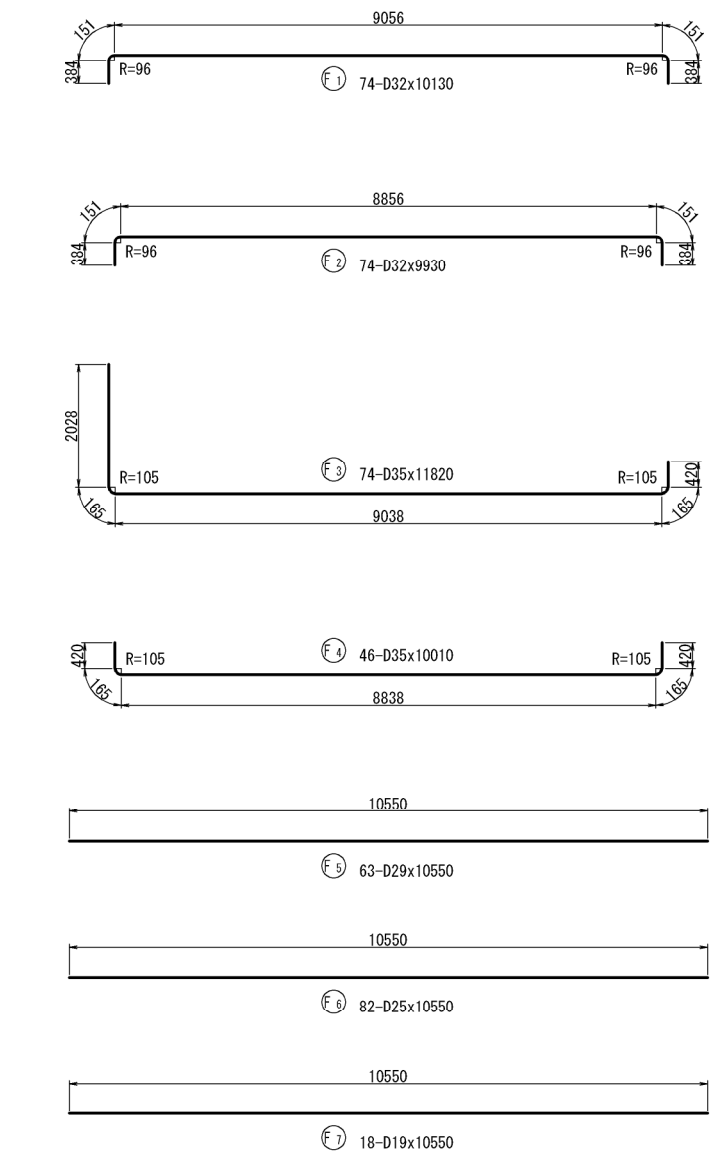
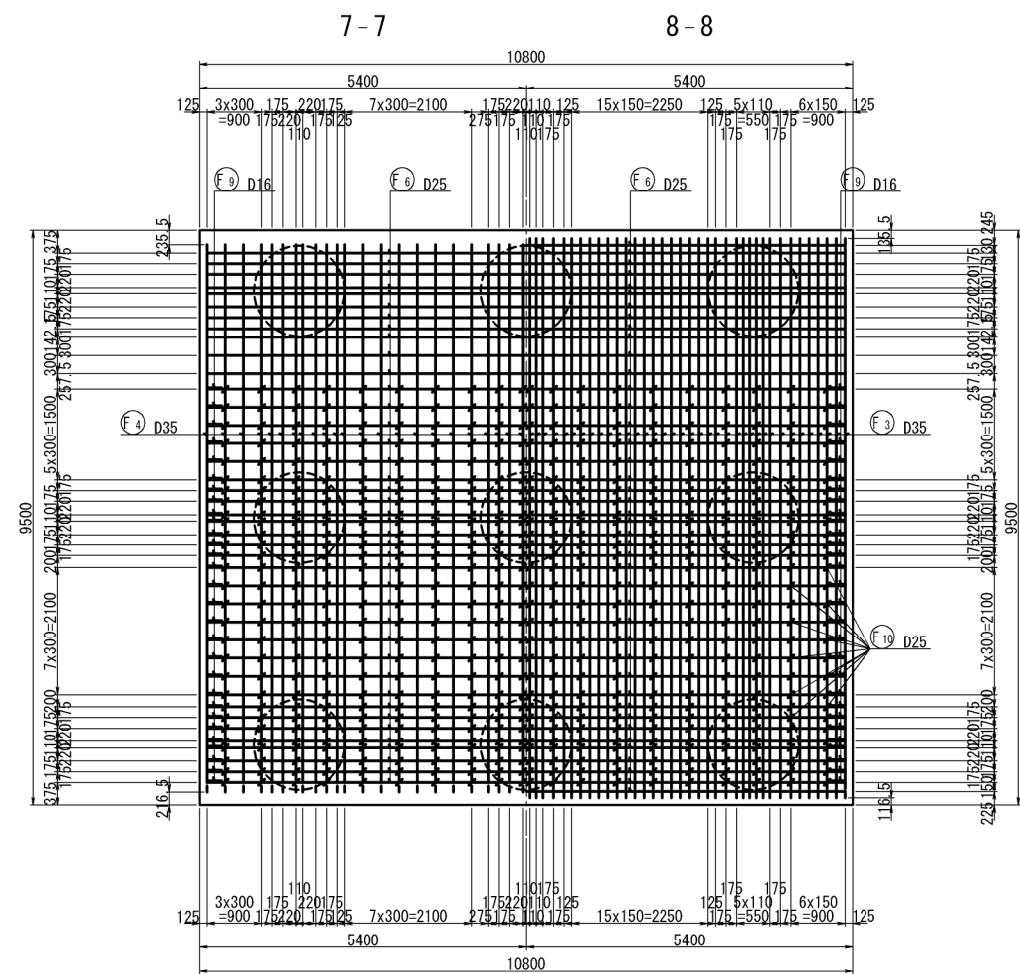
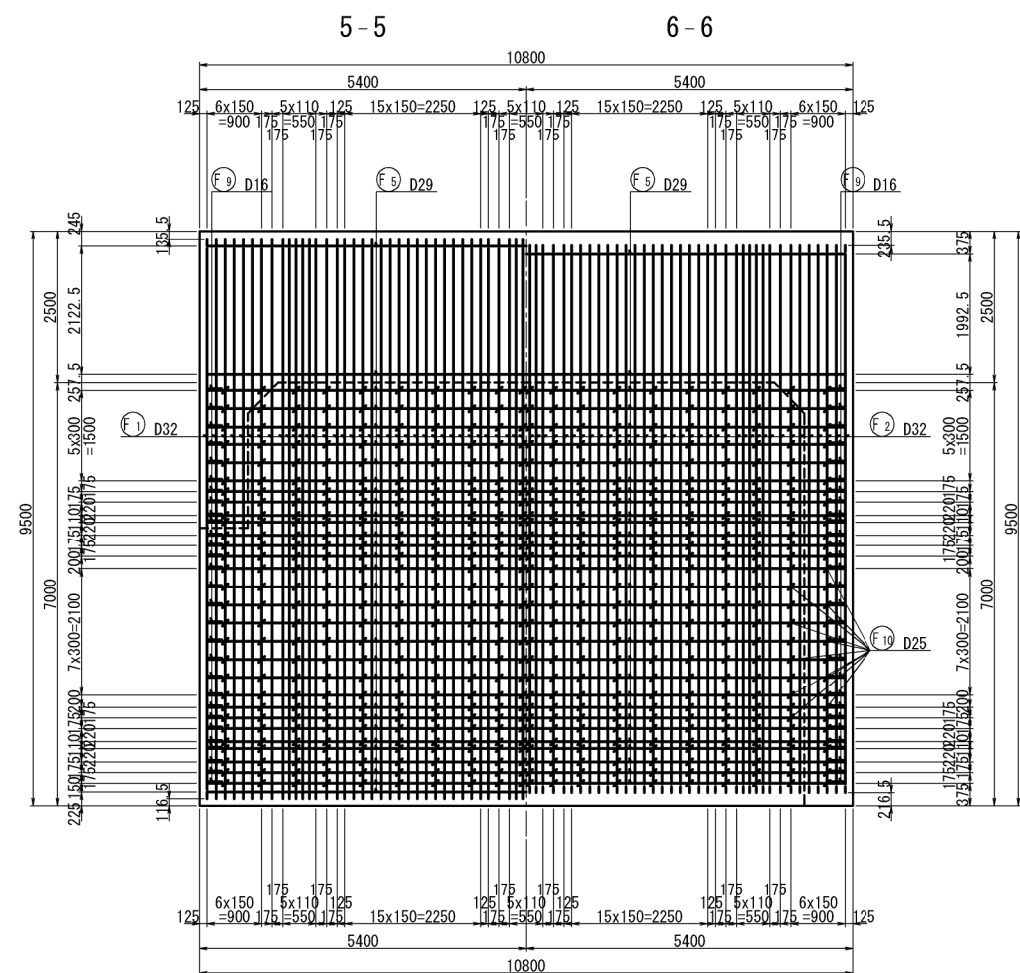
位置図



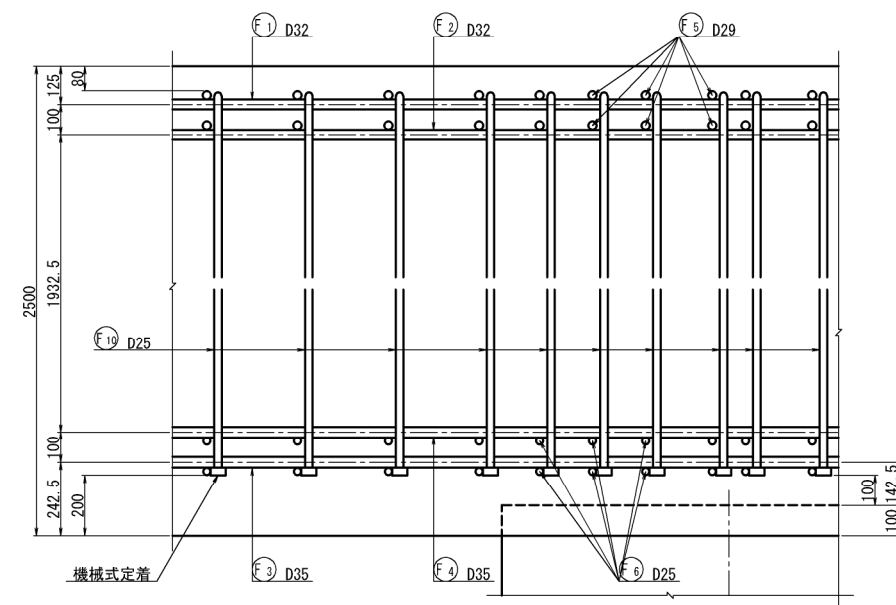
- 特記事項
- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
  - たて壁部材の主鉄筋および鉛直鉄筋のピッチは、150mmまたは300mm間隔を基本とし、フーチング部の鉄筋および場所打ち杭の鉄筋との干渉を考慮して決定をしている。施工時に再度確認の後、調整をすること。
  - たて壁部材の鉄筋のかぶり値は、中間帯鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
  - また、たて壁端部はウイング部材最外縁鉄筋の外形から80mm以上を確保すること。
  - 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
  - F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台配筋図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

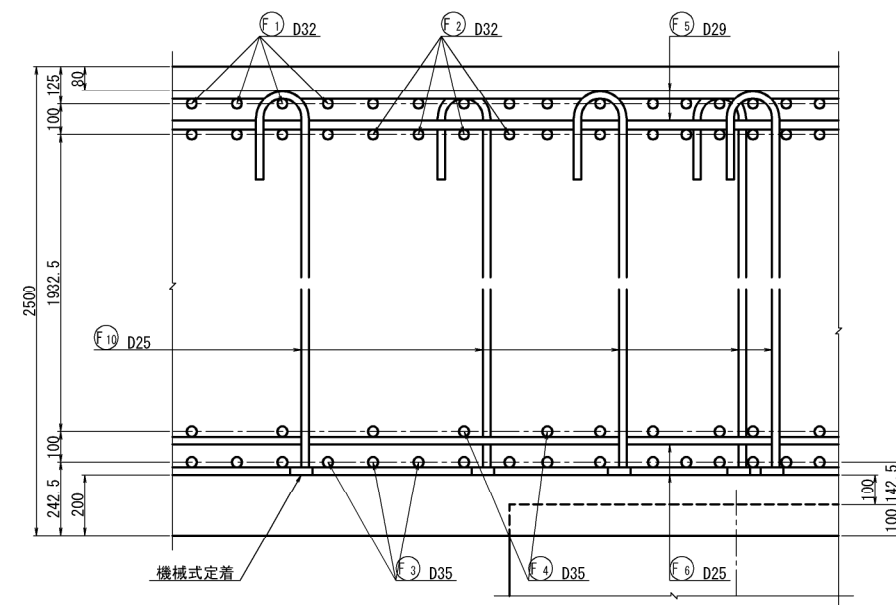




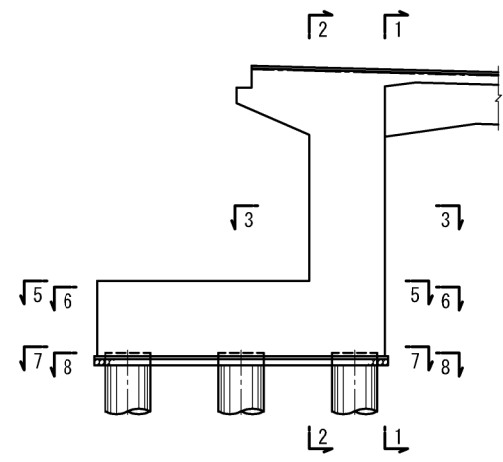
かぶり詳細図  
橋軸方向



直角方向



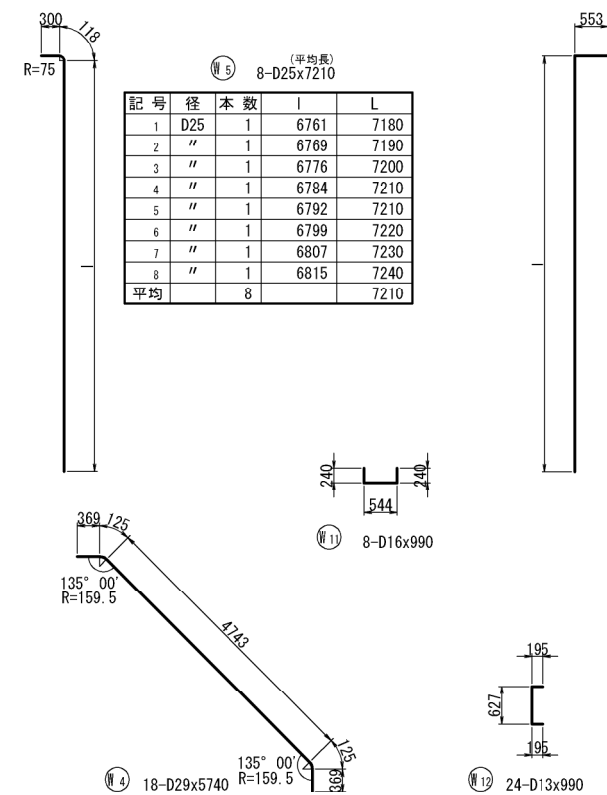
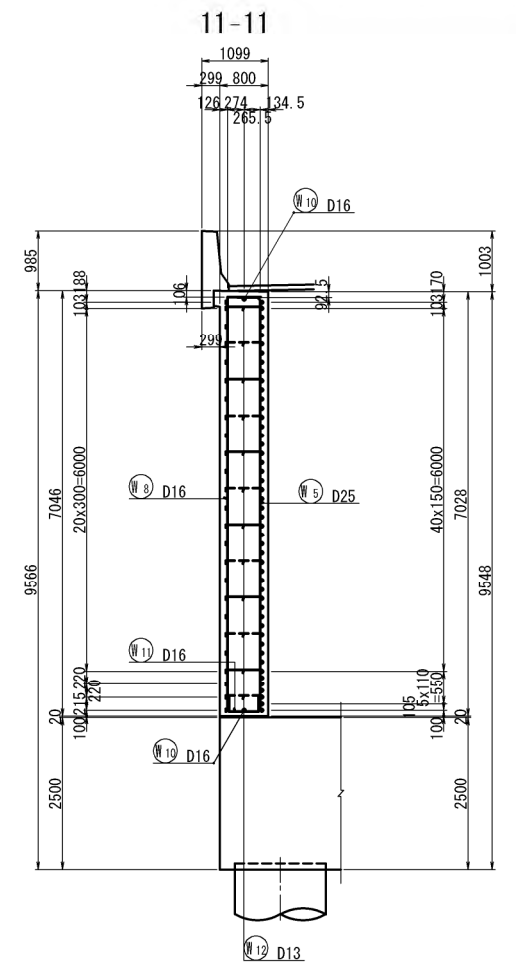
位置図



特記事項

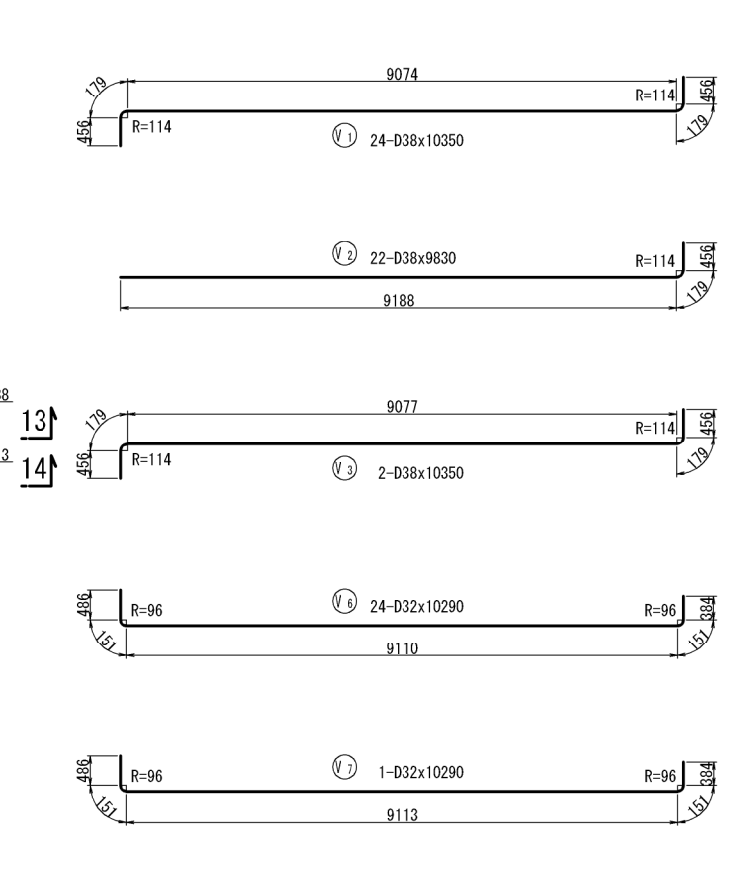
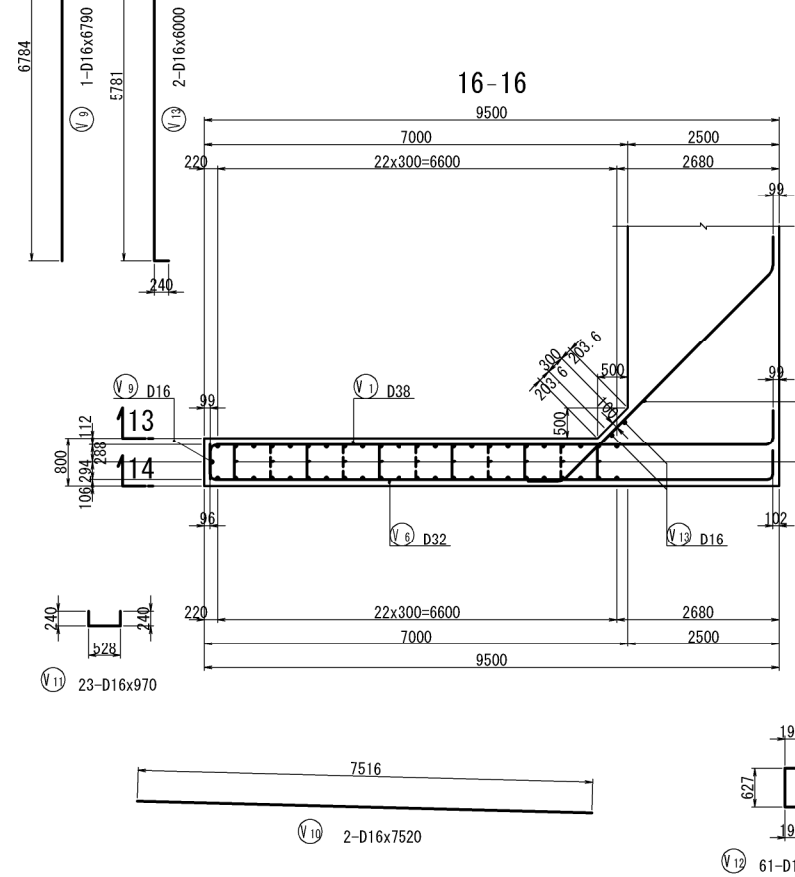
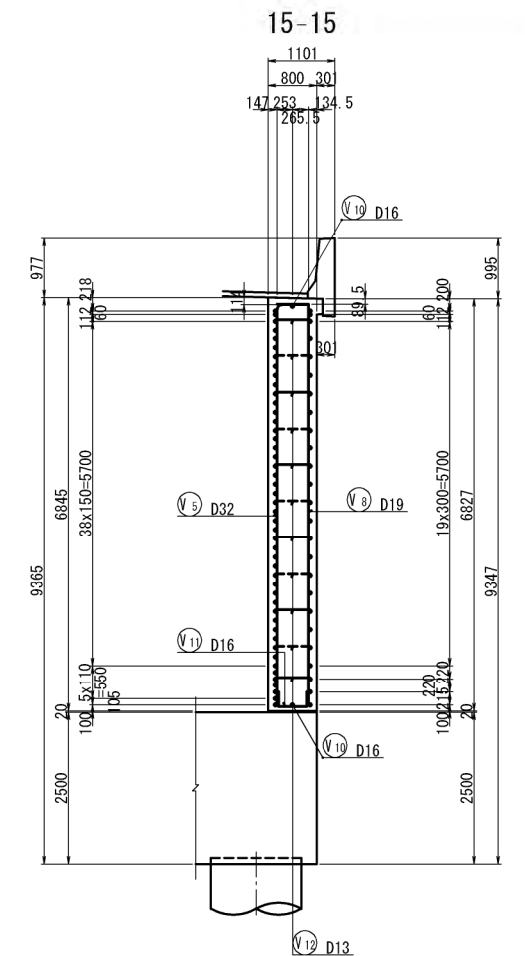
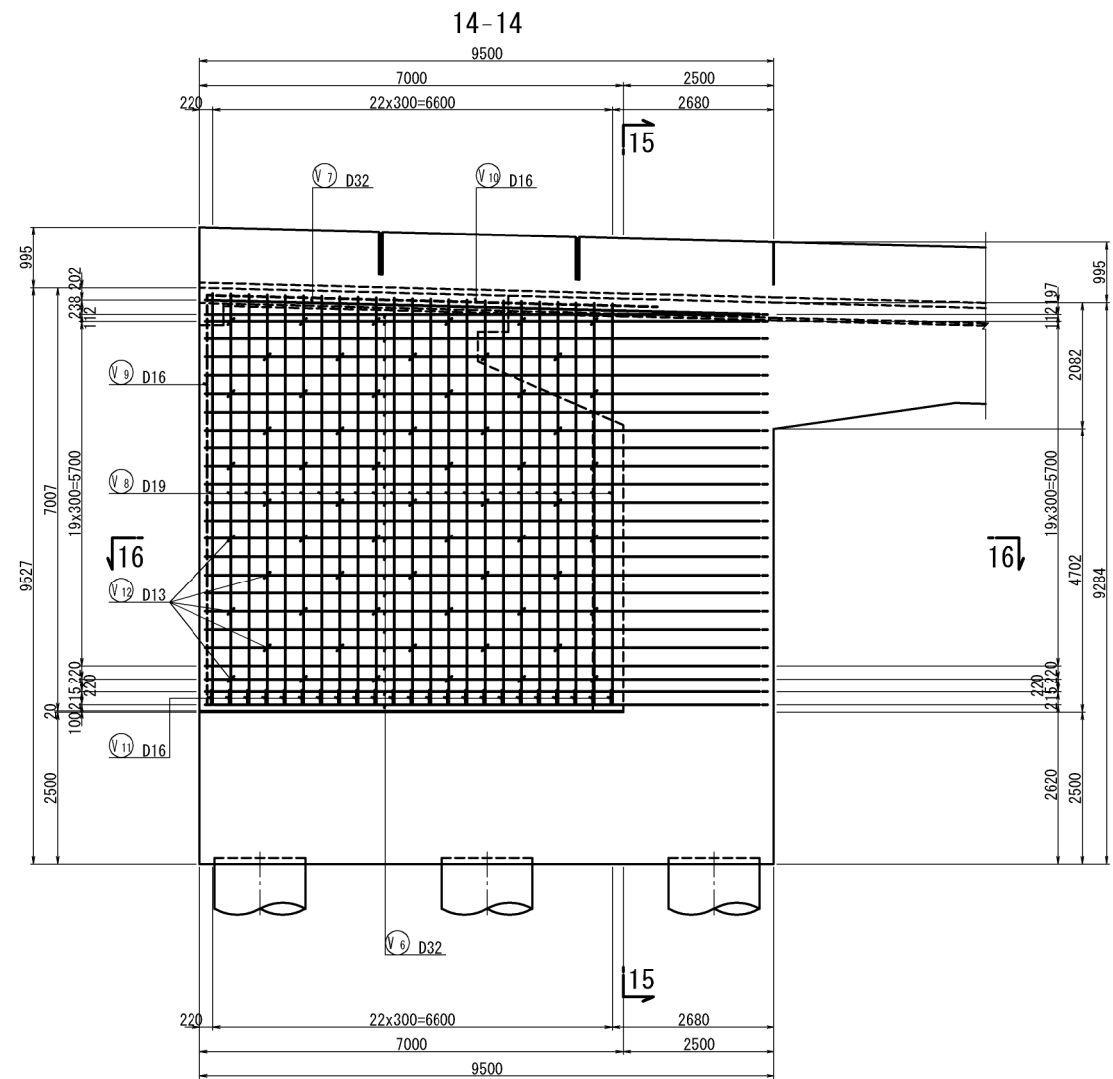
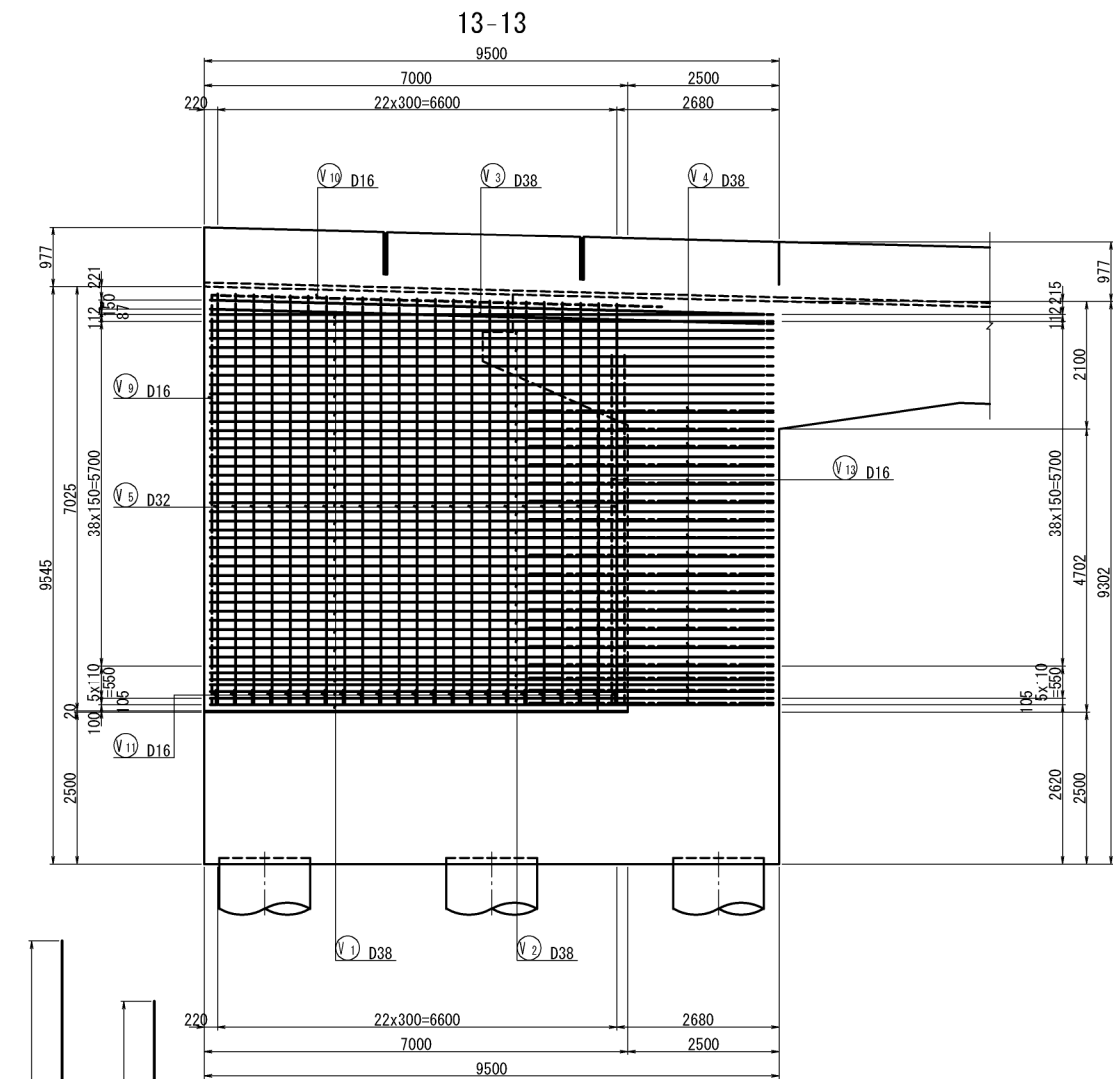
- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- フーチング部材の主鉄筋および配力鉄筋のピッチは、150mm或は300mm間隔を基本とし、たて壁の鉄筋および場所打ち杭の鉄筋との干渉を考慮して決定をしている。施工時に再度確認の後、調整をすること。
- フーチング部材の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外形から80mm以上を確保すること。
- また、フーチング端部はフーチング端部鉄筋の外形から80mm以上を確保すること。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台配筋図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



記 号	径	本 数	I	L
1	D16	1	6841	7380
2	"	1	6848	7380
3	"	1	6856	7390
4	"	1	6864	7400
5	"	1	6871	7410
6	"	1	6879	7420
7	"	1	6887	7420
8	"	1	6894	7430
平均		8		7410

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台配筋図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

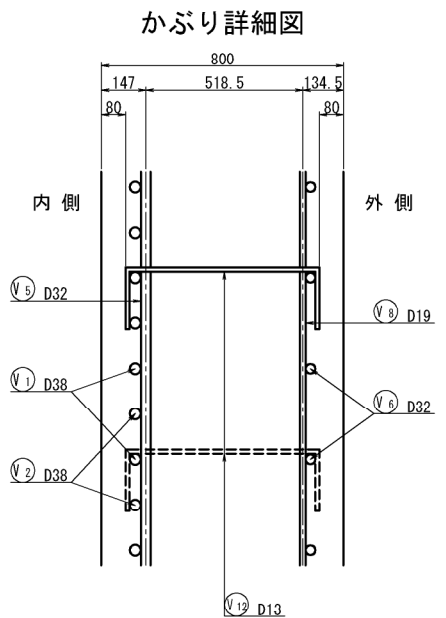
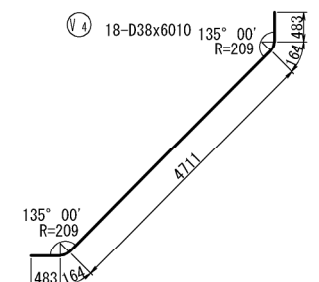


(平均長) V5 23-D32x7170

記号	径	本数	I	L
1	D32	1	6541	7080
2	"	1	6549	7090
3	"	1	6556	7100
4	"	1	6564	7100
5	"	1	6572	7110
6	"	1	6579	7120
7	"	1	6587	7130
8	"	1	6594	7130
9	"	1	6602	7140
10	"	1	6610	7150
11	"	1	6617	7160
12	"	1	6625	7160
13	"	1	6633	7170
14	"	1	6640	7180
15	"	1	6648	7190
16	"	1	6656	7200
17	"	1	6663	7200
18	"	1	6671	7210
19	"	1	6678	7220
20	"	1	6686	7230
21	"	1	6694	7230
22	"	1	6701	7240
23	"	1	6709	7250
平均		23		7170

(平均長) V9 23-D19x7230

記号	径	本数	I	L
1	D19	1	6643	7140
2	"	1	6651	7150
3	"	1	6658	7160
4	"	1	6666	7160
5	"	1	6674	7170
6	"	1	6681	7180
7	"	1	6689	7190
8	"	1	6697	7200
9	"	1	6704	7200
10	"	1	6712	7210
11	"	1	6720	7220
12	"	1	6728	7230
13	"	1	6735	7230
14	"	1	6743	7240
15	"	1	6751	7250
16	"	1	6758	7260
17	"	1	6766	7260
18	"	1	6774	7270
19	"	1	6781	7280
20	"	1	6789	7290
21	"	1	6797	7300
22	"	1	6804	7300
23	"	1	6812	7310
平均		23		7230



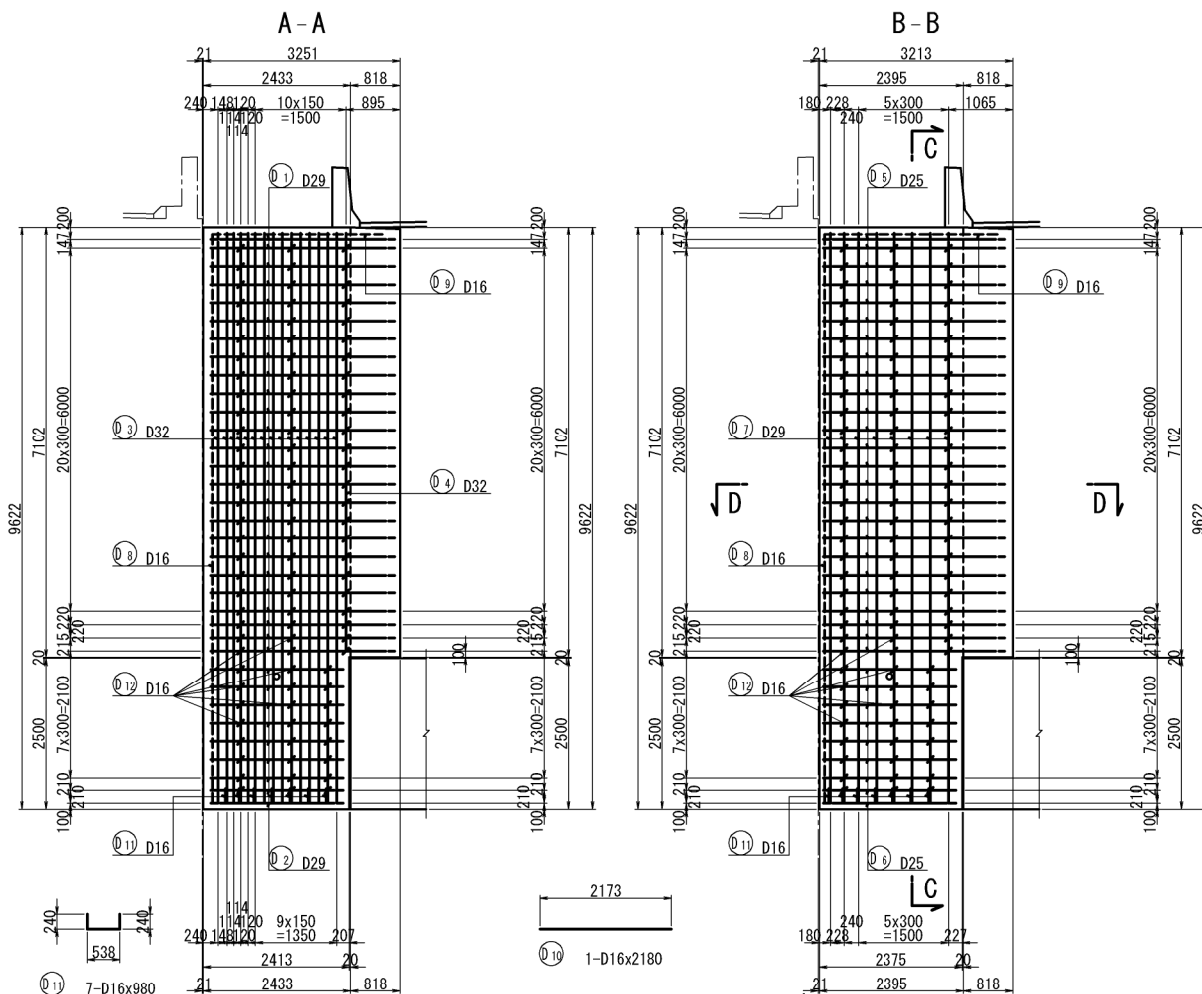
特記事項

- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- 翼壁・土留壁の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台配筋図(5)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

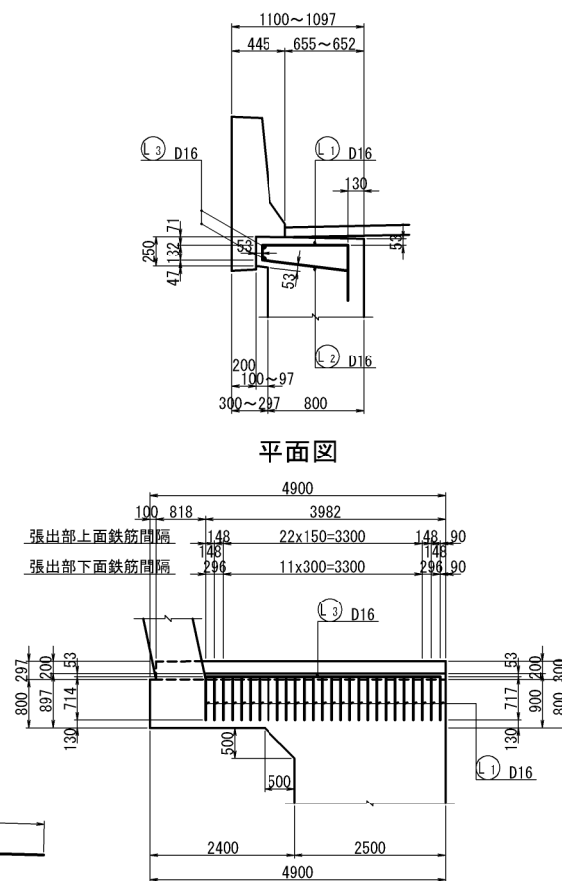


既設側土留壁配筋図



左側張出部配筋図

断面図 S=1:62.5



記号	径	本数	I	L
1	D16	1	714	1050
2	"	1	714	1050
3	"	1	714	1050
4	"	1	714	1050
5	"	1	714	1050
6	"	1	715	1050
7	"	1	715	1050
8	"	1	715	1050
9	"	1	715	1050
10	"	1	715	1050
11	"	1	715	1050
12	"	1	715	1050
13	"	1	715	1050
14	"	1	716	1050
15	"	1	716	1050
16	"	1	716	1050
17	"	1	716	1050
18	"	1	716	1050
19	"	1	716	1050
20	"	1	716	1050
21	"	1	716	1050
22	"	1	716	1050
23	"	1	717	1050
24	"	1	717	1050
25	"	1	717	1050
26	"	1	717	1050
27	"	1	717	1050
平均		27		1050

記号	径	本数	I	L
1	D16	1	708	1060
2	"	1	708	1060
3	"	1	708	1060
4	"	1	709	1060
5	"	1	709	1060
6	"	1	709	1060
7	"	1	709	1060
8	"	1	710	1060
9	"	1	710	1060
10	"	1	710	1060
11	"	1	710	1060
12	"	1	711	1060
13	"	1	711	1060
14	"	1	711	1060
15	"	1	711	1060
16	"	1	712	1060
17	"	1	712	1060
18	"	1	712	1060
19	"	1	712	1060
20	"	1	713	1060
21	"	1	713	1060
22	"	1	713	1060
23	"	1	713	1060
24	"	1	714	1060
25	"	1	714	1060
26	"	1	714	1060
27	"	1	714	1060
28	"	1	715	1070
29	"	1	715	1070
30	"	1	715	1070
31	"	1	715	1070
32	"	1	716	1070
33	"	1	716	1070
34	"	1	716	1070
35	"	1	716	1070
36	"	1	716	1070
37	"	1	717	1070
38	"	1	717	1070
39	"	1	717	1070
40	"	1	717	1070
41	"	1	718	1070
42	"	1	718	1070
43	"	1	718	1070
44	"	1	718	1070
45	"	1	719	1070
46	"	1	719	1070
47	"	1	719	1070
48	"	1	719	1070
49	"	1	720	1070
50	"	1	720	1070
51	"	1	720	1070
52	"	1	720	1070
53	"	1	721	1070
54	"	1	721	1070
55	"	1	721	1070
56	"	1	721	1070
57	"	1	722	1070
58	"	1	722	1070
59	"	1	722	1070
60	"	1	722	1070
61	"	1	723	1070
62	"	1	723	1070
63	"	1	723	1070
平均		63		1070

記号	径	本数	I	L
1	D16	1	710	1040
2	"	1	710	1040
3	"	1	711	1040
4	"	1	711	1040
5	"	1	712	1040
6	"	1	712	1040
7	"	1	713	1040
8	"	1	713	1040
9	"	1	714	1040
10	"	1	714	1040
11	"	1	715	1050
12	"	1	715	1050
13	"	1	716	1050
14	"	1	716	1050
15	"	1	717	1050
16	"	1	717	1050
17	"	1	718	1050
18	"	1	718	1050
19	"	1	719	1050
20	"	1	719	1050
21	"	1	720	1050
22	"	1	720	1050
23	"	1	721	1050
24	"	1	721	1050
25	"	1	722	1050
26	"	1	722	1050
27	"	1	723	1050
28	"	1	723	1050
29	"	1	724	1050
30	"	1	724	1050
31	"	1	725	1060
32	"	1	725	1060
平均		32		1050

記号	径	本数	I	L
1	D16	1	710	1040
2	"	1	710	1040
3	"	1	711	1040
4	"	1	711	1040
5	"	1	712	1040
6	"	1	712	1040
7	"	1	713	1040
8	"	1	713	1040
9	"	1	714	1040
10	"	1	714	1040
11	"	1	715	1050
12	"	1	715	1050
13	"	1	716	1050
14	"	1	716	1050
15	"	1	717	1050
16	"	1	717	1050
17	"	1	718	1050
18	"	1	718	1050
19	"	1	719	1050
20	"	1	719	1050
21	"	1	720	1050
22	"	1	720	1050
23	"	1	721	1050
24	"	1	721	1050
25	"	1	722	1050
26	"	1	722	1050
27	"	1	723	1050
28	"	1	723	1050
29	"	1	724	1050
30	"	1	724	1050
31	"	1	725	1060
32	"	1	725	1060
平均		63		1070

## 特記事項








- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- 翼壁・土留壁の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
- また、張出部の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外径から45mm以上を確保すること。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

## 秋田自動車道 横手工事

図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台配筋図(6)
縮尺	図示 図面番号 /
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所

鉄筋表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要	
A	D29	10750	31	5.04	54.2	1680	平均長	
	2	"	9640	6	"	48.6		平均長
	3	"	9040	4	"	45.6		
	4	"	10010	61	"	50.5	3081	
	5	"	8630	8	"	43.5	348	
	6	"	8030	4	"	40.5	162	
	7	"	7320	6	"	36.9	221	平均長
	8	D19	9680	102	2.25	21.8	2224	
	9	"	6160	102	"	13.9	1418	
	10	D16	9240	7	1.56	14.4	101	平均長 C(557)
	11	"	9030	7	"	14.1	99	
	12	D19	2590	557	2.25	5.83	3247	
13055 kg								
F	D32	10130	74	6.23	63.1	4669	平均長	
	2	"	9930	74	"	61.9		4581
	3	D35	11820	74	7.51	88.8		6571
	4	"	10010	46	"	75.2	3459	平均長
	5	D29	10550	63	5.04	53.2	3352	
	6	D25	10650	82	3.98	42.0	3444	
	7	D19	10550	18	2.25	23.7	427	平均長
	8	"	9830	18	"	22.1	398	
	9	D16	2620	58	1.56	4.09	237	
	10	D25	2540	580	3.98	10.1	5858	C(580)
	32996 kg							
	W	D29	5500	24	5.04	27.7	665	平均長
2		"	5100	23	"	25.7	591	
3		"	5500	1	"	27.7	28	
4		"	5740	18	"	28.9	520	平均長
5		D25	7210	8	3.98	28.7	230	
6		"	5600	24	"	22.3	535	
7		"	5610	1	"	22.3	22	平均長
8		D16	7410	8	1.56	11.6	93	
9		"	6880	1	"	10.7	11	
10		"	2930	2	"	4.57	9	平均長
11		"	990	8	"	1.54	12	
12		D13	990	24	0.995	0.985	24	
13		D16	6000	2	1.56	9.36	19	
2759 kg								
V	D38	10350	24	8.95	92.6	2222	平均長	
	2	"	9830	22	"	88.0		1936
	3	"	10350	2	"	92.6		185
	4	"	6010	18	"	53.8	968	平均長
	5	D32	7170	23	6.23	44.7	1028	
	6	"	10290	24	"	64.1	1538	
	7	"	10290	1	"	64.1	64	平均長
	8	D19	7230	23	2.25	16.3	375	
	9	D16	6790	1	1.56	10.6	11	
	10	"	7520	2	"	11.7	23	平均長
	11	"	970	23	"	1.51	35	
	12	D13	990	61	0.995	0.985	60	
	13	D16	6000	2	1.56	9.36	19	
8464 kg								

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要	
D	D29	4560	25	5.04	23.0	575		
	"	2950	9	"	14.9	134		
	D32	9870	15	6.23	61.5	923		
	4	"	7350	1	"	45.8	46	
	5	D25	4580	25	3.98	18.2	455	
	6	"	3100	9	"	12.3	111	
	7	D29	9920	8	5.04	50.0	400	
	8	D16	9410	1	1.56	14.7	15	
	9	"	2940	1	"	4.59	5	
	10	"	2180	1	"	3.40	3	
	11	"	980	7	"	1.53	11	
	12	"	850	96	"	1.33	128	
2806 kg							5< 96>	
E								
1	D16	1890	2	1.56	2.95	6		
2	"	1130	3	"	1.76	5		
11 kg								
L								
1	D16	1050	27	1.56	1.64	44	 平均長	
2	"	1040	14	"	1.62	23		
3	"	3900	2	"	6.08	12		
79 kg							平均長	
R								
1	D16	1070	63	1.56	1.67	105	 平均長	
2	"	1050	32	"	1.64	52		
3	"	9310	2	"	14.5	29		
186 kg							平均長	
鉄筋A 鉄筋C <箇所数>								
D38 5311 kg								
D35 10030 kg								
D32 12849 kg								
D29 12231 kg								
D25 4797 kg 5858 kg < 580 >								
D19 4842 kg 3247 kg < 557 >								
D16 979 kg 128 kg < 96 >								
D13 84 kg								
小計 51123 kg 9233 kg <1233>								
合計 60356 kg								

鉄筋集計表(一般鉄筋)

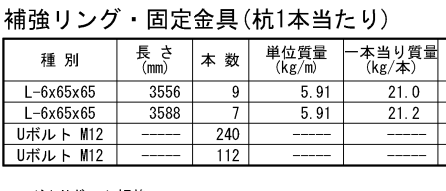
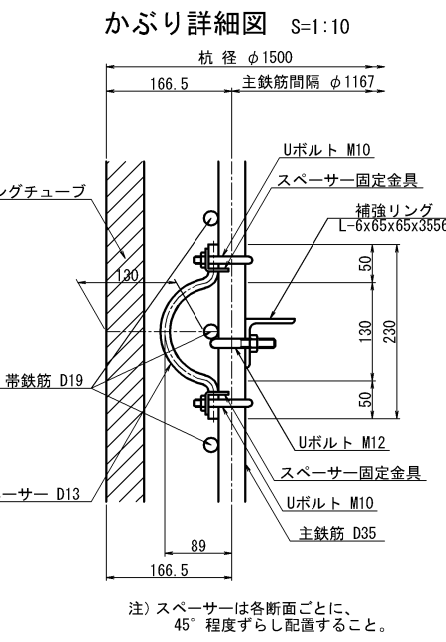
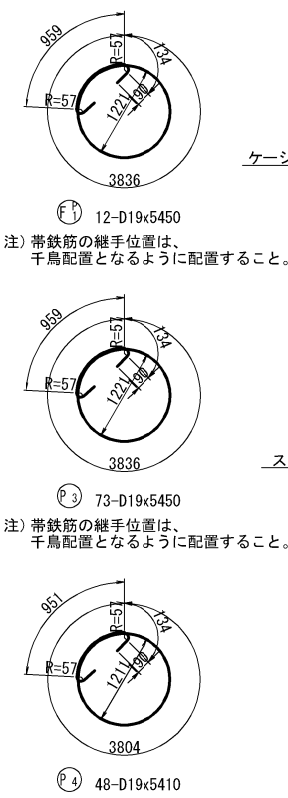
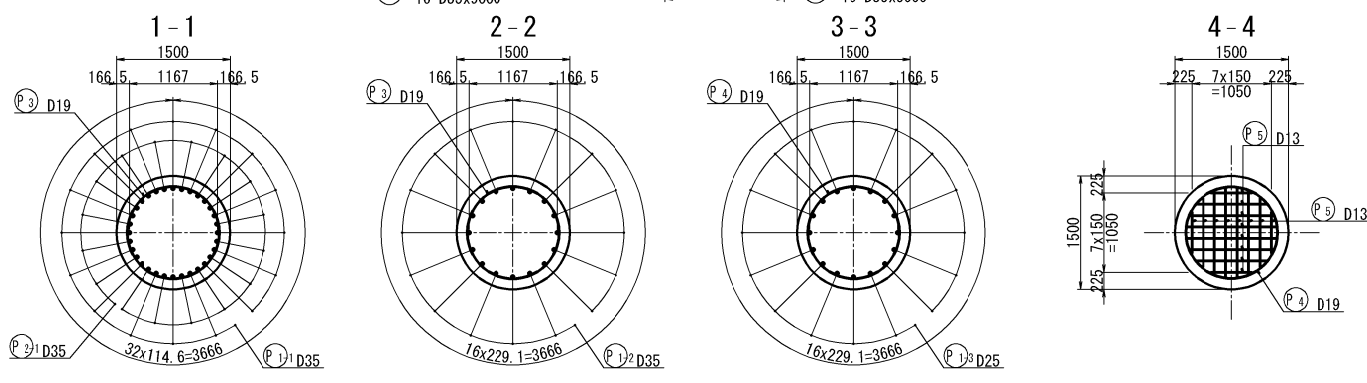
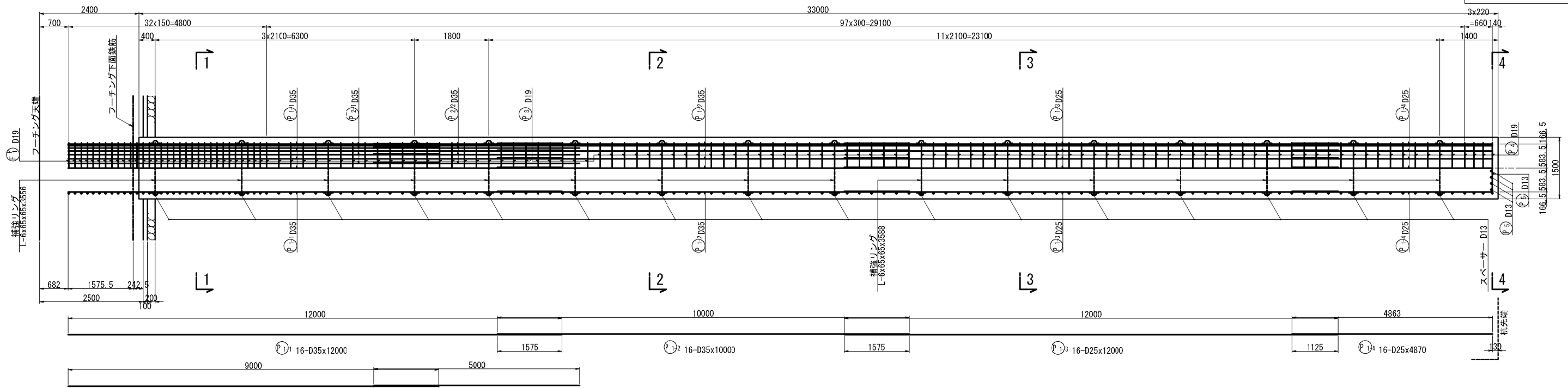
種 別	径 (mm)	質 量 (Kg)		合 計 (Kg)		
		SD490	SD345	SD490	SD345	
A	D13	D16	-----	237	-----	
		D19	-----	825	-----	
	D25	D22	-----	-----	-----	
		D25	-----	3444	-----	4506
	D29	D29	-----	3352	-----	-----
		D32	-----	9250	-----	12602
	D35	-----	10030	-----	10030	
	D38	-----	-----	-----	-----	
	D41	-----	-----	-----	-----	
	D51	-----	-----	-----	-----	
	合 計			-----	27138	
	C	D16	D16	-----	-----	-----
D19			-----	-----	-----	
D25		D22	-----	-----	-----	
		D25	-----	5858	-----	5858
D29		D29	-----	-----	-----	
		D32	-----	-----	-----	
合 計			-----	5858		
總 合 計 ( A + C )			-----	32996		
種 別	径 (mm)	鉄 筋 長		箇所数 (箇所)		
		L ≤ 1m		-----		
機械式鉄筋 定着箇所数	D25	1m < L ≤ 2m		-----		
		2m < L ≤ 3m		580		
		3m < L ≤ 4m		-----		
		4m < L ≤ 5m		-----		
		5m < L ≤ 6m		-----		
		合 計		580		

鉄筋集計表(エポキシ樹脂塗装鉄筋)

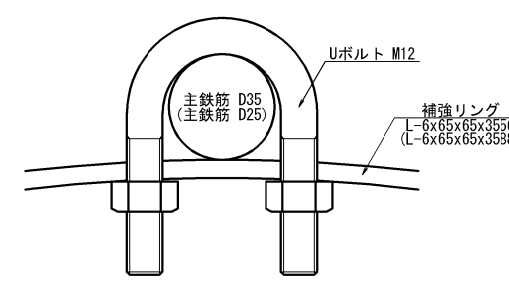
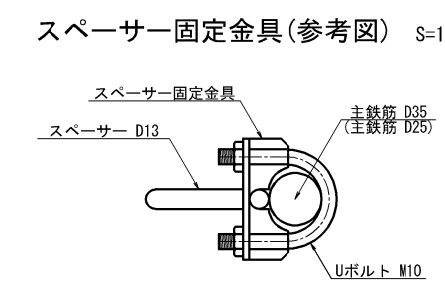
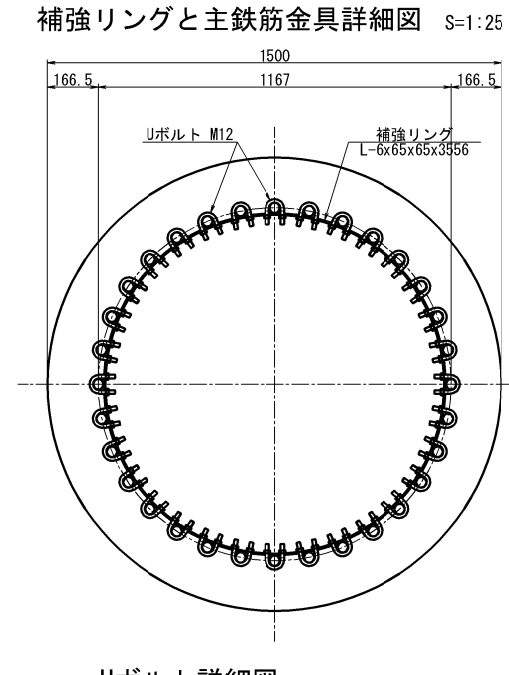
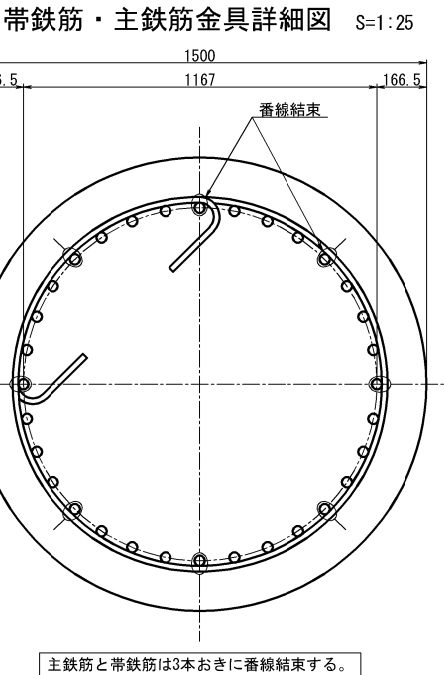
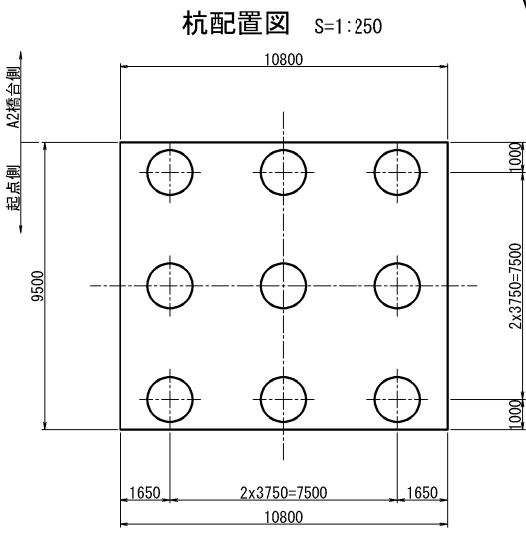
種 別	径 (mm)	質 量 (Kg)		合 計 (Kg)		
		SD490	SD345	SD490	SD345	
A (E)	D13	-----	84	-----	84	
	D16	-----	742	-----	742	
	D19 }	D19	-----	4017		
		D22	-----			
	D25	D25	-----	1353	-----	5370
	D29 }	D29	-----	8879	-----	
		D32	D32	-----	3599	-----
	D35	-----	-----	-----	-----	
	D38	-----	5311	-----	5311	
	D41	-----	-----	-----	-----	
	D51	-----	-----	-----	-----	
	合 計		-----	-----	23985	
C (E)	D16	-----	128	-----	128	
	D19 }	D19	-----	3247		
		D22	-----			
	D25	D25	-----	-----	-----	3247
	D29 }	D29	-----	-----	-----	
		D32	D32	-----	-----	-----
	合 計		-----	-----	3375	
	總 合 計 ( A(E) + C(E) )				-----	27360
種 別	径 (mm)	鉄 筋 長		箇所数 (箇所)		
機械式鉄筋 定着箇所数	D16	L ≤ 1m		96		
		1m < L ≤ 2m		-----		
		2m < L ≤ 3m		-----		
		3m < L ≤ 4m		-----		
		4m < L ≤ 5m		-----		
		5m < L ≤ 6m		-----		
	D19	合 計		96		
		L ≤ 1m		-----		
		1m < L ≤ 2m		-----		
		2m < L ≤ 3m		557		
		3m < L ≤ 4m		-----		
		4m < L ≤ 5m		-----		
5m < L ≤ 6m		-----				
合 計		557				

中里橋(上り線) A1橋台場所打ち杭配筋図 S=1:100

13 / 79



鉄筋表 (杭1本当たり)							
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
場所打ち杭φ1500 (鉄筋Y)							
P 1-1	D35	12000	16	7.51	90.1	1442	
1-2	"	10000	16	"	75.1	1202	
1-3	D25	12000	16	3.98	47.8	765	
1-4	"	4870	16	"	19.4	310	
2-1	D35	9000	16	7.51	67.6	1082	
2-2	"	5000	16	"	37.6	602	
3	D19	5450	73	2.25	12.3	898	
4	"	5410	48	"	12.2	586	
5	D13	1290	16	0.995	1.28	20	
鉄筋Y集計							6907 kg
杭1本当たり				橋台1基当たり			
D35	4328 kg	×	9 本	=	38952 kg		
D25	1075 kg	×	9 本	=	9675 kg		
D19	1484 kg	×	9 本	=	13356 kg		
D13	20 kg	×	9 本	=	180 kg		
合計	6907 kg	×	9 本	=	62163 kg		
場所打ち杭φ1500 (鉄筋A)							
F 1	D19	5450	12	2.25	12.3	148	
鉄筋A集計							148 kg
杭1本当たり				橋台1基当たり			
D19	148 kg	×	9 本	=	1332 kg		
合計	148 kg	×	9 本	=	1332 kg		



種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
L-6x65x65	3556	9	5.91	21.0	189	補強リング(主鉄筋D35区間)等辺山形鋼
L-6x65x65	3588	7	5.91	21.2	148	補強リング(主鉄筋D25区間)等辺山形鋼
Uボルト M12	240	112	---	---	---	補強リング固定用(主鉄筋D35用)
Uボルト M12	112	---	---	---	---	補強リング固定用(主鉄筋D25用)

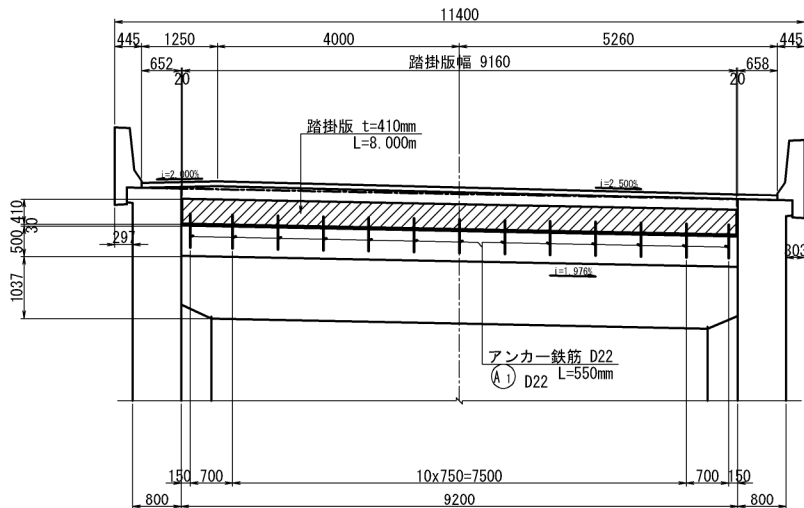
種別	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
スペーサー D13	310	66	0.995	0.308	20	SD345
Uボルト M10	76	---	---	---	---	スペーサーと主鉄筋D35の固定(裏当て材含む)
Uボルト M10	56	---	---	---	---	スペーサーと主鉄筋D25の固定(裏当て材含む)

- 特記事項
- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
  - 杭周面から鉄筋のかぶり値は、帯鉄筋の外形から130mm以上を確保すること。
  - 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
  - 杭頭部フーチング内の帯鉄筋は、鉄筋Aとして計上する。
  - 鉄筋の組立において、組立上の形状保持のための溶接は行わないこと。
  - 1段目のスペーサーは、6箇所設置すること。

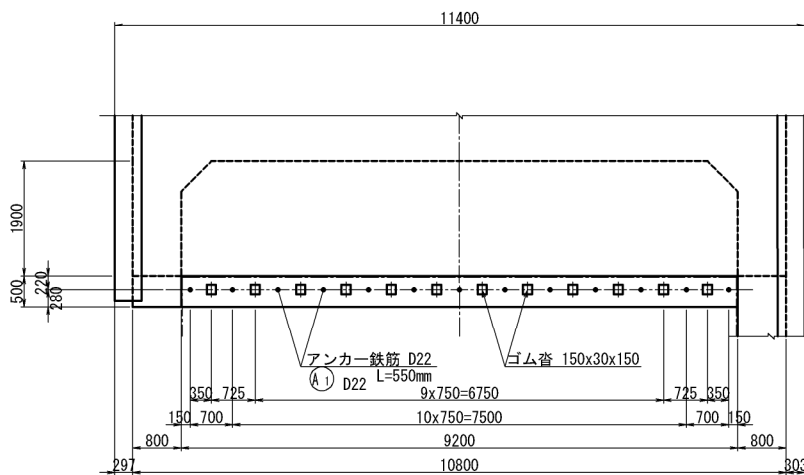
秋田自動車道横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台場所打ち杭配筋図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



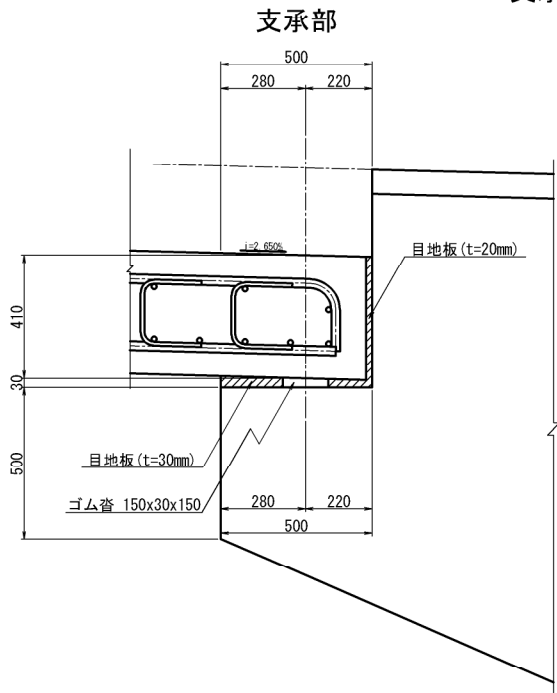
受台正面図



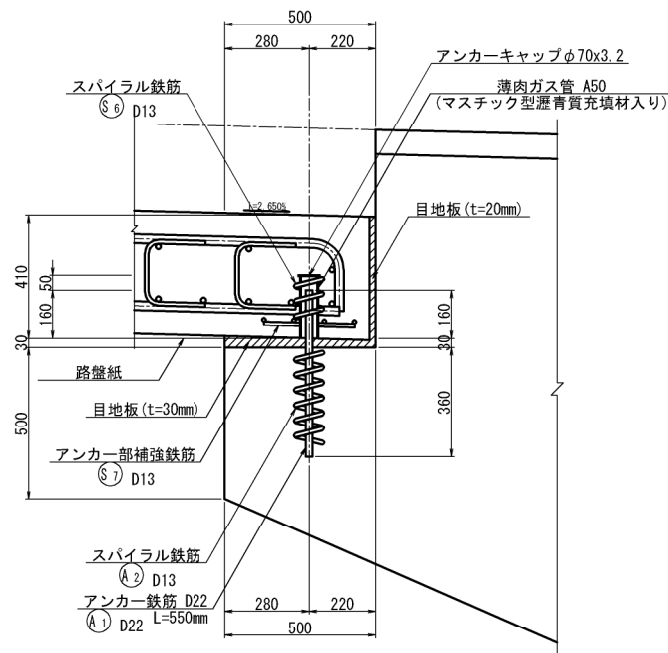
受台平面図



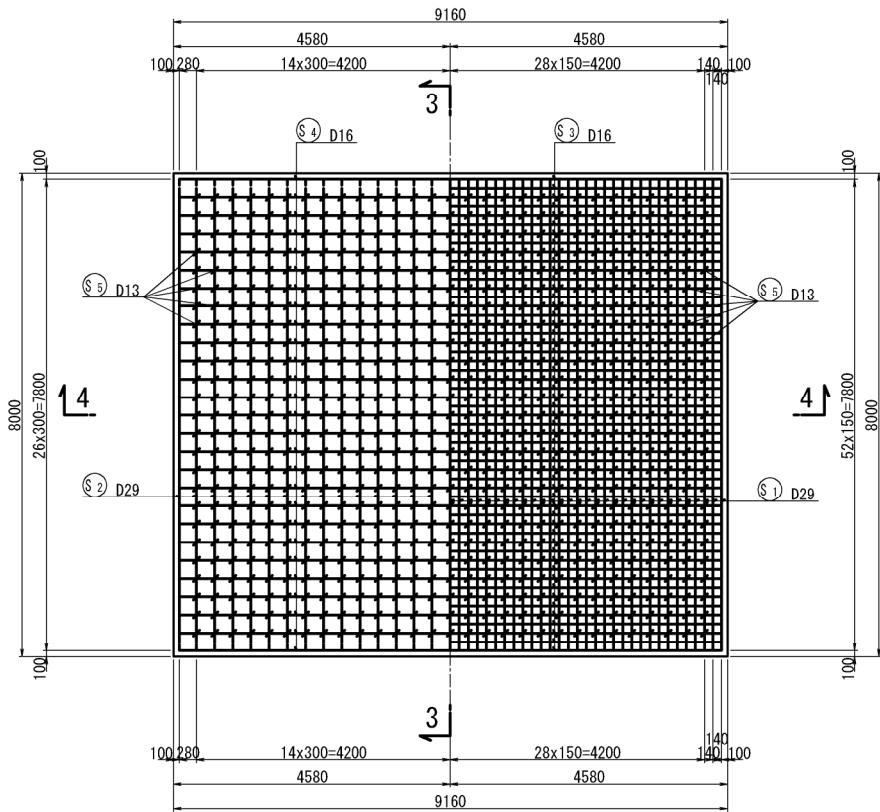
支承部詳細図 S=1:25



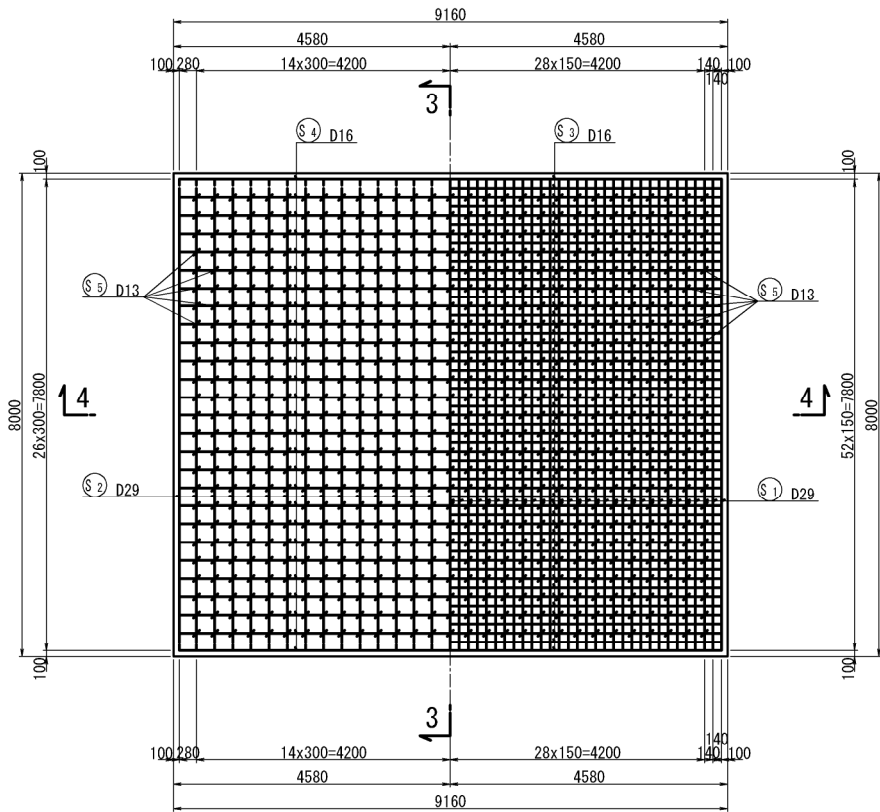
アンカー部



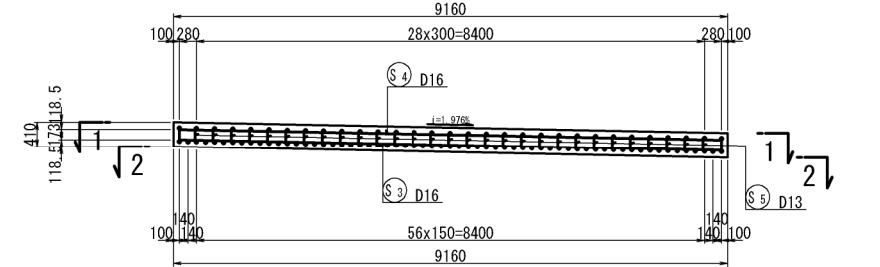
1-1



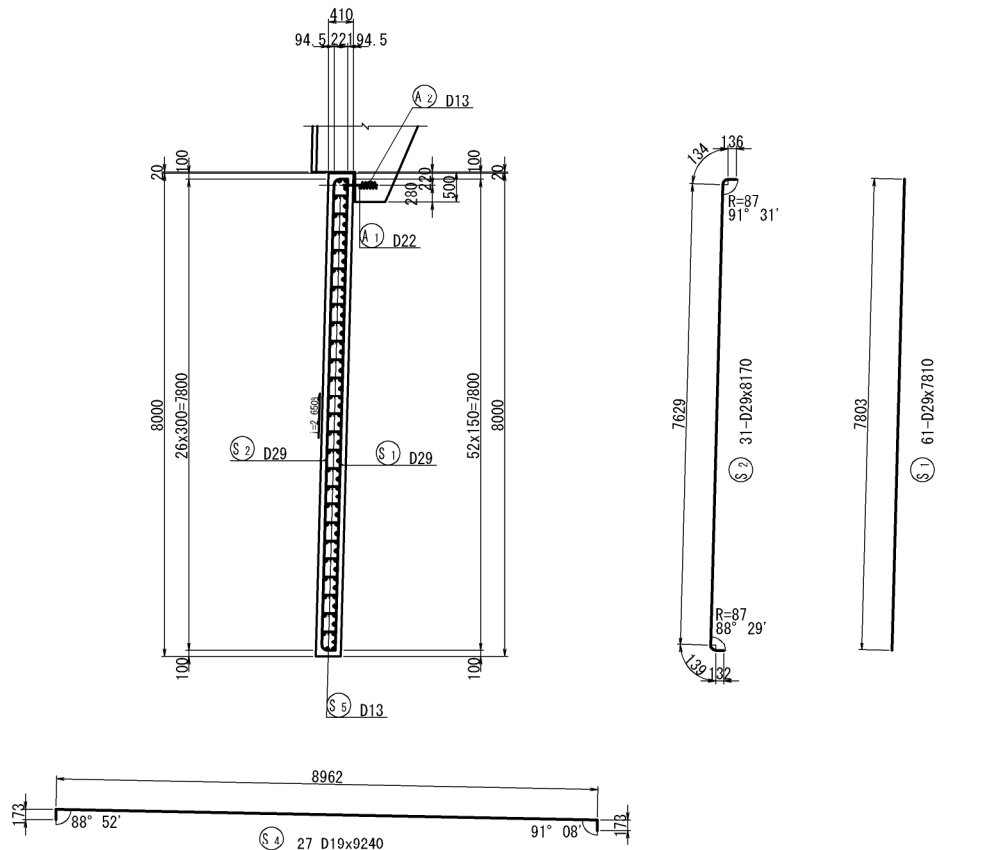
2-2



4-4

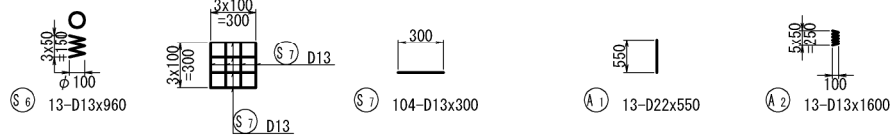


3-3



アンカー補強筋 S=1:20

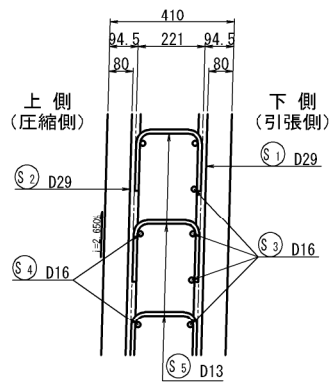
13ヶ所



鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	本当り質量	質量	摘要
踏掛版 L=8.000m							
S 1	D29	7810	61	5.04	39.4	2403	┃
2	"	8170	31	"	41.2	1277	┃
3	D19	8970	53	2.25	20.2	1071	┃
4	"	9240	27	"	20.8	562	┃
5	D13	570	725	0.995	0.567	411	┃
6	"	960	13	"	0.955	12	■
7	"	300	104	"	0.299	31	■
							5767 kg
踏掛版 L=8.000m							
D29							3680 kg
D19							1633 kg
D13							454 kg
合計							5767 kg
踏掛版アンカー鉄筋							
A 1	D22	550	13	3.04	1.67	22	┃
2	D13	1600	13	0.995	1.59	21	■
							43 kg
踏掛版アンカー鉄筋							
D22							22 kg
D13							21 kg
合計							43 kg

かぶり詳細図



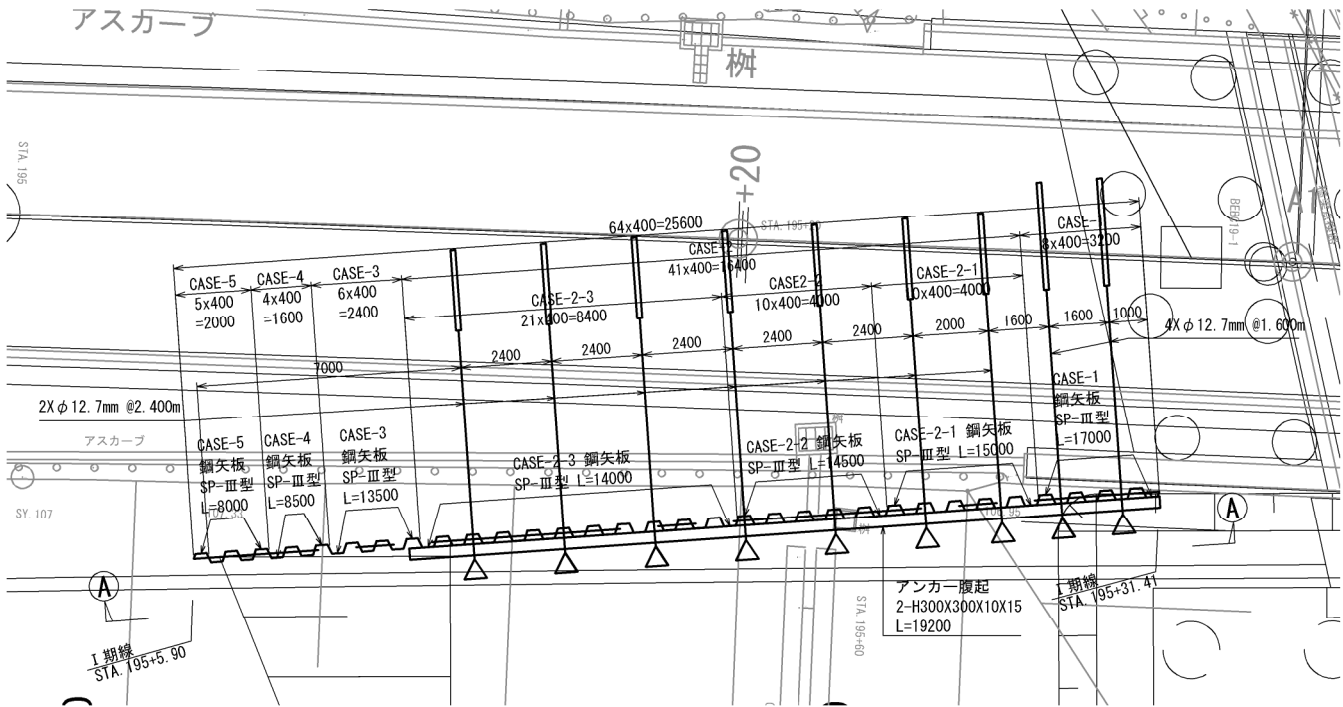
- 特記事項
- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
  - 踏掛版の鉄筋のかぶり値は、橋軸方向主鉄筋の外形から80mm以上を確保すること。
  - また、踏掛版端部は鉄筋中心までを100mmとする。
  - 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
  - 踏掛版アンカー鉄筋は、本図面で計上した。
  - 施工順序等により鉄筋が露出される場合は、想定される露出期間に応じて腐食防止処理等を実施すること。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線） A 1 橋台踏掛版配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

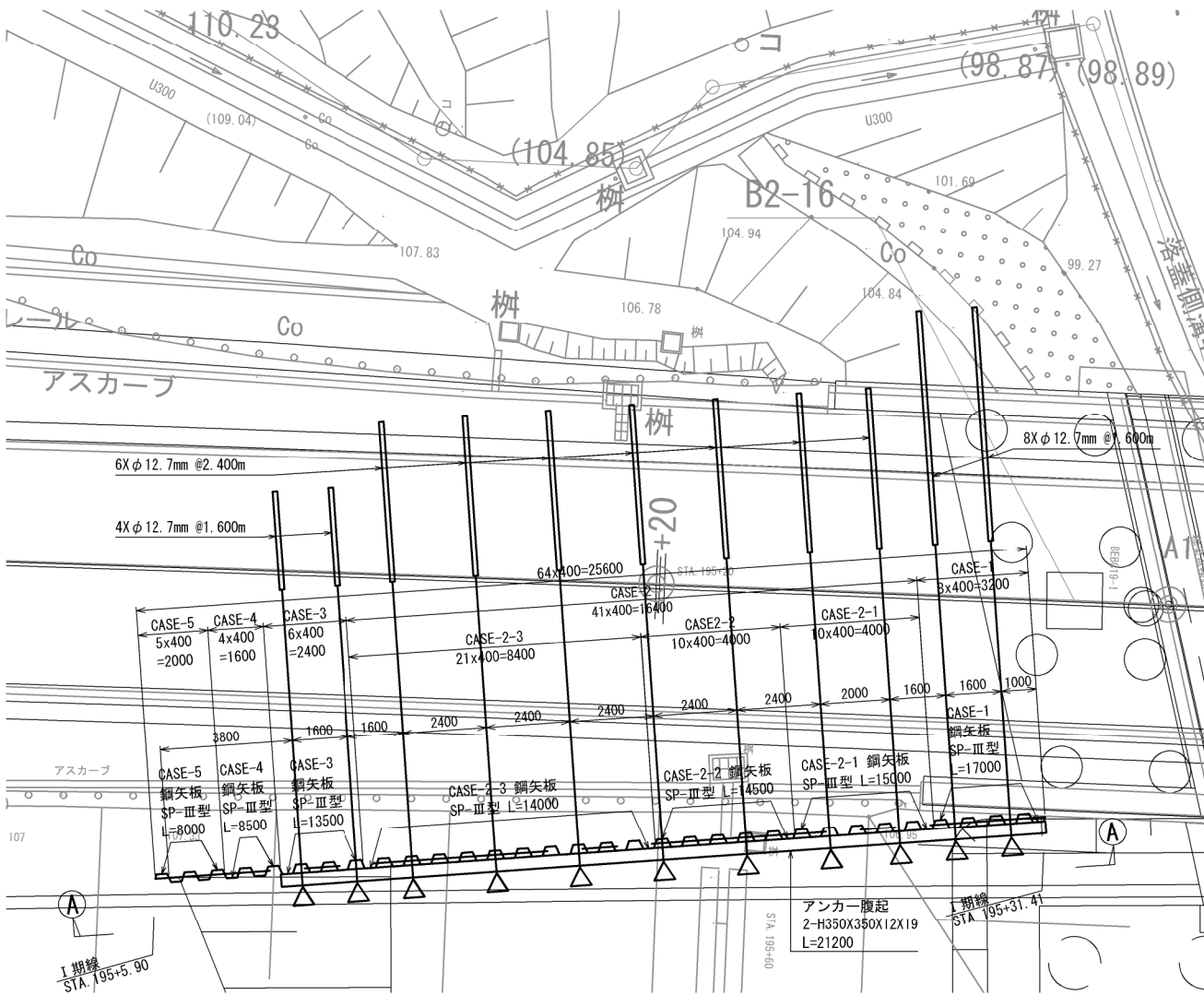
1段目 平面図 S=1:200



3段目 平面図 S=1:200



2段目 平面図 S=1:200



杭材料表

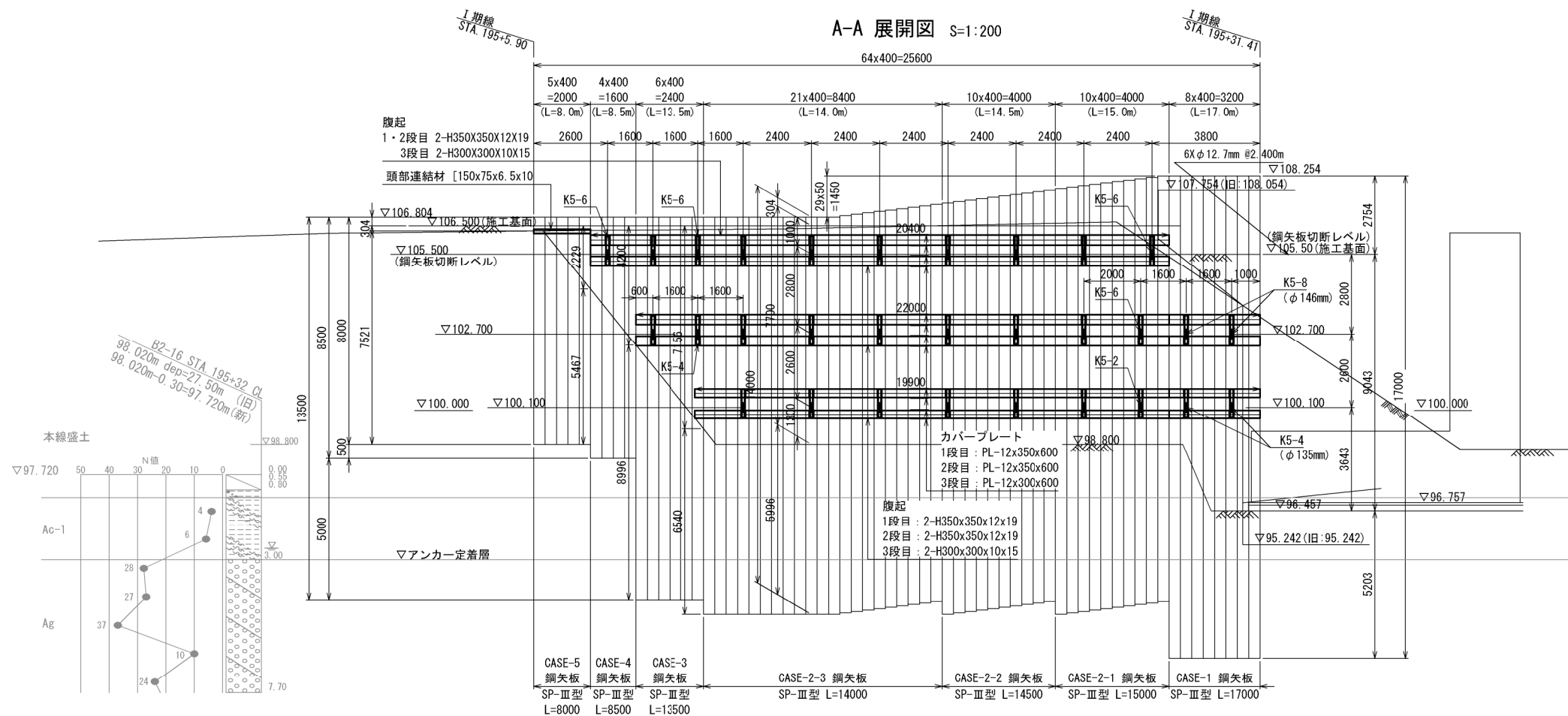
			杭天端	枚数	
CASE-1	SP-Ⅲ型	L=17000	+108.254	n=8枚	(1箇所継手)
CASE-2-1	SP-Ⅲ型	L=15000	+108.254 ~ +107.804	n=10枚	(1箇所継手)
CASE-2-2	SP-Ⅲ型	L=14500	+107.754 ~ +107.304	n=10枚	(1箇所継手)
CASE-2-3	SP-Ⅲ型	L=14000	+107.254 ~ +106.804	n=21枚	(1箇所継手)
CASE-3	SP-Ⅲ型	L=13500	+106.804	n=6枚	(1箇所継手)
CASE-4	SP-Ⅲ型	L=8500	+106.804	n=4枚	
CASE-5	SP-Ⅲ型	L=8000	+106.804	n=5枚	

※溶接継手は建込み前に鋼矢板を横にして下向き姿勢で行うこと  
※継手位置は、腹起し及びグラウンドアンカー位置を避けること

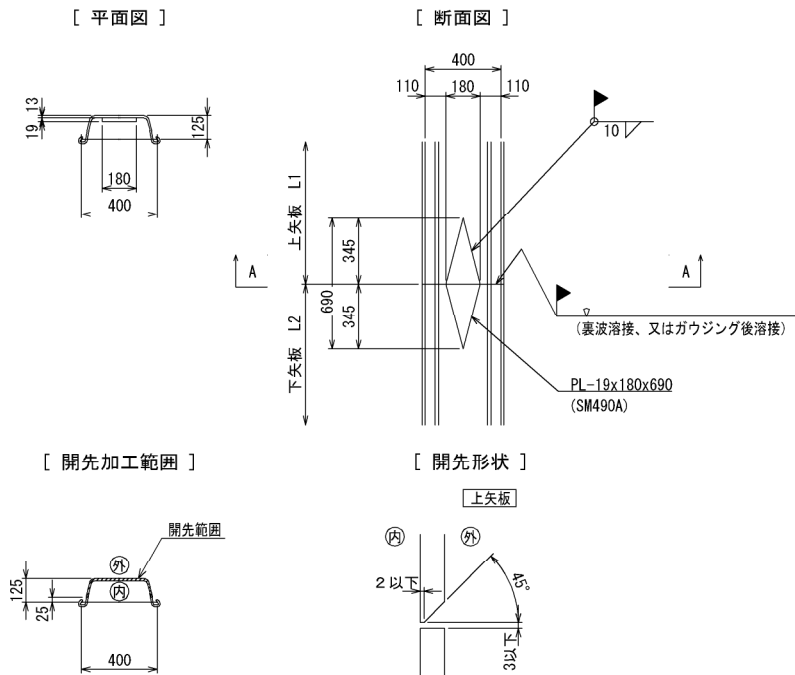
アンカー材料表

CASE	段目	打設レベル	腹起サイズ	ピッチ (m)	自由長 (m)	定着長 (m)	余長 (m)	全長 (m)	角度 (°)	設計荷重 (kN)	本数 (本)	種類
CASE-2	1	+105.500	2H-350	2.40	15.50	9.50	1.90	26.90	45	530.09	7	K5-6
CASE-3	1	+105.500	2H-350	1.60	15.50	6.00	1.90	23.40	45	414.49	2	K5-6
CASE-4	1	+105.500	2H-350	1.60	15.50	4.50	1.90	21.90	45	309.93	1	K5-6
CASE-1	2	+102.700	2H-350	1.60	11.50	9.50	1.90	22.90	45	564.60	2	K5-8
CASE-2	2	+102.700	2H-350	2.40	11.50	6.50	1.90	19.90	45	437.87	7	K5-6
CASE-3	2	+102.700	2H-350	1.60	11.50	4.00	1.90	17.40	45	272.46	2	K5-4
CASE-1	3	+100.100	2H-300	1.60	8.00	4.50	1.75	14.25	45	293.43	2	K5-4
CASE-2	3	+100.100	2H-300	2.40	8.00	3.00	1.75	12.75	45	158.06	7	K5-2

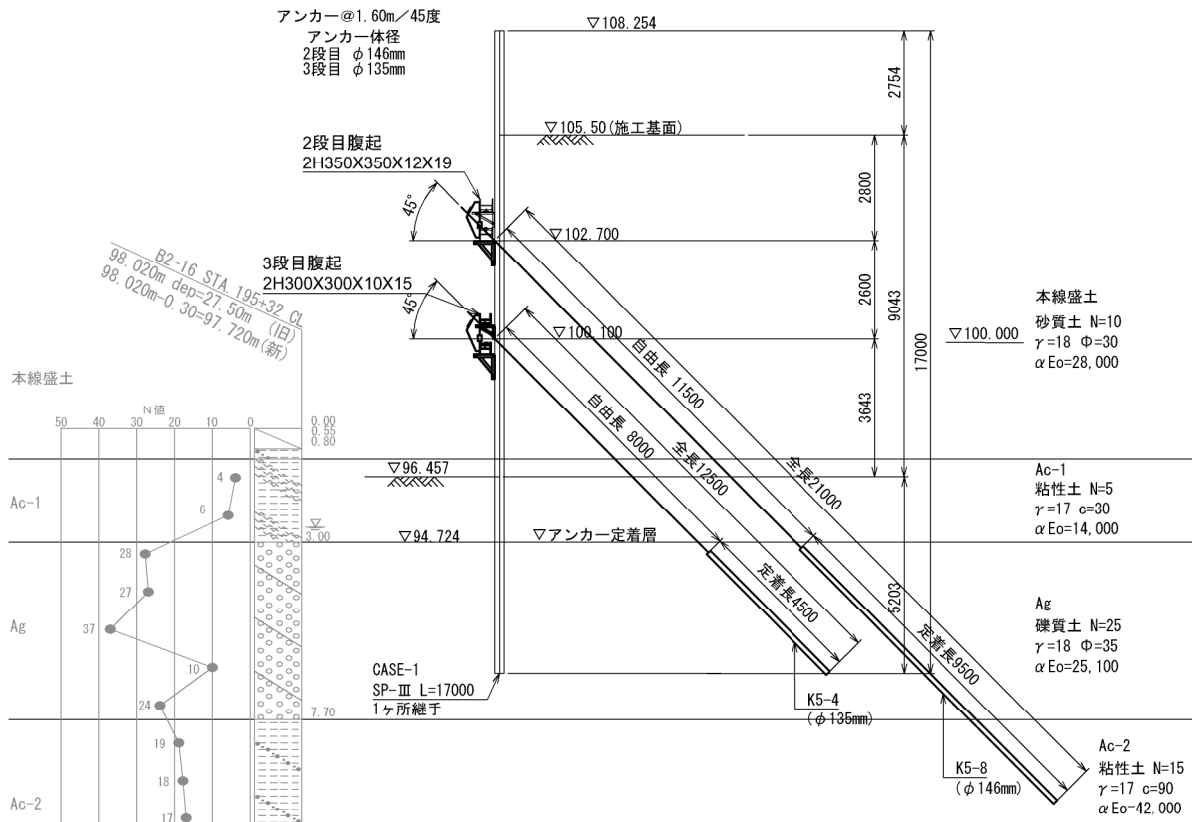
秋田自動車道 橋手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台土留工詳細図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 橋手工事事務所		



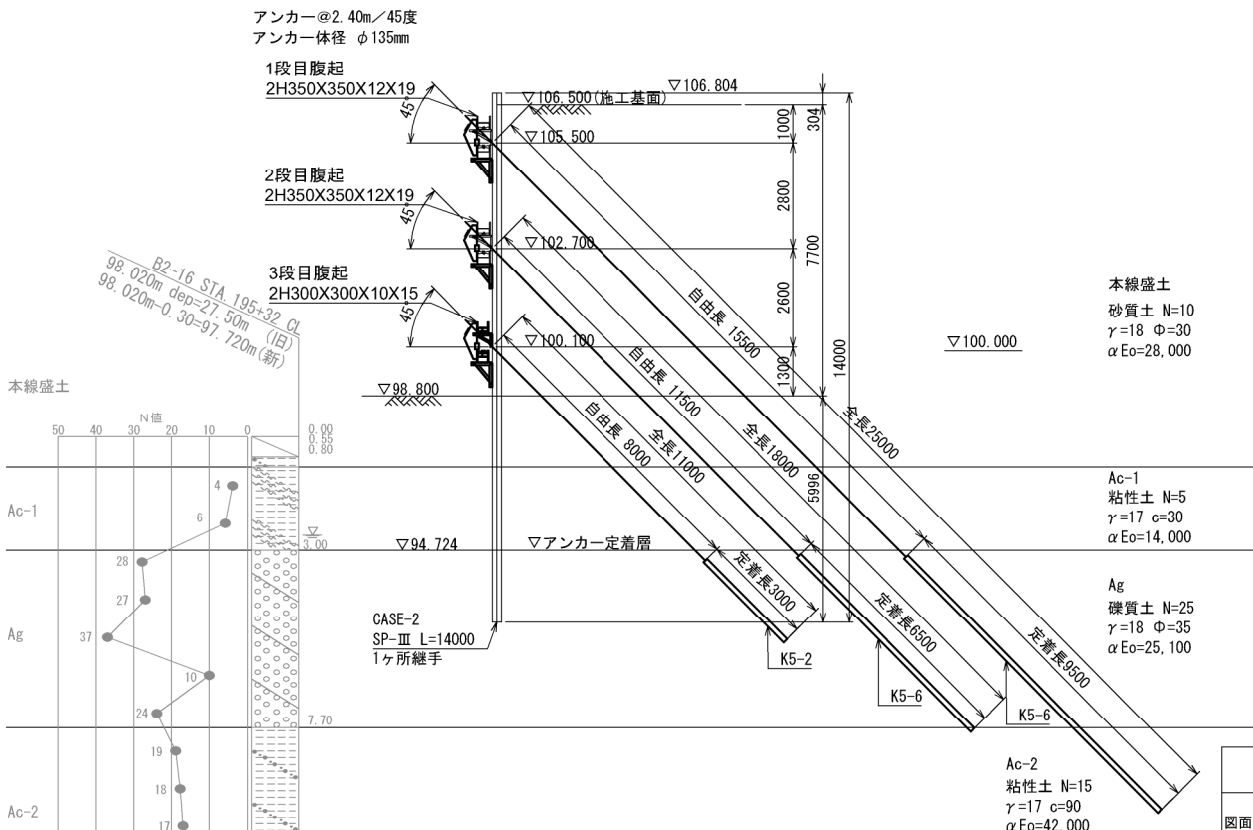
SP-Ⅲ型 継手詳細図S=1:40



CASE-1 断面図 S=1:200



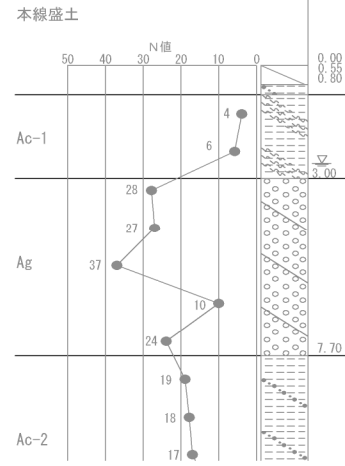
CASE-2 断面図 S=1:200



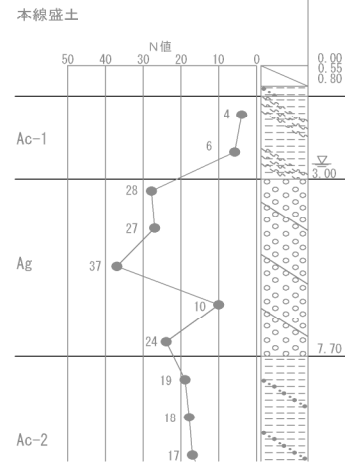
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台土留工詳細図(2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



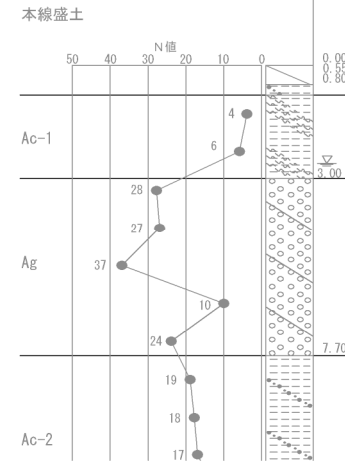
アンカー@1.60m/45度  
アンカー体径  $\phi 135\text{mm}$



自立



アンカー@1.60m/45度  
アンカー体径  $\phi 135\text{mm}$

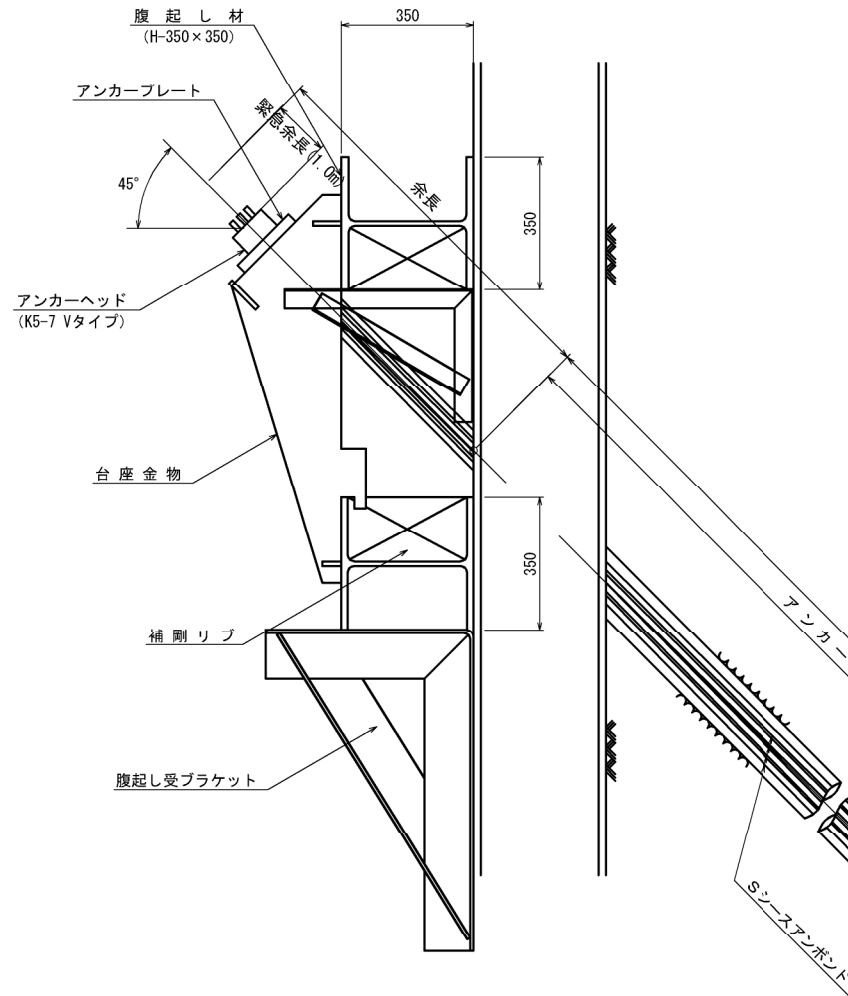


種 別	規格・寸法 (mm)	長さ (mm)	数量 (本、個)	単位重量 (kg/m、個)	1本当り質量 (kg)	重量 (kg)	備 考
鋼矢板		17000	8	60.00	1020.00	8160	SY295 (1箇所継手)
〃	Ⅲ型	15000	10	60.00	900.00	9000	SY295 (1箇所継手)
〃	Ⅲ型	14500	10	60.00	870.00	8700	SY295 (1箇所継手)
〃	Ⅲ型	14000	21	60.00	840.00	17640	SY295 (1箇所継手)
〃	Ⅲ型	13500	6	60.00	810.00	4860	SY295 (1箇所継手)
〃	Ⅲ型	8500	4	60.00	510.00	2040	SY295
〃	Ⅲ型	8000	5	60.00	480.00	2400	SY295
鋼矢板合計						52800	kg
鋼矢板継手部材	PL-19×180×690	Ⅲ型用	55		9.26	509	SM490A
鋼矢板継手部材合計						509	kg
腹起し	H-350×350×12×19	20400	2	150.00	3060.00	6120	SS400 (リース材)
〃	〃	22000	2	150.00	3300.00	6600	〃
〃	H-300×300×10×15	19900	2	100.00	1990.00	3980	〃
カバープレート	PL-12×350×600	—	12	—	20.00	240	SS400 (リース材)
〃	〃	—	12	—	20.00	240	〃
〃	PL-12×300×600	—	12	—	17.00	204	〃
主部材合計						17384	kg
消耗部材	主部材×0.04			17384 × 0.04 =		695	kg
頭部連結材	[-150×75×6.5×10	2000	1	18.60	37.2	37	SM490A (リース材)
頭部連結材合計						37	kg
台座金物	K5-2 H300-45° 用	—	7	—	38.30	268	SS400 (全損材)
〃	K5-4 H300-45° 用	—	2	—	38.80	78	〃
〃	K5-4 H350-45° 用	—	2	—	44.70	89	〃
〃	K5-6 H350-45° 用	—	17	—	56.90	967	〃
〃	K5-8 H350-45° 用	—	2	—	62.80	126	〃
下段ブラケット	(L-100×100×10)	2050	18	10.70	21.94	395	〃
〃	(L-130×130×9)	2350	42	17.90	42.07	1767	〃
腹起し補剛リブ	PL-145× 9	270	18	10.24	2.76	50	〃
〃	PL-169× 9	312	42	11.94	3.73	156	〃
アンカー部材合計						3896	kg
鋼矢板撤去工	CASE-1 (Ⅲ型)	2754	8	60.00		1320	2.754m
〃	CASE-2-1 (Ⅲ型)	2529	10	60.00		1515	2.754m～2.304m
〃	CASE-2-2 (Ⅲ型)	2029	10	60.00		1215	2.254m～1.804m
〃	CASE-2-3 (Ⅲ型)	1411	21	60.00		1773	1.754m～1.304m
〃	CASE-3 (Ⅲ型)	1304	6	60.00		468	1.304m
〃	CASE-4 (Ⅲ型)	1304	4	60.00		312	1.304m
〃	CASE-5 (Ⅲ型)	1304	5	60.00		390	1.304m
ガス切断箇所合計			64	スクラップ合計		6993	kg

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台土留工詳細図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



除去アンカー詳細図 S=1:20  
(K5-6 打設角45° 腹起し材：H-350×350)



除去アンカー詳細図 S=1:20

(K5-8 打設角45° 腹起し材: H-350×350)

2段目 (CASE-1)

鋼製台座 S=1:20

DK5-45-300

断面図 S=1:4

A-A

B-B

クサビ S=1:2

(12.7mm用)

腹起し受ブラケット S=1:20

アンカーヘッド S=1:8

(K5-8 Vタイプ)

アンカープレート S=1:8

S シースアンボンド S=1:1

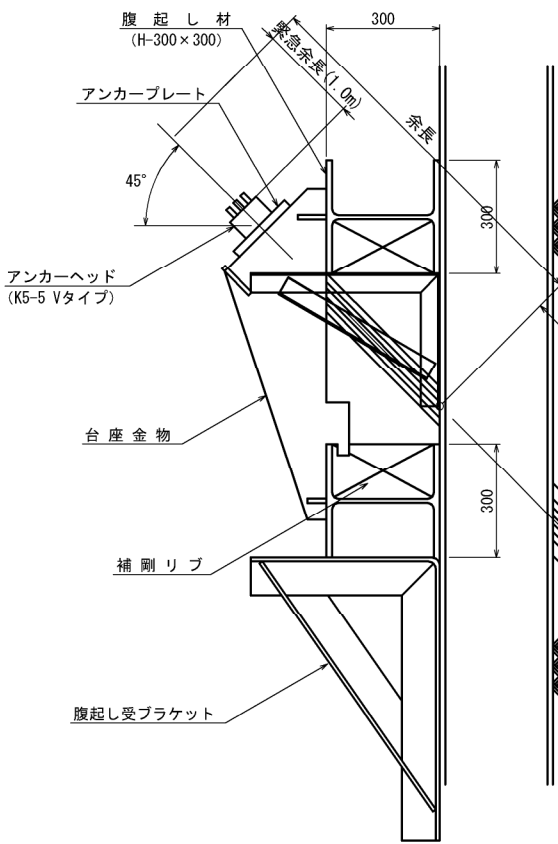
耐荷体 S=1:8

秋田自動車道 橋手工事			
図面の種類	中里橋(上り線)		
	A1橋台除去式アンカー土留工詳細図(3)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 橋手工事事務所		

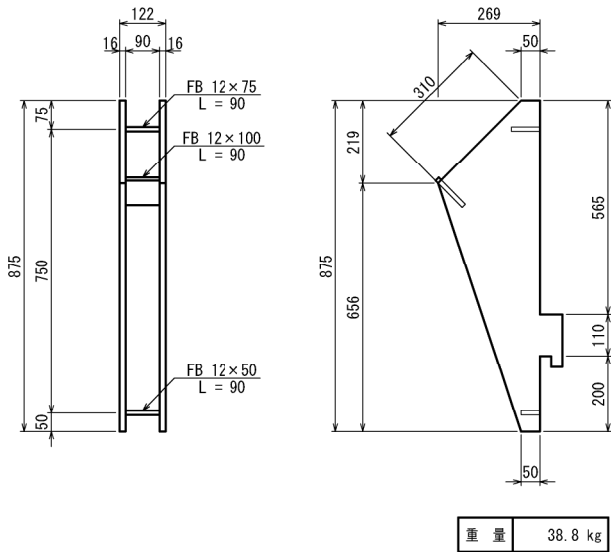


除去アンカー詳細図 S=1:20  
(K5-4 打設角45° 腹起し材 : H-300×300)

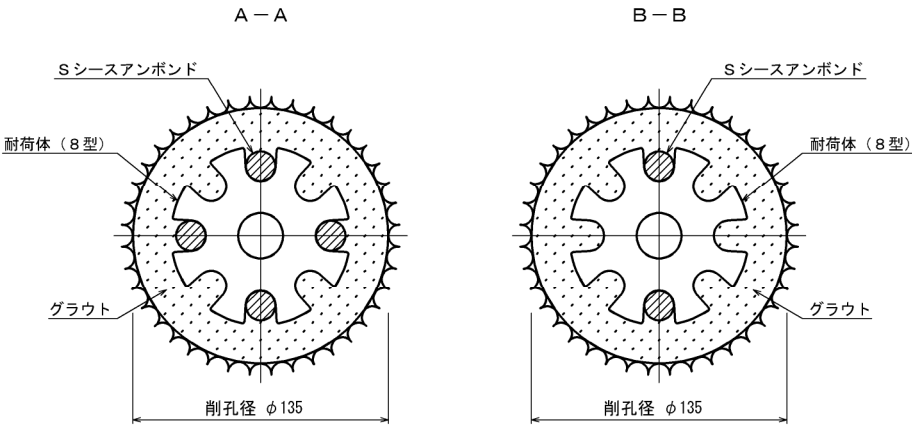
3段目 (CASE-1)



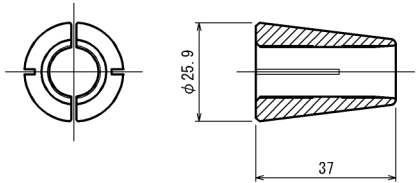
鋼製台座 S=1:20  
DKb-4b-300



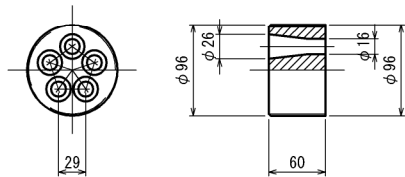
断面図 S=1:4



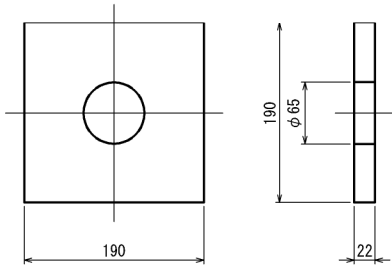
クサビ S=1:2  
(12.7mm用)



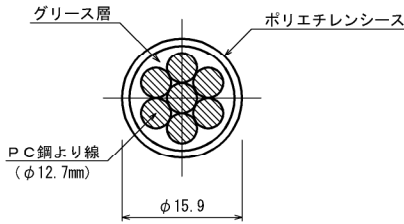
アンカーヘッド S=1:8  
(K5-5 Vタイプ)



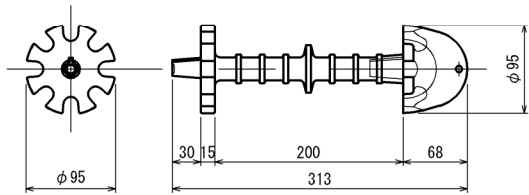
アンカープレート S=1:8



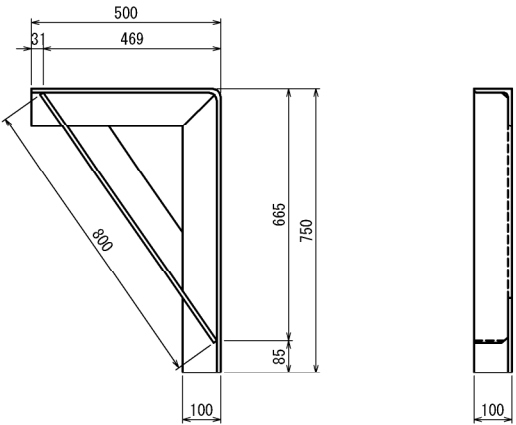
Sシースアンボンド S=1:1



耐荷体 S=1:8



腹起し受ブラケット S=1:20

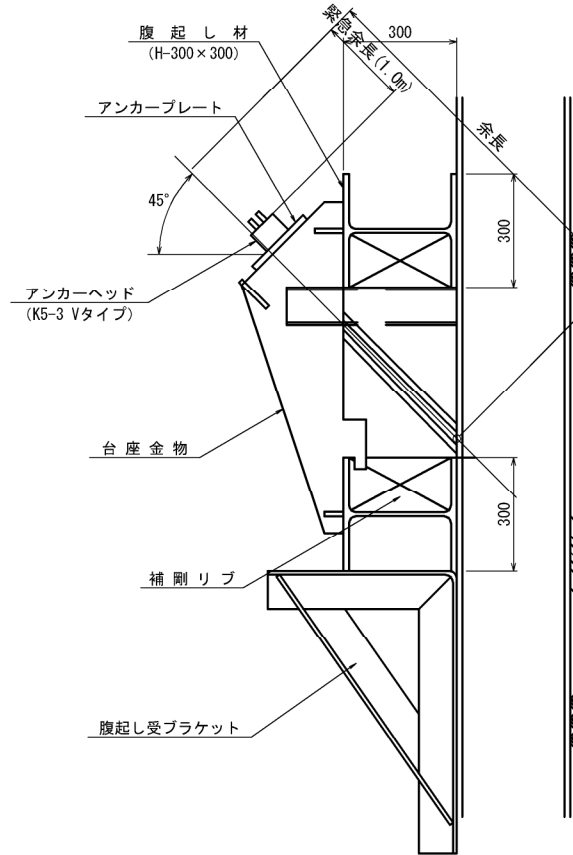


秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A1橋台除去式アンカー土留工詳細図(4) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

除去アンカー詳細図 S=1:20

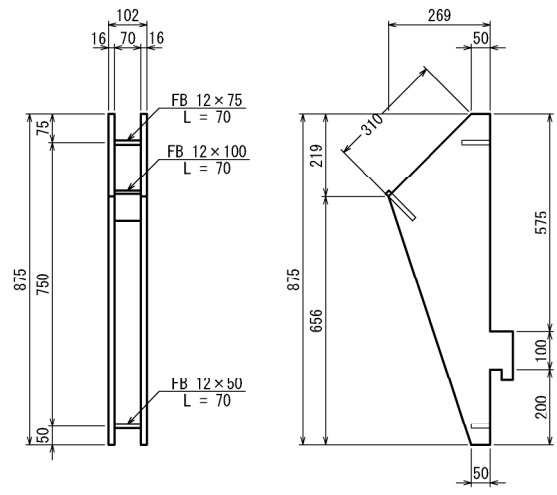
(K5-2 打設角45° 腹起し材: H-300×300)

3段目 (CASE-2)



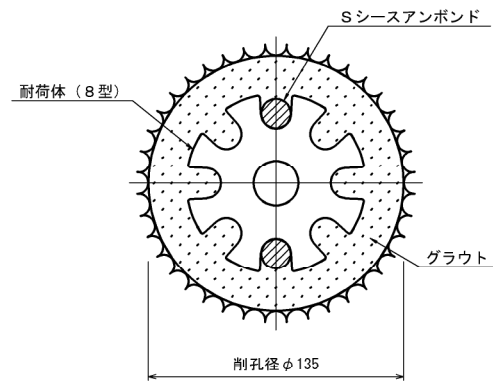
鋼製台座 S=1:20

DK5-45-300



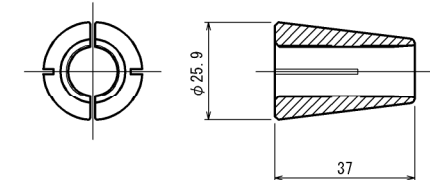
重量 38.3 kg

A-A 断面図 S=1:4

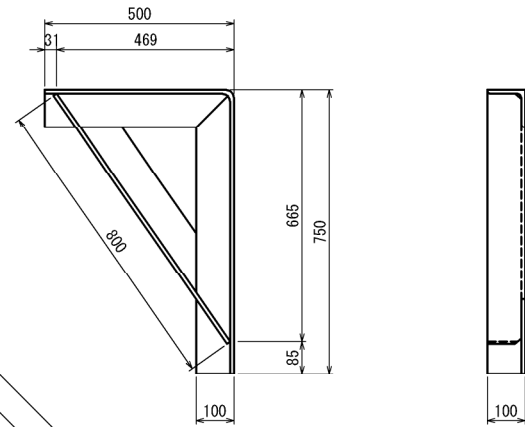


クサビ S=1:2

(12.7mm用)

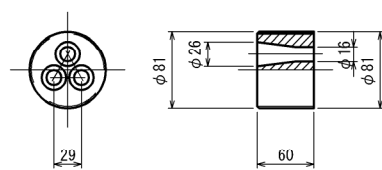


腹起し受ブラケット S=1:20

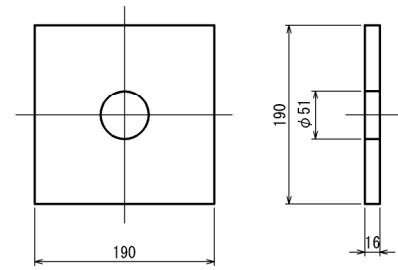


アンカーヘッド S=1:8

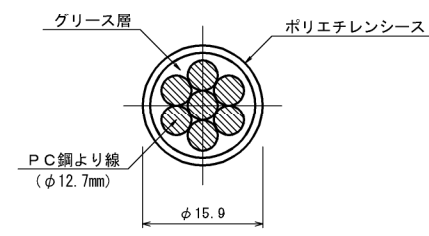
(K5-3 Vタイプ)



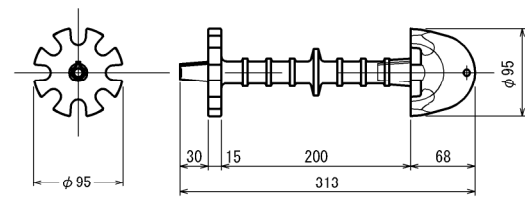
アンカープレート S=1:8



S シースアンボンド S=1:1

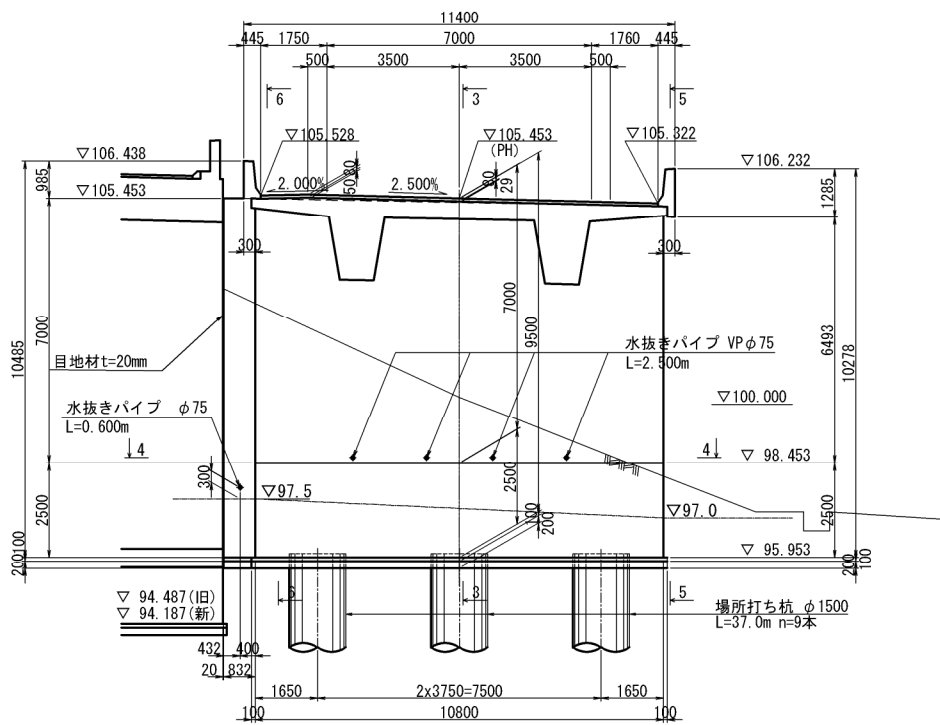


耐荷体 S=1:8

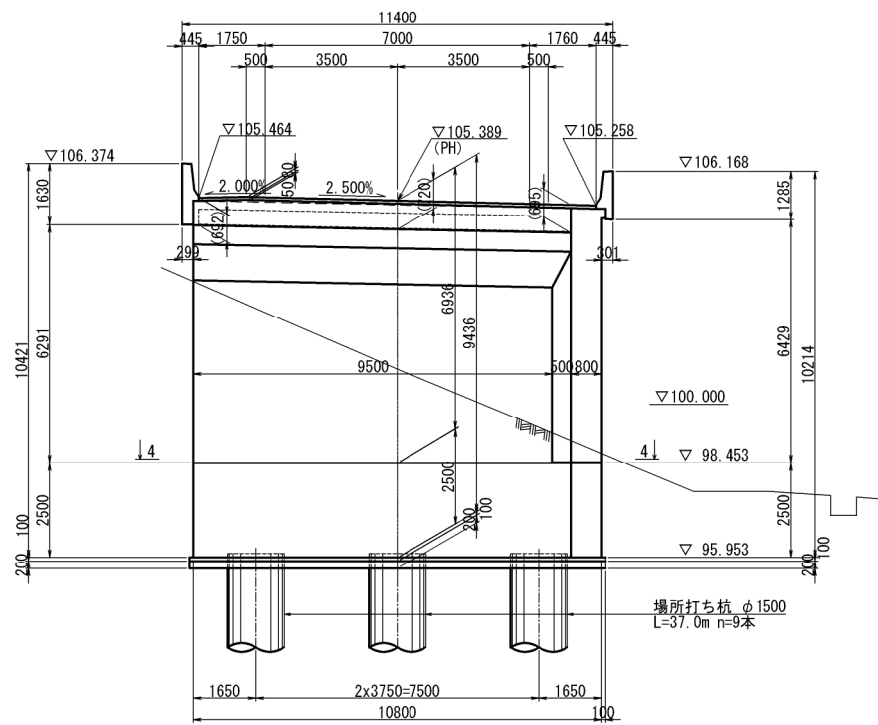


秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線)		
	A1橋台除去式アンカー土留工詳細図(5)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

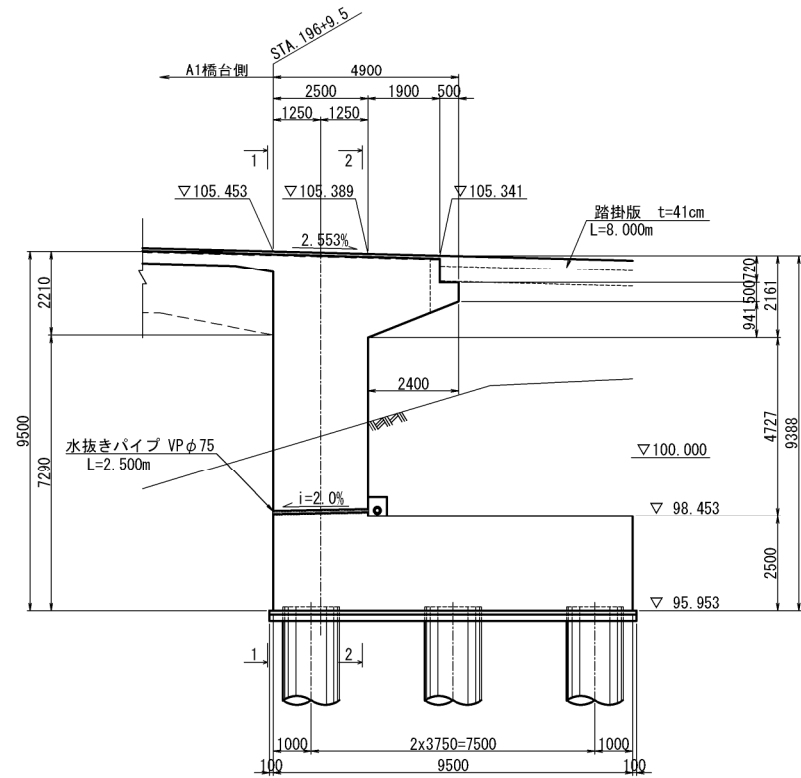
正面図(1-1)



背面図(2-2)

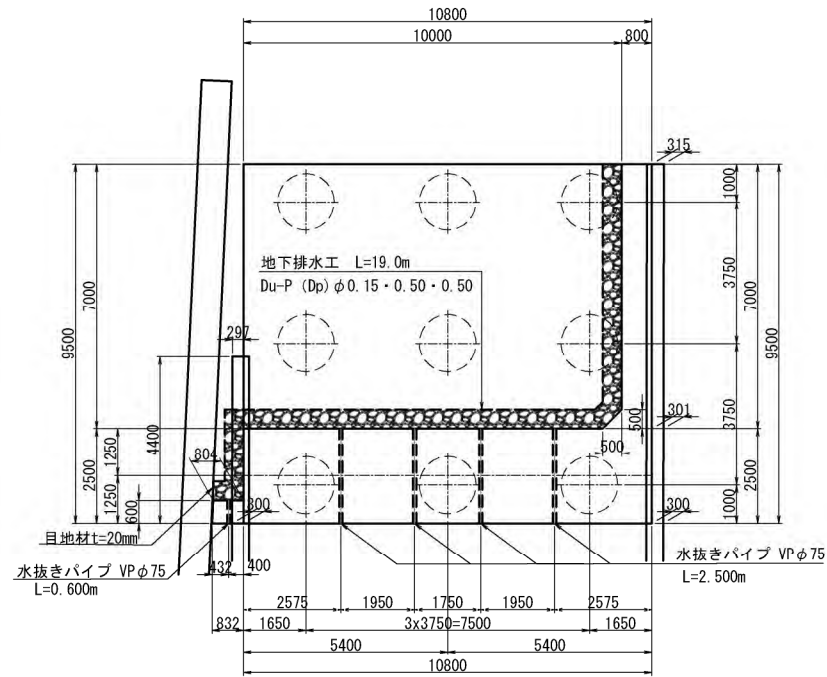


側面図(3-3)

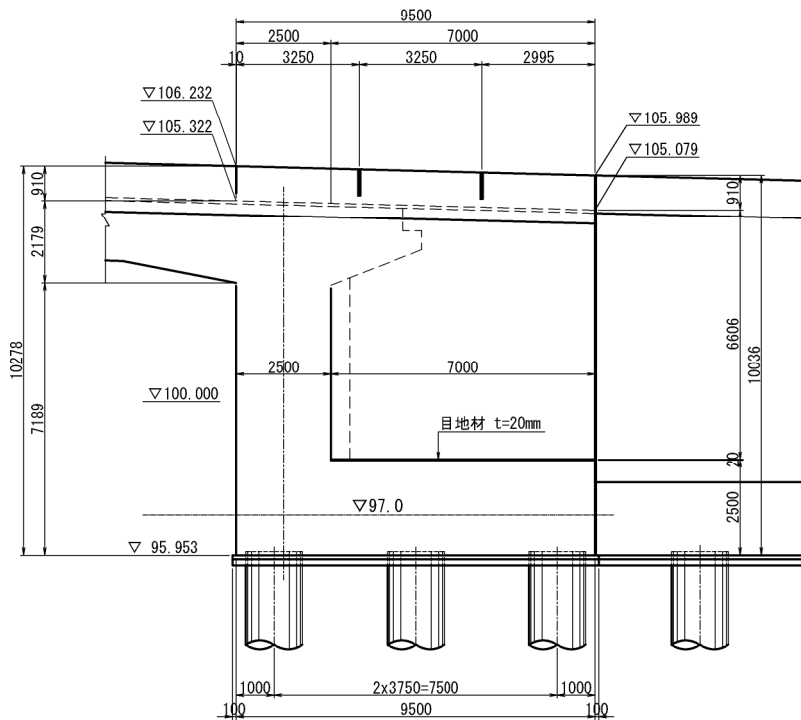


※( )内寸法は舗装面から受台天端までの高さを示す

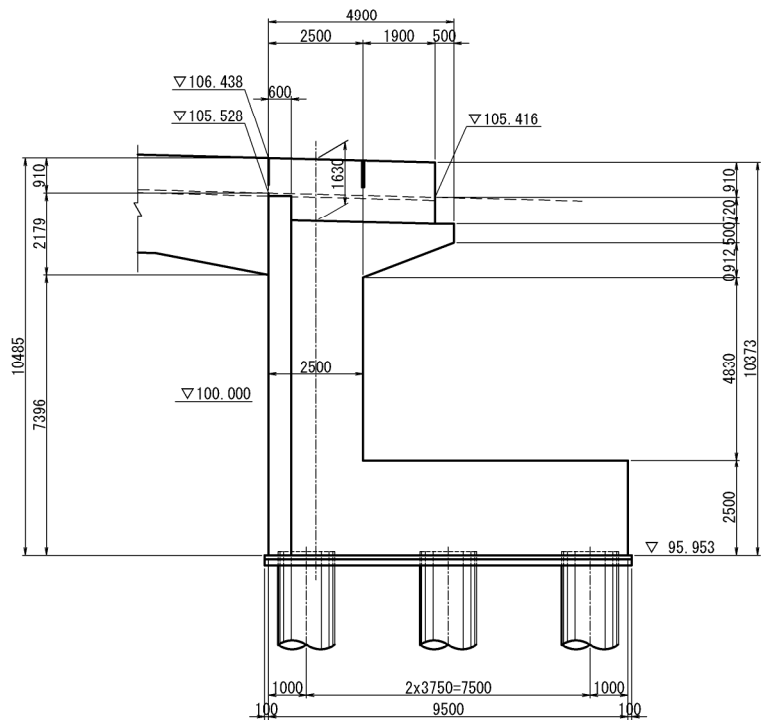
平面図(4-4)



側面図(5-5)



側面図(6-6)

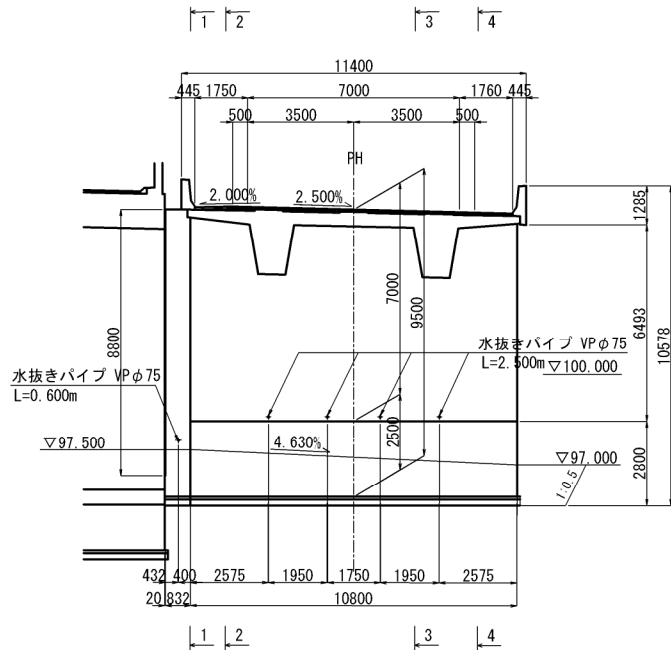


使用材料一覧表

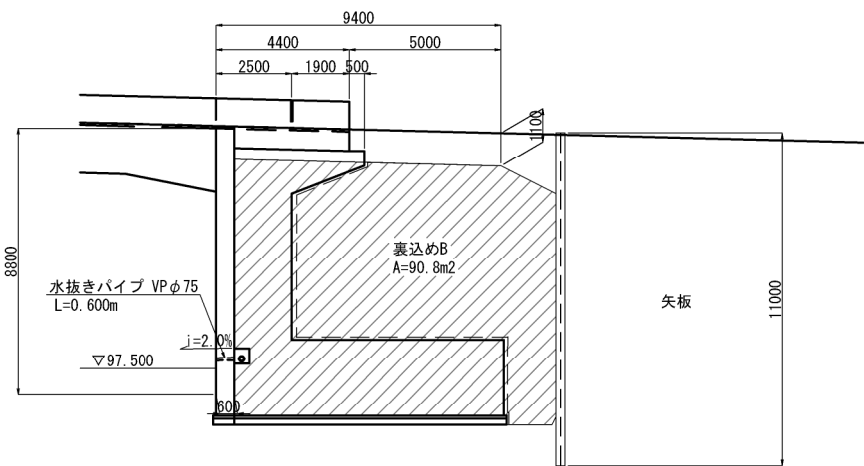
使用区分		コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
躯体コンクリート	上部工	$\sigma_{ck}=36\text{N/mm}^2$	SD345
	下部工	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	SD345
フーチング		$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	SD345
土留め壁		$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	-----

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台構造一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

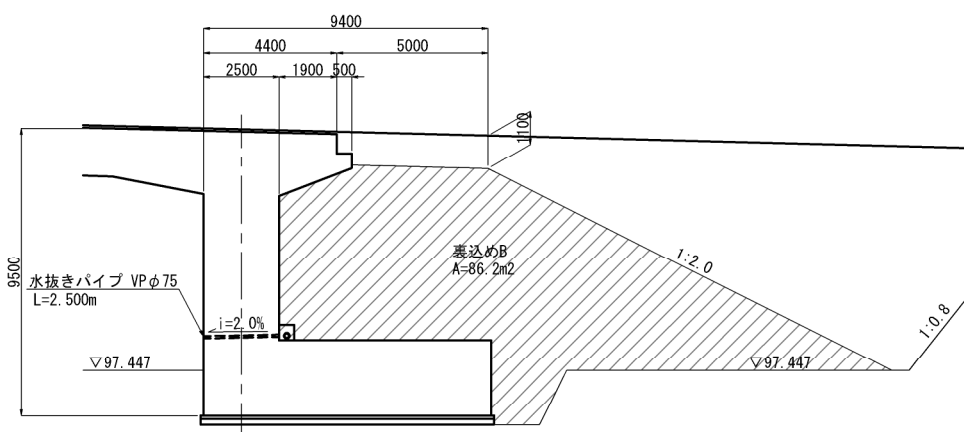
正面図



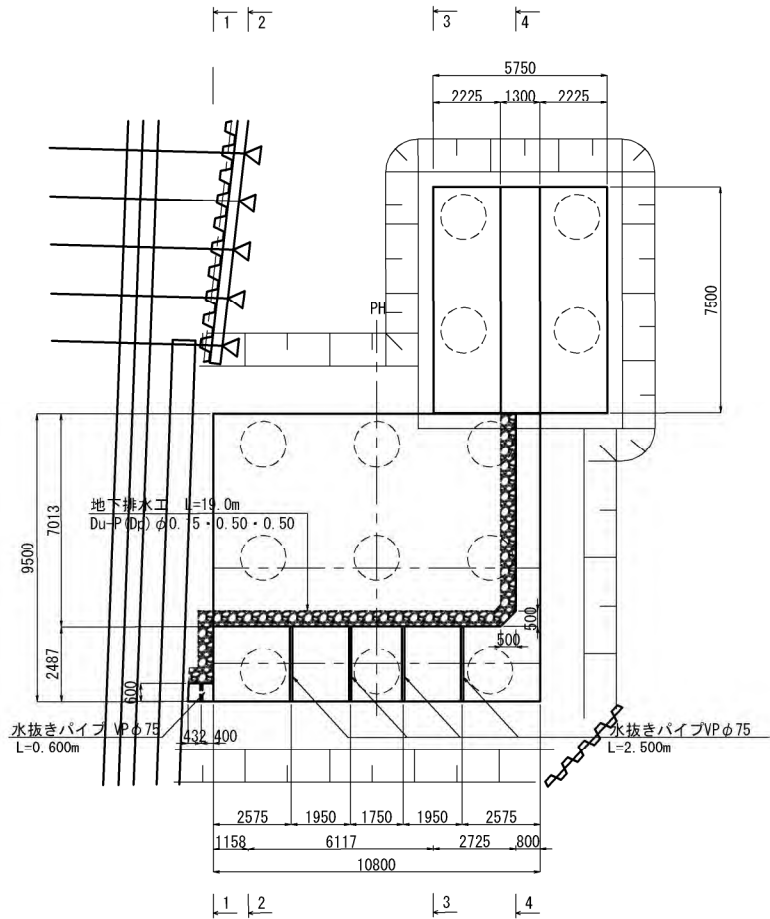
1 - 1



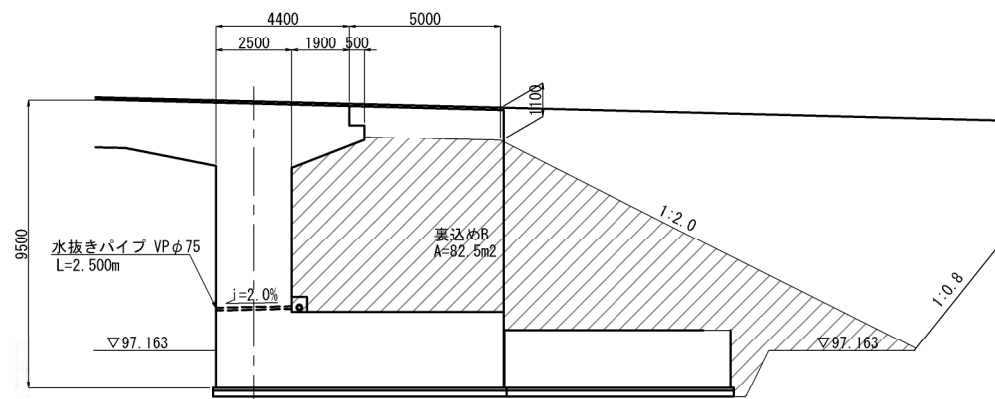
2 - 2



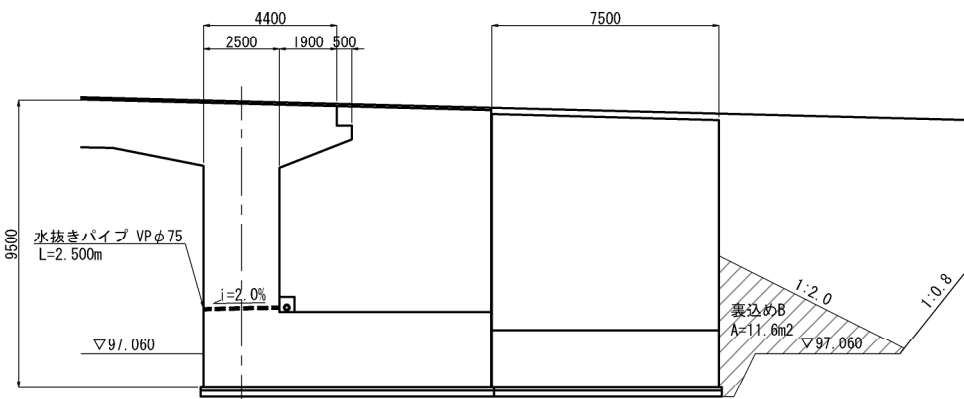
平面図



3 - 3



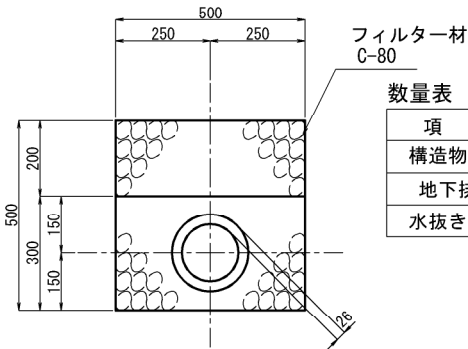
4 - 4



地下排水工詳細図

S=1:20

Du-P (Dp) φ0.15・0.50・0.50



数量表

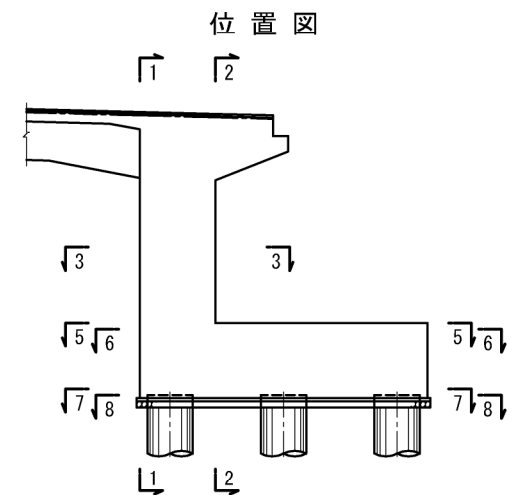
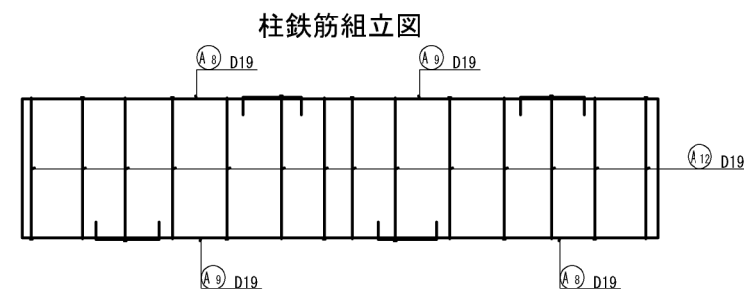
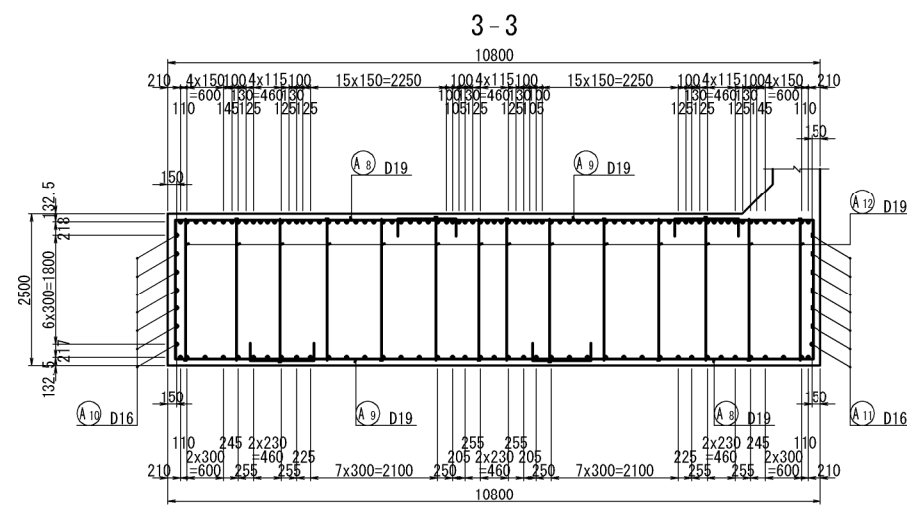
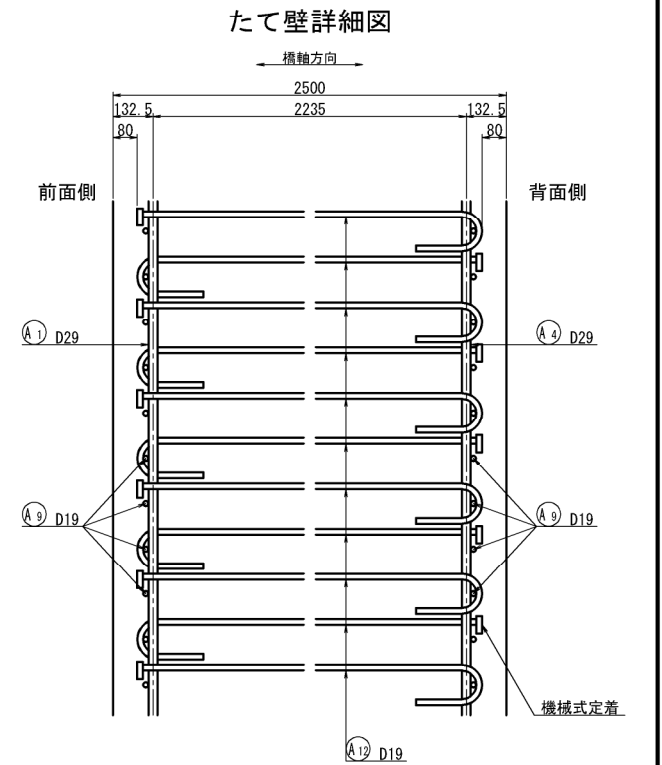
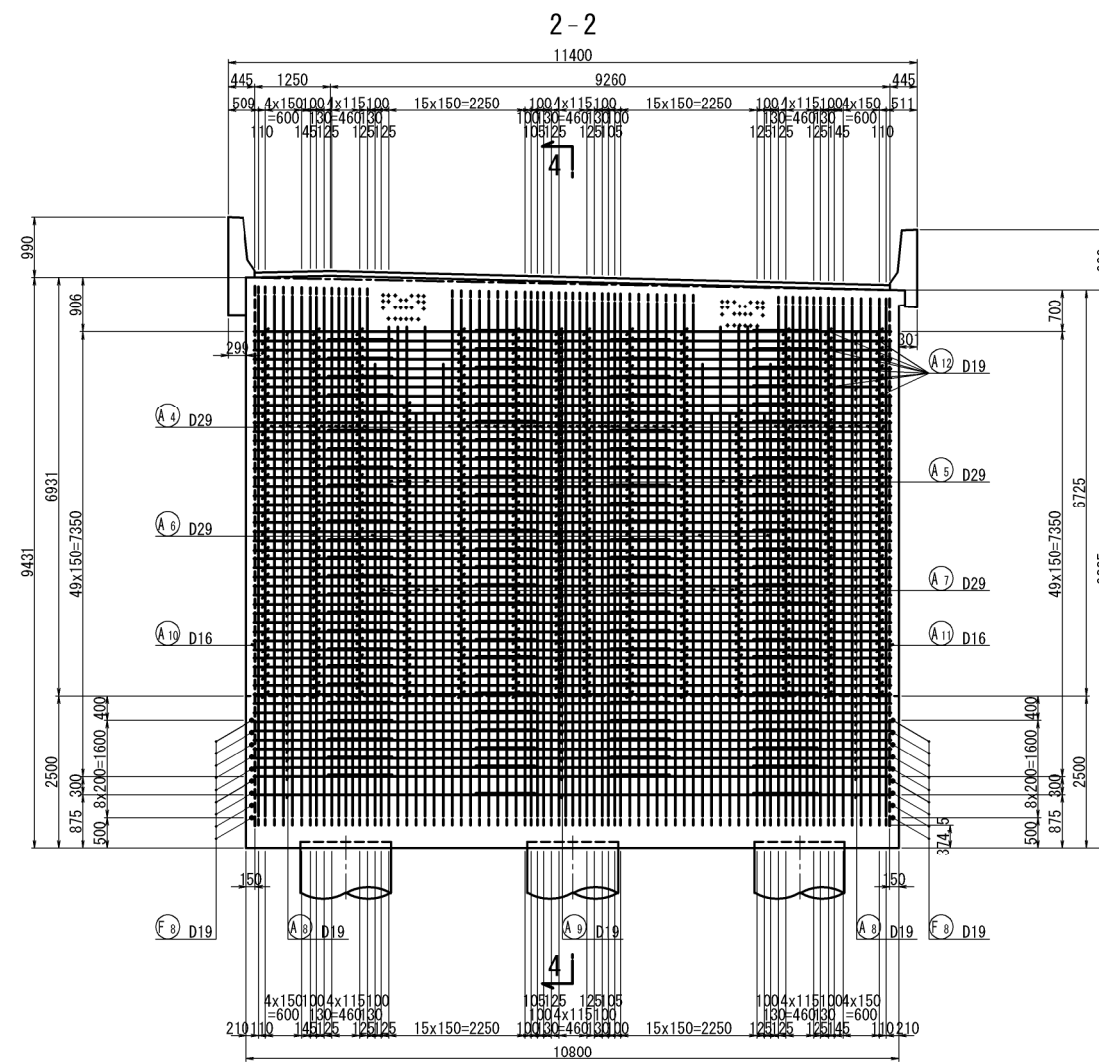
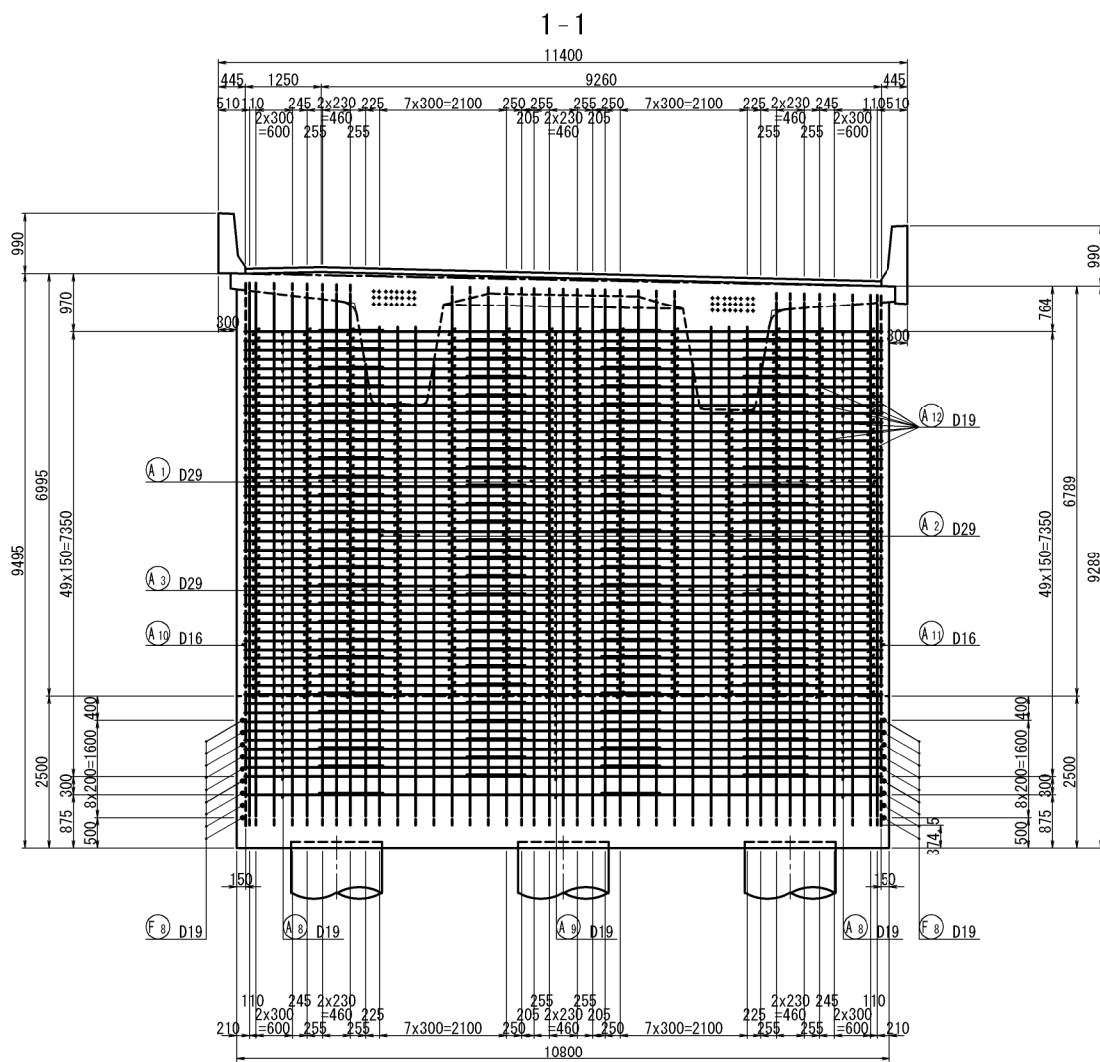
項目	種別	単位	数量	摘要
構造物裏込め	裏込め B	m3	1033.9	単価項目「道路掘削軟岩A2」に含む
地下排水工	Du-P (Dp) φ0.15・0.50・0.50	m	19.0	
水抜きパイプ	VP φ75	m	10.6	

特記事項

- ※1 土留め壁の施工に先立ち、現地にて詳細な計測を行うこと。  
また、計測にて確認した寸法で土留め壁の構造寸法を決定すること。
- ※2 I 期線構造物との離隔は細部測量結果を考慮した値とする。

秋田自動車道 橋手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台裏込め工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 橋手工事事務所		

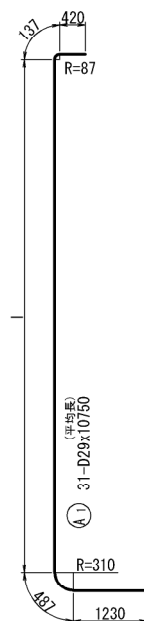
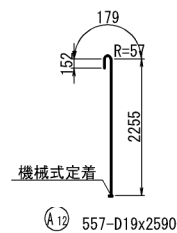
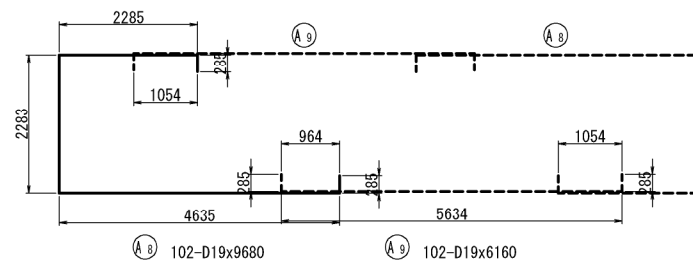
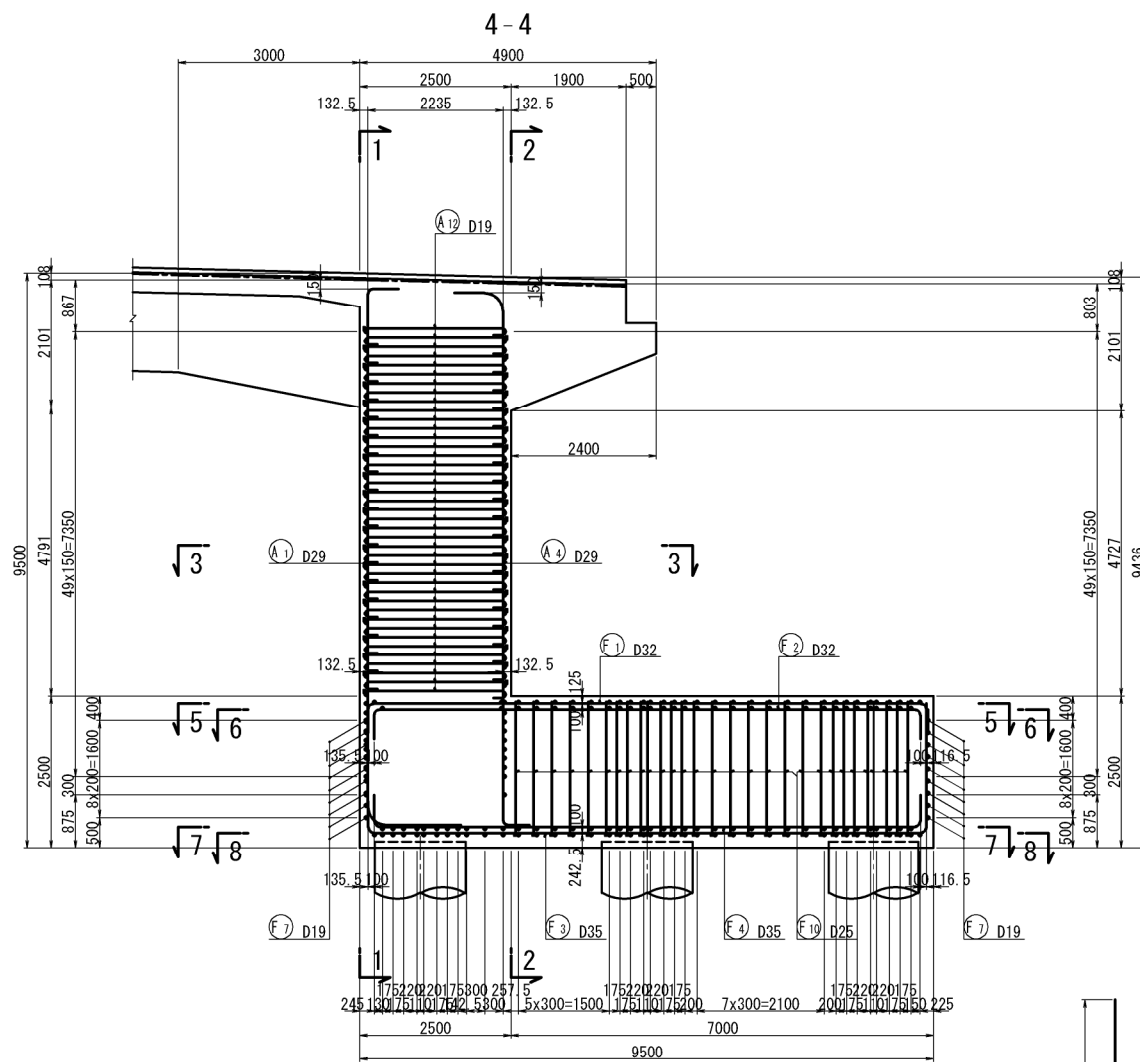




特記事項

- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- たて壁部材の主鉄筋および鉛直鉄筋のピッチは、150mmまたは300mm間隔を基本とし、フーチング部の鉄筋および場所打ち杭の鉄筋との干渉を考慮して決定をしている。施工時に再度確認の後、調整すること。
- たて壁部材の鉄筋のかぶり値は、中間帯鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
- また、たて壁端部はウイング部材最外縁鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

秋田自動車道 橋手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台配筋図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 橋手工事事務所		



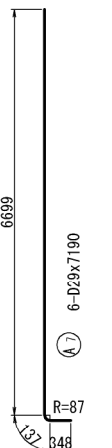
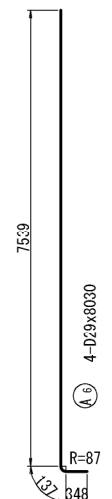
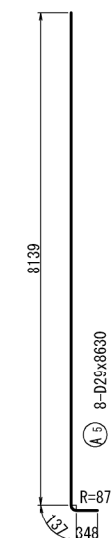
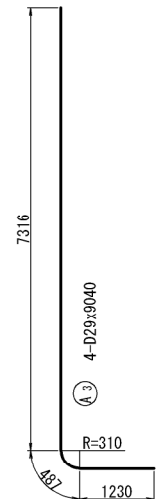
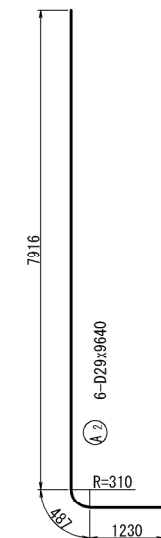
A10 (平均長) 7-D16x9170				
記号	径	本数	l	L
1	D16	1	8919	9140
2	"	1	8928	9150
3	"	1	8936	9160
4	"	1	8945	9170
5	"	1	8954	9180
6	"	1	8962	9190
7	"	1	8971	9190
平均		7		9170

A11 (平均長) 7-D16x8970				
記号	径	本数	l	L
1	D16	1	8714	8940
2	"	1	8723	8950
3	"	1	8731	8950
4	"	1	8740	8960
5	"	1	8748	8970
6	"	1	8756	8980
7	"	1	8765	8990
平均		7		8970

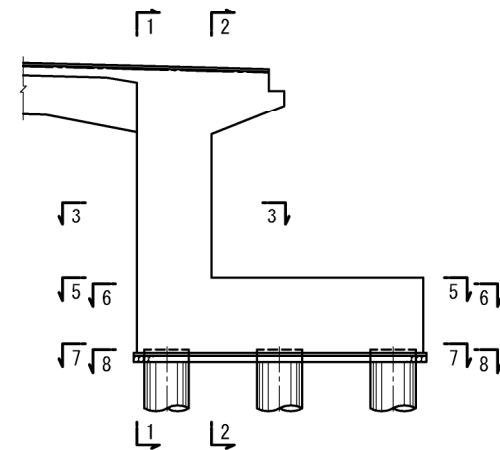
記号	径	本数	l	L
1	D29	1	8369	10650
2	"	1	8371	10650
3	"	1	8377	10660
4	"	1	8383	10660
5	"	1	8388	10670
6	"	1	8393	10670
7	"	1	8397	10680
8	"	1	8402	10680
9	"	1	8435	10710
10	"	1	8440	10720
11	"	1	8446	10720
12	"	1	8452	10730
13	"	1	8457	10740
14	"	1	8461	10740
15	"	1	8466	10740
16	"	1	8470	10750
17	"	1	8475	10750
18	"	1	8480	10760
19	"	1	8484	10760
20	"	1	8489	10770
21	"	1	8495	10770
22	"	1	8501	10780
23	"	1	8506	10780
24	"	1	8539	10820
25	"	1	8544	10820
26	"	1	8548	10830
27	"	1	8553	10830
28	"	1	8558	10840
29	"	1	8564	10840
30	"	1	8570	10850
31	"	1	8572	10850
平均		31		10750



記号	径	本数	l	L
1	D29	1	8305	9770
2	"	1	8307	9770
3	"	1	8310	9780
4	"	1	8313	9780
5	"	1	8316	9780
6	"	1	8319	9790
7	"	1	8322	9790
8	"	1	8324	9790
9	"	1	8326	9790
10	"	1	8329	9800
11	"	1	8331	9800
12	"	1	8333	9800
13	"	1	8335	9800
14	"	1	8338	9800
15	"	1	8340	9810
16	"	1	8367	9830
17	"	1	8370	9840
18	"	1	8373	9840
19	"	1	8376	9840
20	"	1	8379	9850
21	"	1	8382	9850
22	"	1	8385	9850
23	"	1	8388	9850
24	"	1	8391	9860
25	"	1	8393	9860
26	"	1	8395	9860
27	"	1	8397	9860
28	"	1	8399	9870
29	"	1	8402	9870
30	"	1	8404	9870
31	"	1	8406	9870
32	"	1	8409	9880
33	"	1	8411	9880
34	"	1	8413	9880
35	"	1	8416	9880
36	"	1	8418	9880
37	"	1	8420	9890
38	"	1	8422	9890
39	"	1	8425	9890
40	"	1	8428	9890
41	"	1	8431	9900
42	"	1	8434	9900
43	"	1	8437	9900
44	"	1	8439	9910
45	"	1	8442	9910
46	"	1	8445	9910
47	"	1	8473	9940
48	"	1	8475	9940
49	"	1	8478	9940
50	"	1	8480	9950
51	"	1	8482	9950
52	"	1	8484	9950
53	"	1	8487	9950
54	"	1	8489	9960
55	"	1	8491	9960
56	"	1	8494	9960
57	"	1	8497	9960
58	"	1	8500	9970
59	"	1	8503	9970
60	"	1	8506	9970
61	"	1	8508	9970
平均		61		9880



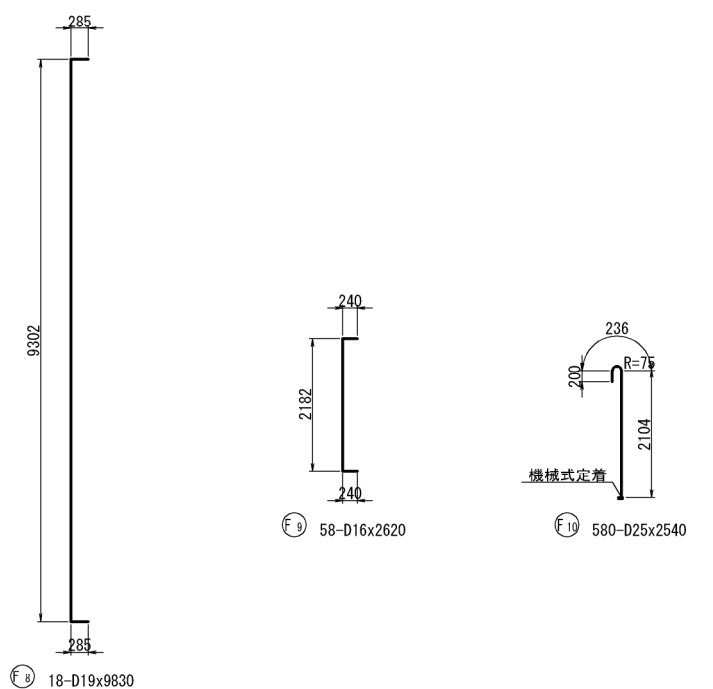
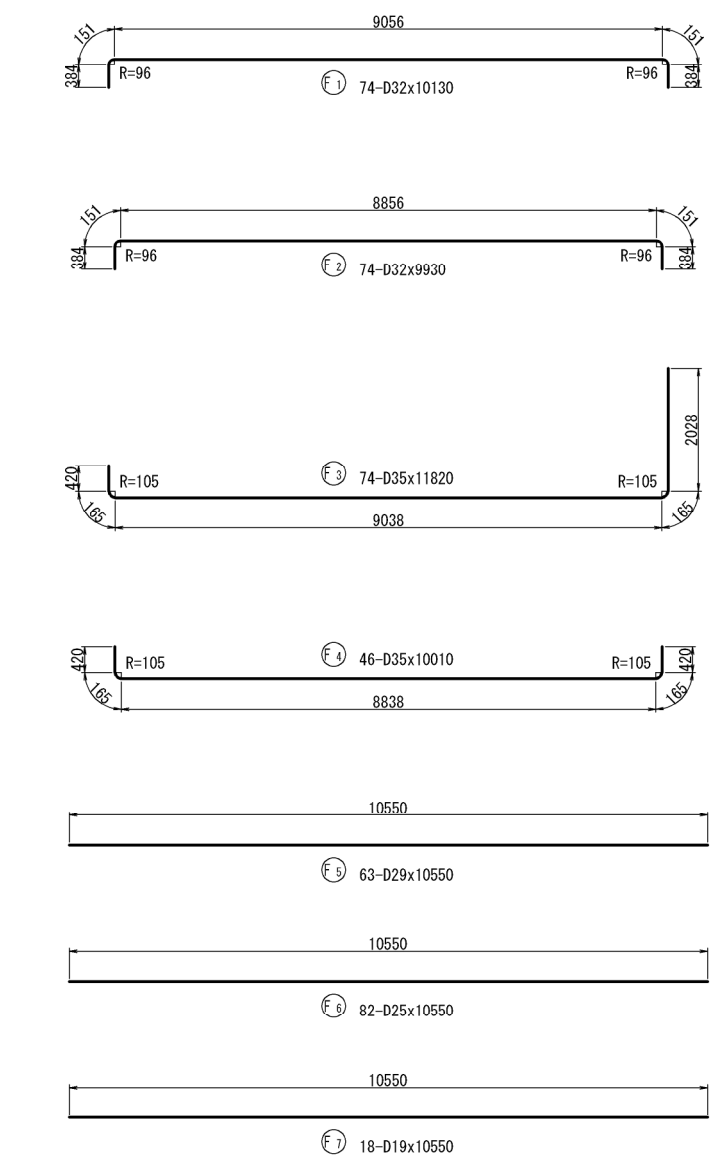
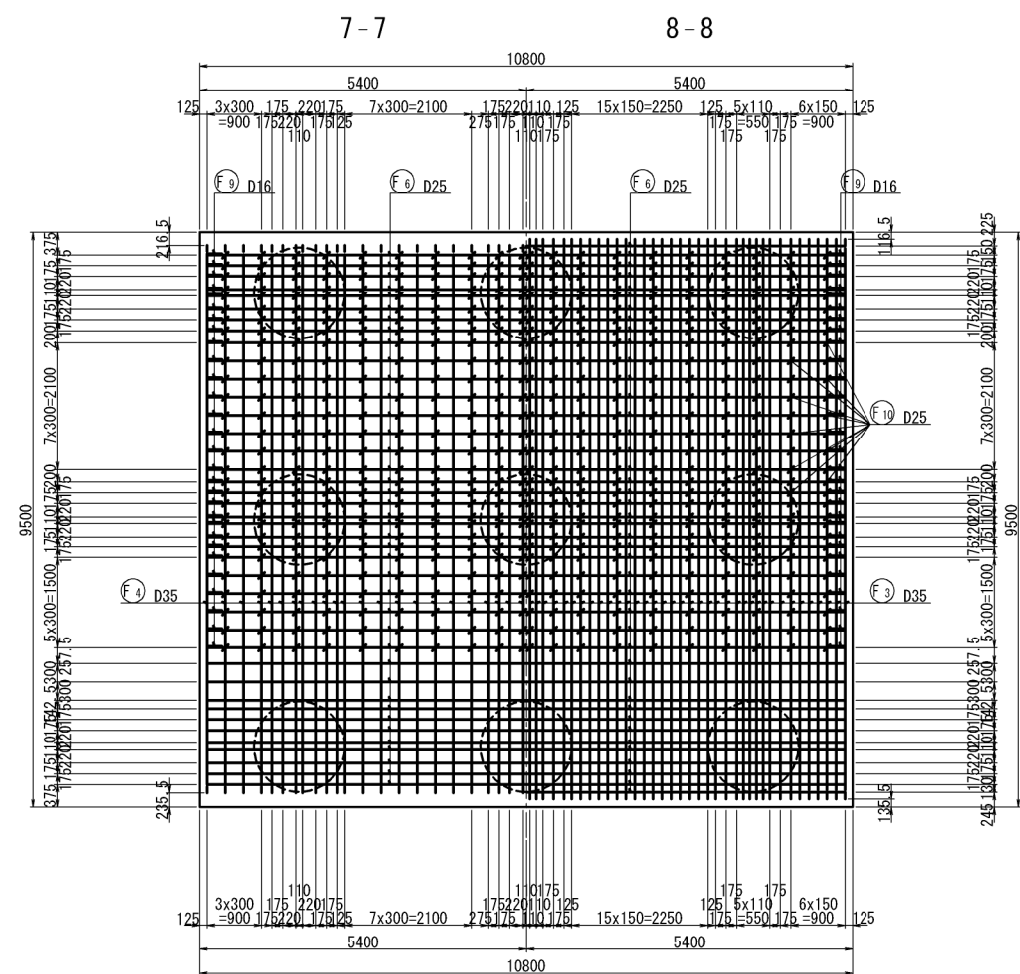
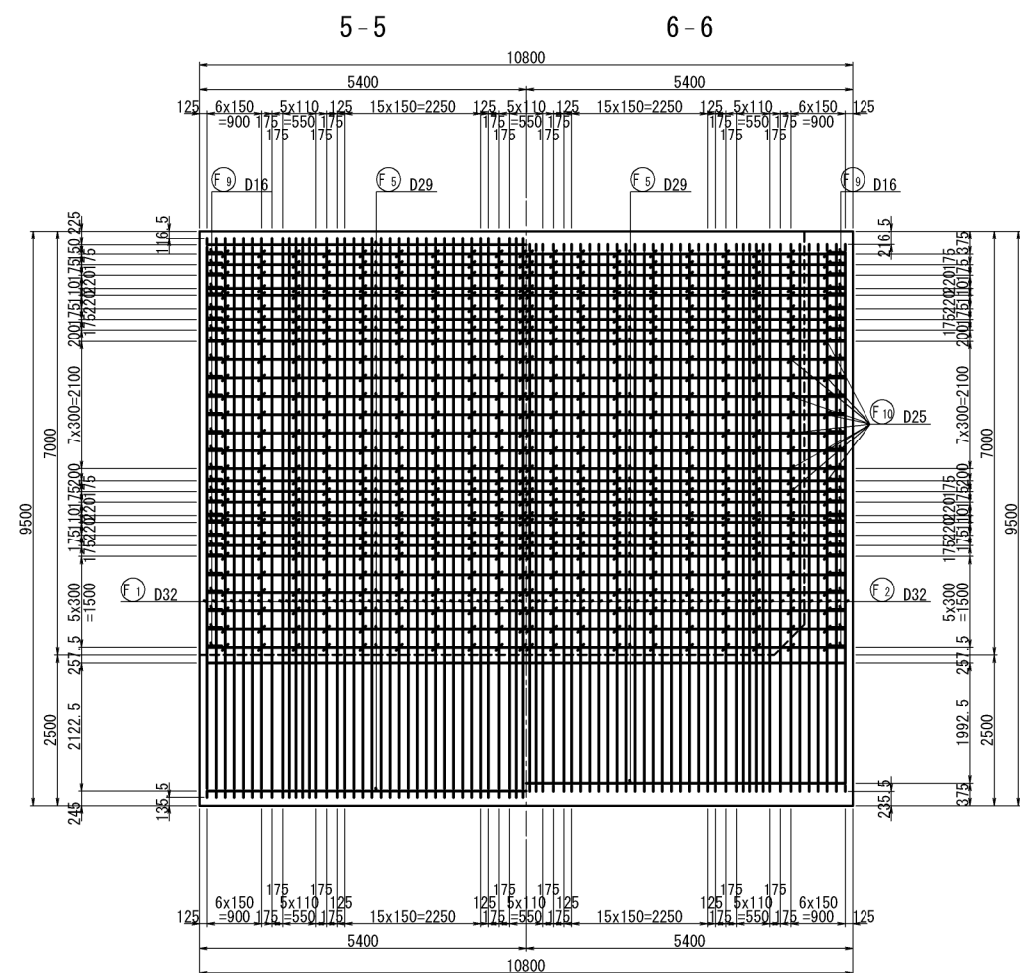
位置図



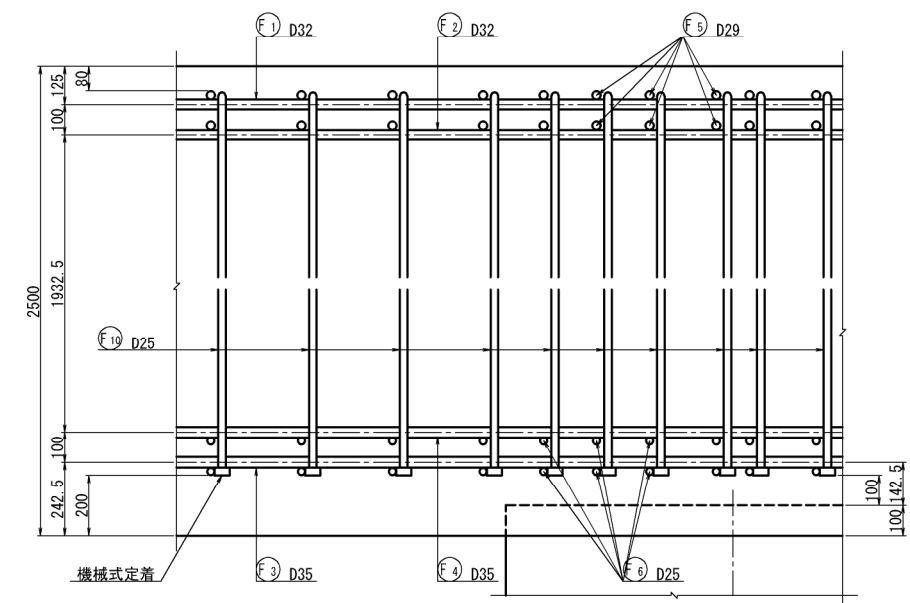
特記事項

- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- たて壁部材の主鉄筋および鉛直鉄筋のピッチは、150mm或は300mm間隔を基本とし、フーチング部の鉄筋および場所打ち杭の鉄筋との干渉を考慮して決定をしている。施工時に再度確認の後、調整をすること。
- たて壁部材の鉄筋のかぶり値は、中間帯鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
- また、たて壁端部はウイング部材最外縁鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

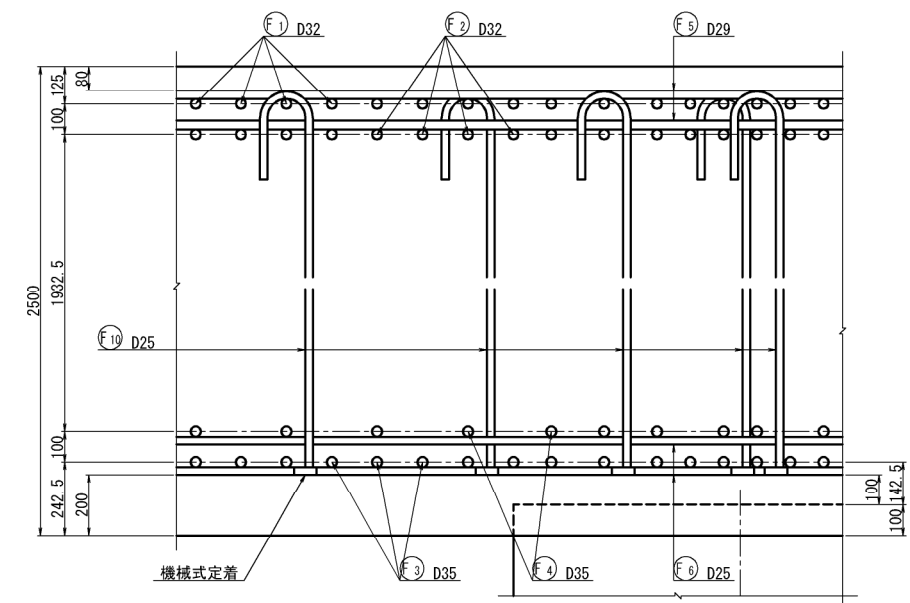
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台配筋図(2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



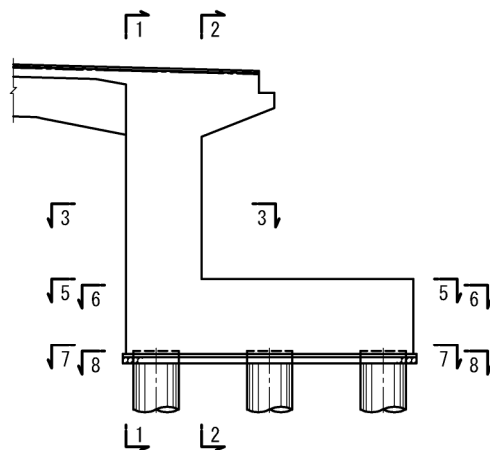
かぶり詳細図  
橋軸方向



直角方向



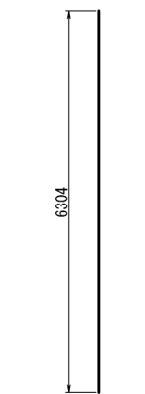
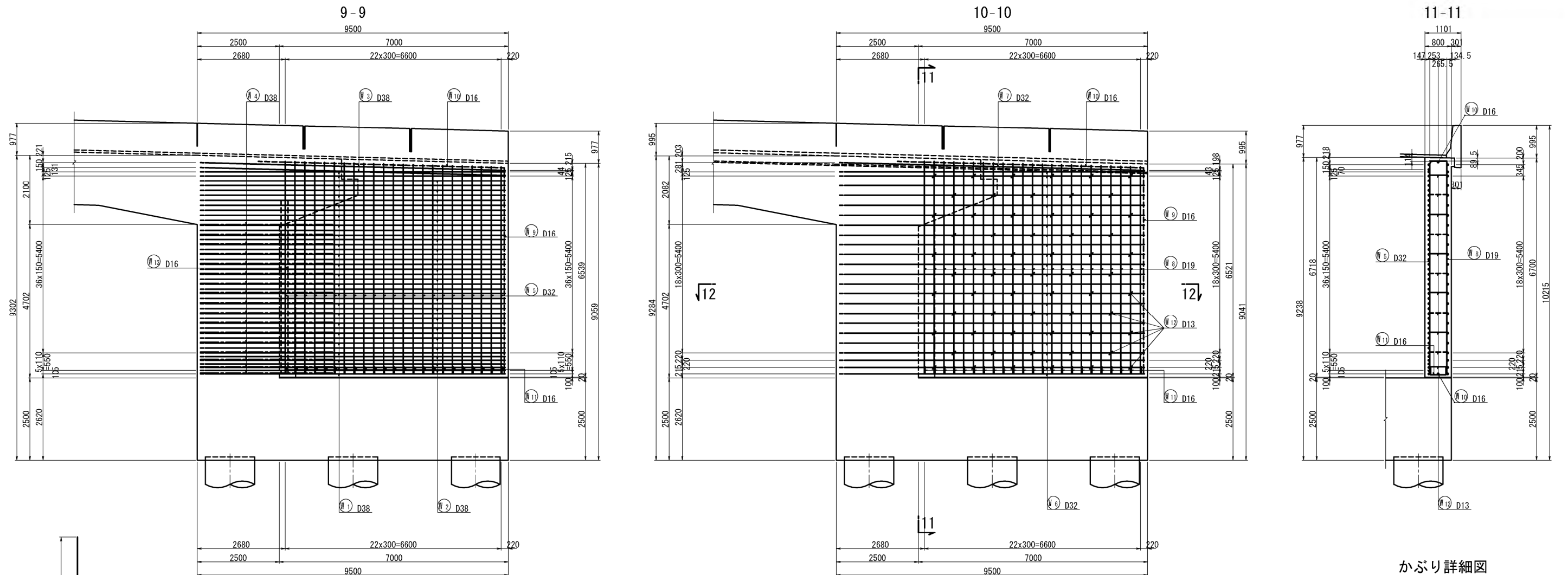
位置図



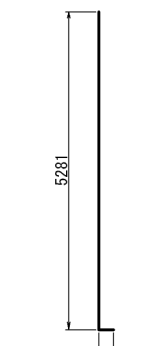
特記事項

- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- フーチング部材の主鉄筋および配力鉄筋のピッチは、150mmまたは300mm間隔を基本とし、たて壁の鉄筋および場所打ち杭の鉄筋との干渉を考慮して決定をしている。施工時に再度確認の後、調整をすること。
- フーチング部材の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外形から80mm以上を確保すること。
- また、フーチング端部はフーチング端部鉄筋の外形から80mm以上を確保すること。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

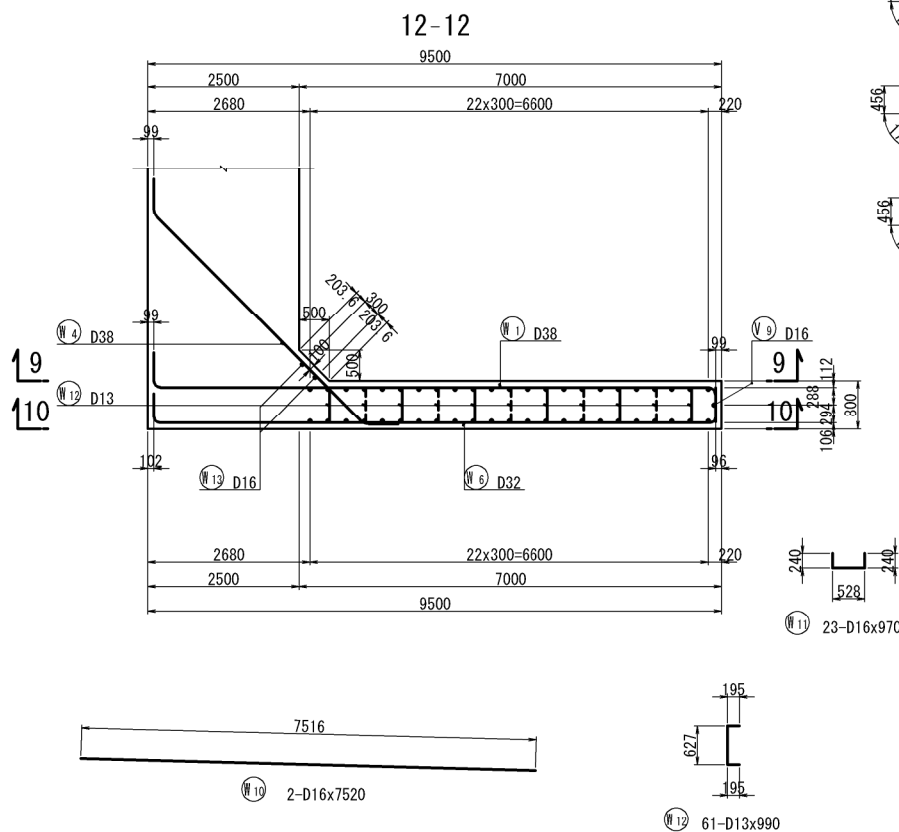
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台配筋図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



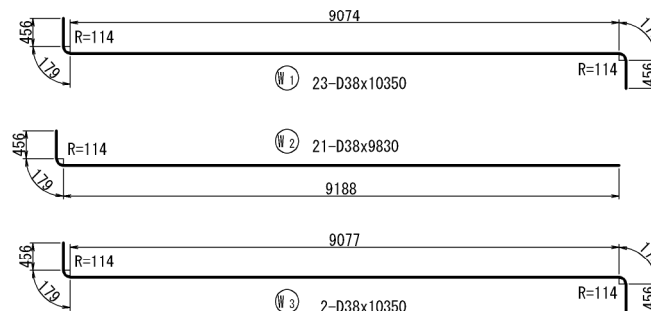
9 1-D16x6310



13 2-D16x5500



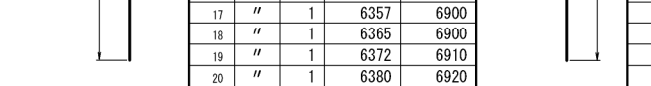
12 2-D16x7520



1 23-D38x10350



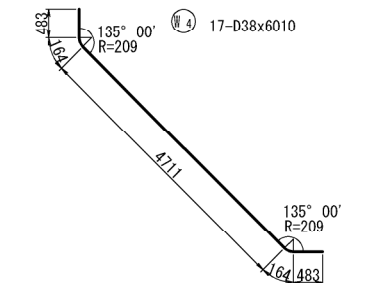
2 21-D38x9830



3 2-D38x10350

記号	径	本数	I	L
1	D32	1	6235	6770
2	"	1	6243	6780
3	"	1	6250	6790
4	"	1	6258	6800
5	"	1	6266	6810
6	"	1	6273	6810
7	"	1	6281	6820
8	"	1	6288	6830
9	"	1	6296	6840
10	"	1	6304	6840
11	"	1	6311	6850
12	"	1	6319	6860
13	"	1	6327	6870
14	"	1	6334	6870
15	"	1	6342	6880
16	"	1	6350	6890
17	"	1	6357	6900
18	"	1	6365	6900
19	"	1	6372	6910
20	"	1	6380	6920
21	"	1	6388	6930
22	"	1	6395	6930
23	"	1	6403	6940
平均		23		6860

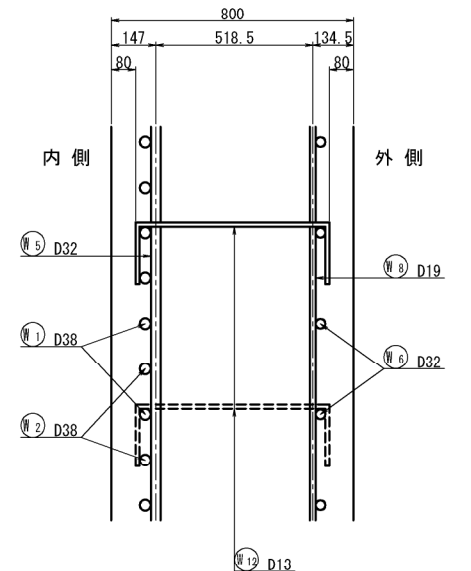
記号	径	本数	I	L
1	D19	1	6337	6840
2	"	1	6345	6840
3	"	1	6352	6850
4	"	1	6360	6860
5	"	1	6368	6870
6	"	1	6375	6870
7	"	1	6383	6880
8	"	1	6391	6890
9	"	1	6398	6900
10	"	1	6406	6900
11	"	1	6414	6910
12	"	1	6422	6920
13	"	1	6429	6930
14	"	1	6437	6940
15	"	1	6445	6940
16	"	1	6452	6950
17	"	1	6460	6960
18	"	1	6468	6970
19	"	1	6475	6970
20	"	1	6483	6980
21	"	1	6491	6990
22	"	1	6498	7000
23	"	1	6506	7000
平均		23		6920



17 17-D38x6010

特記事項  
・鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。  
・翼壁・土留壁の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。  
・鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。  
・F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

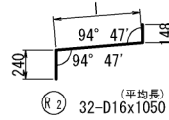
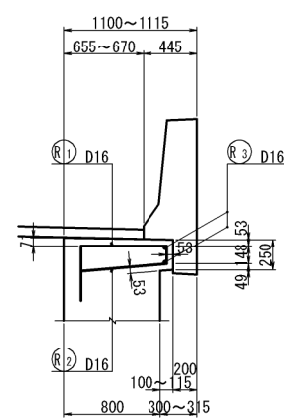
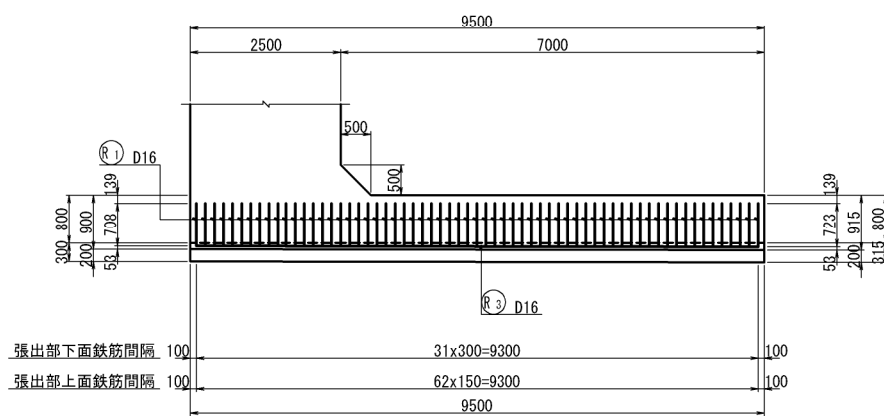
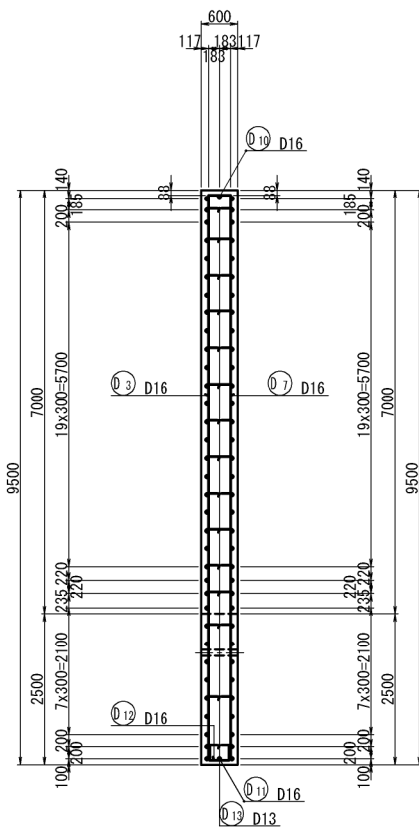
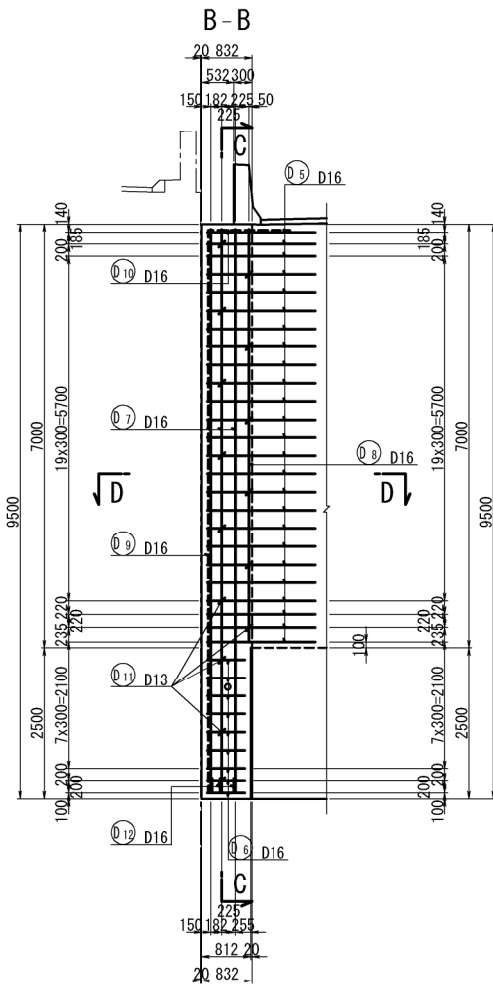
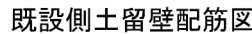
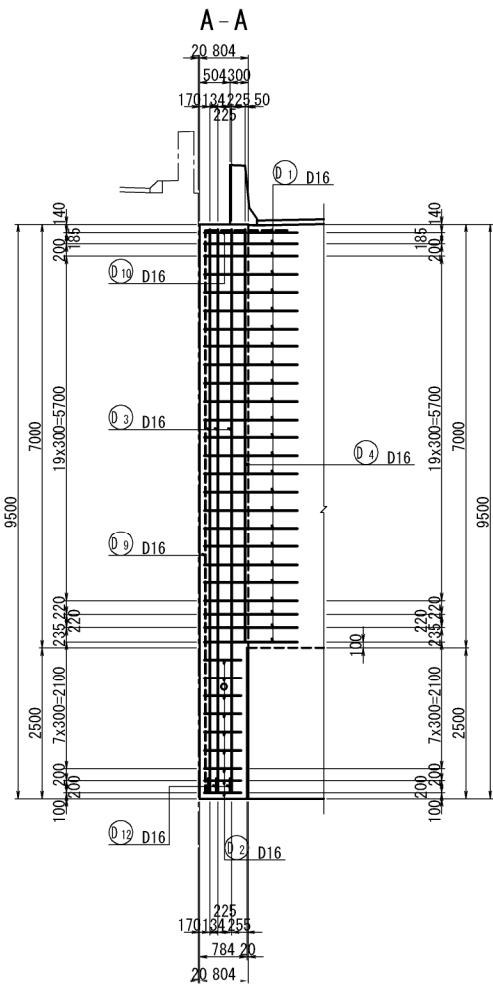
かぶり詳細図



秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台配筋図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

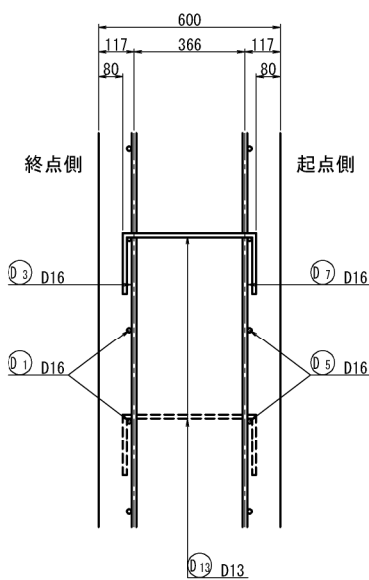
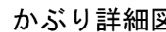
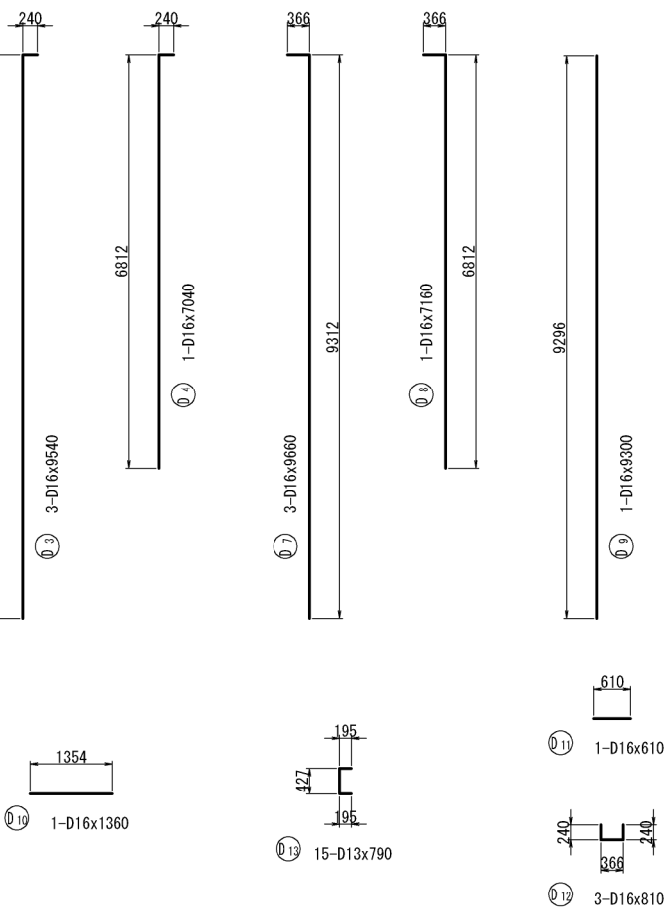
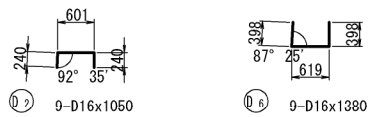
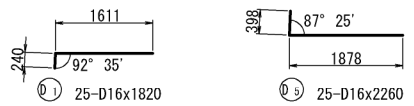
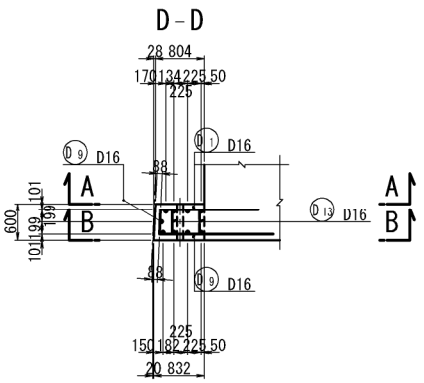


中里橋(上り線) A2橋台配筋図(5) S=1:125



記 号	径 本 数	I	L
1	D16	1	710 1040
2	"	1	710 1040
3	"	1	711 1040
4	"	1	711 1040
5	"	1	712 1040
6	"	1	712 1040
7	"	1	713 1040
8	"	1	713 1040
9	"	1	714 1040
10	"	1	714 1040
11	"	1	715 1050
12	"	1	715 1050
13	"	1	716 1050
14	"	1	716 1050
15	"	1	717 1050
16	"	1	717 1050
17	"	1	718 1050
18	"	1	718 1050
19	"	1	719 1050
20	"	1	719 1050
21	"	1	720 1050
22	"	1	720 1050
23	"	1	721 1050
24	"	1	721 1050
25	"	1	722 1050
26	"	1	722 1050
27	"	1	723 1050
28	"	1	723 1050
29	"	1	724 1050
30	"	1	724 1050
31	"	1	725 1060
32	"	1	725 1060
平均	32		1050

记号	径	本数	I	L
1	D16	1	708	1060
2	"	1	708	1060
3	"	1	708	1060
4	"	1	709	1060
5	"	1	709	1060
6	"	1	709	1060
7	"	1	709	1060
8	"	1	710	1060
9	"	1	710	1060
10	"	1	710	1060
11	"	1	710	1060
12	"	1	711	1060
13	"	1	711	1060
14	"	1	711	1060
15	"	1	711	1060
16	"	1	712	1060
17	"	1	712	1060
18	"	1	712	1060
19	"	1	712	1060
20	"	1	713	1060
21	"	1	713	1060
22	"	1	713	1060
23	"	1	713	1060
24	"	1	714	1060
25	"	1	714	1060
26	"	1	714	1060
27	"	1	714	1060
28	"	1	715	1070
29	"	1	715	1070
30	"	1	715	1070
31	"	1	715	1070
32	"	1	716	1070
33	"	1	716	1070
34	"	1	716	1070
35	"	1	716	1070
36	"	1	716	1070
37	"	1	717	1070
38	"	1	717	1070
39	"	1	717	1070
40	"	1	717	1070
41	"	1	718	1070
42	"	1	718	1070
43	"	1	718	1070
44	"	1	718	1070
45	"	1	719	1070
46	"	1	719	1070
47	"	1	719	1070
48	"	1	719	1070
49	"	1	720	1070
50	"	1	720	1070
51	"	1	720	1070
52	"	1	720	1070
53	"	1	721	1070
54	"	1	721	1070
55	"	1	721	1070
56	"	1	721	1070
57	"	1	722	1070
58	"	1	722	1070
59	"	1	722	1070
60	"	1	722	1070
61	"	1	723	1070
62	"	1	723	1070
63	"	1	723	1070
平均		63		1070



特記事

- ・鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- ・翼壁・土留壁の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
- ・また、張出部の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外径から45mm以上を確保すること。
- ・鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- ・F鉄筋（フーチング）を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台配筋図(5)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

鉄筋表								
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要	
A	D29	10750	31	5.04	54.2	1680	平均長	
	2	"	9640	6	"	48.6		
	3	"	9040	4	"	45.6		
	4	"	9880	61	"	49.8	3038	平均長
	5	"	8630	8	"	43.5	348	
	6	"	8030	4	"	40.5	162	
	7	"	7190	6	"	36.2	217	平均長
	8	D19	9680	102	2.25	21.8	2224	
	9	"	6160	102	"	13.9	1418	
	10	D16	9170	7	1.56	14.3	100	平均長 6<557>
	11	"	8970	7	"	14.0	98	
	12	D19	2590	557	2.25	5.83	3247	
						13006 kg		
F	D32	10130	74	6.23	63.1	4669	平均長	
	2	"	9930	74	"	61.9		4581
	3	D35	11820	74	7.51	88.8		6571
	4	"	10010	46	"	75.2	3459	平均長
	5	D29	10550	63	5.04	53.2	3352	
	6	D25	10650	82	3.98	42.0	3444	
	7	D19	10550	18	2.25	23.7	427	平均長
	8	"	9830	18	"	22.1	398	
	9	D16	2620	58	1.56	4.09	237	
	10	D25	2540	580	3.98	10.1	5858	6<580>
							32996 kg	
	W	D38	10350	23	8.95	92.6	2130	平均長
2		"	9830	21	"	88.0	1848	
3		"	10350	2	"	92.6	185	
4		"	6010	17	"	53.8	915	平均長
5		D32	6860	23	6.23	42.7	982	
6		"	10290	23	"	64.1	1474	
7		"	10290	1	"	64.1	64	平均長
8		D19	6920	23	2.25	15.6	359	
9		D16	6310	1	1.56	9.84	10	
10		"	7520	2	"	11.7	23	平均長
11		"	970	23	"	1.51	35	
12		D13	990	61	0.995	0.985	60	
13	D16	5600	2	1.56	8.58	17		
						8102 kg		
D	D16	1820	25	1.56	2.84	71	平均長	
	2	"	1050	9	"	1.64		15
	3	"	9540	3	"	14.9		45
	4	"	7040	1	"	11.0	11	平均長
	5	"	2260	25	"	3.53	88	
	6	"	1380	9	"	2.15	19	
	7	"	9660	3	"	15.1	45	平均長
	8	"	7160	1	"	11.2	11	
	9	"	9300	1	"	14.5	15	
	10	"	1360	1	"	2.12	2	平均長
	11	"	610	1	"	0.952	1	
	12	"	810	3	"	1.51	4	
13	D13	790	15	0.995	0.786	12		
						339 kg		
R	D16	1070	63	1.56	1.67	105	平均長	
	2	"	1050	32	"	1.64	52	平均長
	3	"	9310	2	"	14.5	29	
						186 kg		
鉄筋A 鉄筋C <箇所数>								
D38 5078 kg								
D35 10030 kg								
D32 11770 kg								
D29 9271 kg								
D25 3444 kg 5858 kg < 580>								
D19 4826 kg 3247 kg < 557>								
D16 1033 kg								
D13 72 kg								
小計 45524 kg 9105 kg <1137>								
合計 54629 kg								

鉄筋集計表(一般鉄筋)					
種 別	径(mm)	質 量(Kg)		合 計(Kg)	
		SD490	SD345	SD490	SD345
A	D13	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	-----
	D16	-----	237	-----	-----
		-----	825	-----	-----
	D25	-----	-----	-----	4506
		-----	3444	-----	-----
	D29	-----	3352	-----	-----
		-----	9250	-----	12602
	D32	-----	10030	-----	10030
		-----	-----	-----	-----
	D38	-----	-----	-----	-----
	D41	-----	-----	-----	-----
C	D16	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	-----
	D19	-----	-----	-----	-----
		-----	5858	-----	5858
	D25	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	-----
	D29	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	-----
	D32	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	-----
	合計		-----	-----	5858
	総 合 計 ( A + C )		-----	-----	32996
種 別	径(mm)	鉄 筋 長		箇所数(箇所)	
		L ≦ 1m		-----	
		1m < L ≦ 2m		-----	
		2m < L ≦ 3m		580	
		3m < L ≦ 4m		-----	
		4m < L ≦ 5m		-----	
		5m < L ≦ 6m		-----	
機械式鉄筋 定着箇所数	D25	合計		580	

鉄筋集計表(エポキシ樹脂塗装鉄筋)					
種 別	径(mm)	質 量(Kg)		合 計(Kg)	
		SD490	SD345	SD490	SD345
A(E)	D13	-----	72	-----	72
		-----	796	-----	796
	D16	-----	4001	-----	-----
		-----	-----	-----	4001
	D19	-----	-----	-----	-----
		-----	5919	-----	-----
	D25	-----	2520	-----	8439
		-----	-----	-----	-----
	D29	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	-----
	D32	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	-----
C(E)	D16	-----	-----	-----	-----
		-----	3247	-----	-----
	D19	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	3247
	D25	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	-----
	D29	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	-----
	D32	-----	-----	-----	-----
		-----	-----	-----	-----
	合計		-----	-----	3247
	総 合 計 ( A(E) + C(E) )		-----	-----	21633
種 別	径(mm)	鉄 筋 長		箇所数(箇所)	
		L ≦ 1m		-----	
		1m < L ≦ 2m		-----	
		2m < L ≦ 3m		557	
		3m < L ≦ 4m		-----	
		4m < L ≦ 5m		-----	
		5m < L ≦ 6m		-----	
機械式鉄筋 定着箇所数	D19	合計		557	

鉄筋加工寸法表

曲げ加工時の減長

径	90°			135°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D19	57	90	25	104.5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5
D25	75	118	32	137.5	108	6
D29	87	137	37	159.5	125	7
D32	96	151	41	176	138	8
D35	105	165	45	192.5	151	8
D38	114	179	49	209	164	9
D41	123	193	53	225.5	177	10
D51	153	240	66	280.5	220	12

$\theta > 90^\circ$   
 $R = 5\phi + 1/2\phi$

$\theta \leq 90^\circ$   
 $R = 2.5\phi + 1/2\phi$

スターラップ

	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
R	39	48	57	66	75	87	96
a	61	75	90	104	118	137	151
b	156	192	228	264	300	348	384
ΔL	17	21	25	28	32	37	41

$L = 4a + 2b + 2c$   
 $\Delta L = 2R - a$

$R \geq 2.5\phi + 1/2\phi$   
 $b \geq 12\phi$

半円形フック

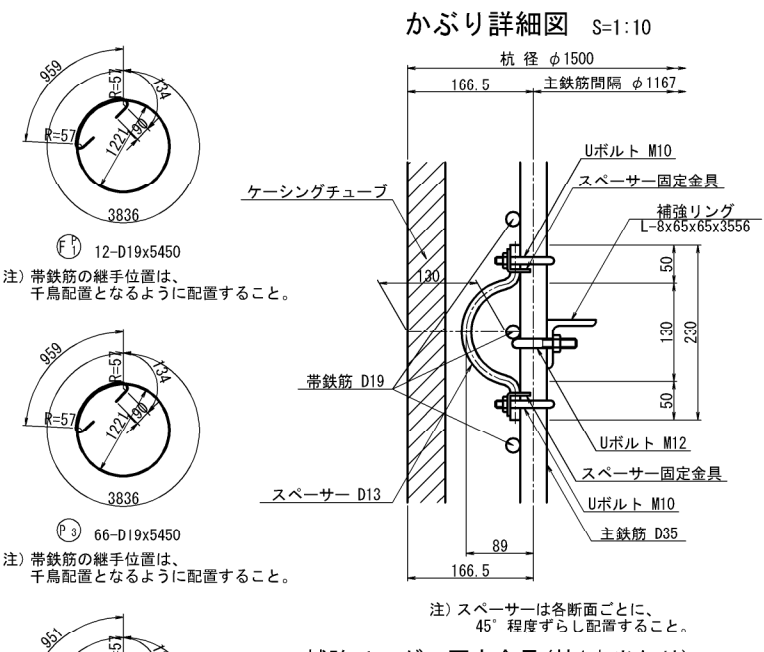
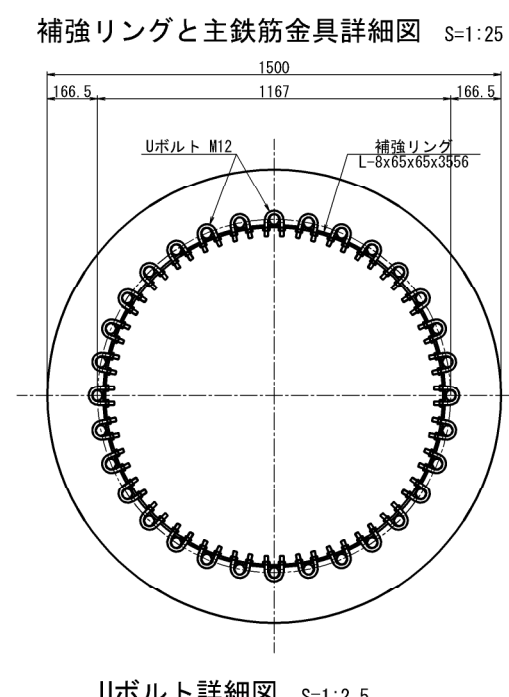
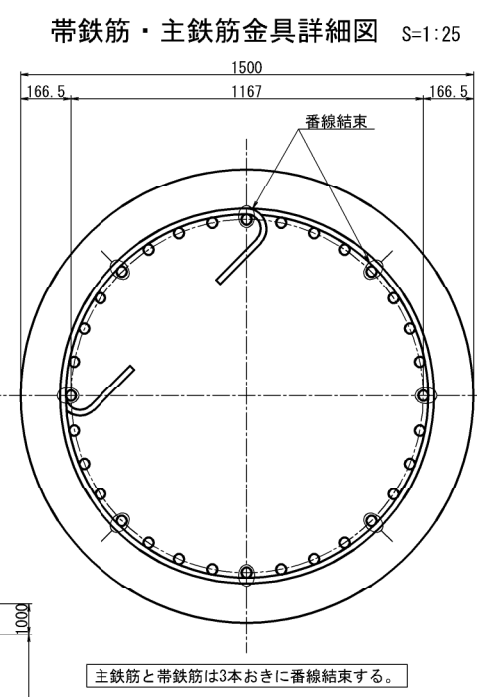
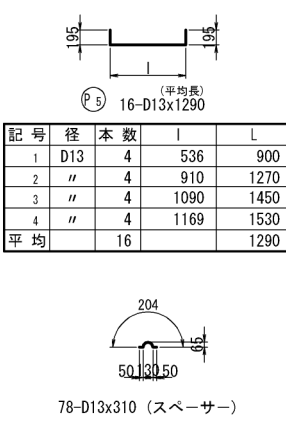
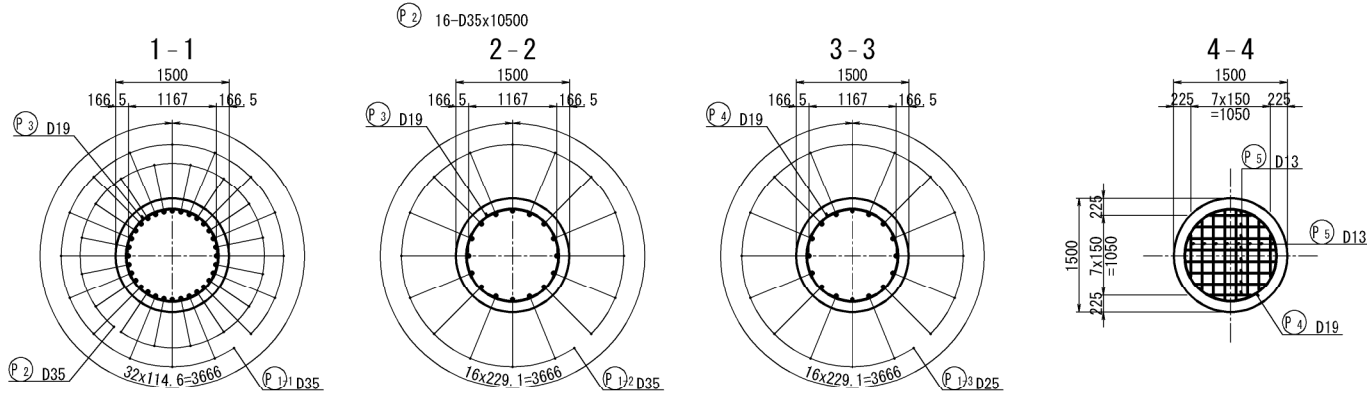
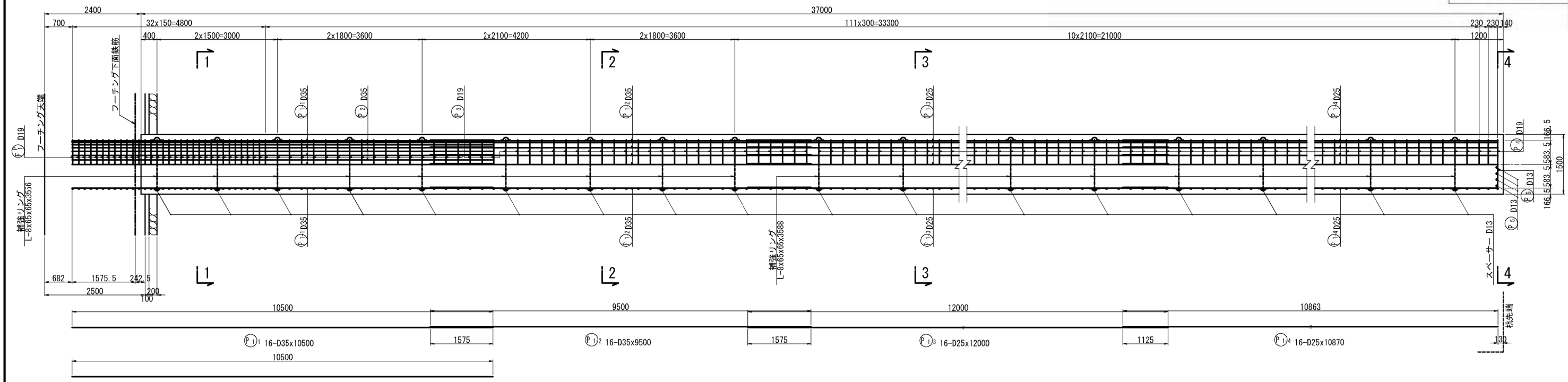
	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
R	39	48	57	66	75	87	96
a	123	151	179	207	236	273	302
b	120	128	152	176	200	232	256
L	243	279	331	383	436	505	558

$R \geq 2.5\phi + 1/2\phi$   
 $b \geq 8\phi$  or  $b \geq 12cm$   
 $L = a + b$

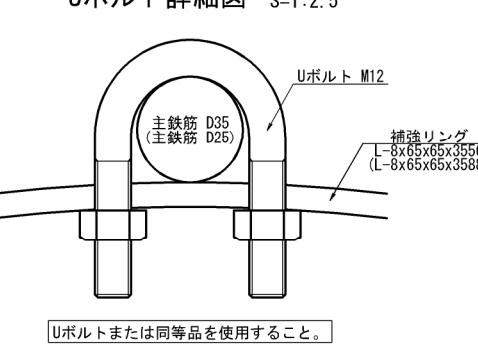
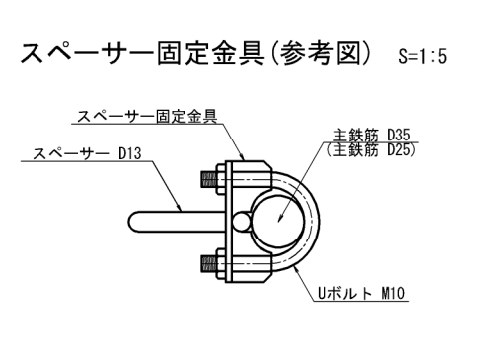
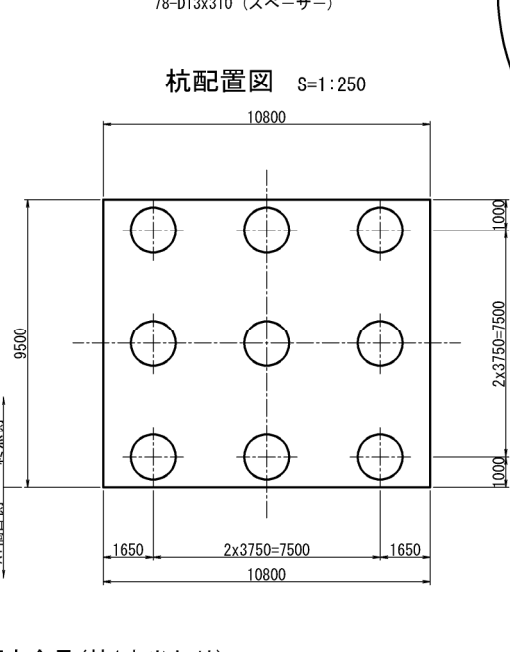
特記事項

- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。
- 鉄筋加工寸法表は、“SD345”の場合を示す。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台配筋図(6)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



鉄筋表(杭1本当たり)							
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
場所打ち杭φ1500(鉄筋Y)							
P 1-1	D35	10500	16	7.51	78.9	1262	
1-2	"	9500	16	"	71.3	1141	
1-3	D25	12000	16	3.98	47.8	765	
1-4	"	10870	16	"	43.3	693	
2	D35	10500	16	7.51	78.9	1262	
3	D19	5450	66	2.25	12.3	812	
4	"	5410	68	"	12.2	830	
5	D13	1290	16	0.995	1.28	20	
鉄筋Y集計						6785 kg	
杭1本当り							橋台1基当り
D35	3665 kg	×	9 本			32985 kg	
D25	1458 kg	×	9 本			13122 kg	
D19	1642 kg	×	9 本			14778 kg	
D13	20 kg	×	9 本			180 kg	
合計	6785 kg	×	9 本			61065 kg	
場所打ち杭φ1500(鉄筋A)							
F 1	D19	5450	12	2.25	12.3	148	
鉄筋A集計						148 kg	
杭1本当り							橋台1基当り
D19	148 kg	×	9 本			1332 kg	
合計	148 kg	×	9 本			1332 kg	



補強リング・固定金具(杭1本当たり)							
種別	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	一本当り質量(kg/本)	質量(kg)	摘要	
L-8x65x65	3556	9	7.66	27.2	245	補強リング(主鉄筋D35区間)等辺山形鋼	
L-8x65x65	3588	10	7.66	27.5	275	補強リング(主鉄筋D25区間)等辺山形鋼	
Uボルト M12		224				補強リング固定用(主鉄筋D35用)	
Uボルト M12		160				補強リング固定用(主鉄筋D25用)	

スペーサー・固定金具(杭1本当たり)							
種別	長さ(mm)	本数	単位質量(kg/m)	一本当り質量(kg/本)	質量(kg)	摘要	
スペーサー D13	310	78	0.995	0.308	24	SD345	
Uボルト M10		76				スペーサーと主鉄筋D35の固定(裏当て材含む)	
Uボルト M10		80				スペーサーと主鉄筋D25の固定(裏当て材含む)	

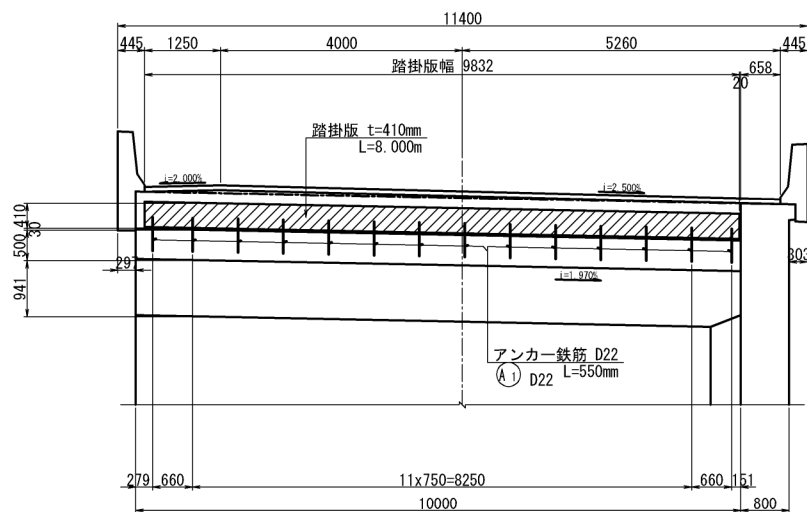
特記事項

- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- 杭周面から鉄筋のかぶり値は、帯鉄筋の外形から130mm以上を確保すること。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- 杭頭部フーチング内の帯鉄筋は、鉄筋Aとして計上する。
- 鉄筋の組立において、組立上の形状保持のための溶接は行わないこと。
- 1段目のスペーサーは、6箇所設置すること。

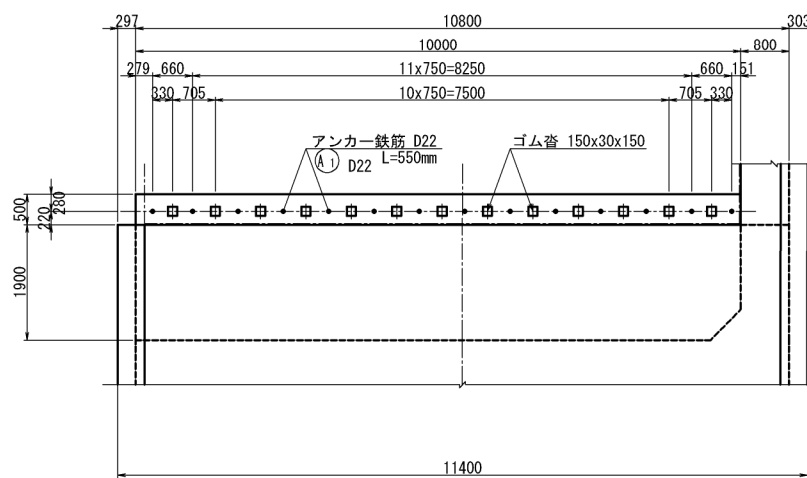
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台場所打ち杭配筋図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



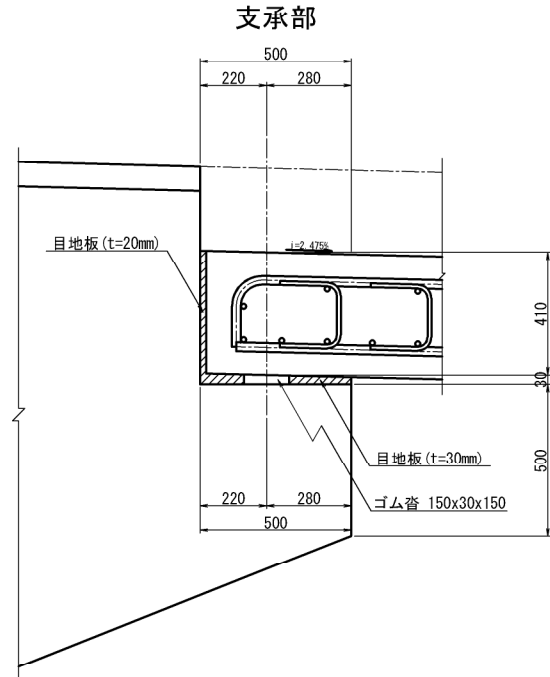
受台正面図



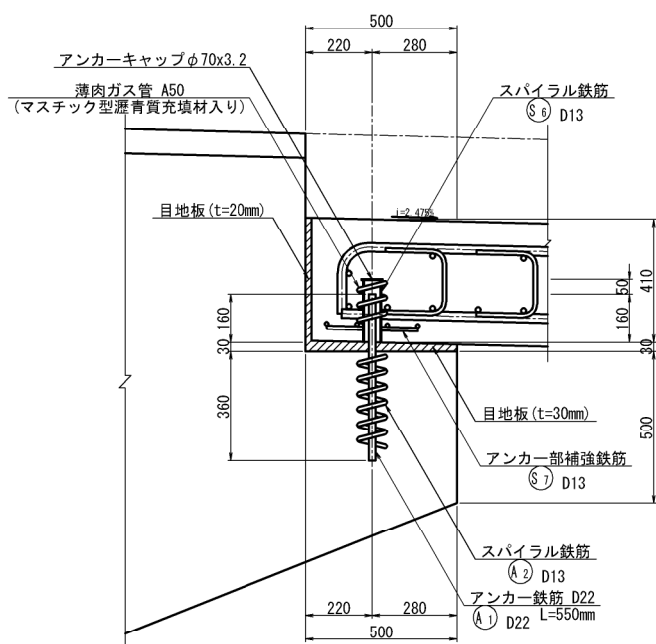
受台平面図



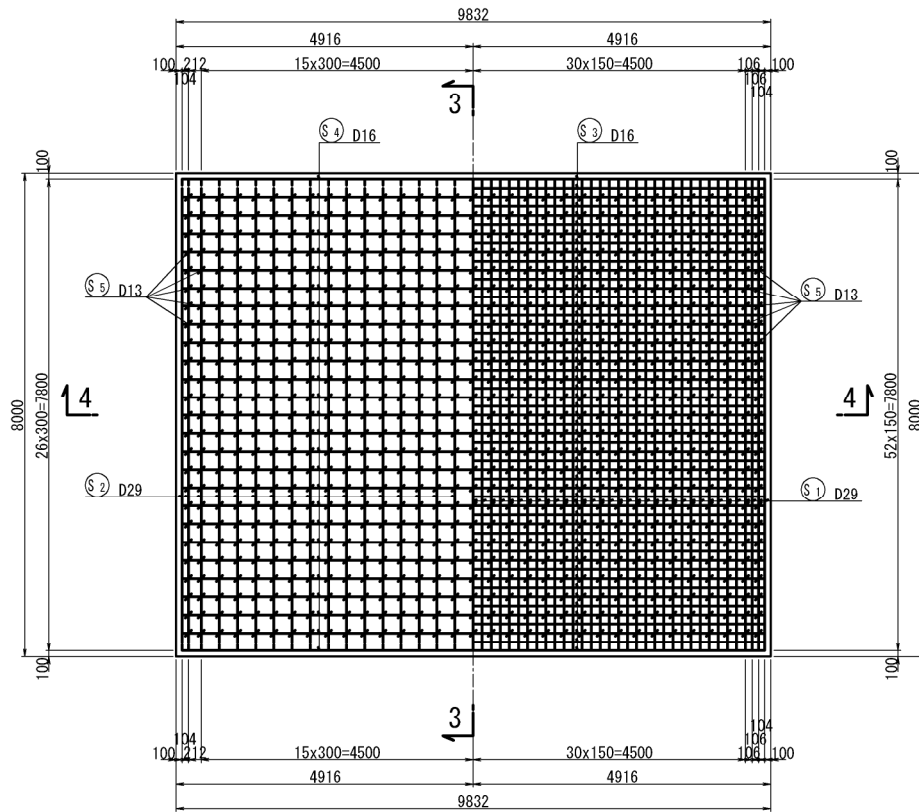
支承部詳細図 S=1:25



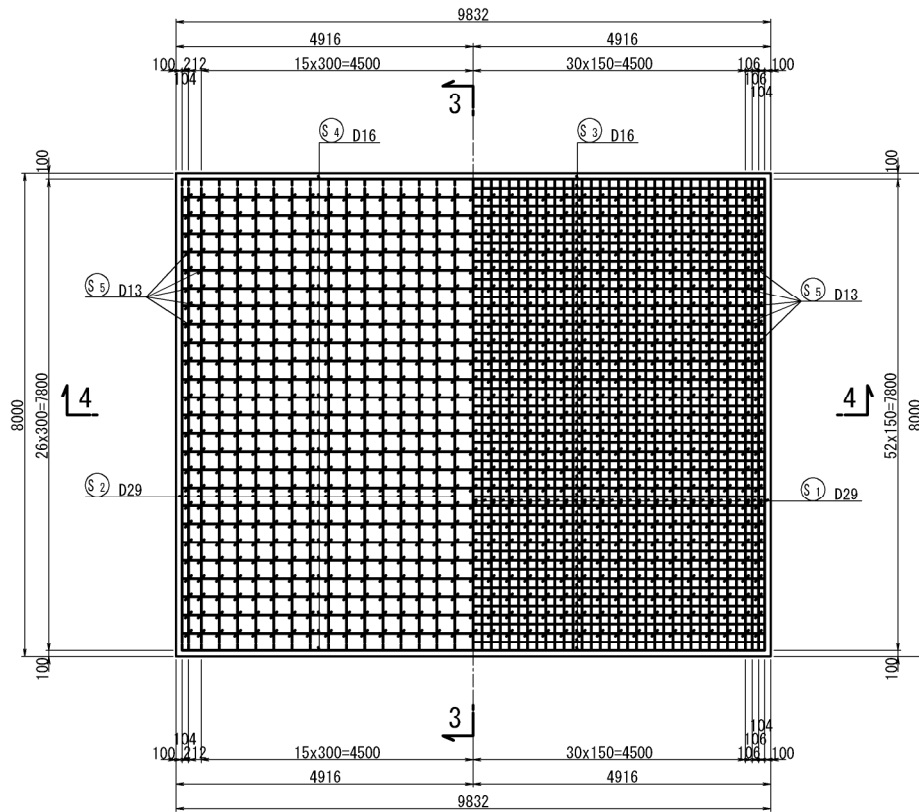
アンカー部



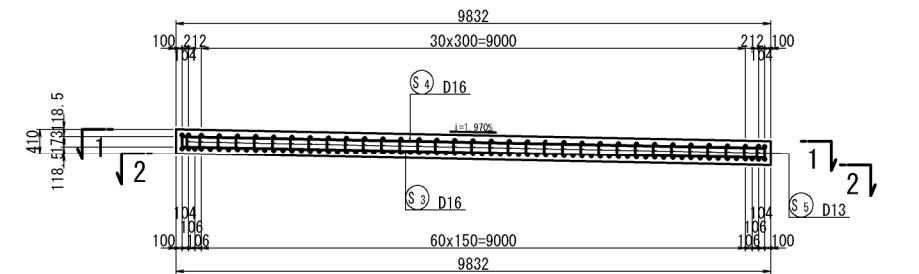
1-1



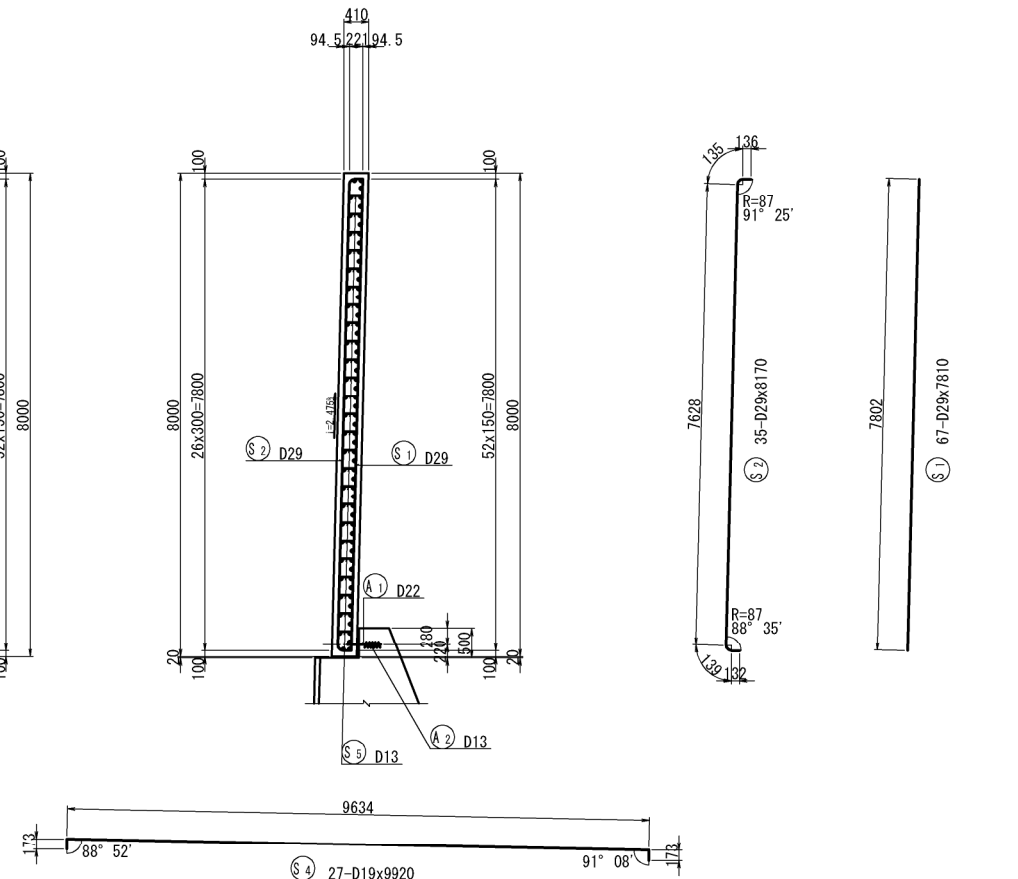
2-2



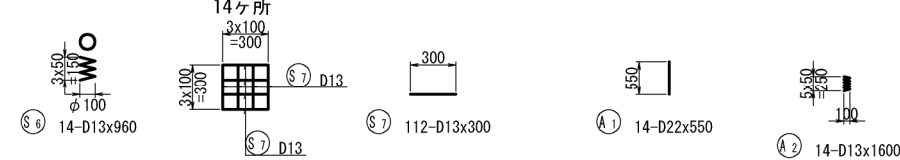
4-4



3-3



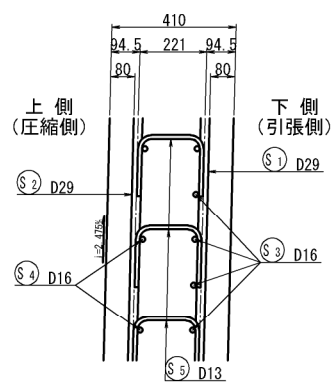
アンカー補強筋 S=1:50



鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	本当り質量	質量	摘要
踏掛版 L=8.000m							
1	D29	7810	67	5.04	39.4	2640	1
2	"	8170	35	"	41.2	1442	1
3	D19	9640	53	2.25	21.7	1150	1
4	"	9920	27	"	22.3	602	1
5	D13	570	825	0.995	0.567	468	1
6	"	960	14	"	0.955	13	1
7	"	300	112	"	0.299	33	1
6348 kg							
踏掛版 L=8.000m							
D29				4082 kg			
D19				1752 kg			
D13				514 kg			
合計				6348 kg			
踏掛版アンカー鉄筋							
A 1	D22	550	14	3.04	1.67	23	1
2	D13	1600	14	0.995	1.59	22	1
45 kg							
踏掛版アンカー鉄筋							
D22				23 kg			
D13				22 kg			
合計				45 kg			

かぶり詳細図 S=1:25

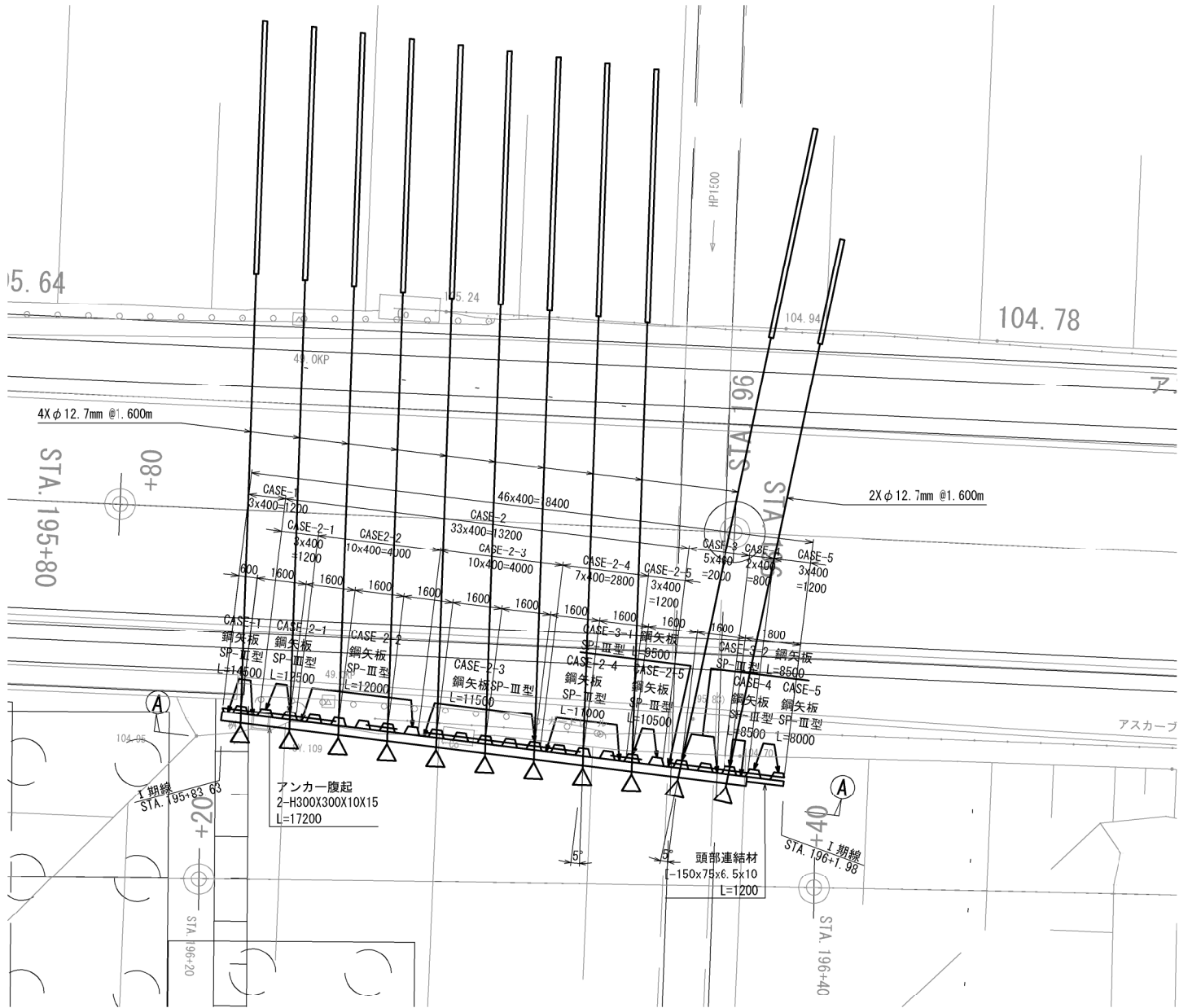


特記事項

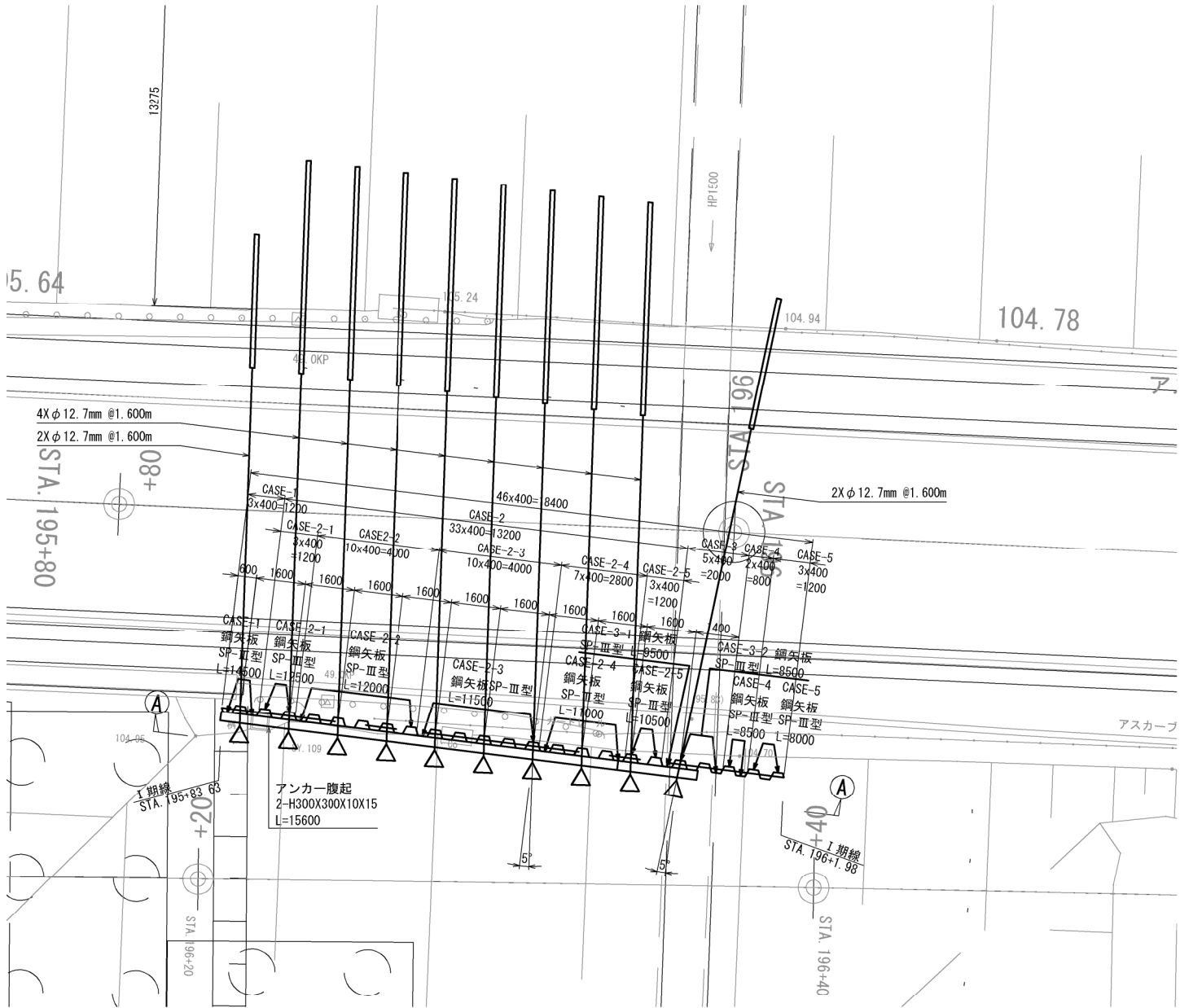
- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- 踏掛版の鉄筋のかぶり値は、橋軸方向主鉄筋の外形から80mm以上を確保すること。
- また、踏掛版端部は鉄筋中心までを100mmとする。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- 踏掛版アンカー鉄筋は、本図面で計上した。
- 施工順序等により鉄筋が露出される場合は、想定される露出期間に応じて腐食防止処理等を実施すること。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線） A 2 橋台踏掛版配筋図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

1段目 平面図 S=1:200



2段目 平面図 S=1:200



杭材料表

			杭天端	枚数	
CASE-1	鋼矢板	SP-Ⅲ型	L=14500	+107.000	n= 3枚 (1箇所継手)
CASE-2-1		SP-Ⅲ型	L=12500	+106.950 ~ +106.850	n= 3枚 (1箇所継手)
CASE-2-2		SP-Ⅲ型	L=12000	+106.800 ~ +106.350	n=10枚
CASE-2-3		SP-Ⅲ型	L=11500	+106.300 ~ +105.850	n=10枚
CASE-2-4		SP-Ⅲ型	L=11000	+105.800 ~ +105.500	n= 7枚
CASE-2-5		SP-Ⅲ型	L=10500	+105.450 ~ +105.400	n= 3枚
CASE-3-1	鋼矢板	SP-Ⅲ型	L= 9500	+105.400	n= 1枚
CASE-3-2		SP-Ⅲ型	L= 8500	+105.400	n= 4枚
CASE-4		SP-Ⅲ型	L= 8500	+105.400	n= 2枚
CASE-5		SP-Ⅲ型	L= 8000	+105.400	n= 3枚
CASE-6		SP-Ⅲ型	L= 9500	+ 98.653	n= 9枚

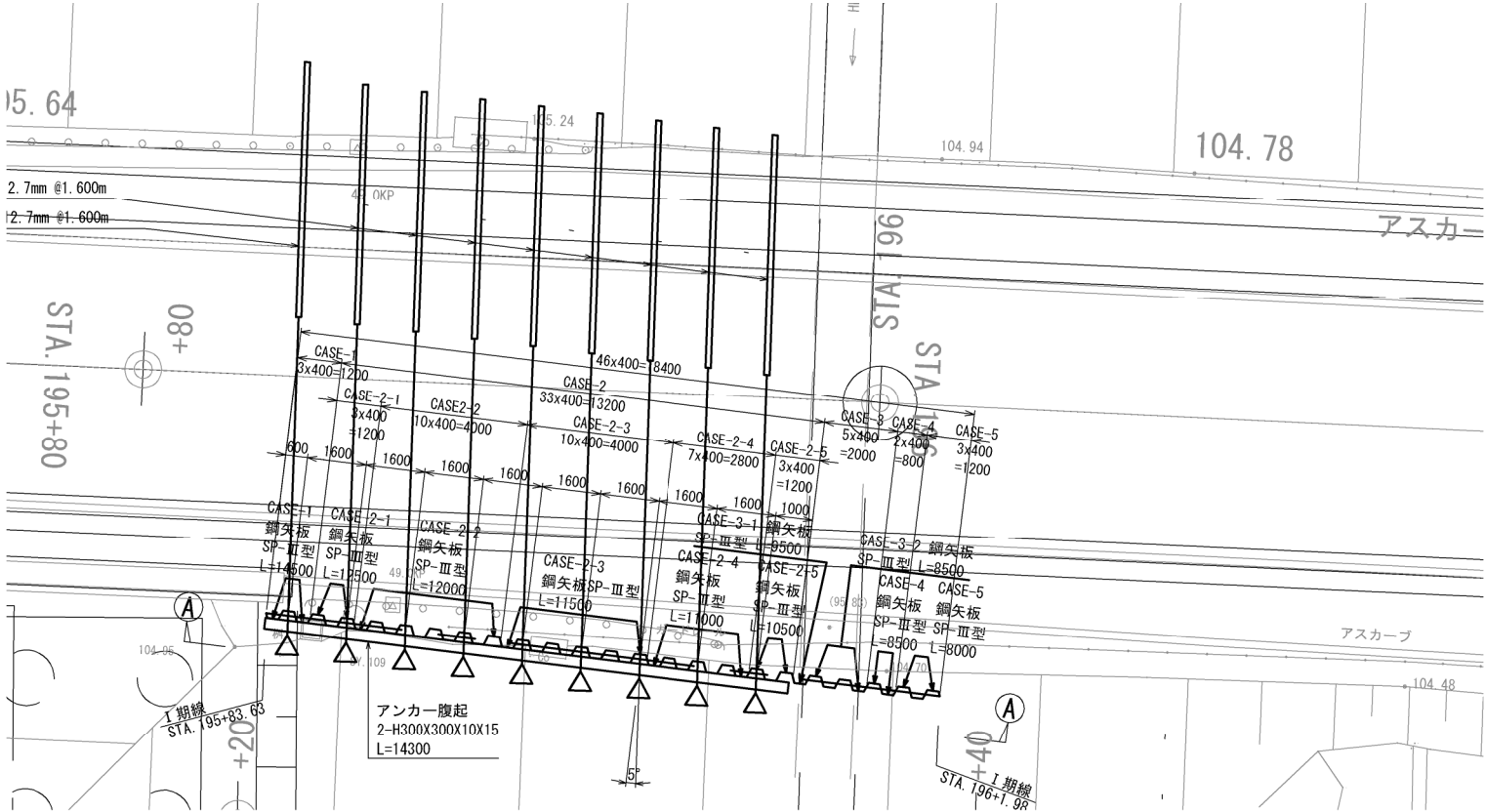
※溶接継手は建込未前に鋼矢板を横にして下向き姿勢で行うこと

アンカー材料表

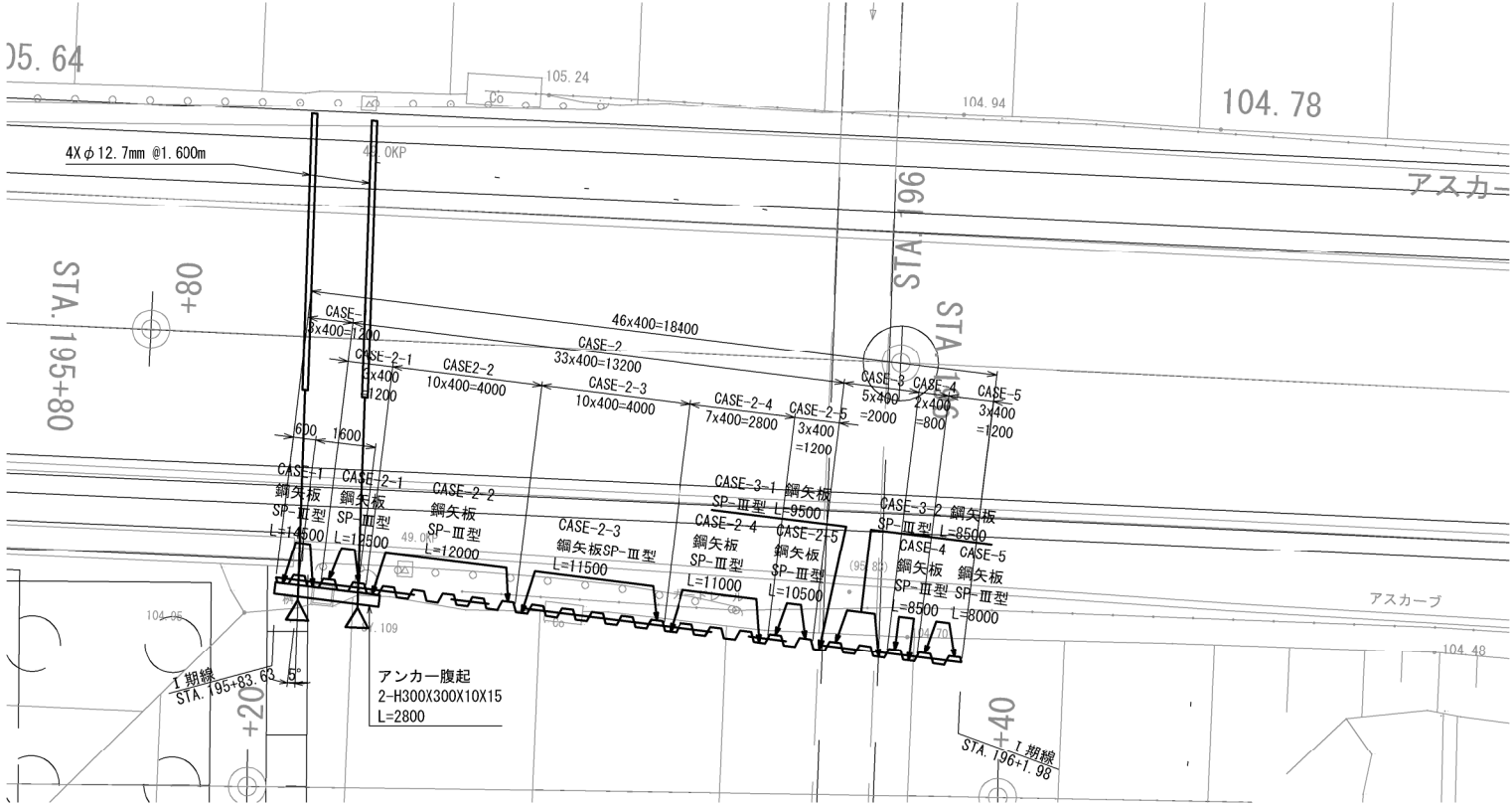
CASE	段目	打設レベル	腹起サイズ	ピッチ (m)	自由長(m)	定着長(m)	余長(m)	全長(m)	角度(°)	設計荷重(kN)	本数(本)	種類
CASE-1	1	+104.000	2H-300	1.60	16.50	9.50	1.75	27.75	30	209.64	1	K5-4
CASE-2	1	+104.000	2H-300	1.60	16.50	9.50	1.75	27.75	30	210.72	8	K5-4
CASE-3	1	+104.000	2H-300	1.60	16.50	8.00	1.75	26.25	30	188.17	1	K5-4
CASE-4	1	+104.000	2H-300	1.60	16.50	4.00	1.75	22.25	30	87.72	1	K5-4
CASE-1	2	+102.200	2H-300	1.60	13.00	5.00	1.75	19.75	30	119.45	1	K5-2
CASE-2	2	+102.200	2H-300	1.60	13.00	8.00	1.75	22.75	30	186.94	8	K5-4
CASE-3	2	+102.200	2H-300	1.60	13.00	5.00	1.75	19.75	30	117.58	1	K5-2
CASE-1	3	+100.400	2H-300	1.60	9.50	8.00	1.75	19.25	30	185.83	1	K5-4
CASE-2	3	+100.400	2H-300	1.60	9.50	7.50	1.75	18.75	30	173.01	8	K5-2
CASE-1	4	+ 98.600	2H-300	1.60	6.00	8.50	1.75	16.25	30	193.99	2	K5-4

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台土留工詳細図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

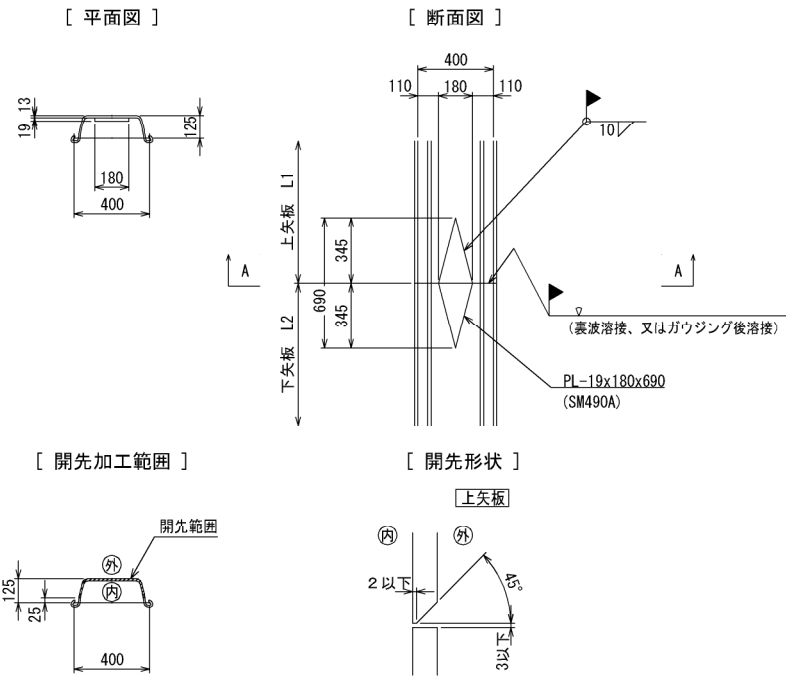
3段目 平面図 S=1:200



4段目 平面図 S=1:200

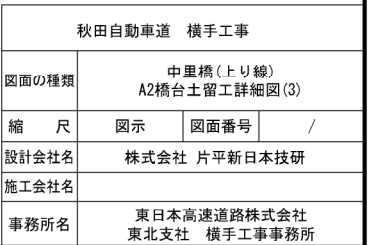


SP-Ⅲ型 継手詳細図 S=1:40

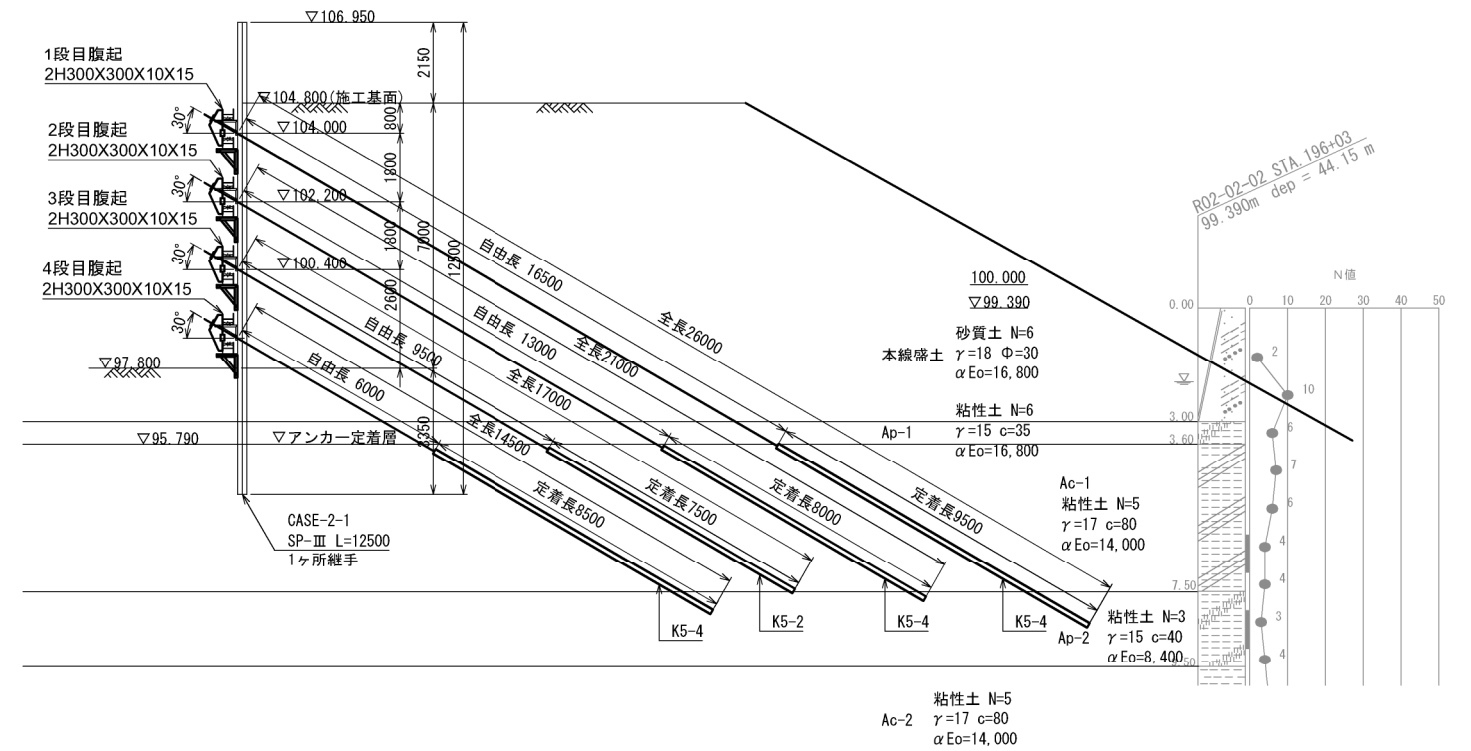


秋田自動車道 橋手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台土留工詳細図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 橋手工事事務所		





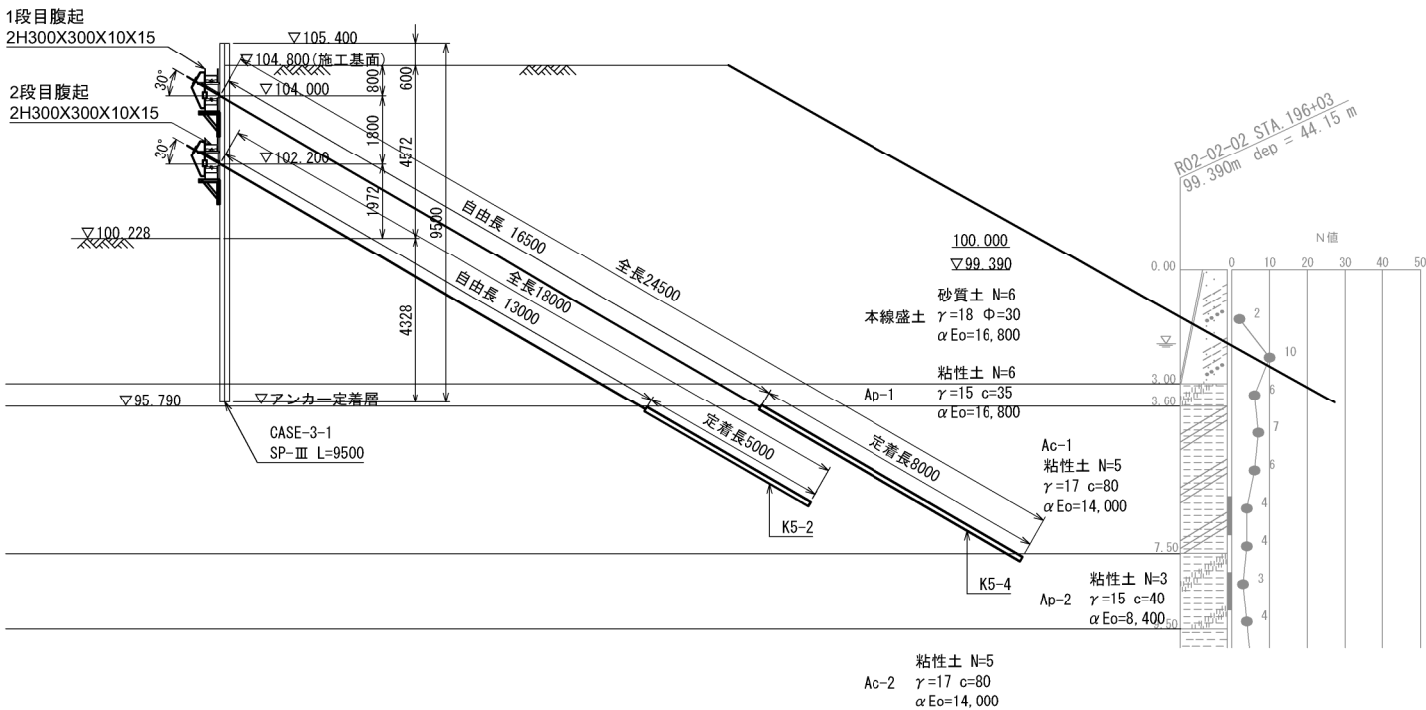
アンカー@1.60m/30度(水平角度 5°)  
アンカー体径  $\phi 146\text{mm}$



秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台土留工詳細図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

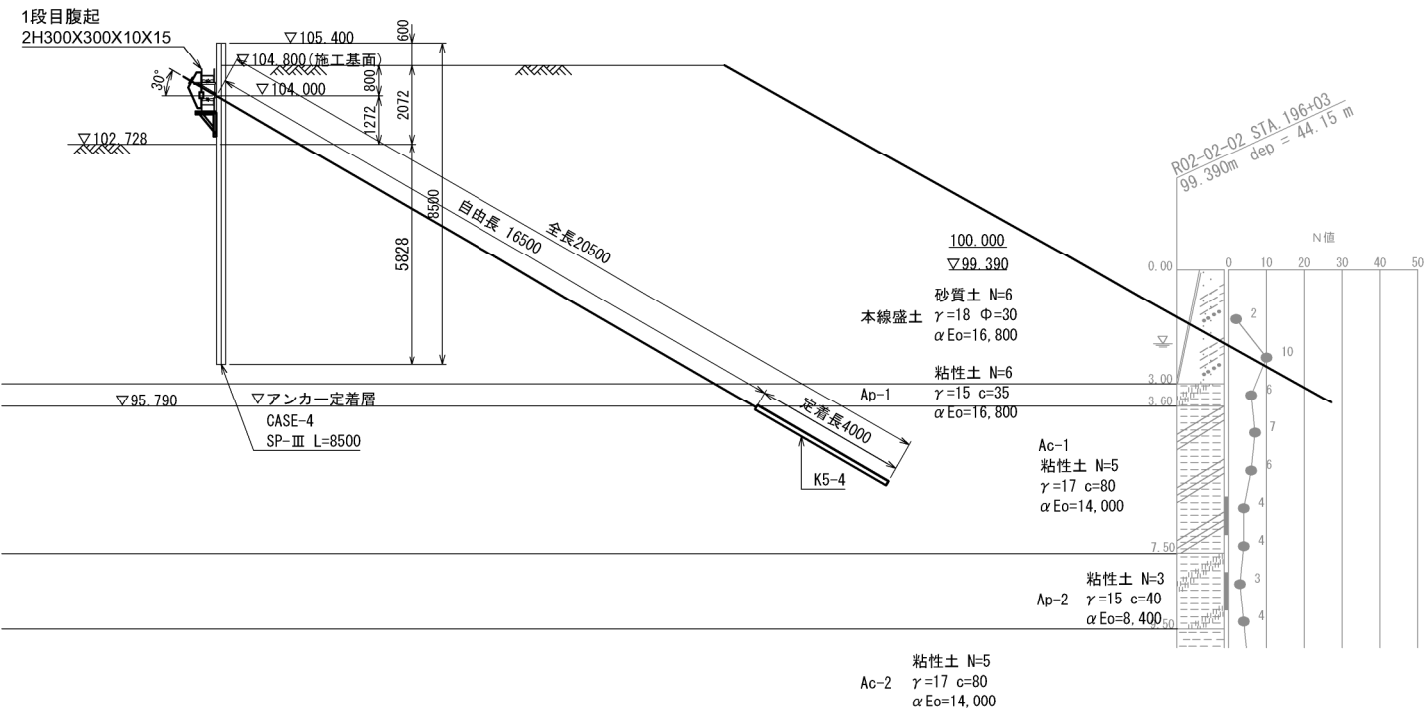
CASE-3 断面図 S=1:200

アンカー@1.60m/30度(水平角度 5° )  
アンカー体径 φ146mm



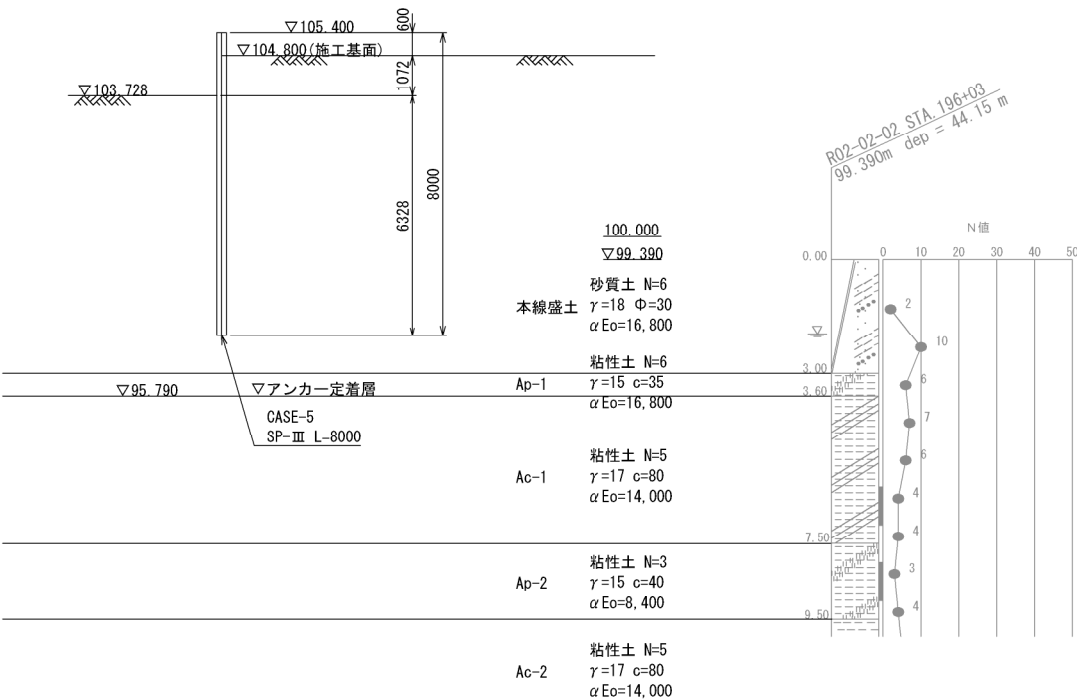
CASE-4 断面図 S=1:200

アンカー@1.60m/30度(水平角度 5° )  
アンカー体径 φ146mm



CASE-5 断面図 S=1:200

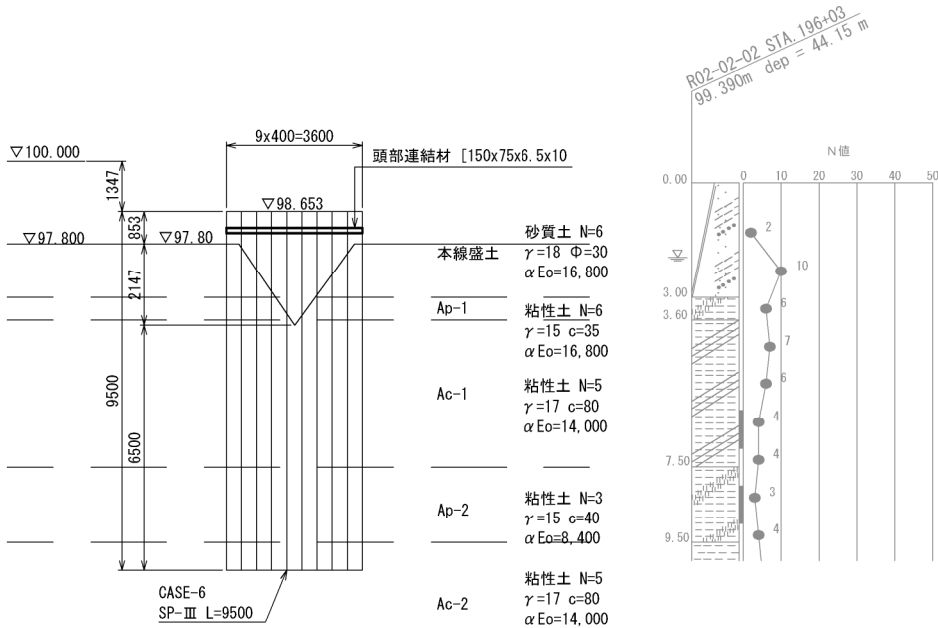
自立



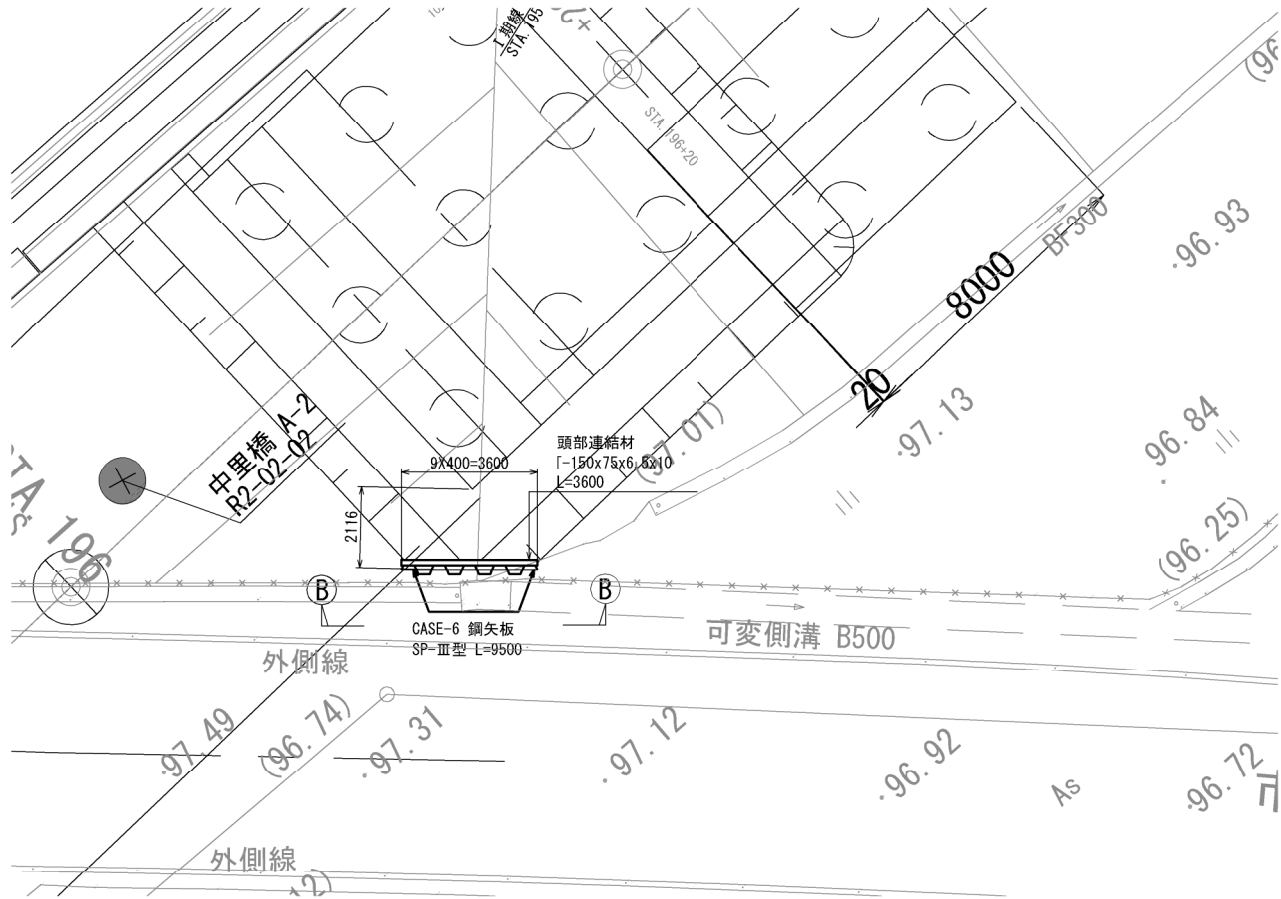
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台土留工詳細図(5)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



B-B 展開図 S=1:200



CASE-6 平面図 S=1:200



数量表

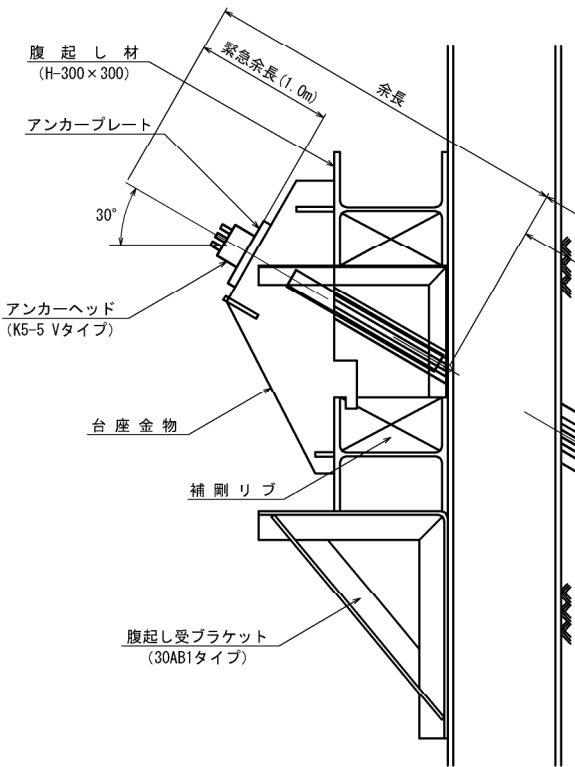
種 別	規格・寸法 (mm)	長さ (mm)	数量 (本、個)	単位重量 (kg/m、個)	1本当り質量 (kg)	重量 (kg)	備 考
鋼矢板	Ⅲ型	14500	3	60.00	870.00	2610	SY295 (1箇所継手)
"	Ⅲ型	12500	3	60.00	750.00	2250	SY295 (1箇所継手)
"	Ⅲ型	12000	10	60.00	720.00	7200	SY295
"	Ⅲ型	11500	10	60.00	690.00	6900	SY295
"	Ⅲ型	11000	7	60.00	660.00	4620	SY295
"	Ⅲ型	10500	3	60.00	630.00	1890	SY295
"	Ⅲ型	9500	1	60.00	570.00	570	SY295
"	Ⅲ型	8500	4	60.00	510.00	2040	SY295
"	Ⅲ型	8500	2	60.00	510.00	1020	SY295
"	Ⅲ型	8000	3	60.00	480.00	1440	SY295
"	Ⅲ型	9500	9	60.00	570.00	5130	SY295 (リース材)
鋼矢板合計						35670	kg
鋼矢板継手部材	PL-19×180×690	2000	6		9.26	56	SM490A
鋼矢板継手部材合計						56	kg
腹起し	H-300×300×10×15	17200	2	100.00	1720.00	3440	SS400 (リース材)
"	"	15600	2	100.00	1560.00	3120	"
"	"	14300	2	100.00	1430.00	2860	"
"	"	2800	2	100.00	280.00	560	"
カバープレート	PL-12×300×600	—	8	—	17.00	136	SS400 (リース材)
"	"	—	8	—	17.00	136	"
"	"	—	8	—	17.00	136	"
主部材合計						10388	kg
消耗部材	主部材×0.04				10388 × 0.04 =	416	kg
頭部連結材	[-150×75×6.5×10	1200	1	18.60	22.32	22	SM490A (リース材)
"	[-150×75×6.5×10	3600	1	18.60	66.96	67	SM490A (リース材)
頭部連結材合計						89	kg
台座金物	K5-4 H300-30° 用	—	22	—	38.50	847	SS400 (全損材)
"	K5-2 H300-30° 用	—	10	—	31.90	319	"
下段ブラケット	(L-75×75×9)	1800	64	9.96	17.93	1147	"
腹起し補剛リブ	PL-145× 9	270	64	10.24	2.76	177	"
アンカー部材合計						2490	kg
鋼矢板撤去工	CASE-1 (Ⅲ型)	3700	3	60.00		666	3.700m
"	CASE-2-1 (Ⅲ型)	3600	3	60.00		648	3.650m~3.550m
"	CASE-2-2 (Ⅲ型)	3275	10	60.00		1965	2.254m~1.804m
"	CASE-2-3 (Ⅲ型)	2775	10	60.00		1665	1.754m~1.304m
"	CASE-2-4 (Ⅲ型)	2350	7	60.00		987	1.304m
"	CASE-2-5 (Ⅲ型)	2117	3	60.00		381	1.304m
"	CASE-3-1 (Ⅲ型)	2100	1	60.00		126	1.304m
"	CASE-3-2 (Ⅲ型)	2100	4	60.00		504	1.754m~1.304m
"	CASE-4 (Ⅲ型)	2100	2	60.00		252	1.304m
"	CASE-5 (Ⅲ型)	2100	3	60.00		378	1.304m
ガス切断箇所合計						46	スクラップ合計 7572 kg

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台土留工詳細図(6)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

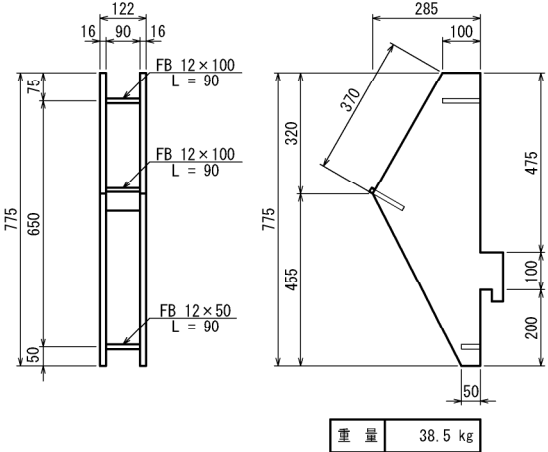
1段目 (CASE-1, CASE-2, CASE-3, CASE-4) 2段目 (CASE-2) 3段目 (CASE-1) 4段目 (CASE-1)

除去アンカー詳細図 S=1:20

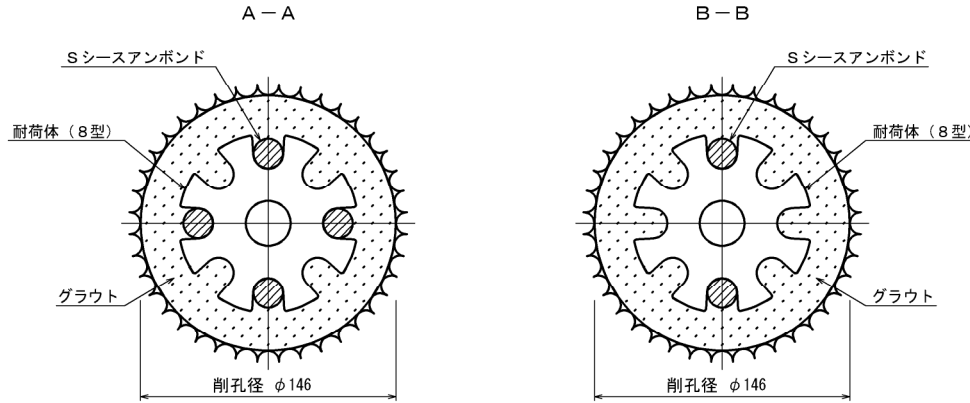
(K5-4打設角30° 腹起し材 : H-300×300)



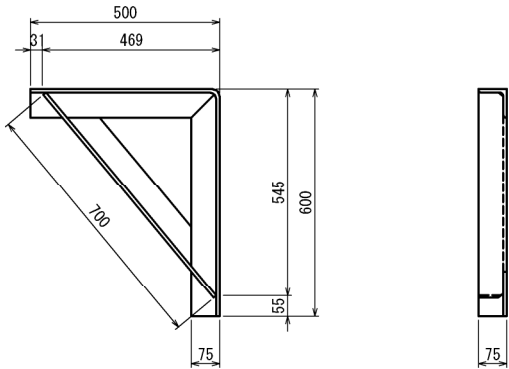
鋼製台座 S=1:20  
DK5-30-300



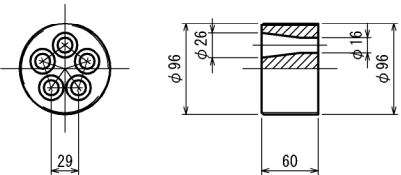
断面図 S=1:4



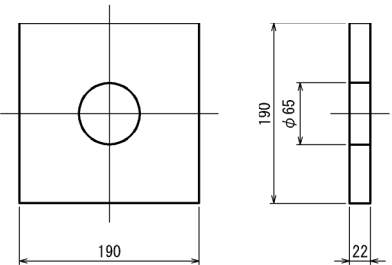
腹起し受ブラケット S=1:20  
30AB1タイプ



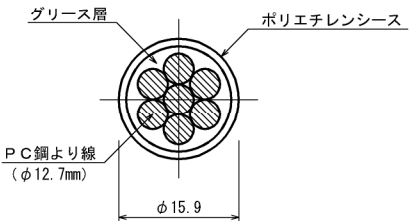
アンカーヘッド S=1:8  
(K5-5 Vタイプ)



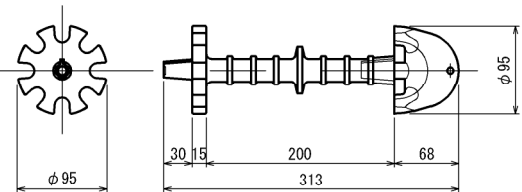
アンカープレート S=1:8



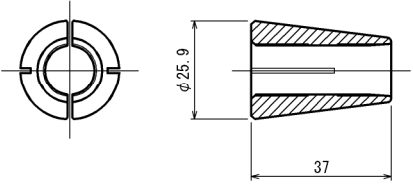
Sシースアンボンド S=1:1



耐荷体 S=1:8



クサビ S=1:2  
(12.7mm用)

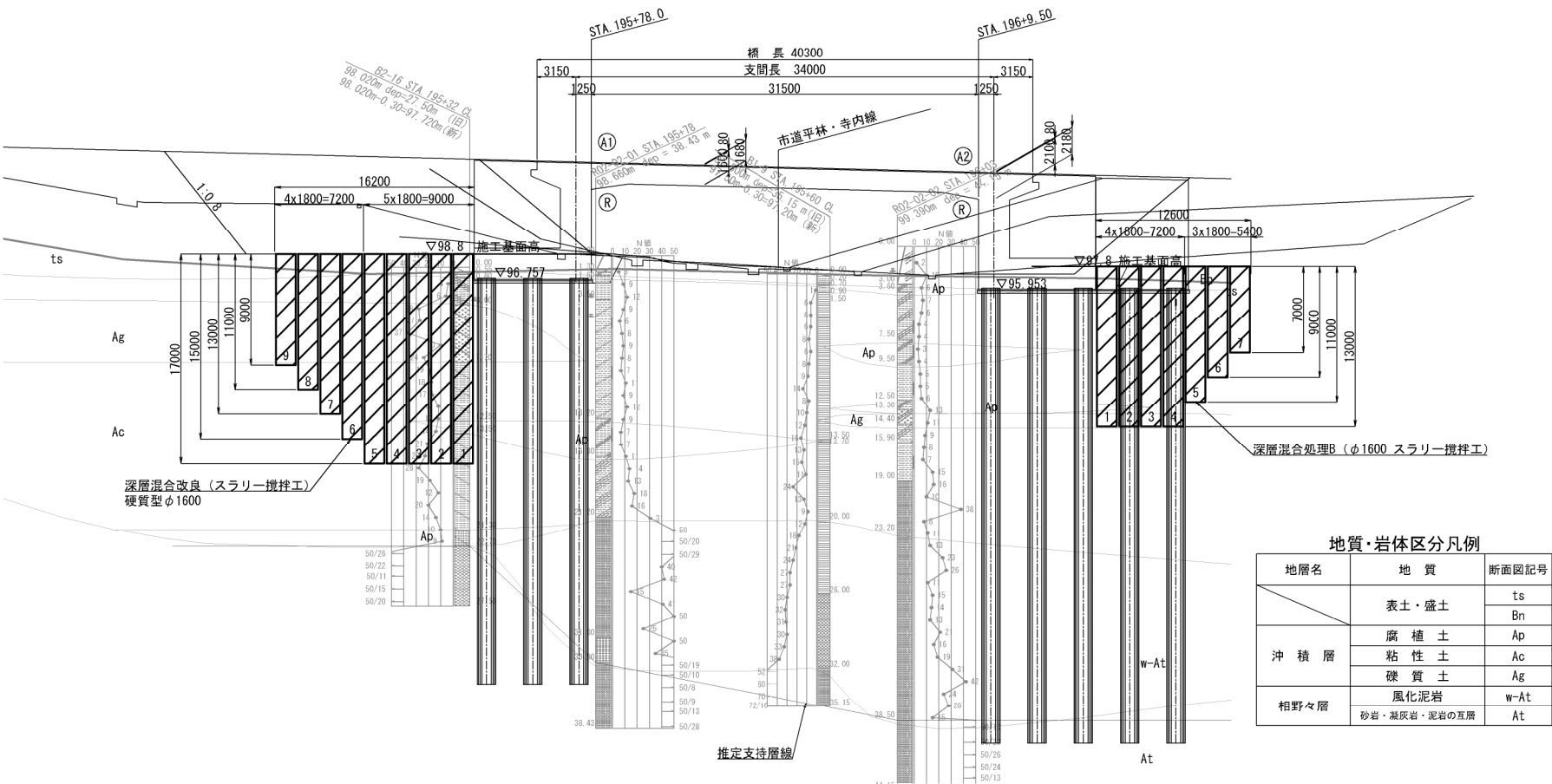


秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線)		
	A2橋台除去式アンカー土留工詳細図(1)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

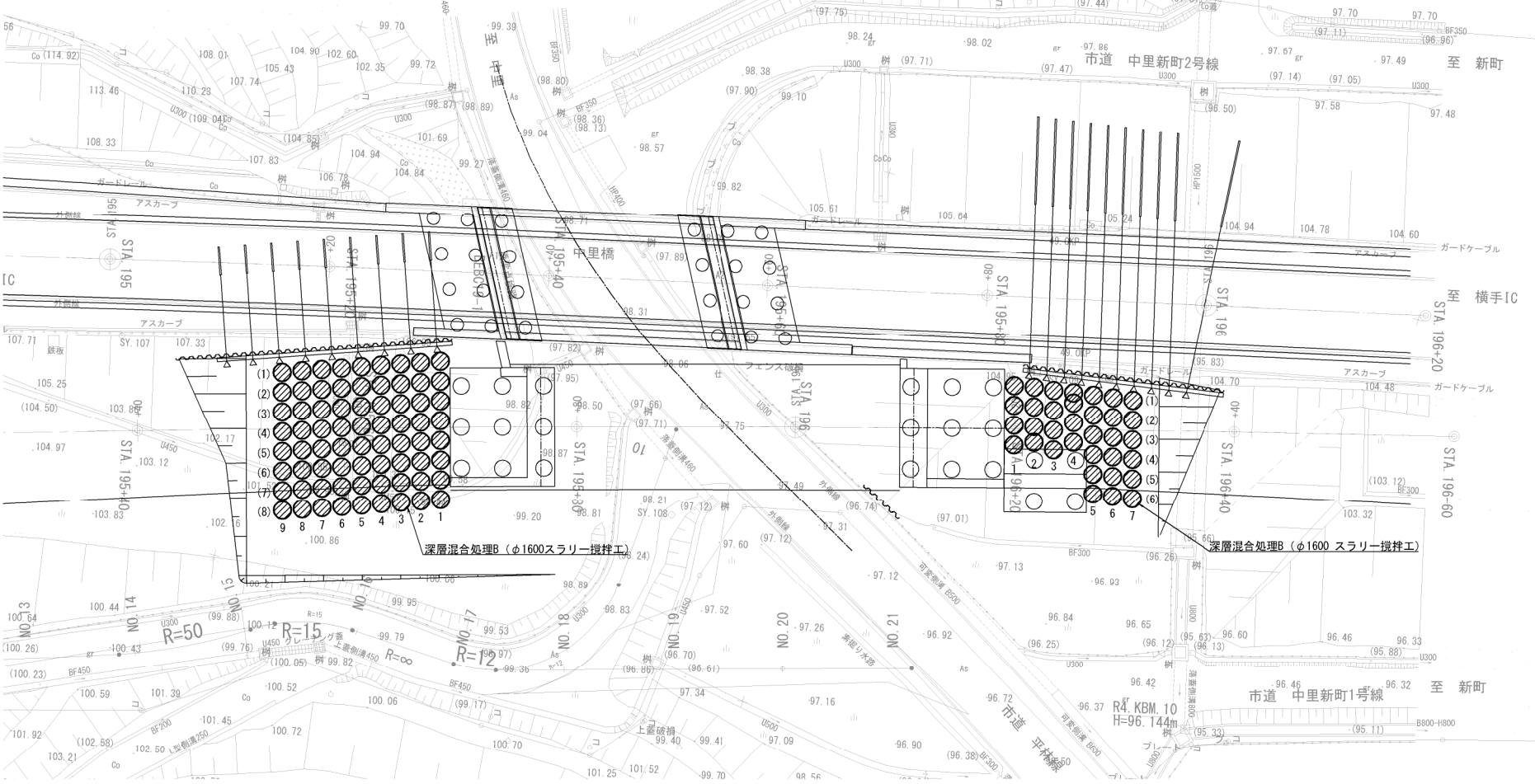




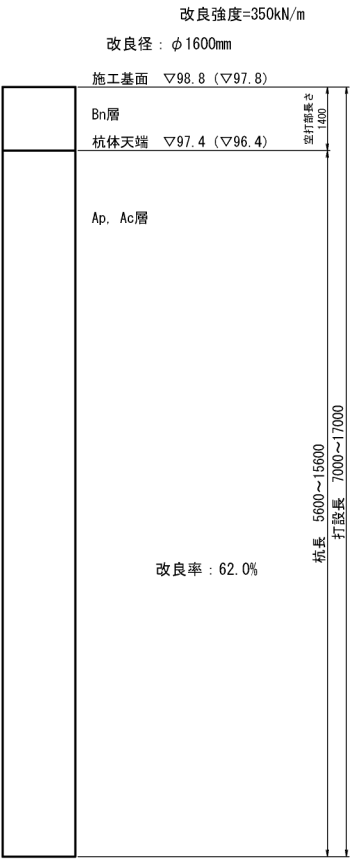
側 面 図



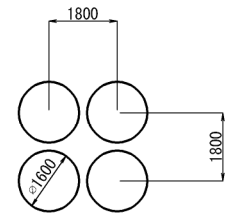
平 面 図



標準断面図 S=1:150



標準配置図 S=1:200



地質・岩体区分凡例		
地層名	地 質	断面図記号
沖 積 層	表土・盛土	ts
	腐 植 土	Bn
	粘 性 土	Ap
	礫 質 土	Ac
相野々層	風化泥岩	Ag
	砂岩・凝灰岩・泥岩の互層	w-At
		At

A1橋台側数量表

番号	杭径	本数(本)	打設長(m/本)	打設長(m/列)	杭長(m/本)	杭長(m/列)	改良土量(m³/本)	改良土量(m³/列)	セメント量(t/本)	セメント量(t/列)
1	φ1600	8	17.0	136.0	15.6	124.8	31.4	251.2	6.3	50.4
2	φ1600	8	17.0	136.0	15.6	124.8	31.4	251.2	6.3	50.4
3	φ1600	8	17.0	136.0	15.6	124.8	31.4	251.2	6.3	50.4
4	φ1600	8	17.0	136.0	15.6	124.8	31.4	251.2	6.3	50.4
5	φ1600	8	17.0	136.0	15.6	124.8	31.4	251.2	6.3	50.4
6	φ1600	8	15.0	120.0	13.6	108.8	27.3	218.4	5.5	44.0
7	φ1600	8	13.0	104.0	11.6	92.8	23.3	186.4	4.7	37.6
8	φ1600	8	11.0	88.0	9.6	76.8	19.3	154.4	3.9	31.2
9	φ1600	8	9.0	72.0	7.6	60.8	15.3	122.4	3.1	24.8
合 計		72	-	1064.0	-	963.2		1935.6		387.1

A1橋台側 隅角部座標

番号	1	9	1
(1)	X -79717.687 Y -23151.511	X -79722.504 Y -23165.118	
(8)	X -79705.554 Y -23154.909	X -79710.371 Y -23168.516	

軟弱地盤改良工 数量表

項目	種別	単位	数量	摘要
軟弱地盤改良工	深層混合処理B	m³	1,935.6	647.9 2,583.5
	改良材 A	t	387.1	129.6 516.7

A2橋台側数量表

番号	杭径	本数(本)	打設長(m/本)	打設長(m/列)	杭長(m/本)	杭長(m/列)	改良土量(m³/本)	改良土量(m³/列)	セメント量(t/本)	セメント量(t/列)
1	φ1600	4	13.0	52.0	11.6	46.4	23.3	93.2	4.7	18.8
2	φ1600	4	13.0	52.0	11.6	46.4	23.3	93.2	4.7	18.8
3	φ1600	4	13.0	52.0	11.6	46.4	23.3	93.2	4.7	18.8
4	φ1600	4	13.0	52.0	11.6	46.4	23.3	93.2	4.7	18.8
5	φ1600	6	11.0	66.0	9.6	57.6	19.3	115.3	3.9	23.4
6	φ1600	6	9.0	54.0	7.6	45.6	15.3	91.8	3.1	18.6
7	φ1600	6	7.0	42.0	5.6	33.6	11.3	67.8	2.3	13.8
合 計		34	-	370.0	-	322.4		647.9		129.6

A2橋台側 隅角部座標

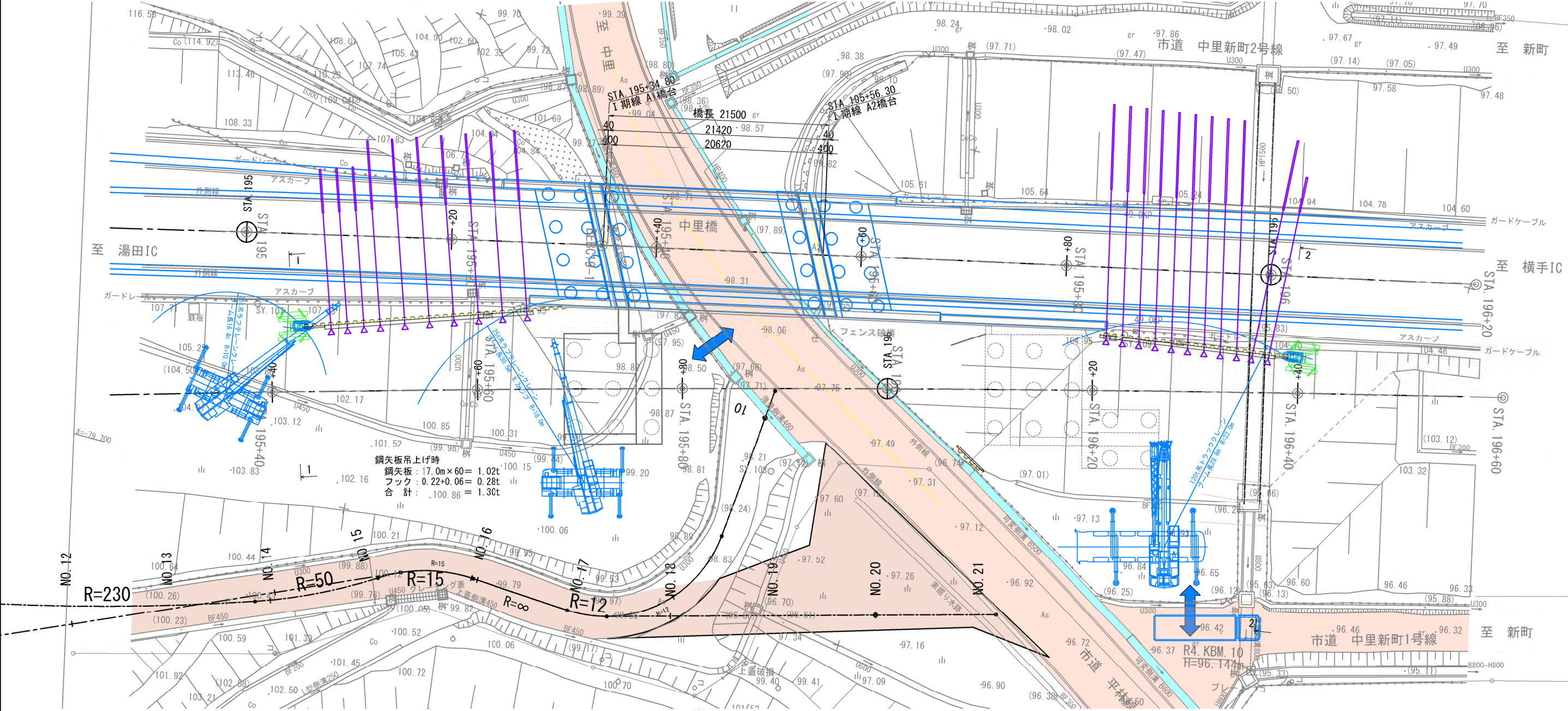
番号	1	4	5	7
(1)	X -79734.362 Y -23216.147	X -79735.165 Y -23221.523	X -79735.434 Y -23223.321	X -79735.967 Y -23226.899
(4)	X -79729.149 Y -23217.554	X -79730.822 Y -23222.702	X -79730.221 Y -23224.729	X -79730.754 Y -23228.307
(6)	X - Y -	X - Y -	X -79726.745 Y -23225.668	X -79727.279 Y -23229.246

秋田自動車道 横手工事

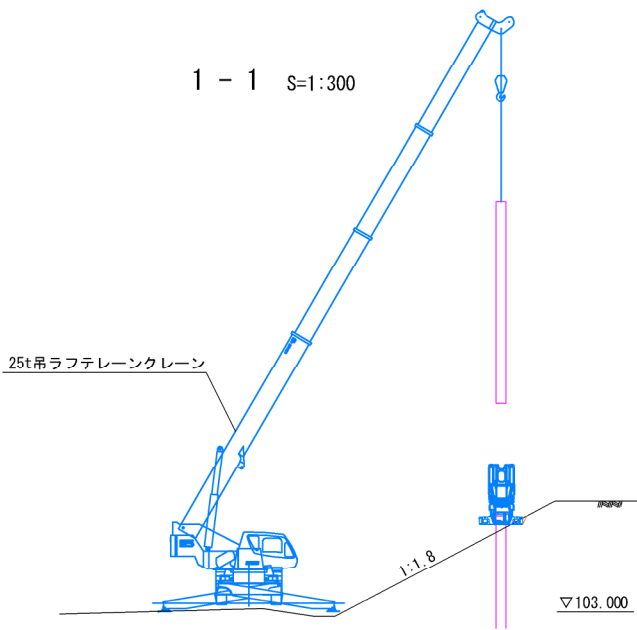
図面の種類	中里橋(上り線) 地盤改良工配置図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

鋼矢板および構造物掘削 施工時

平面図

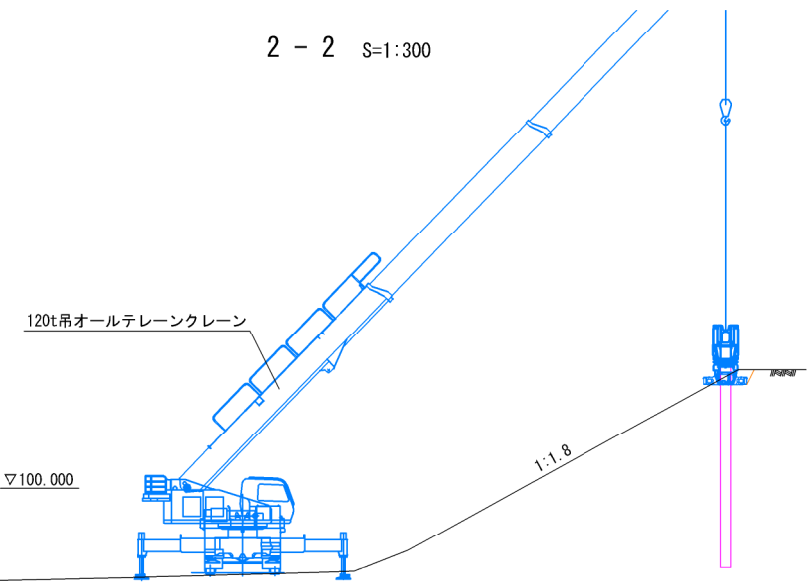


1 - 1 S=1:300



圧入機設置時  
圧入機 : 6.62t  
架台 : 1.30t  
フック : 0.30t  
合計 : 8.22t

2 - 2 S=1:300

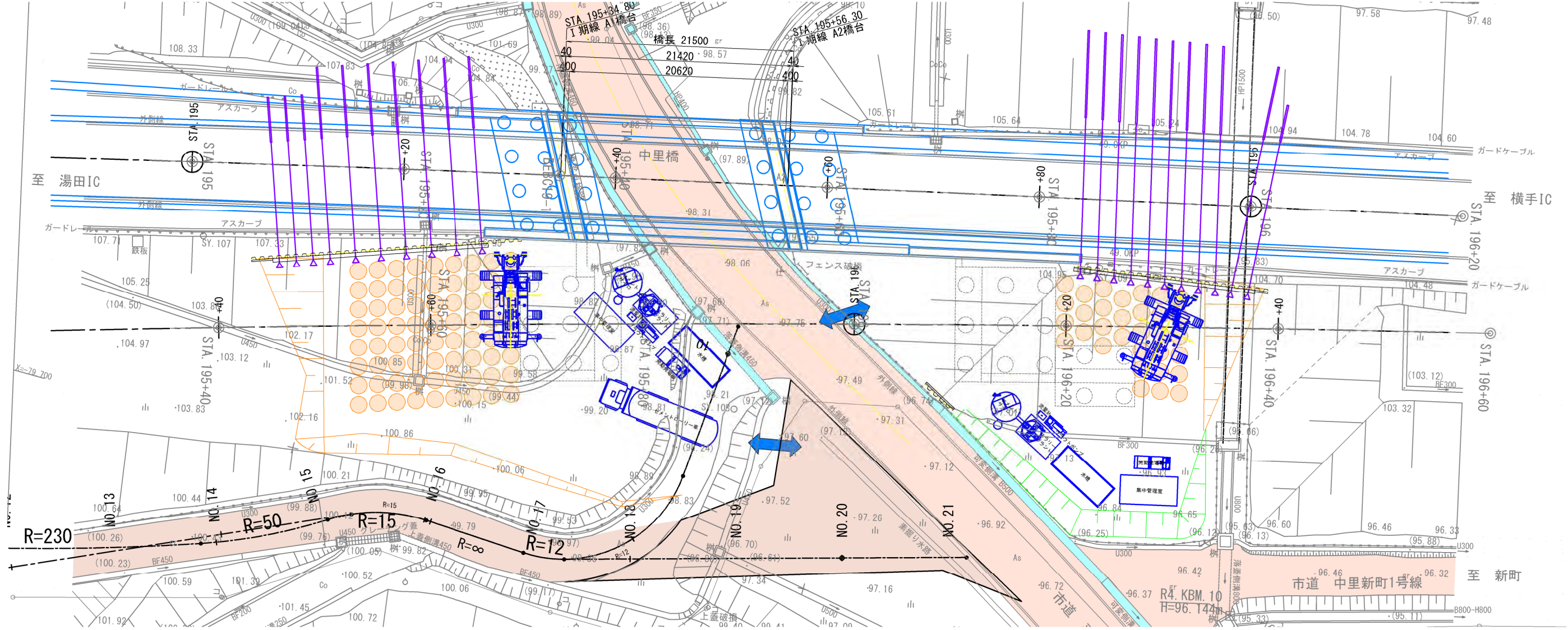


圧入機設置時  
圧入機 : 5.40t  
架台 : 1.30t  
フック : 0.25t  
合計 : 6.95t

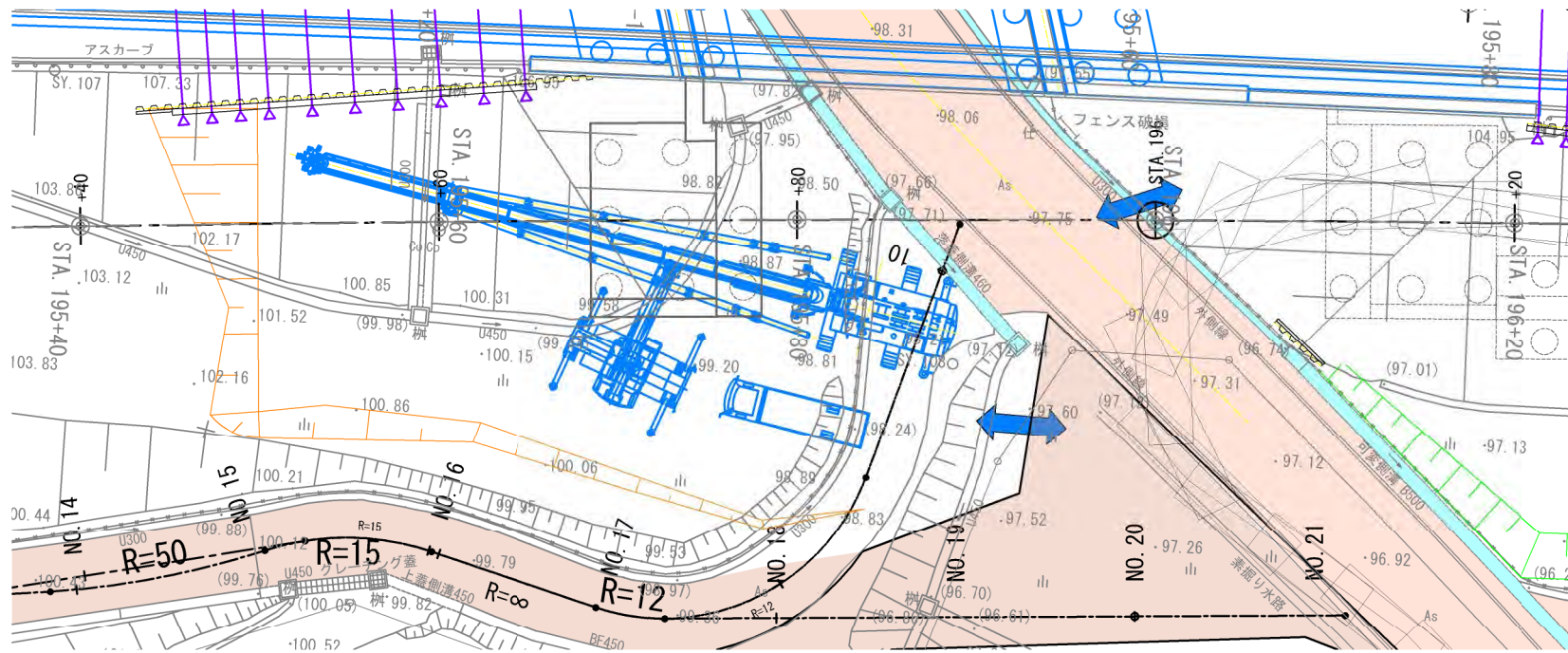
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 下部工施工計画図(1) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



深層混合改良 施工時  
平面図



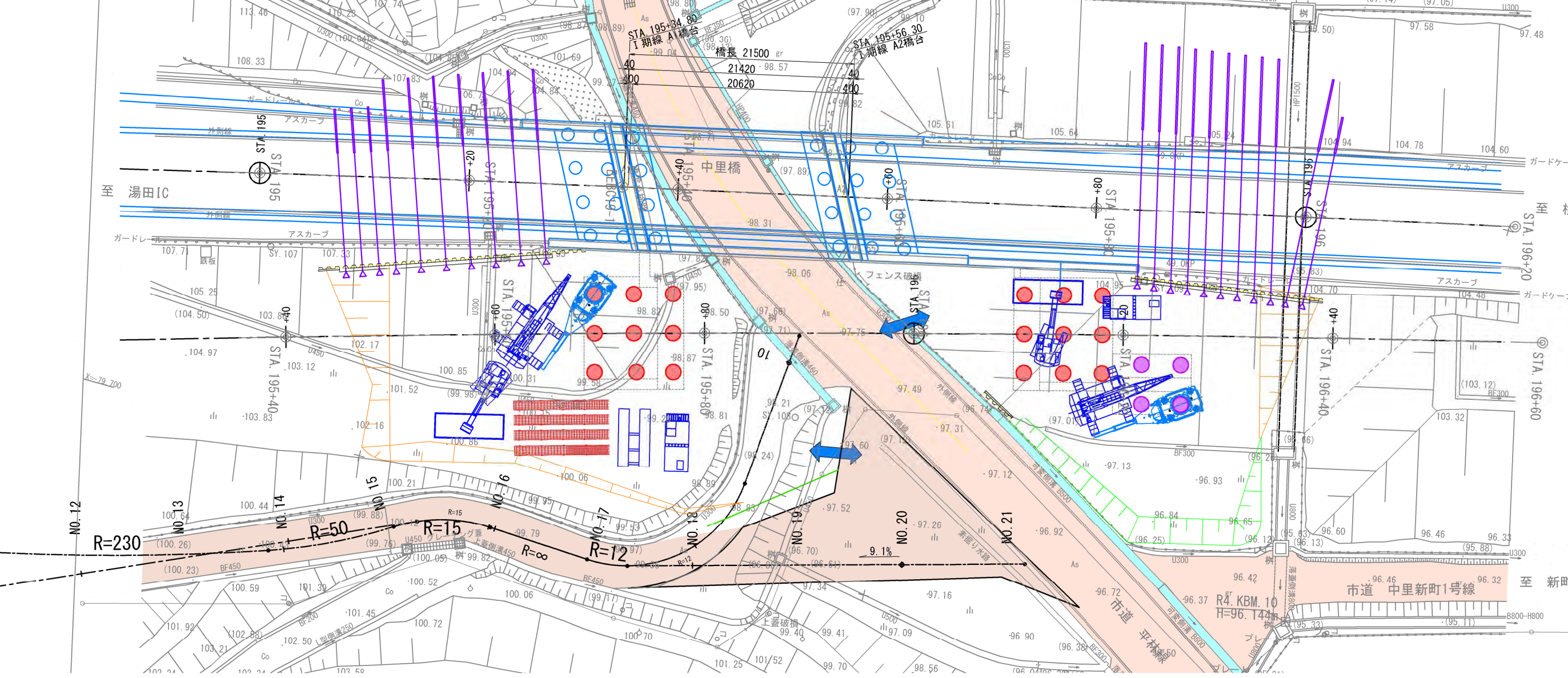
深層混合改良用杭打ち機 組立・解体ヤード



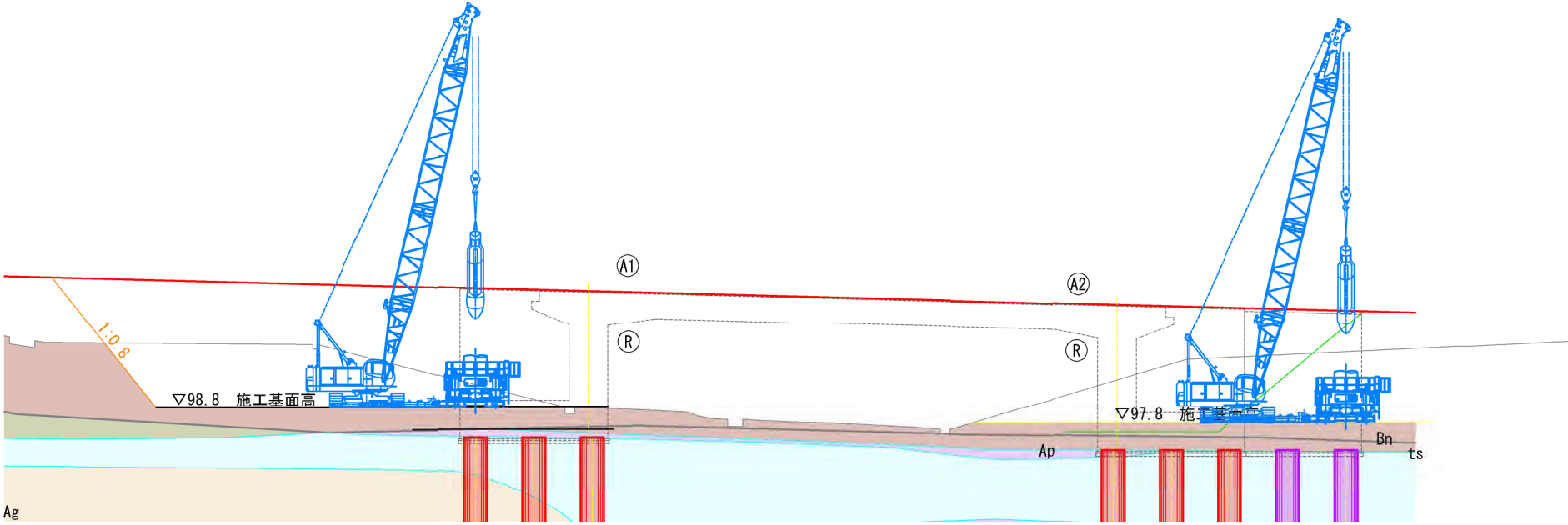
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 下部工施工計画図(2) (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



場所打ち杭 施工時  
平面図



側面図

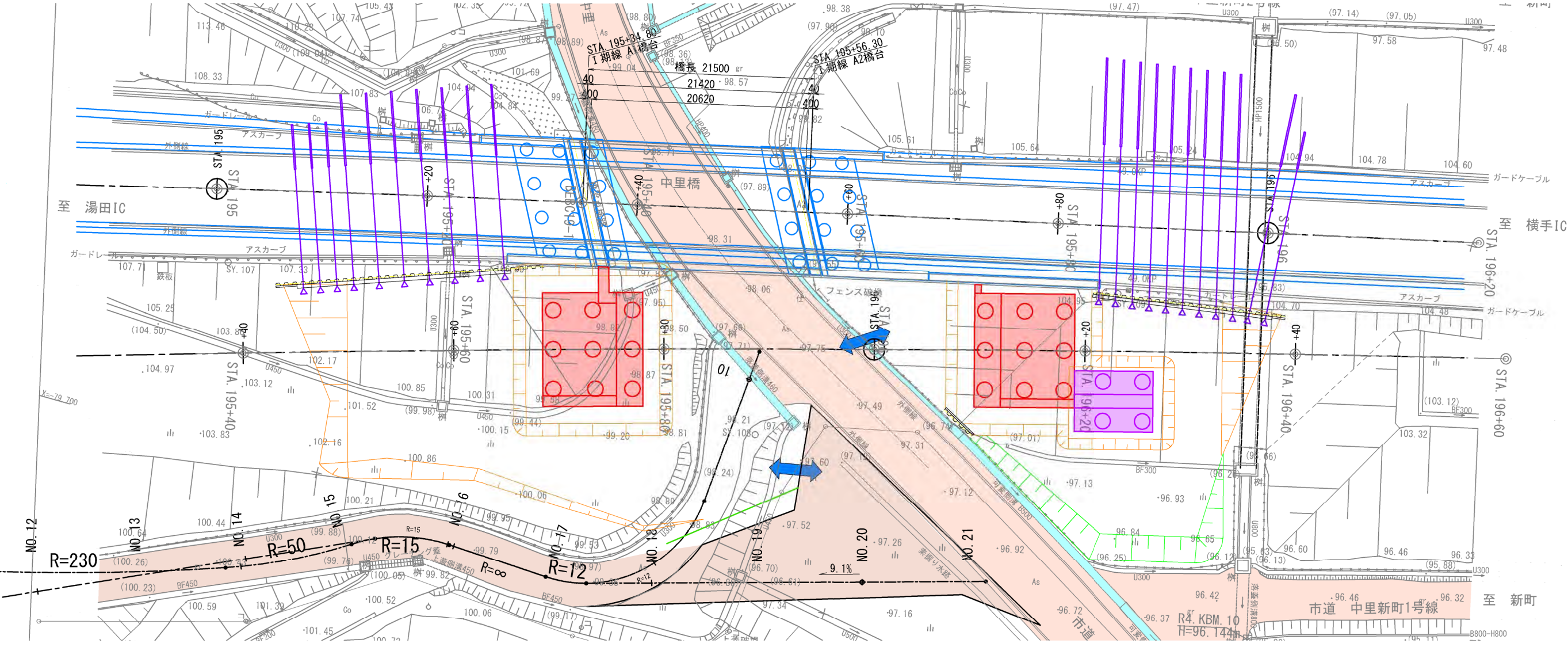


秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線)		
	下部工施工計画図(3)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	東北支社 横手工事事務所		



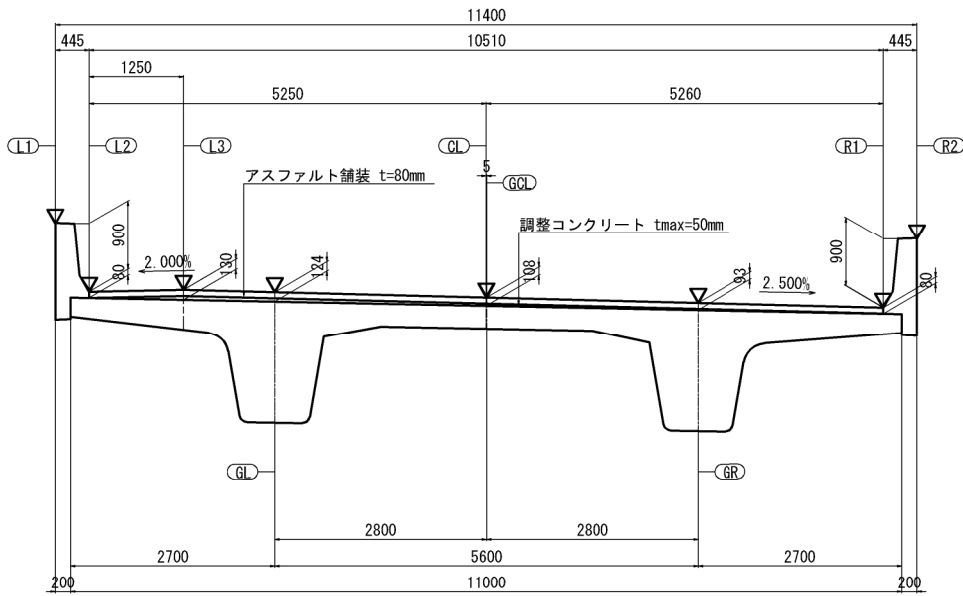
躯体 施工時

平 面 図 (フーチング掘削施工範囲)

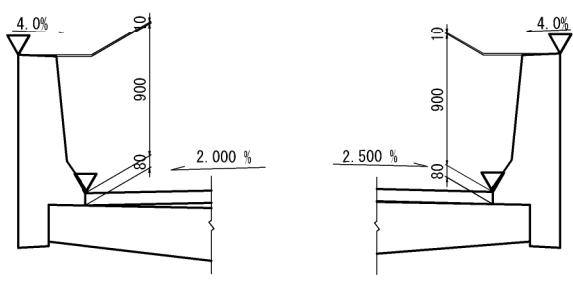




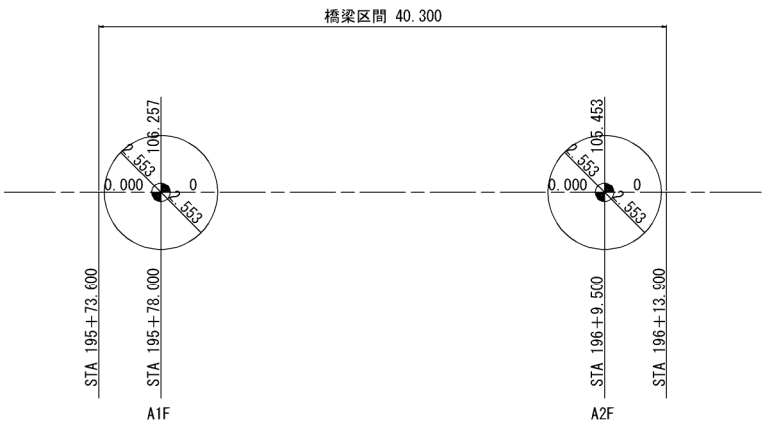
標準断面図 S=1 : 100



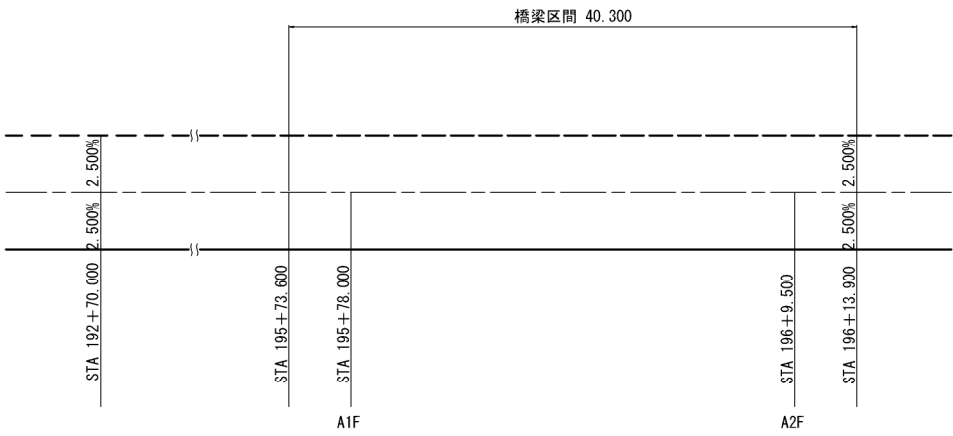
壁高欄詳細拡大図 S=1 : 50



縦断線形



横断線形



ピア設定方法



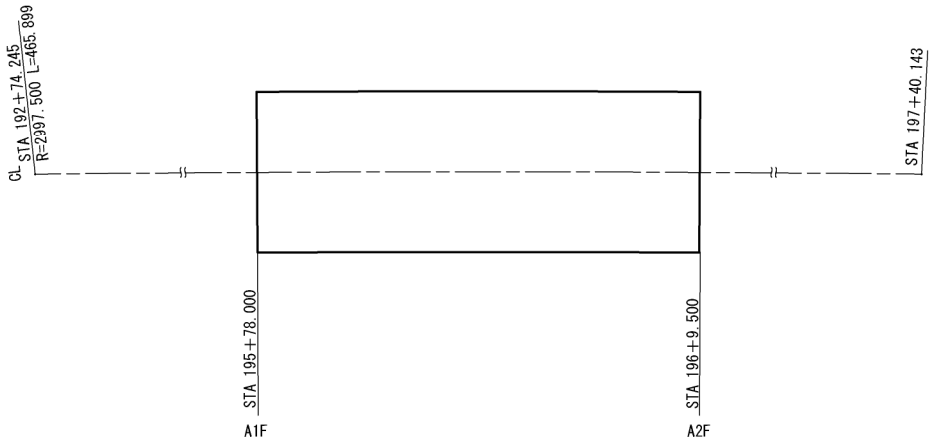
※ A1F・A2Fの下部工の設置方向はCLに対して90°とする。

小座標の決定



※ A1F・A2Fと道路中心CLラインの交点を結んだ直線をX軸とし、それと直行する直線をY軸とする。  
また、原点 (0, 0) はA1FとCLの交点とする。

平面線形

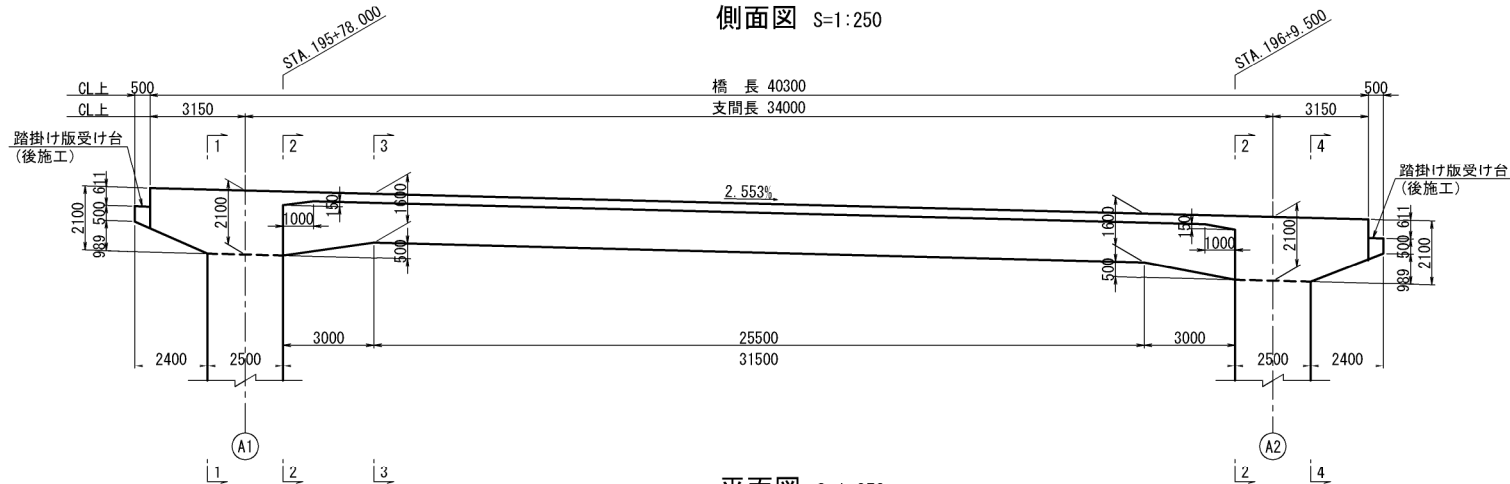


主要点座標及び座標系			
測点	X座標	Y座標	要素
192+74.245	-79622.8886	-22888.9202	R= 2997.500
197+40.143	-79759.0565	-23333.9855	

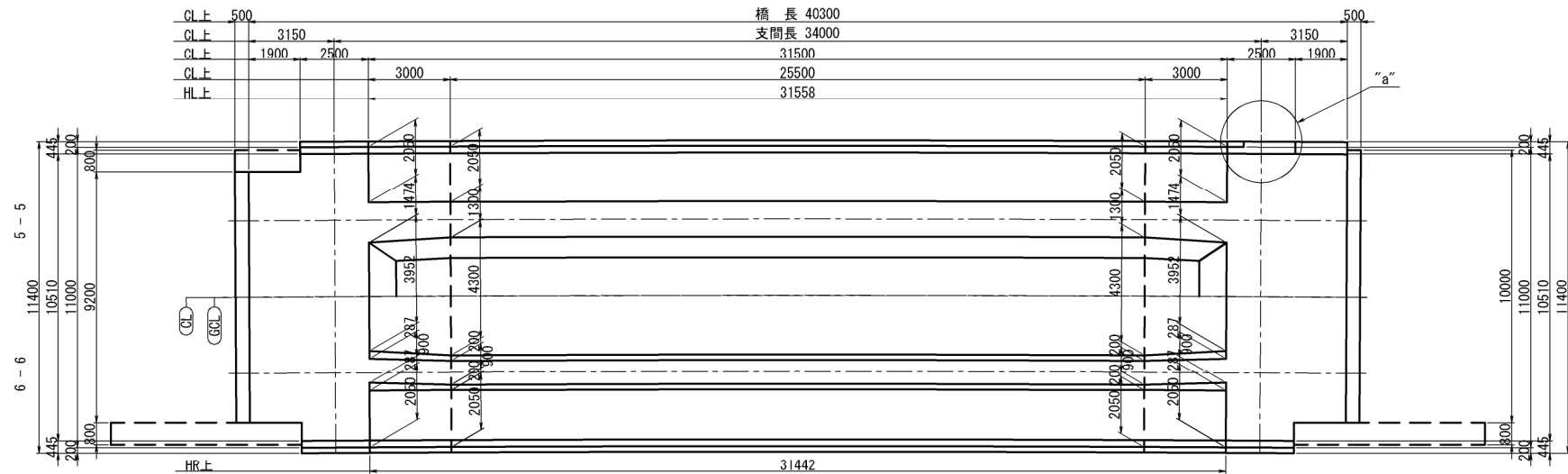
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 上部工線形図(2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



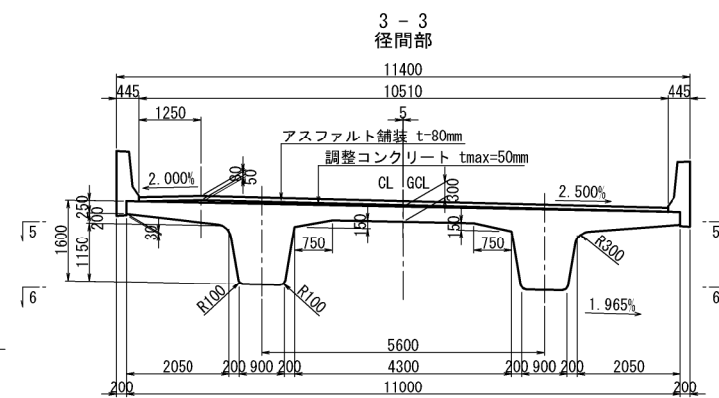
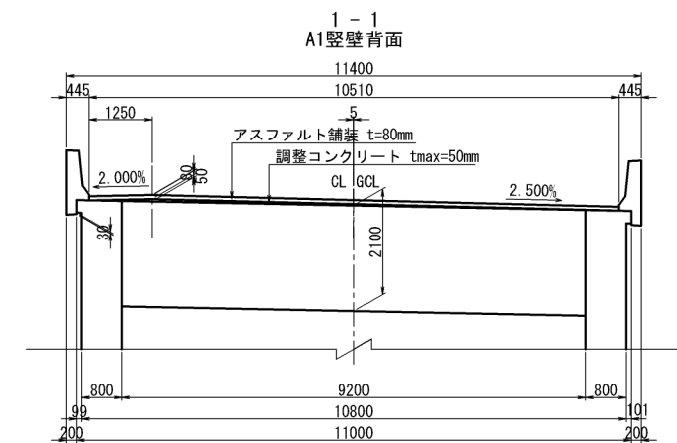
中里橋(上り線) 上部工構造一般図  
側面図 S=1:250



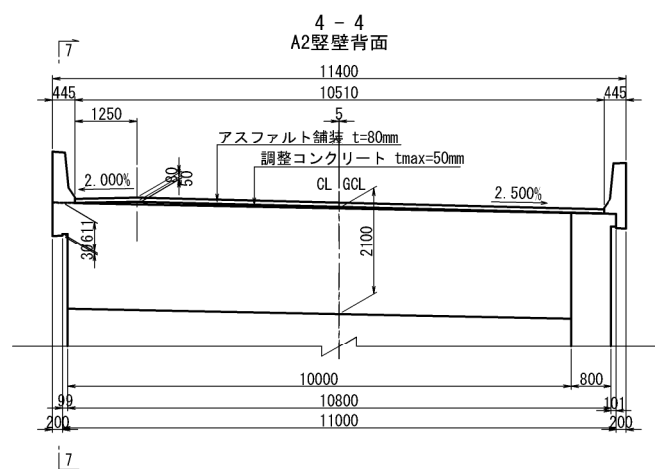
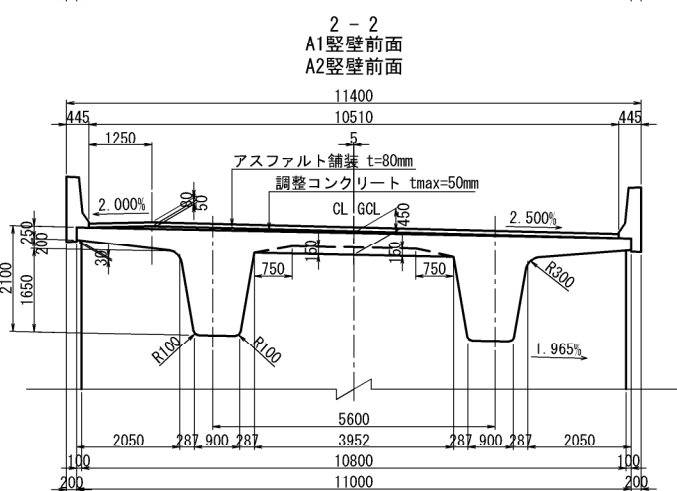
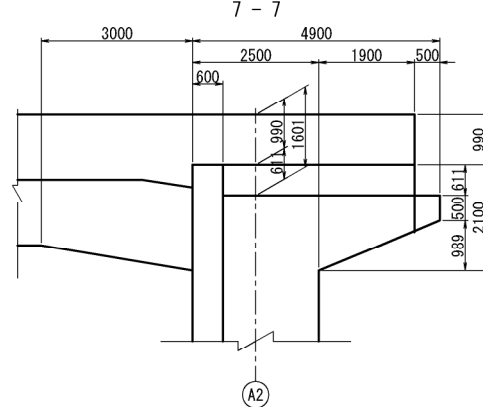
平面図 S=1:250



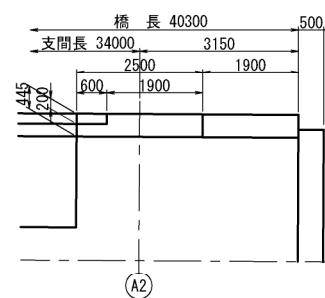
断面図 S=1:150



側面詳細図 S=1:150



“a”部詳細図 S=1:150



設計条件

橋 梁 名	中里橋
種 別	プレストレスコンクリート道路橋
形 式	PCポータルラーメン2主版桁橋
架 設 工 法	支保工を用いた一括施工
橋 長	40.300m
桁 長	31.500m
支 間	34.000m
幅 員 構 成	0.445m + 10.510m + 0.445m = 11.400m
設 計 荷 重	B 活荷重
死 荷 重	舗 装 : アスファルト舗装 t = 80 mm
	地覆・高欄 : フロリダ型(SB種)
	遮音壁 : H = 3.000 m , W = 1.45 kN/m
衝 撃 係 数	i = 10/(25+L) : L荷重 , i = 20/(50+L) : T荷重
横 断 勾 配	i = 2.000 % 2.500%
縦 断 勾 配	i = 2.553 %
半 面 線 形	R = 2997.5m
斜 角	90° 00' 00

材料強度及び許容応力度  
コンクリート

	主桁	床版	高欄・地覆
設計基準強度	36	36	30
設計基準強度(導入直後)	30	30	---
曲げモーメントによる制限値			
圧縮 応力度	施工時	20.4	21.4
	前提条件・耐久性(防食)	12.8	13.8
	限界状態1 耐荷性能	19.2	20.7
	耐久性(疲労)	12.8	13.8
引張 応力度	上縁 下縁	---	---
	施工時	-1.70	-1.70
	前提条件・耐久性(防食)	0.00	0.00
	限界状態1 耐荷性能	-2.50	-2.50
付着応力度	耐久性(疲労)	0.00	-1.38
		1.92	1.92
せん断力による制限値			
斜 引 張 応 力 度	施工時(導入直後)	せん断又のみ	0.81
	前提条件	せん断又はねじり	0.92
	耐久性(防食)	せん断+ねじり	1.22
	限界状態1	せん断又はねじり	2.00
	耐荷性能	せん断+ねじり	2.50
	耐久性(疲労)	せん断又はねじり	1.88
		せん断+ねじり	2.38

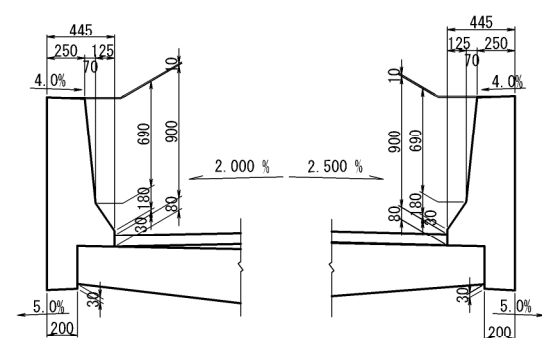
PC鋼材

鋼 材 種 別	主桁ケーブル 1S28.6(SWPR19L)	床版横締めケーブル 1S21.8(SWPR19L)
引 張 強 度	1780	1830
降伏点応力度	1510	1580
プレストレス中	1350	1420
プレストレス直後	1240	1280
耐久性(疲労)	1060	1090
	プレグラウト	プレグラウト

鉄筋

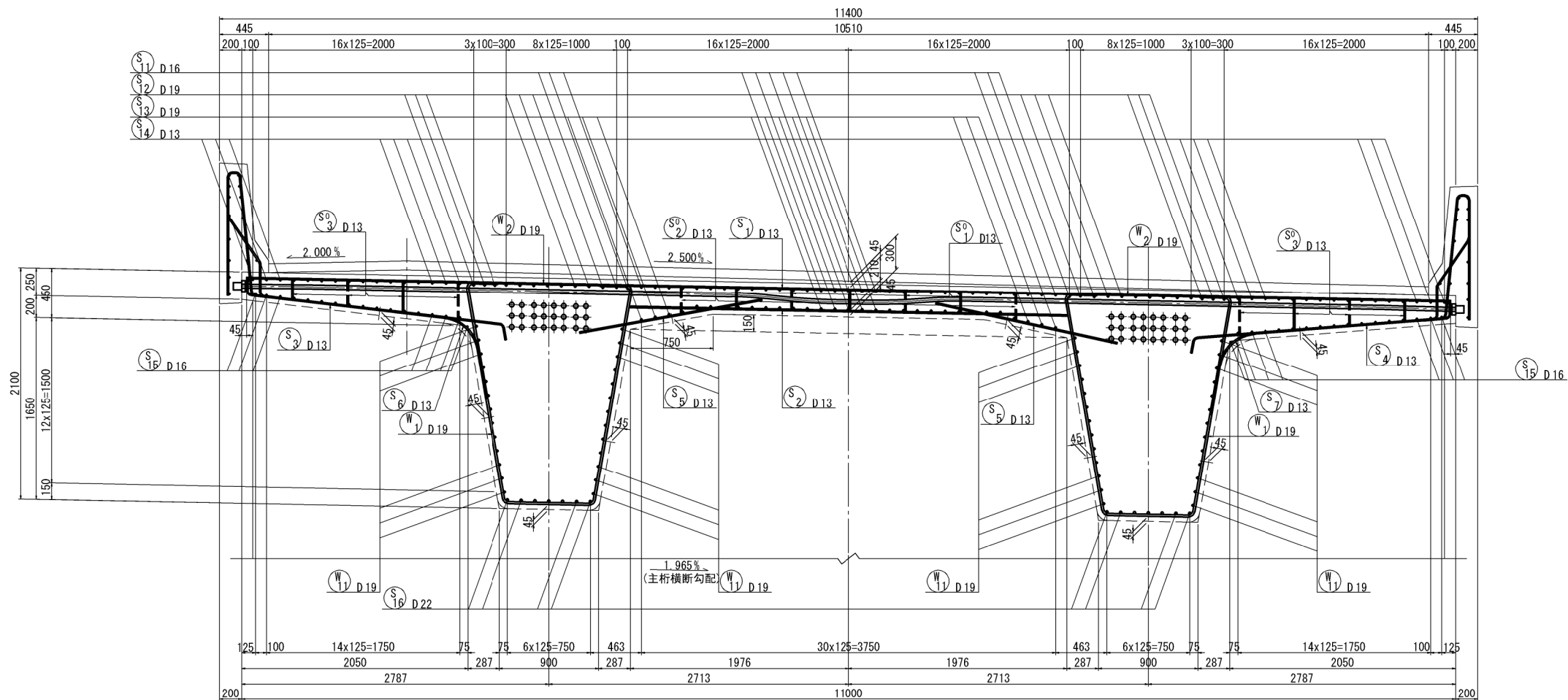
	(N/mm <sup>2</sup> )
降伏強度	345
引張強度	490
引張鉄筋に負担させる場合	210
耐久性(防食)	100
耐久性(疲労)	180
床版部・耐久性(疲労)	120
重ね継手又は定着長を算出場合	200

壁高欄詳細図 S=1:50

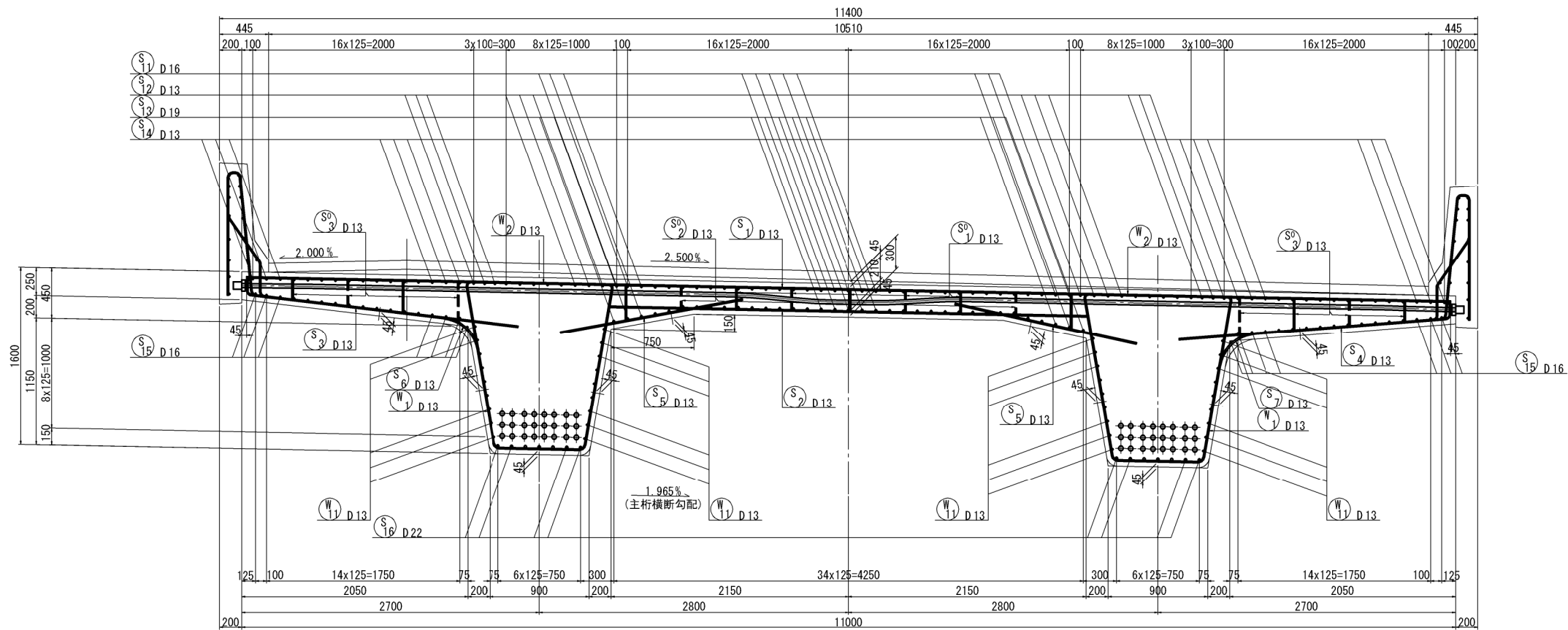


秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 上部工構造一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

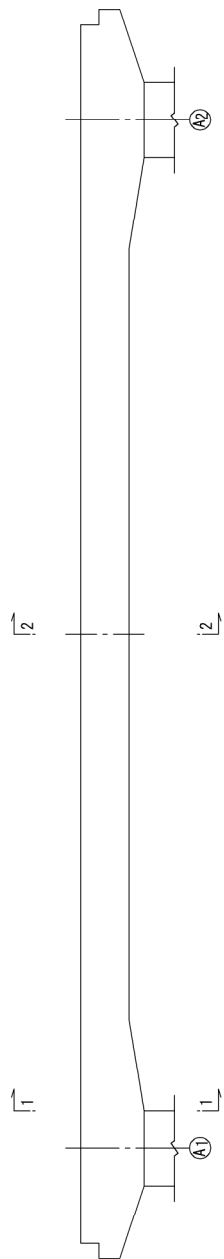
1 - 1



2 - 2



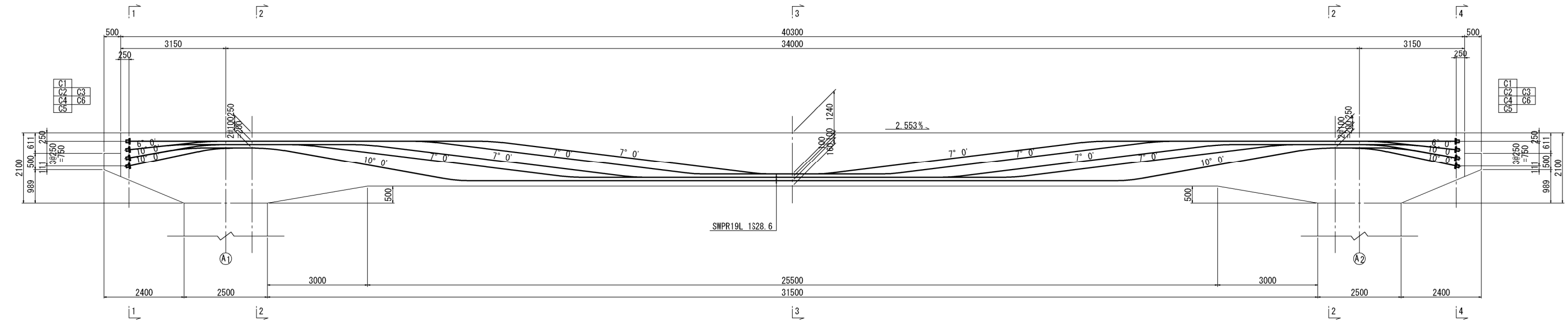
位置図



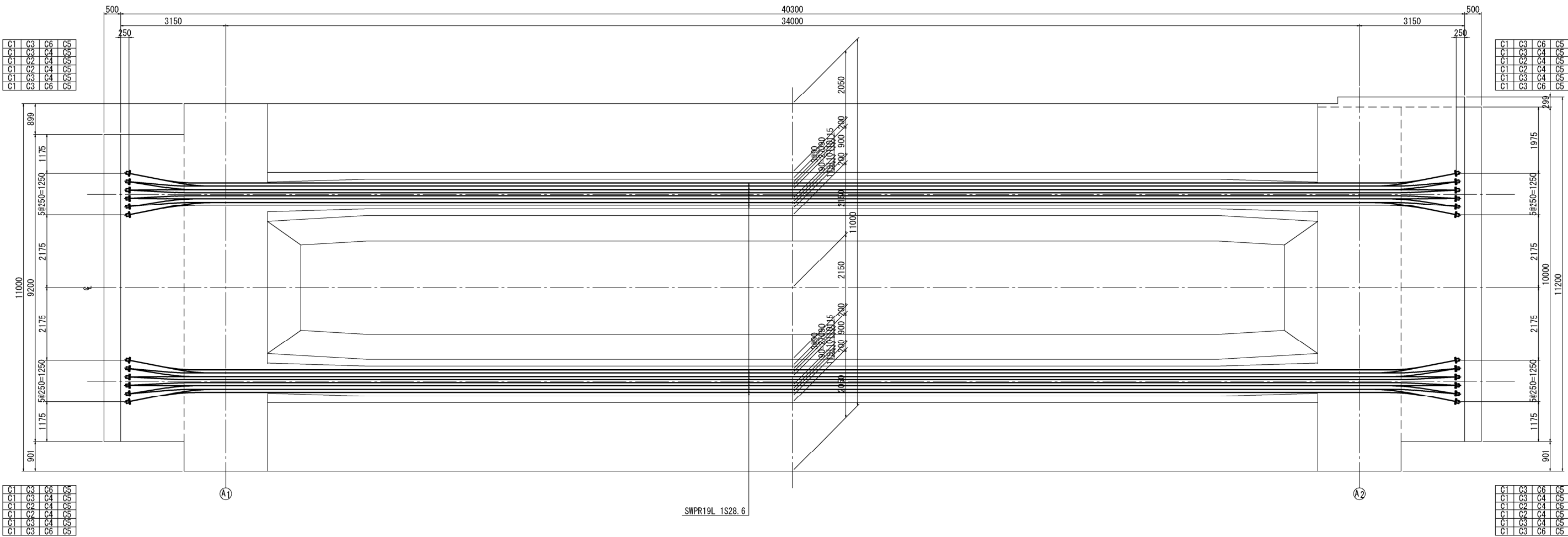
注) 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
鉄筋とPC鋼材が干渉する場合は、折り曲げる等して  
現場にて適宜処理すること。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線） 主桁断面詳細図		
縮 尺	1:50	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

側 面 図



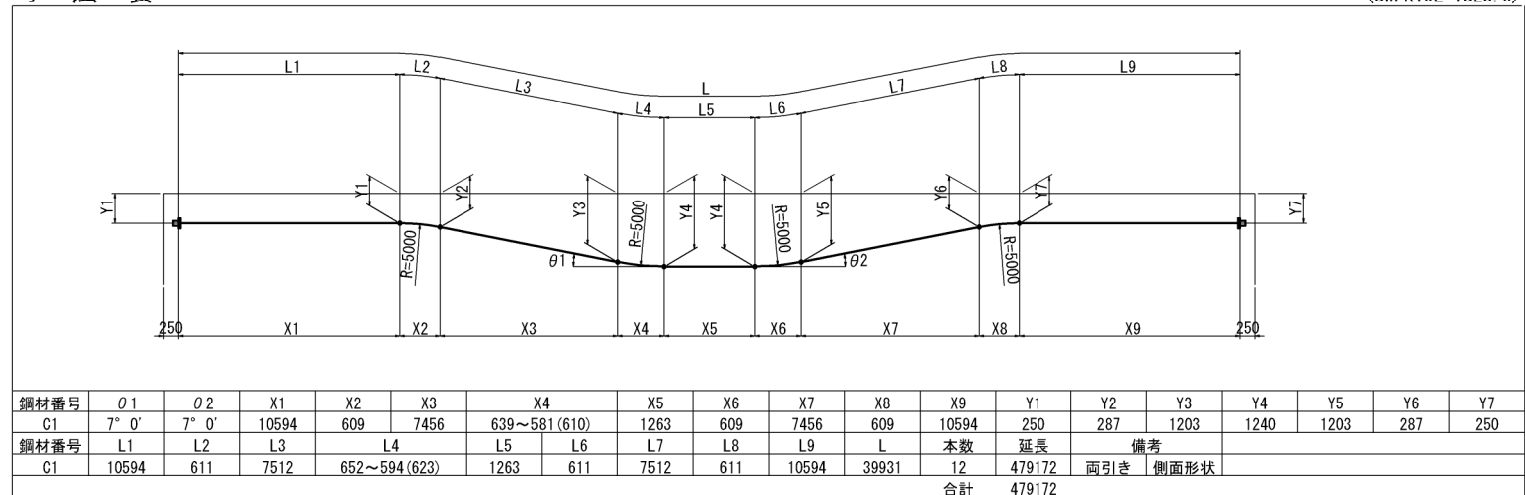
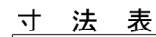
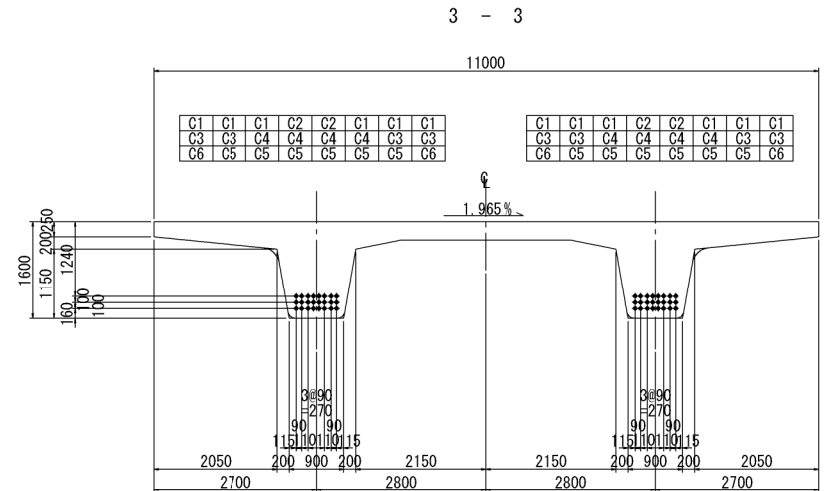
平 面 図



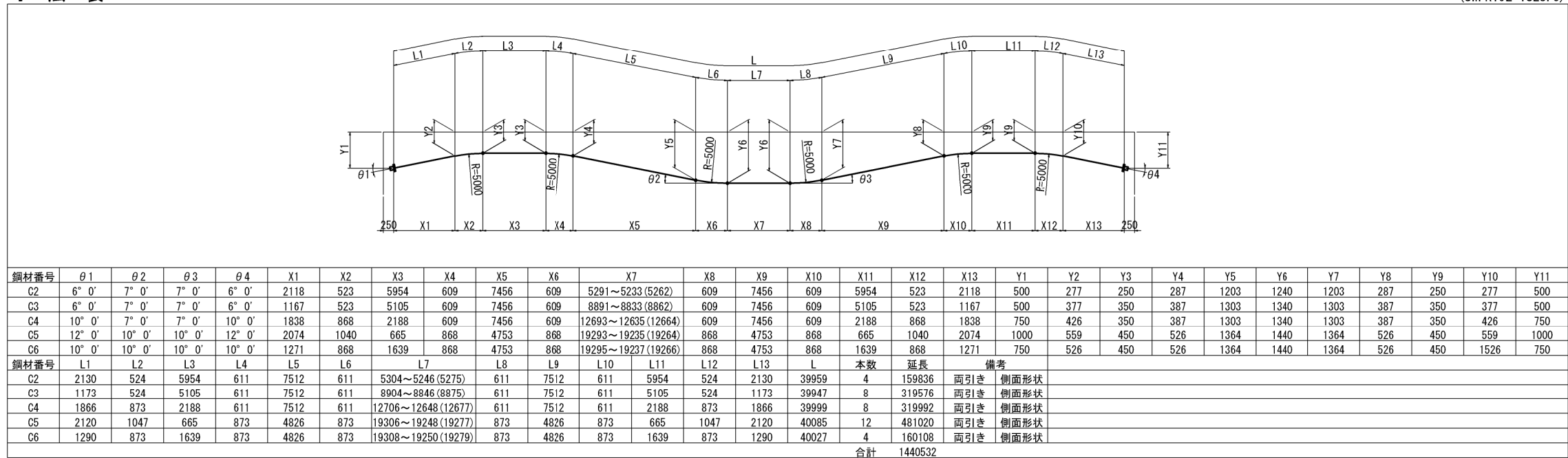
注) 寸法はGCL上を示す。  
鋼材曲げ半径は全てR=5,000mを示す。  
張弦方向は全て両引きとする。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) PC鋼材配置図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

2 - 2



(SWPR19L 1S28. 6)

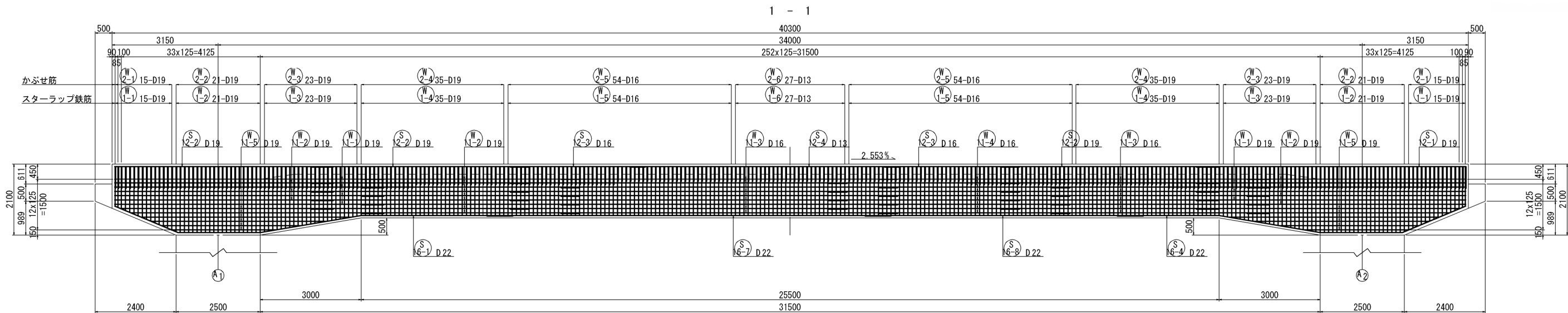


注)鋼材長は平面線形G1～G2及び、縦断勾配を考慮した値を示す。

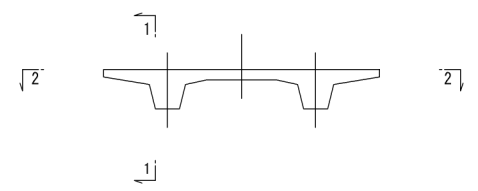
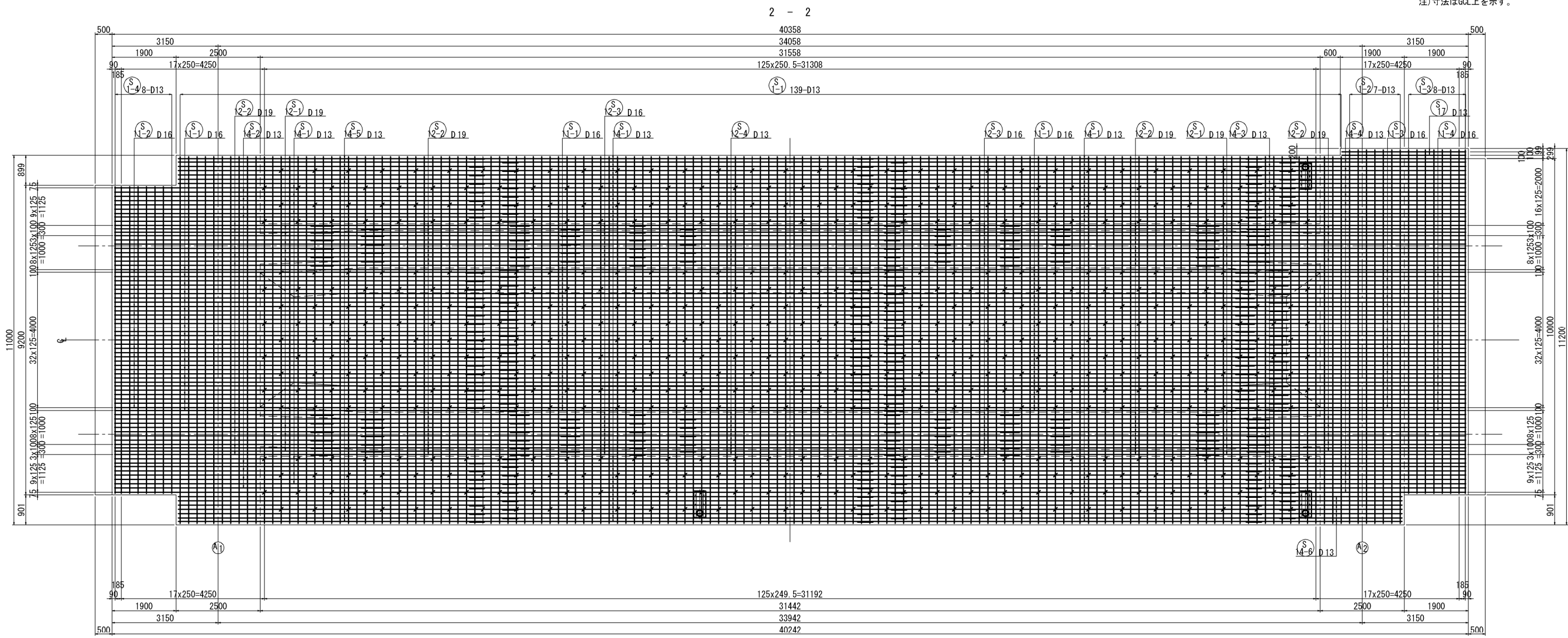
記号	長さ	本数	単位質量	延長	質量	摘要
C1	39931	12	4.23	479172	2027	
2	39959	4	"	159836	676	
3	39947	8	"	319576	1352	
4	39999	8	"	319992	1354	
5	40085	12	"	481020	2035	
6	40027	4	"	160108	677	
延長				1919.704 m		
総質量				8121 kg		
(余長含まず)						

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) PC鋼材配置図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



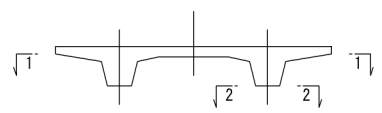
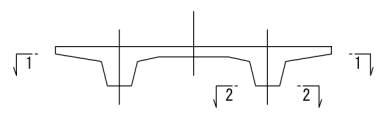


注) 寸法はGCL上を示す。



注) 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
排水溝に干渉する鉄筋は現場にて切断すること。

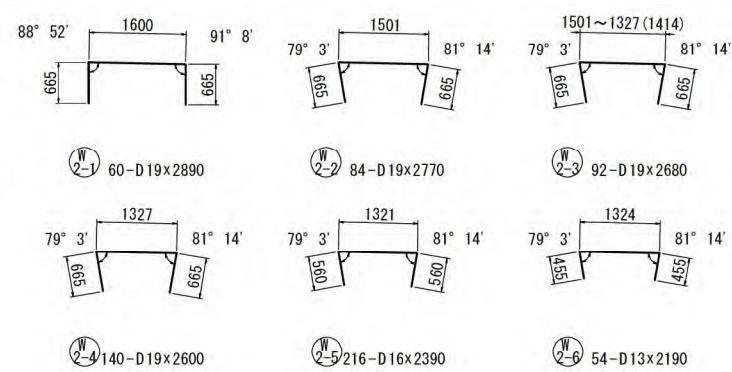
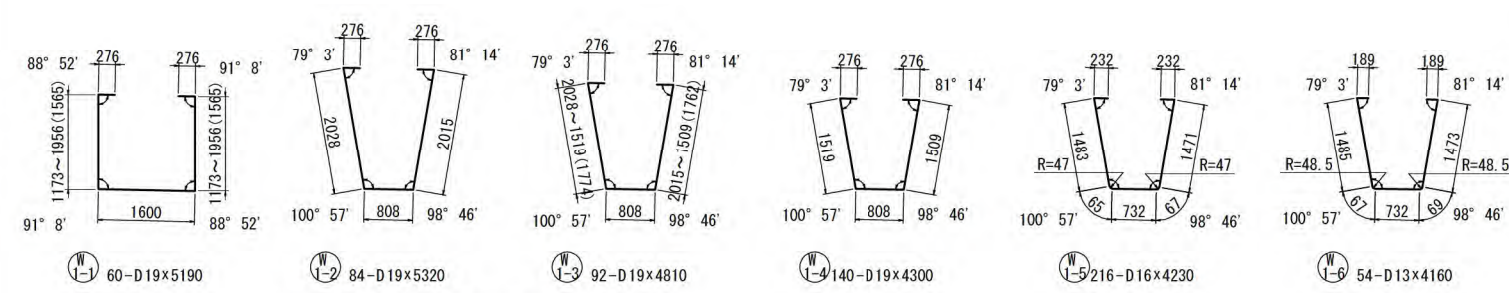
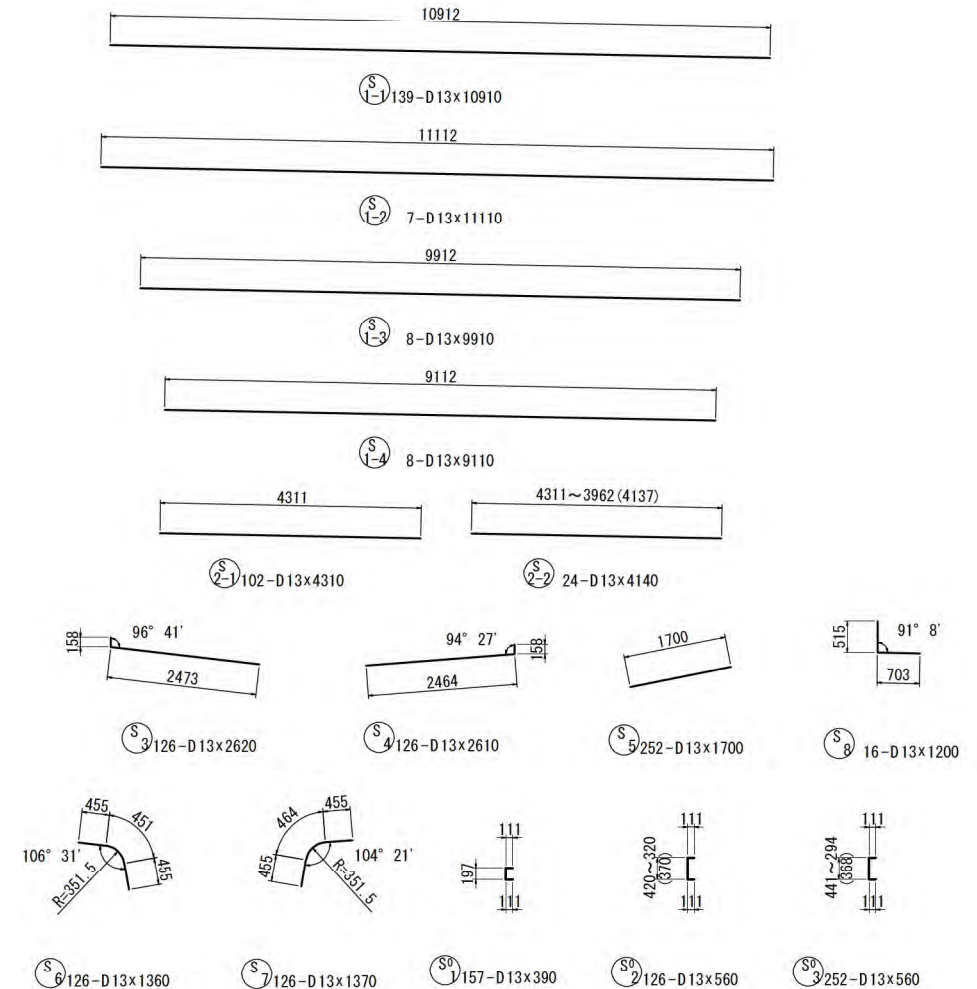
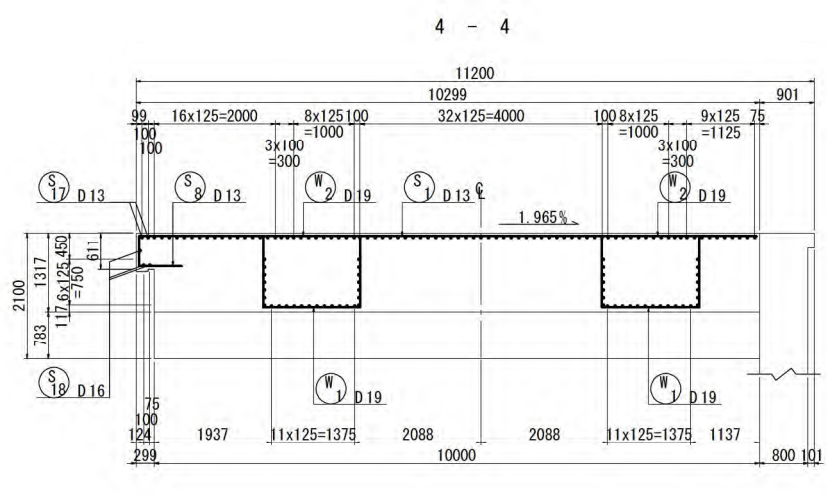
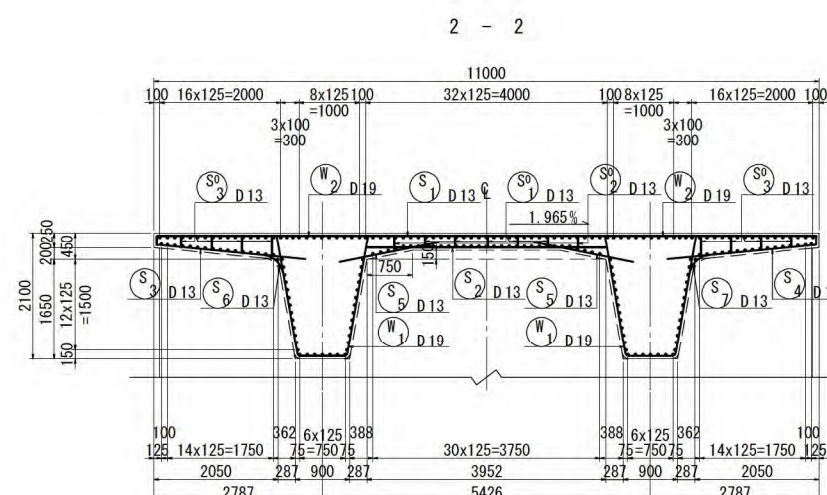
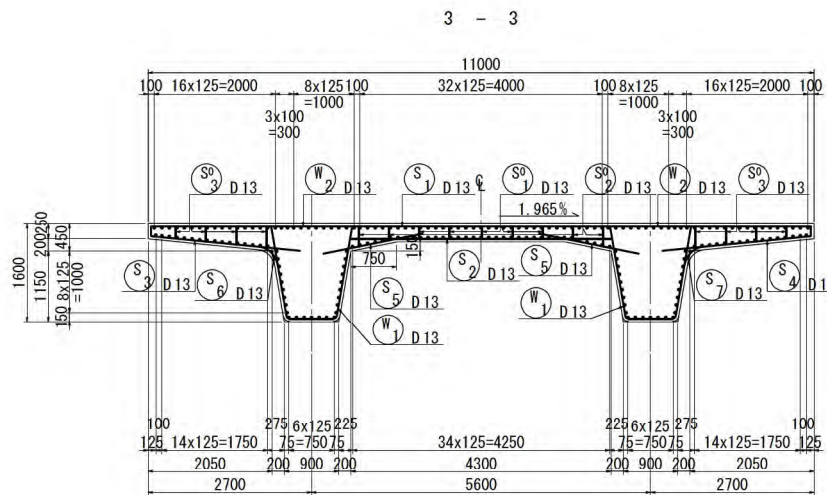
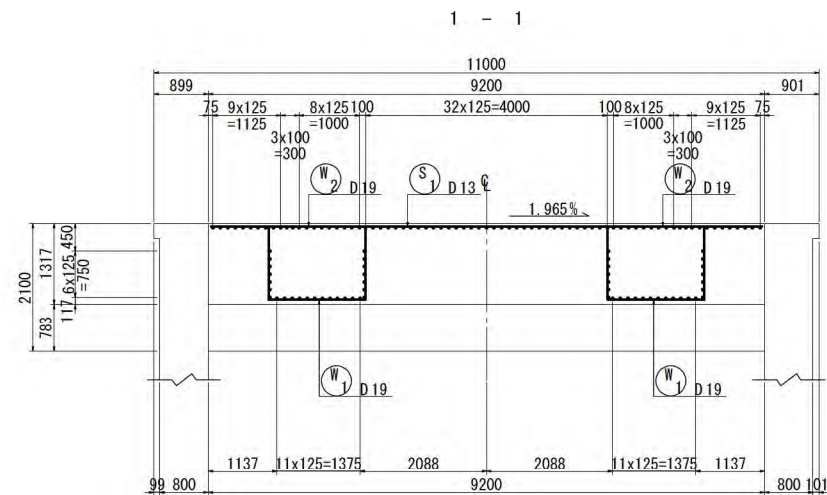
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 主桁配筋図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 主桁配筋図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

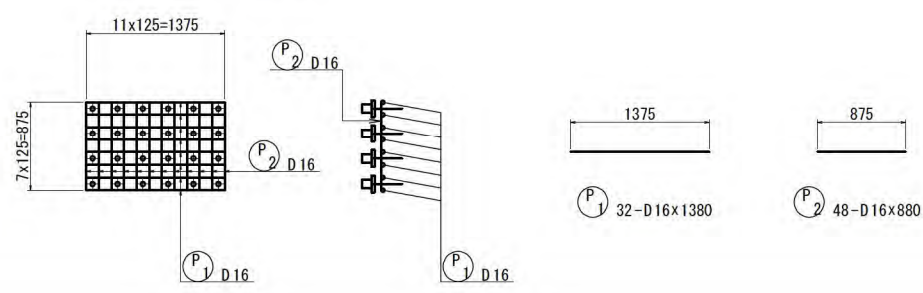
注)鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。  
排水樹に干渉する鉄筋は現場にて切断すること。



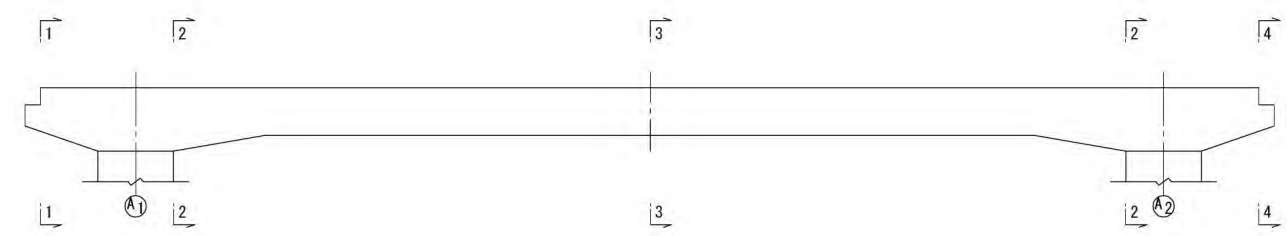


PC鋼材定着部補強筋図 S=1:75

(4ヶ所)



位置図



鉄筋曲げ加工表

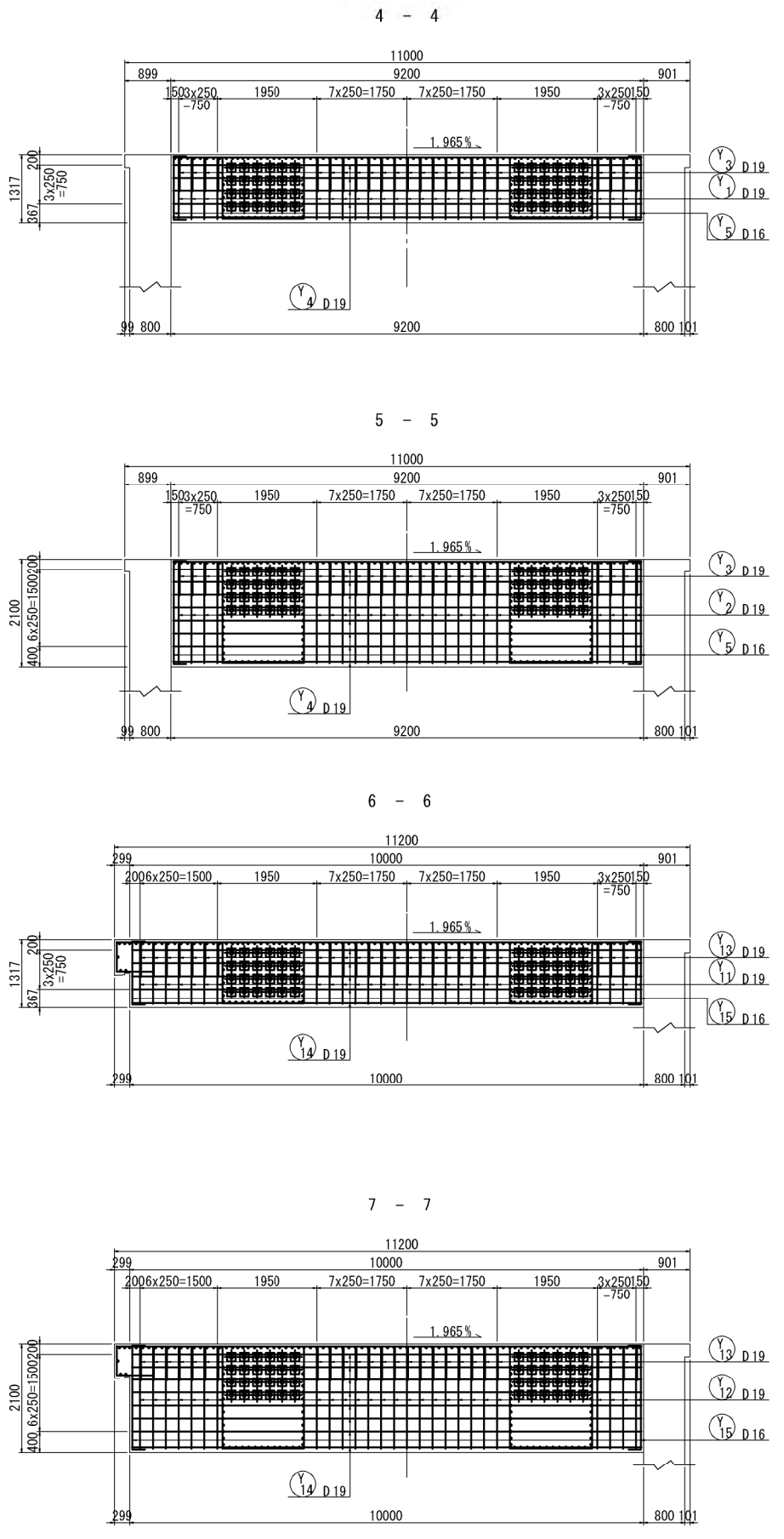
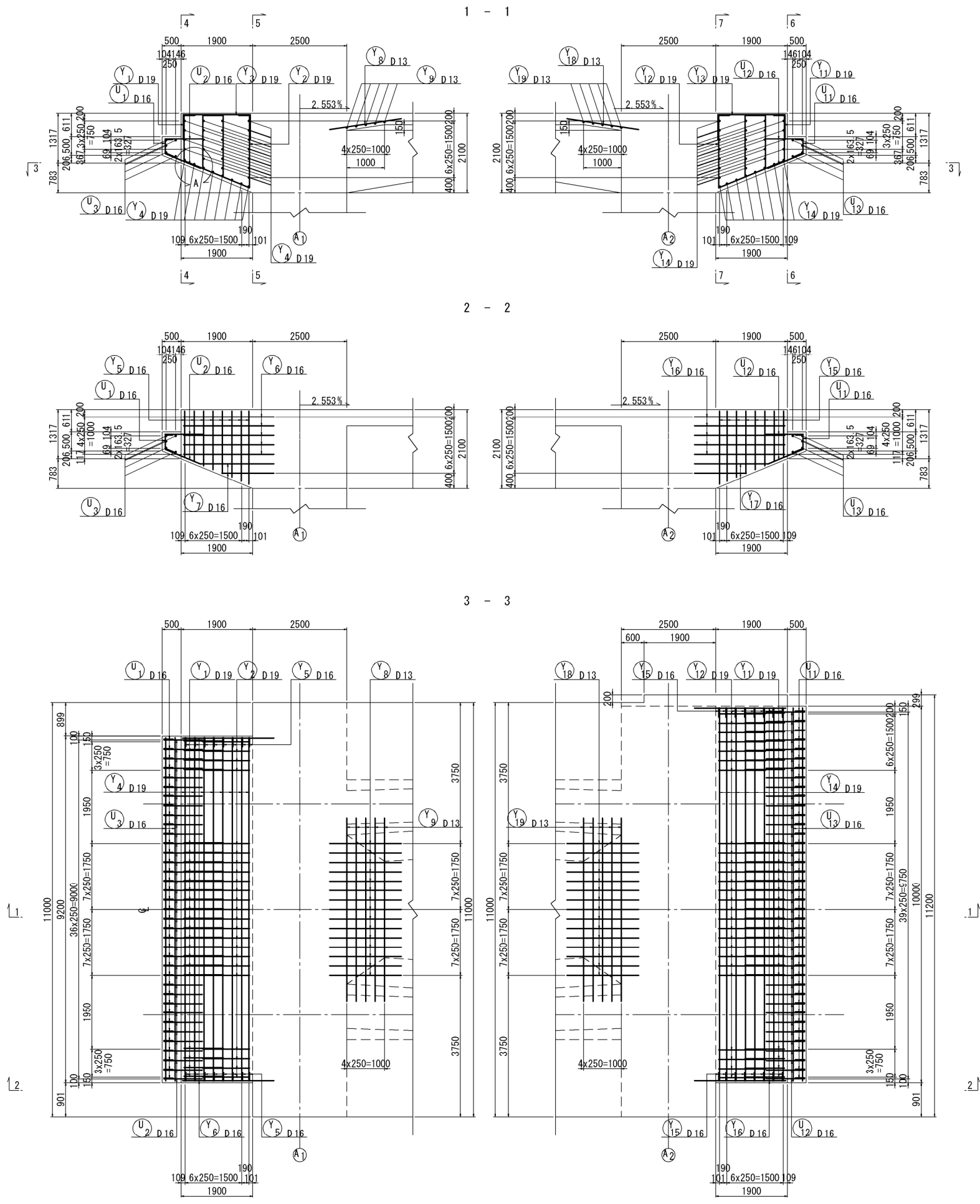
180-θ  
360  
x 2 x 3.14 x R  
Δℓ = 2 x b - a  
φは鉄筋径を示す。  
スターラップ

D	主筋					
	R=3φ	a	Δℓ	R=2.5φ	a	Δℓ
D13	39	61	17	32.5	51	14
D16	48	75	21	40.0	63	17
D19	57	89	25	47.5	75	20
D22	66	104	28	55.0	86	24
D25	75	118	32	62.5	98	27
D29	87	137	37	72.5	114	31

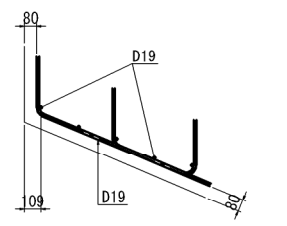
注) 上記に当てはまらない角度は各々の角度で減長計算している。

注) 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 主桁配筋図(3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



A部詳細図 S=1:50

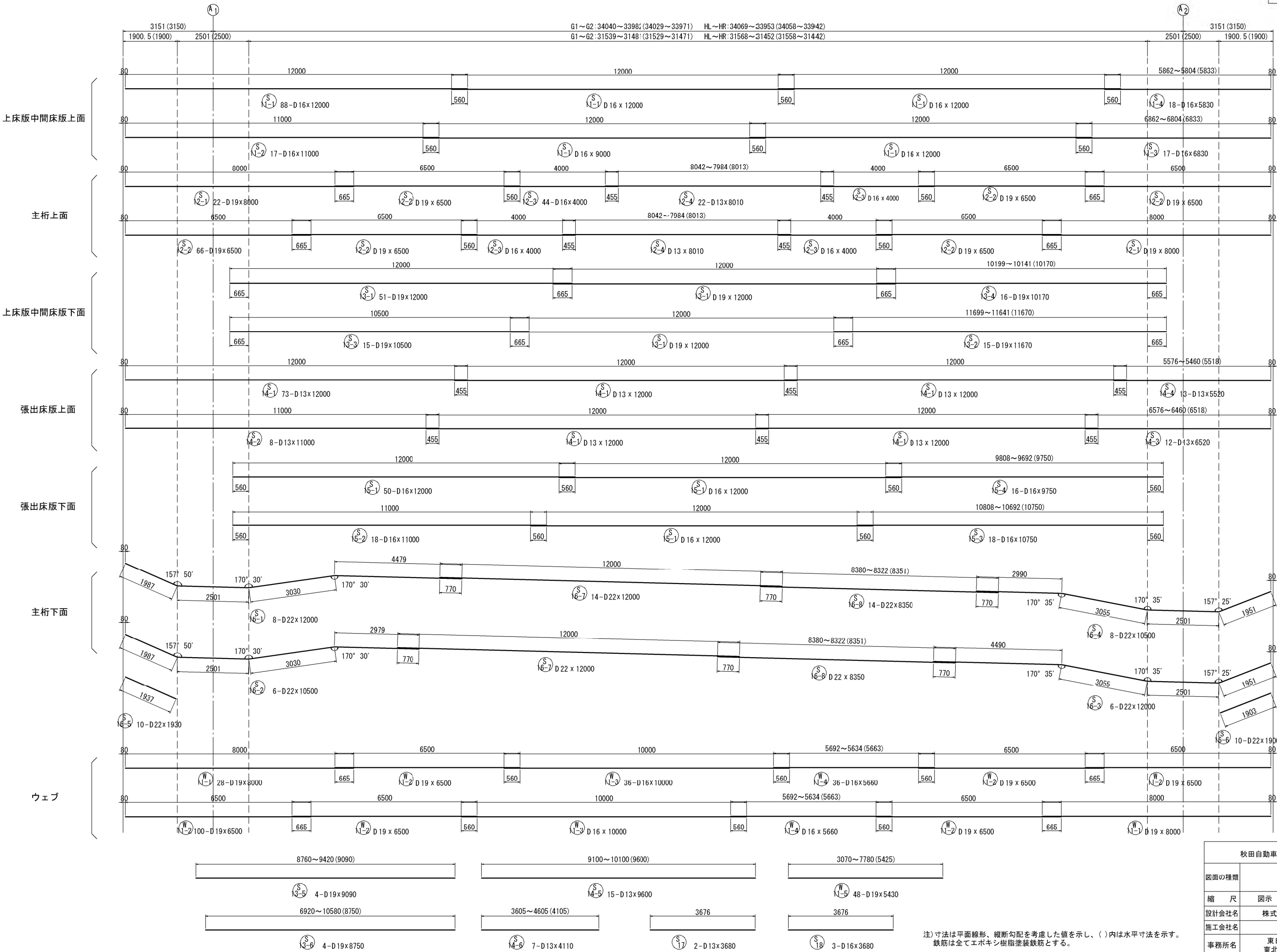


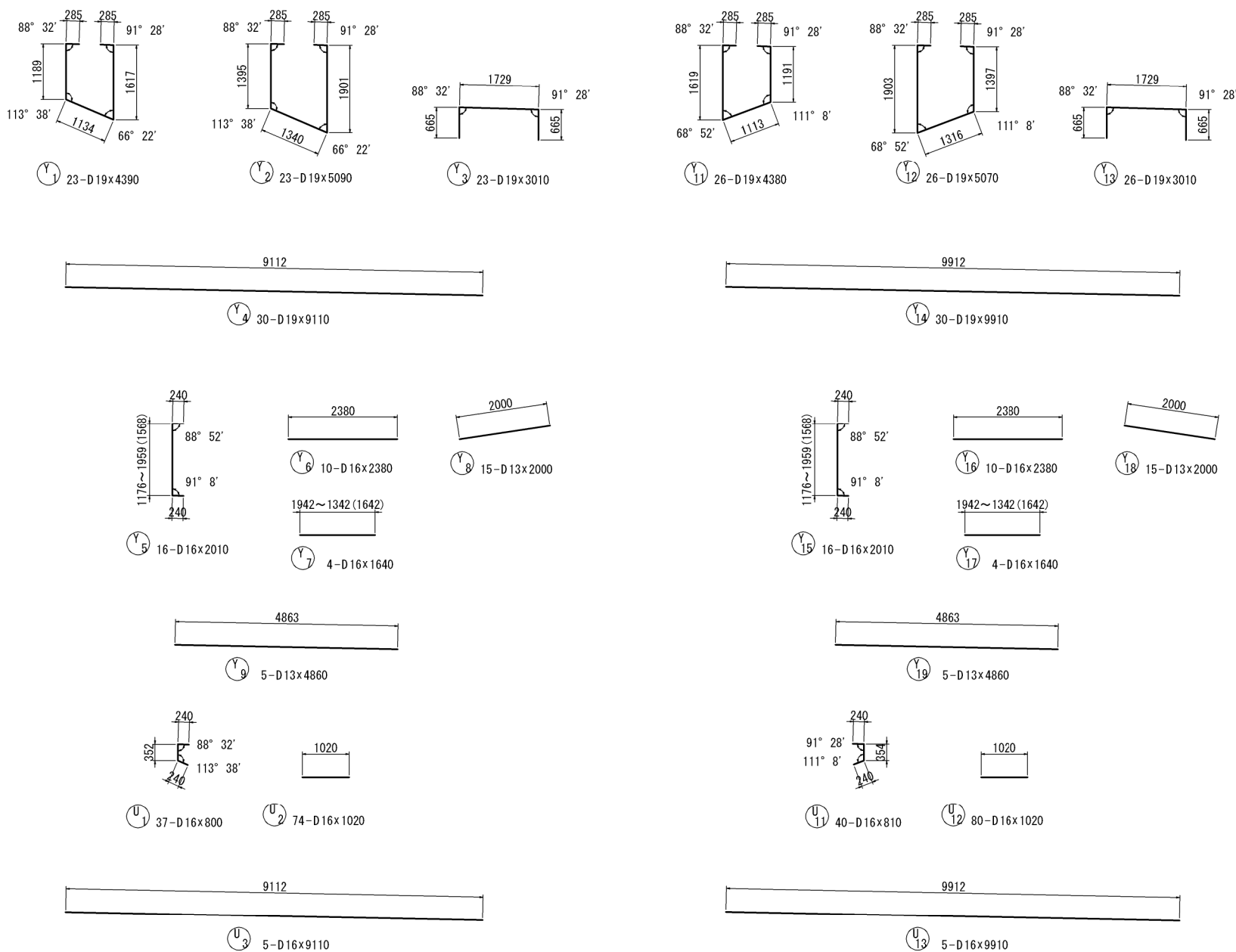
注) 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 主桁配筋図(4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

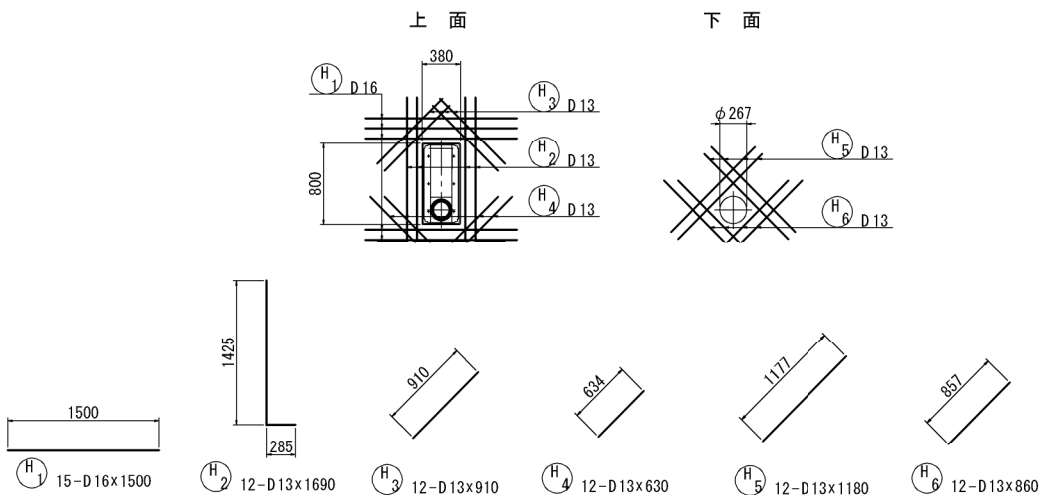


中里橋(上り線) 主桁配筋図(5) S=1:125





排水桝補強筋図 S=1:75  
(3ヶ所)



鉄筋曲げ加工表

$$a = \frac{180 - \theta}{360} \times 2 \times 3.14 \times R$$

$$\Delta L = 2 \times b - a$$

φは鉄筋径を示す。

スターラップ

主 筋		スターラップ				
D		θ = 90°				
R=3φ	a	△L	R=2.5φ	a	△L	
D13	39	61	17	32.5	51	14
D16	48	75	21	40.0	63	17
D19	57	89	25	47.5	75	20
D22	66	104	28	55.0	86	24
D25	75	118	32	62.5	98	27
D29	87	137	37	72.5	114	31

注) : 上記に当てはまらない角度は各々の角度で減長計算している。

鉄 筋 表

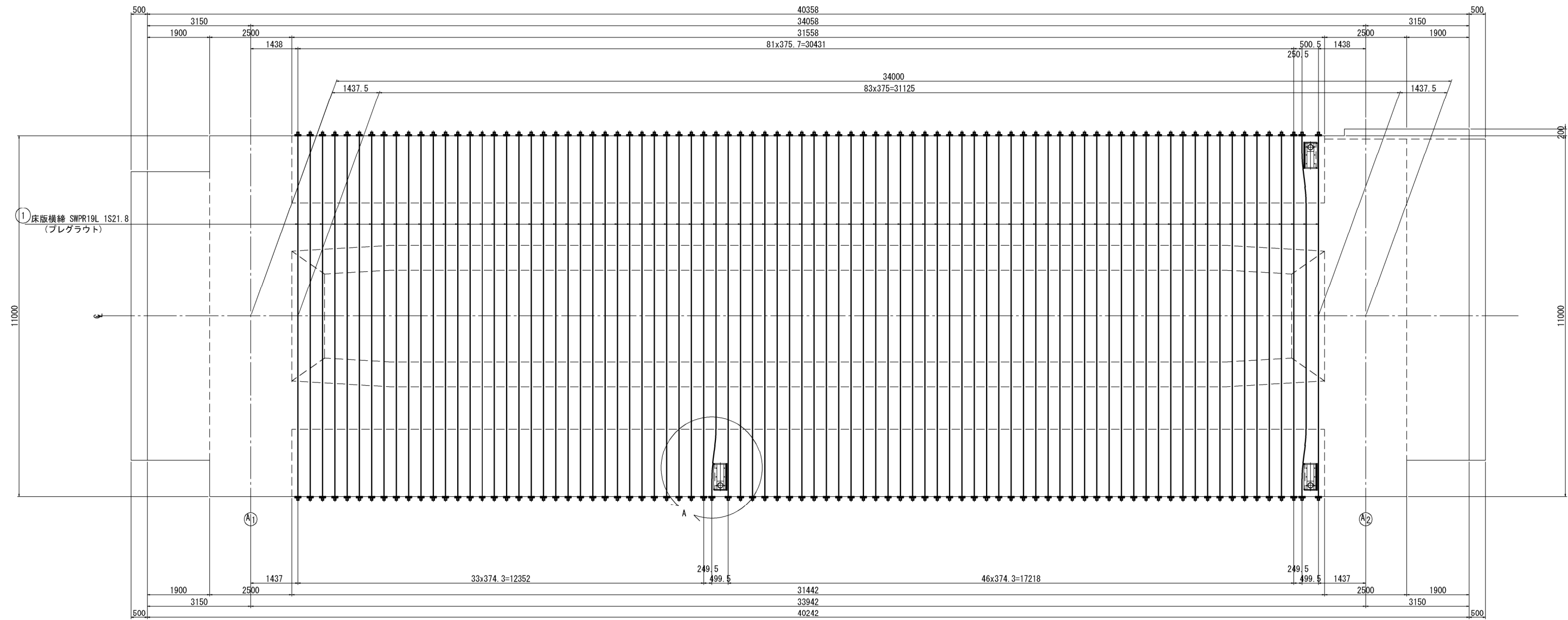
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
S1-1	D13	10910	139	0.995	10.9	1515	—
-2	"	11110	7	"	11.1	78	"
-3	"	9910	8	"	9.86	79	"
-4	"	9110	8	"	9.06	72	"
2-1	"	4310	102	"	4.29	438	"
-2	"	4140	24	"	4.12	99	"
3	"	2620	126	"	2.61	329	┘
4	"	2610	126	"	2.60	328	┘
5	"	1700	252	"	1.69	426	┘
6	"	1360	126	"	1.35	170	┘
7	"	1370	126	"	1.36	171	┘
8	"	1200	16	"	1.19	19	┘
3724 kg							
S°1	D13	390	157	0.995	0.388	61	┘
2	"	560	126	"	0.557	70	"
3	"	560	252	"	0.557	140	"
271 kg							
S11-1	D16	12000	88	1.56	18.7	1646	—
-2	"	11000	17	"	17.2	292	"
-3	"	6830	17	"	10.7	182	"
-4	"	5830	18	"	9.09	164	"
12-1	D19	8000	22	2.25	18.0	396	"
-2	"	6500	66	"	14.6	964	"
-3	D16	4000	44	1.56	6.24	275	"
-4	D13	8010	22	0.995	7.97	175	"
13-1	D19	12000	51	2.25	27.0	1377	"
-2	"	11670	15	"	26.3	395	"
-3	"	10500	15	"	23.6	354	"
-4	"	10170	16	"	22.9	366	"
-5	"	9090	4	"	20.5	82	"
-6	"	8750	4	"	19.7	79	"
14-1	D13	12000	73	0.995	11.9	869	"
-2	"	11000	8	"	10.9	87	"
-3	"	6520	12	"	6.49	78	"
-4	"	5520	13	"	5.49	71	"
-5	"	9600	15	"	9.55	143	"
-6	"	4110	7	"	4.09	29	"
15-1	D16	12000	50	1.56	18.7	935	"
-2	"	11000	18	"	17.2	310	"
-3	"	10750	18	"	16.8	302	"
-4	"	9750	16	"	15.2	243	"
16-1	D22	12000	8	3.04	36.5	292	┘
-2	"	10500	6	"	31.9	191	"
-3	"	12000	6	"	36.5	219	┘
-4	"	10500	8	"	31.9	255	"
-5	"	1930	10	"	5.87	59	—
-6	"	1900	10	"	5.78	58	"
-7	"	12000	14	"	36.5	511	┘
-8	"	8350	14	"	25.4	356	┘
17	D13	3680	2	0.995	3.66	7	—
18	D16	3680	3	1.56	5.74	17	"
11779 kg							
W1-1	D19	5190	60	2.25	11.7	702	┘
-2	"	5320	84	"	12.0	1008	┘
-3	"	4810	92	"	10.8	994	"
-4	"	4300	140	"	9.68	1355	"
-5	D16	4230	216	1.56	6.60	1426	"
-6	D13	4160	54	0.995	4.14	224	"
2-1	D19	2890	60	2.25	6.50	390	┘
-2	"	2770	84	"	6.23	523	┘
-3	"	2680	92	"	6.03	555	"
4	"	2600	140	"	5.85	819	"
-5	D16	2390	216	1.56	3.73	806	"
-6	D13	2190	54	0.995	2.18	118	"
8920 kg							
W11-1	D19	8000	28	2.25	18.0	504	—
-2	"	6500	100	"	14.6	1460	"
-3	D16	10000	36	1.56	15.6	562	"
-4	"	5660	36	"	8.83	318	"
-5	D19	5430	48	2.25	12.2	586	"
3430 kg							

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
Y1	D19	4390	23	2.25	9.88	227	┘
2	"	5090	23	"	11.5	265	"
3	"	3010	23	"	6.77	156	┘
4	"	9110	30	"	20.5	615	—
5	D16	2010	16	1.56	3.14	50	┘
6	"	2380	10	"	3.71	37	—
7	"	1640	4	"	2.56	10	"
8	D13	2000	15	0.995	1.99	30	┘
9	"	4860	5	"	4.84	24	—
1414 kg							
Y11	D19	4380	26	2.25	9.86	256	┘
12	"	5070	26	"	11.4	296	"
13	"	3010	26	"	6.77	176	┘
14	"	9910	30	"	22.3	669	—
15	D16	2010	16	1.56	3.14	50	┘
16	"	2380	10	"	3.71	37	—
17	"	1640	4	"	2.56	10	"
18	D13	2000	15	0.995	1.99	30	┘
19	"	4860	5	"	4.84	24	—
1548 kg							
U1	D16	800	37	1.56	1.25	46	┘
2	"	1020	74	"	1.59	118	—
3	"	9110	5	"	14.2	71	"
235 kg							
U11	D16	810	40	1.56	1.26	50	┘
12	"	1020	80	"	1.59	127	—
13	"	9910	5	"	15.5	78	"
255 kg							
P1	D16	1380	32	1.56	2.15	69	—
2	"	880	48	"	1.37	66	"
135 kg							
H1	D16	1500	15	1.56	2.34	35	—
2	D13	1690	12	0.995	1.68	20	┘
3	"	910	12	"	0.905	11	┘
4	"	630	12	"	0.627	8	"
5	"	1180	12	"	1.17	14	"
6	"	860	12	"	0.856	10	"
98 kg							
D22 1941 kg							
D19 15569 "							
D16 8332 "							
D13 5967 "							
合計 31809 kg							

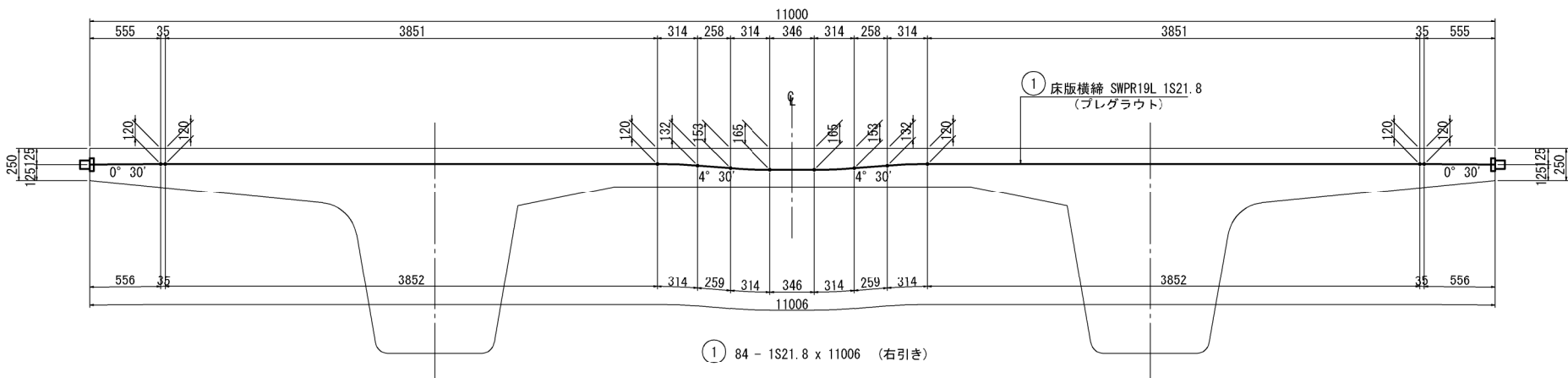
注) 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 主桁配筋図(6)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

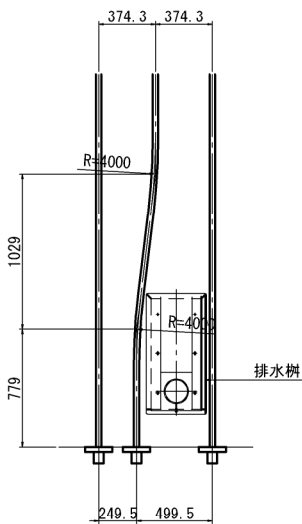
平面図



断面図 S=1:50



A部詳細図 S=1:50



PC鋼材質量表 (SWPR19L 1S21.8)

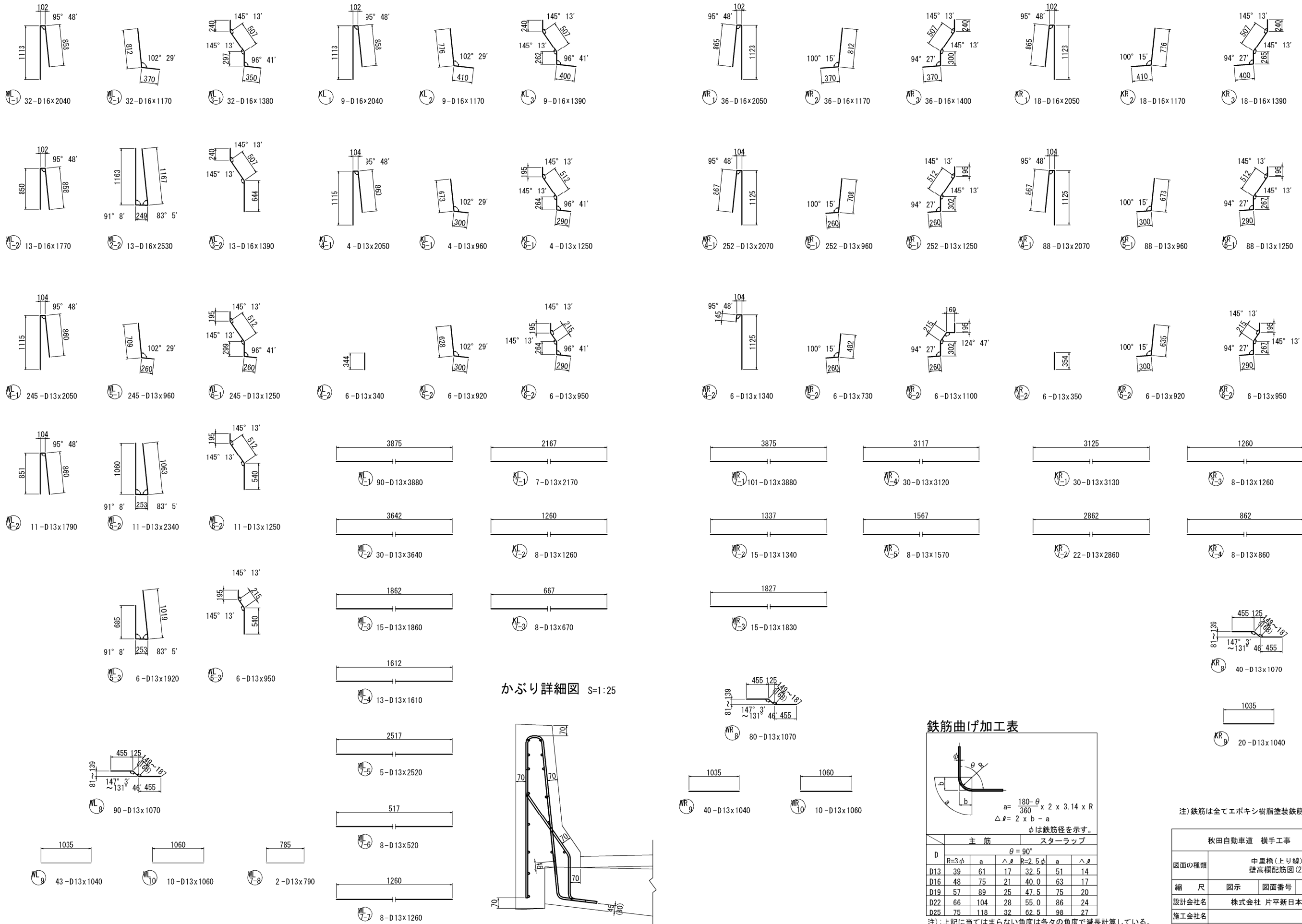
記号	長さ	本数	単位質量	延長	質量	摘要
1	11006	84	2.48	924504	2293	
延長				924.504 m		
総質量				2293 kg		
(余長含まず)						

注)高さ寸法は調整コンクリートを考慮しない。  
鋼材曲げ半径は全て、R=4.000mとする。

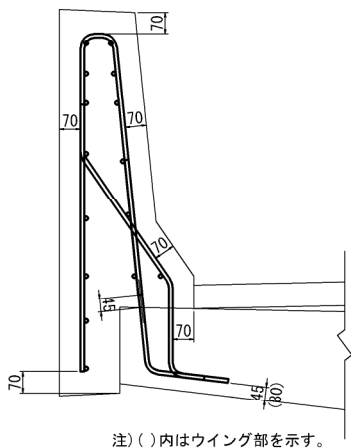
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線） 床版横締配置図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



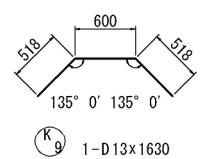
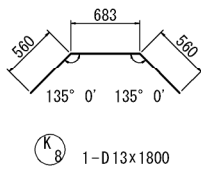
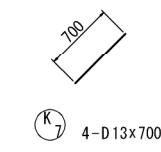
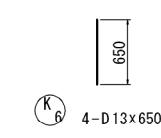
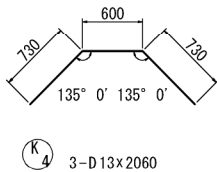
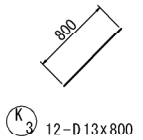
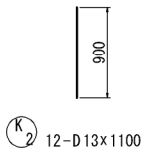
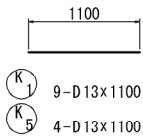
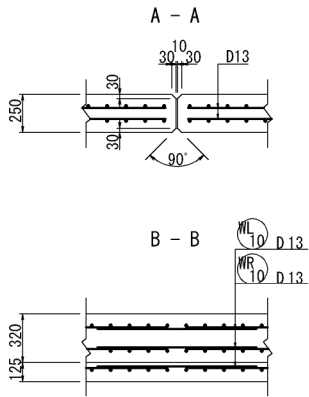
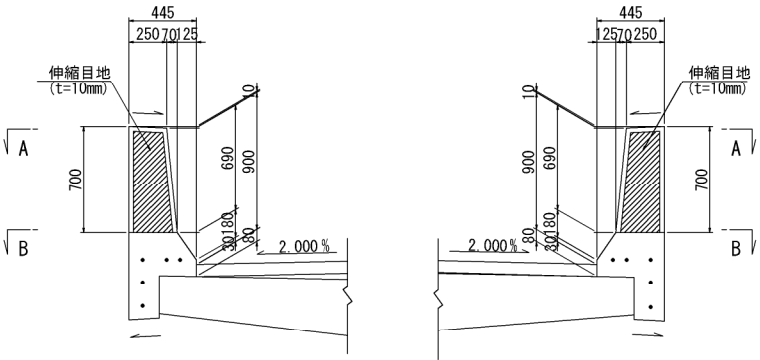




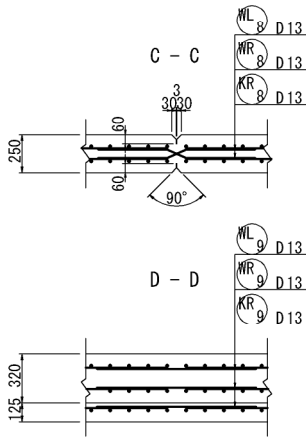
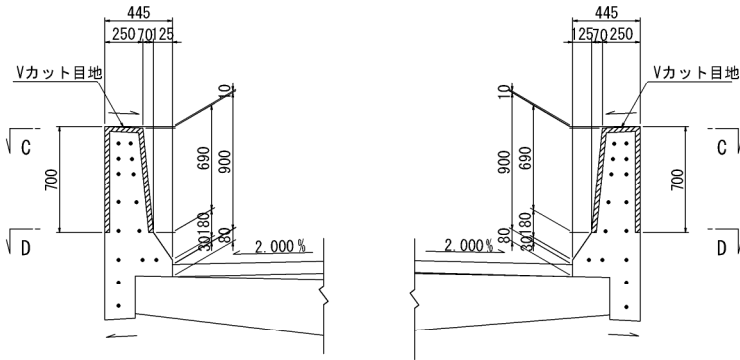
かぶり詳細図 S=1:25



伸縮目地詳細図 S=1:50



Vカット目地詳細図 S=1:50



鉄筋表

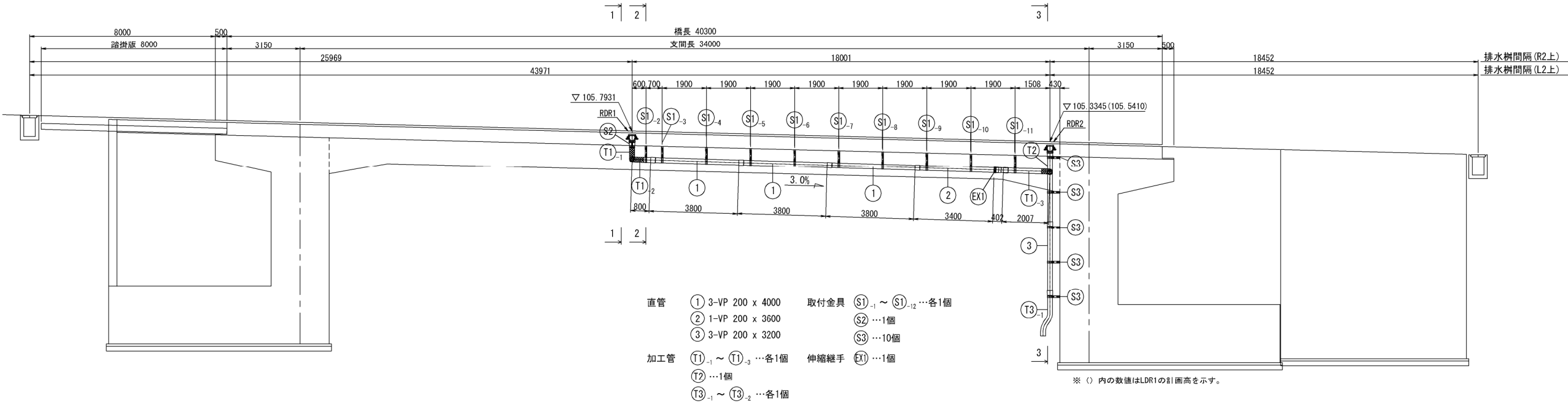
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
左側主桁上及び縦壁上・A2側桁端部							
WL1-1	D16	2040	32	1.56	3.18	102	⌒
-2	"	1770	13	"	2.76	36	⌒
2-1	"	1170	32	"	1.83	59	⌒
-2	"	2530	13	"	3.95	51	⌒
3-1	"	1380	32	"	2.15	69	⌒
-2	"	1390	13	"	2.17	28	⌒
4-1	D13	2050	245	0.995	2.04	500	⌒
-2	"	1790	11	"	1.78	20	⌒
5-1	"	960	245	"	0.955	234	⌒
-2	"	2340	11	"	2.33	26	⌒
-3	"	1920	6	"	1.91	11	⌒
6-1	"	1250	245	"	1.24	304	⌒
-2	"	1250	11	"	1.24	14	⌒
-3	"	950	6	"	0.945	6	⌒
7-1	"	3880	90	"	3.86	347	⌒
-2	"	3640	30	"	3.62	109	⌒
-3	"	1860	15	"	1.85	28	⌒
-4	"	1610	13	"	1.60	21	⌒
-5	"	2520	5	"	2.51	13	⌒
-6	"	520	8	"	0.517	4	⌒
-7	"	1260	8	"	1.25	10	⌒
-8	"	790	2	"	0.786	2	⌒
8	"	1070	90	"	1.06	95	⌒
9	"	1040	43	"	1.03	44	⌒
10	"	1060	10	"	1.05	11	⌒
2144 kg							
D16 345 kg							
D13 1799 "							
合計 2144 kg							
右側主桁上及び縦壁上							
WR1	D16	2050	36	1.56	3.20	115	⌒
2	"	1170	36	"	1.83	66	⌒
3	"	1400	36	"	2.18	78	⌒
4-1	D13	2070	252	0.995	2.06	519	⌒
-2	"	1340	6	"	1.33	8	⌒
5-1	"	960	252	"	0.955	241	⌒
-2	"	730	6	"	0.726	4	⌒
6-1	"	1250	252	"	1.24	312	⌒
-2	"	1100	6	"	1.09	7	⌒
7-1	"	3880	101	"	3.86	390	⌒
-2	"	1340	15	"	1.33	20	⌒
-3	"	1830	15	"	1.82	27	⌒
-4	"	3120	30	"	3.10	93	⌒
-5	"	1570	8	"	1.56	12	⌒
8	"	1070	80	"	1.06	85	⌒
9	"	1040	40	"	1.03	41	⌒
10	"	1060	10	"	1.05	11	⌒
2029 kg							
D16 259 kg							
D13 1770 "							
合計 2029 kg							
右側ウイング上							
KL1	D16	2040	9	1.56	3.18	29	⌒
2	"	1170	9	"	1.83	16	⌒
3	"	1390	9	"	2.17	20	⌒
4-1	D13	2050	4	0.995	2.04	8	⌒
-2	"	340	6	"	0.338	2	⌒
5-1	"	960	4	"	0.955	4	⌒
-2	"	920	6	"	0.915	5	⌒
6-1	"	1250	4	"	1.24	5	⌒
-2	"	950	6	"	0.945	6	⌒
7-1	"	2170	7	"	2.16	15	⌒
-2	"	1260	8	"	1.25	10	⌒
-3	"	670	8	"	0.667	5	⌒
125 kg							
D16 65 kg							
D13 60 "							
合計 125 kg							
右側ウイング上							
KR1	D16	2050	18	1.56	3.20	58	⌒
2	"	1170	18	"	1.83	33	⌒
3	"	1390	18	"	2.17	39	⌒
4-1	D13	2070	88	0.995	2.06	181	⌒
-2	"	350	6	"	0.348	2	⌒
5-1	"	960	88	"	0.955	84	⌒
-2	"	920	6	"	0.915	5	⌒
6-1	"	1250	88	"	1.24	109	⌒
-2	"	950	6	"	0.945	6	⌒
7-1	"	3130	30	"	3.11	93	⌒
-2	"	2860	22	"	2.85	63	⌒
-3	"	1260	8	"	1.25	10	⌒
-4	"	860	8	"	0.856	7	⌒
8	"	1070	40	"	1.06	42	⌒
9	"	1040	20	"	1.03	21	⌒
753 kg							
D16 130 kg							
D13 623 "							
合計 753 kg							
ハンドホール補強筋							
K1	D13	1100	9	0.995	1.09	10	⌒
2	"	1100	12	"	1.09	13	⌒
3	"	800	12	"	0.796	10	⌒
4	"	2060	3	"	2.05	6	⌒
5	"	1100	4	"	1.09	4	⌒
6	"	650	4	"	0.647	3	⌒
7	"	700	4	"	0.697	3	⌒
8	"	1800	1	"	1.79	2	⌒
9	"	1630	1	"	1.62	2	⌒
53 kg							
合計 D13 53 kg							

注) 鉄筋は全てエポキシ樹脂塗装鉄筋とする。

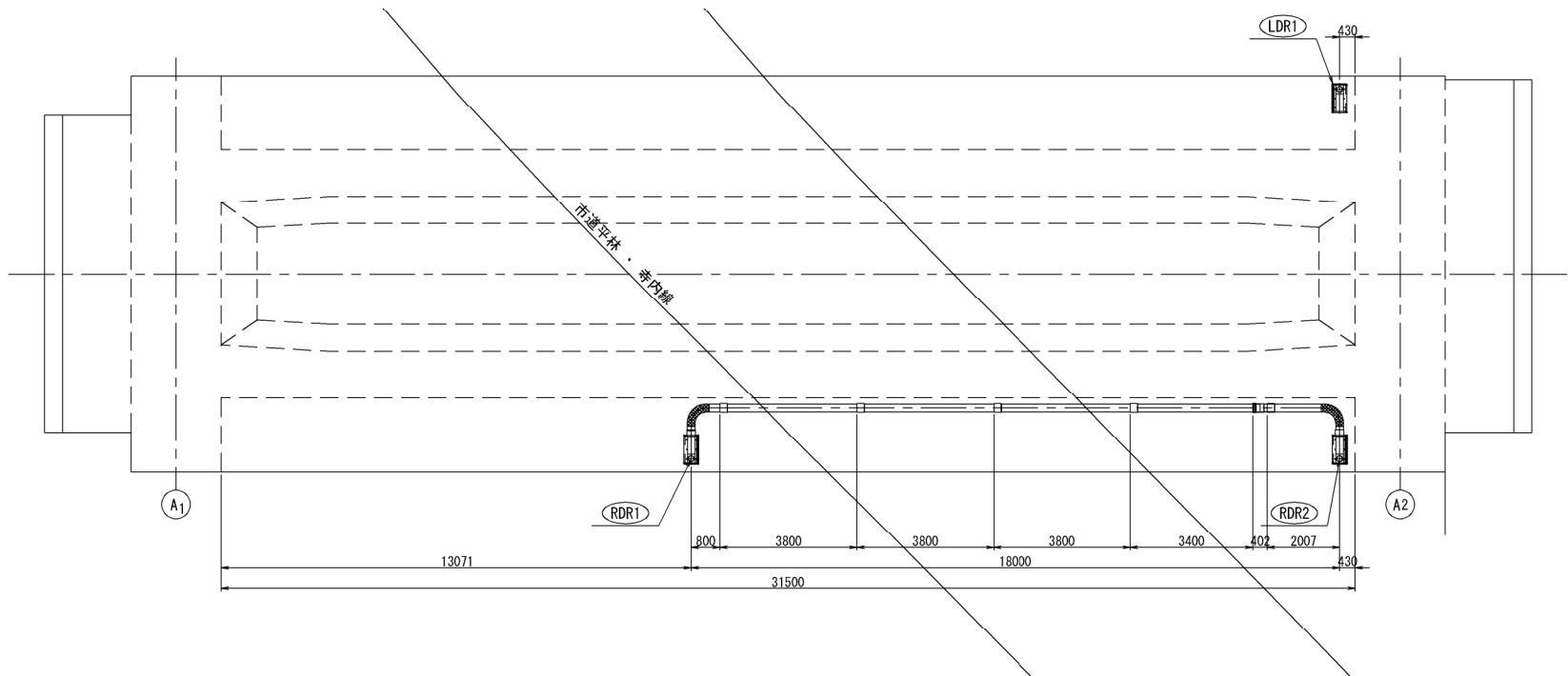
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 壁高欄配筋図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



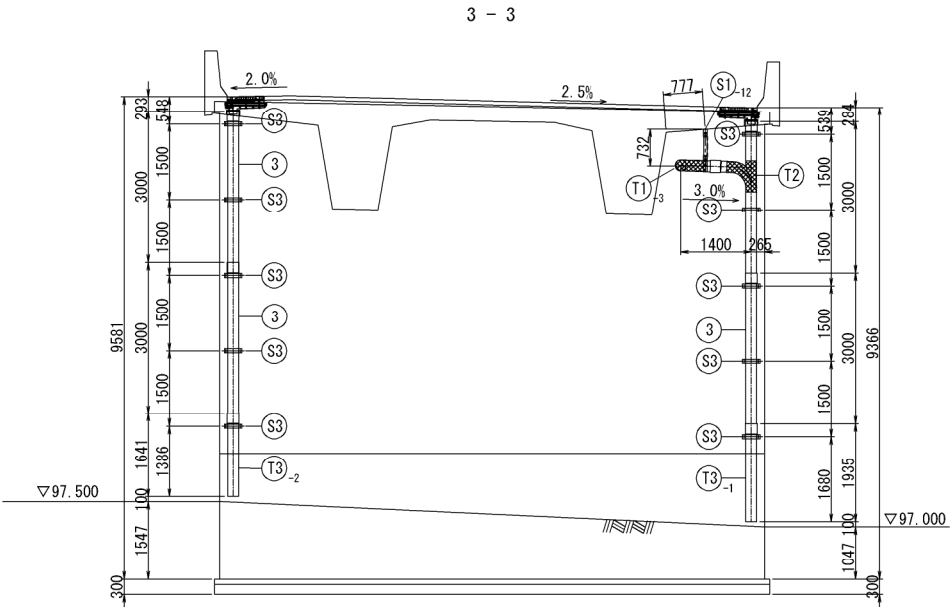
側面図 S=1:200



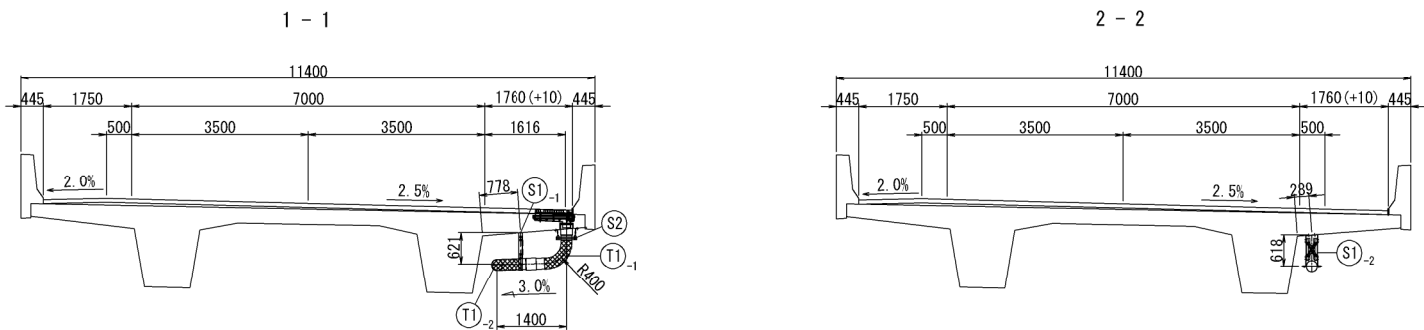
平面図 S=1:200



断面図 S=1:150



断面図 S=1:150



特記事項

※1 特記無なき材質は全てSS400とする。

※2 Uボルト付き以外のナットは、全てゆるみ止めナットを使用すること。

※3 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。

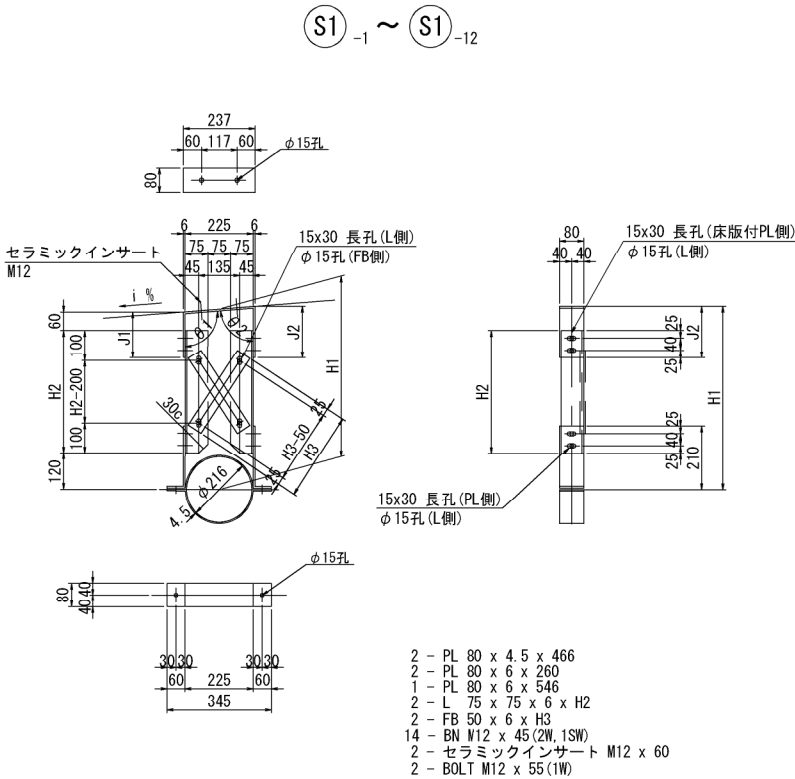
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ777 とする。

但し、ボルト・ナット及び板厚3.2mm未満の部材は HDZT49 とする。

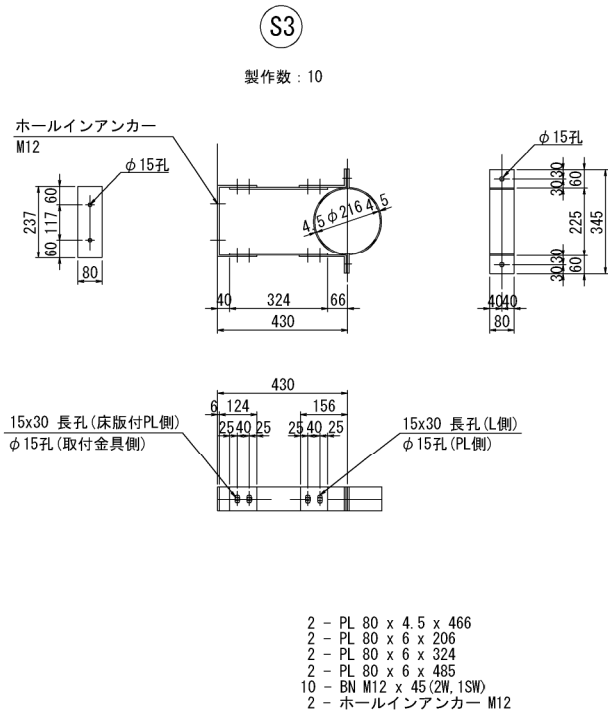
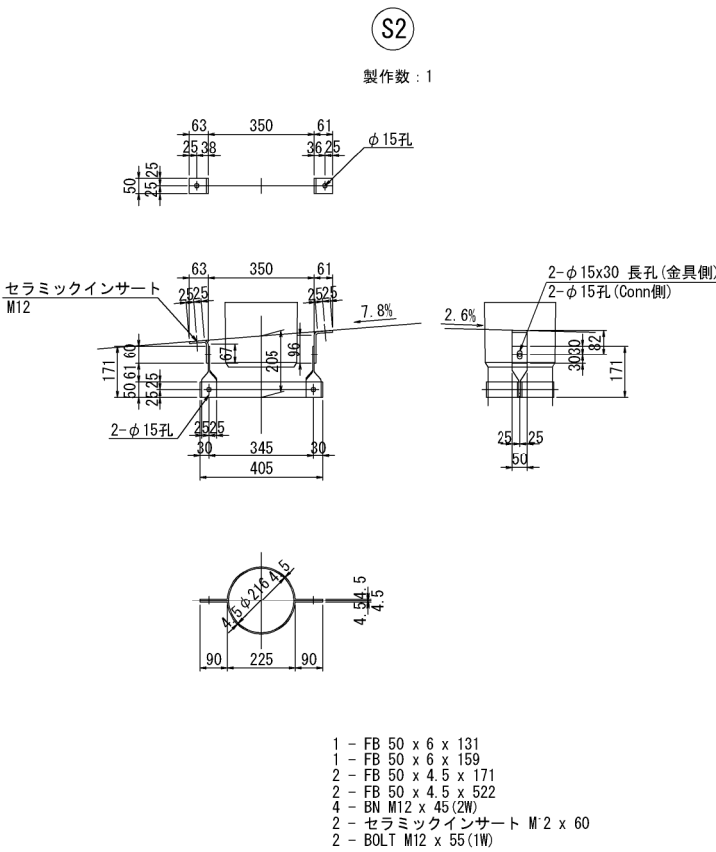
また、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、メッキ前にプラスト処理を行うことを標準とする。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 排水装置詳細図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

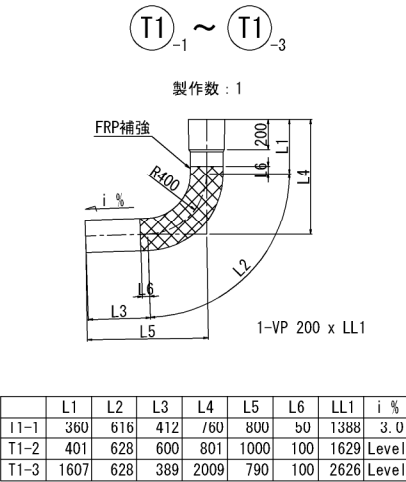
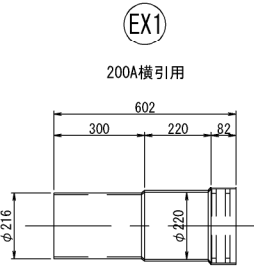
取付金具詳細図 S=1:25



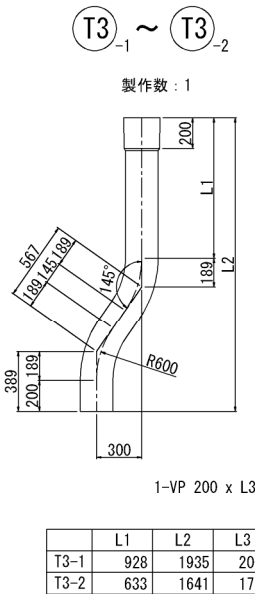
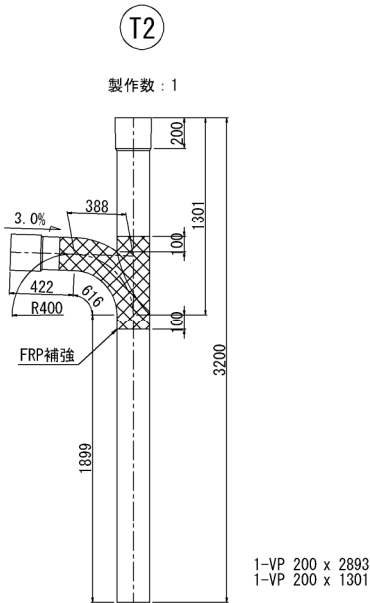
	H1	H2	H3	J1	J2	i	θ1	θ2
S1-1	621	431	317	157	163	2.6	91	89
S1-2	601	411	300	151	169	7.8	94	86
S1-3	604	414	303	151	169	7.8	94	86
S1-4	612	422	310	151	169	7.8	94	86
S1-5	621	431	317	151	169	7.8	94	86
S1-6	629	439	324	151	169	7.8	94	86
S1-7	638	448	332	151	169	7.8	94	86
S1-8	646	456	339	151	169	7.8	94	86
S1-9	655	465	347	151	169	7.8	94	86
S1-10	663	473	354	151	169	7.8	94	86
S1-11	672	482	363	151	169	7.8	94	86
S1-12	732	542	417	157	163	2.6	91	89



伸縮継手詳細図  
参考図 S=1:25



加工管詳細図 S=1:50



特記事項

※1 特記無なき材質は全てSS400とする。

※2 Uボルト付き以外のナットは、全てゆるみ止めナットを使用すること。

※3 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。

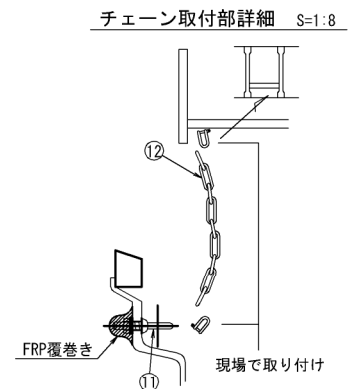
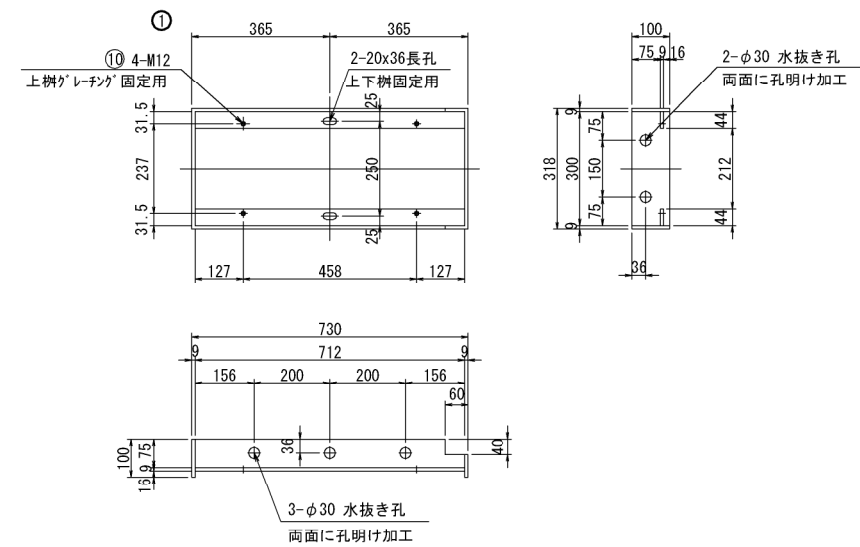
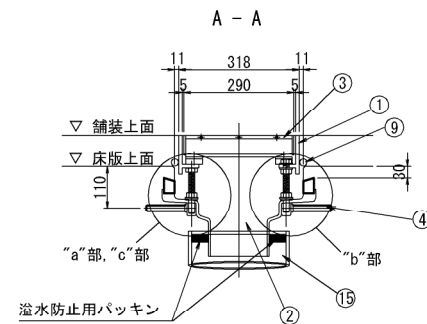
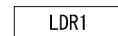
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77 とする。

但し、ボルト・ナット及び板厚3.2mm未満の部材は HDZT49 とする。

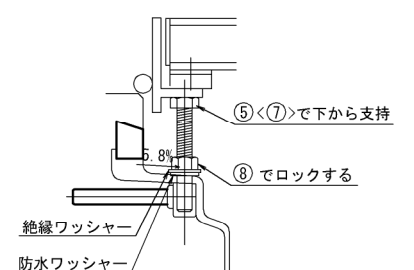
また、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、メッキ前にプラスト処理を行うことを標準とする。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 排水装置詳細図(2)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

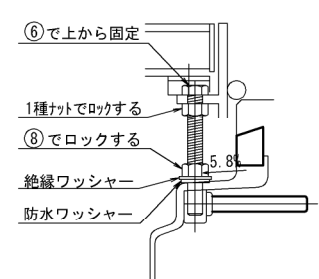
排水桟詳細図 S=1:20



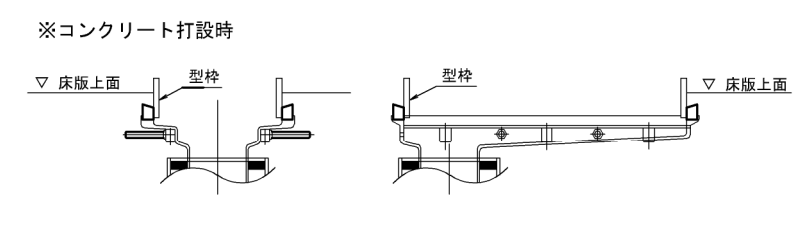
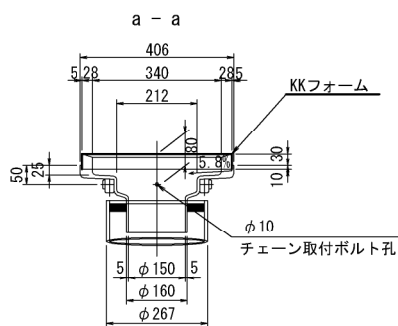
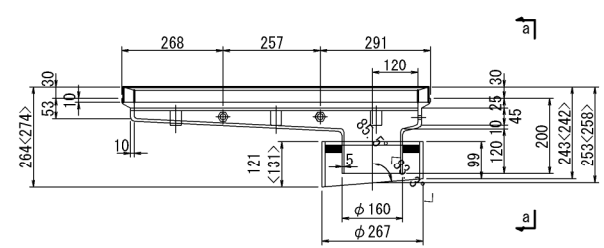
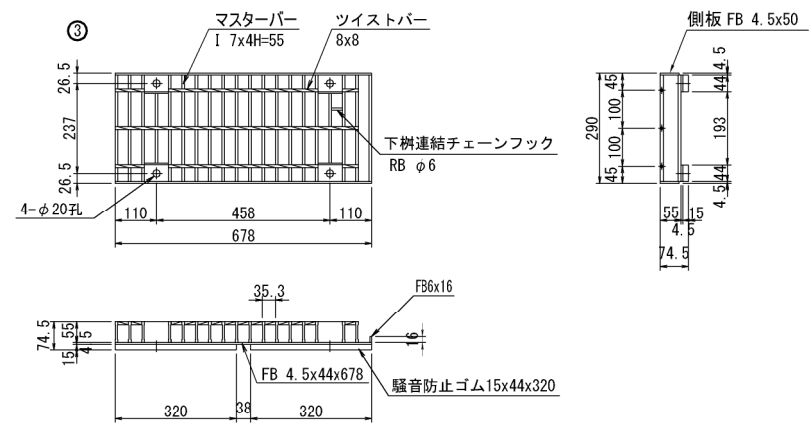
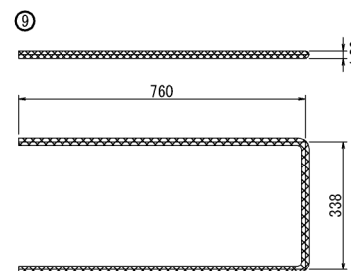
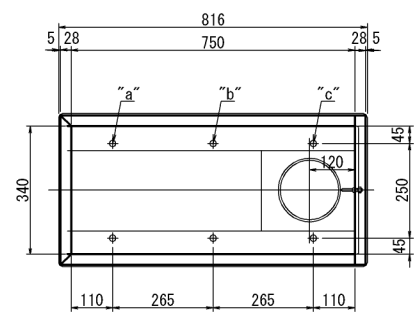
a部, c部詳細 S=1:8  
(高さ調整用)



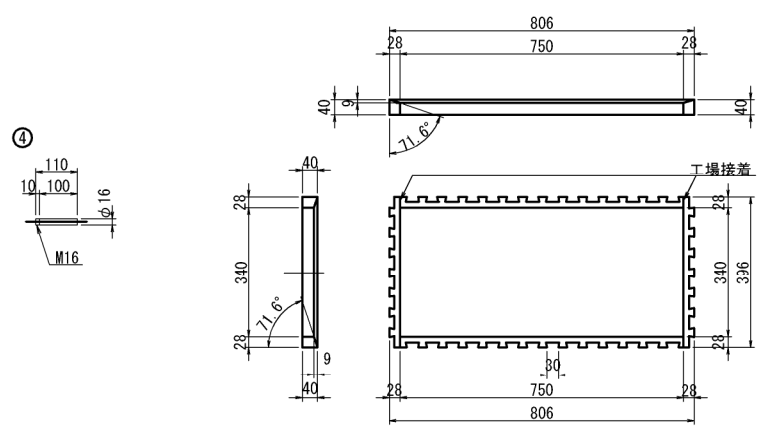
b部詳細 S=1:8  
(固定用)



② < >寸法はLDR1を示す



KKフォーム詳細



## 材 料 表

番号	部 品 名 称	材 質	寸 法	数 量	重 量	備 考
1	本 体 上 部	SS400	730x318x100	1	19.0	溶融垂鉛メッキ (HDZT77)
2	本 体 下 部	FRP KK7フォーム	816x406x200 806x396x40	1 1	6.3 —	
3	グレーチング	SS400	290x678x55	1	18.7	溶融垂鉛メッキ (HDZT77)
4	アンカーバー	SS400	φ 16x110	4	0.7	
5	調整ボルト (a部)	SS400	M16x110<120>	2	0.4	溶融垂鉛メッキ (HDZT49)
6	調整ボルト (b部)	SS400	M16x130	2	0.4	溶融垂鉛メッキ (HDZT49)
7	調整ボルト (c部)	SS400	M16x100<110>	2	0.4	溶融垂鉛メッキ (HDZT49)
8	固定ナット	SS400	M16 (I型ナット)	6	—	溶融垂鉛メッキ (HDZT49)
9	ペーブドレーン	ポリエステル	φ 20	1	—	
10	固定ボルト	SS400	M12x30	4	0.2	溶融垂鉛メッキ (HDZT49)
11	アイボルト	SS400	M8	1	—	溶融垂鉛メッキ (HDZT49)
12	チェーン	SS400	φ 5x300	1	—	溶融垂鉛メッキ (HDZT49)
13	支持ナット	SS400	M16x30高ナット	6	0.4	溶融垂鉛メッキ (HDZT49)
14	インサートナット	SS400	M16x30高ナット	4	0.2	
15	型 枠 管	PVC	VUφ 250	1	—	
合 計 重 量					46.7 kg	

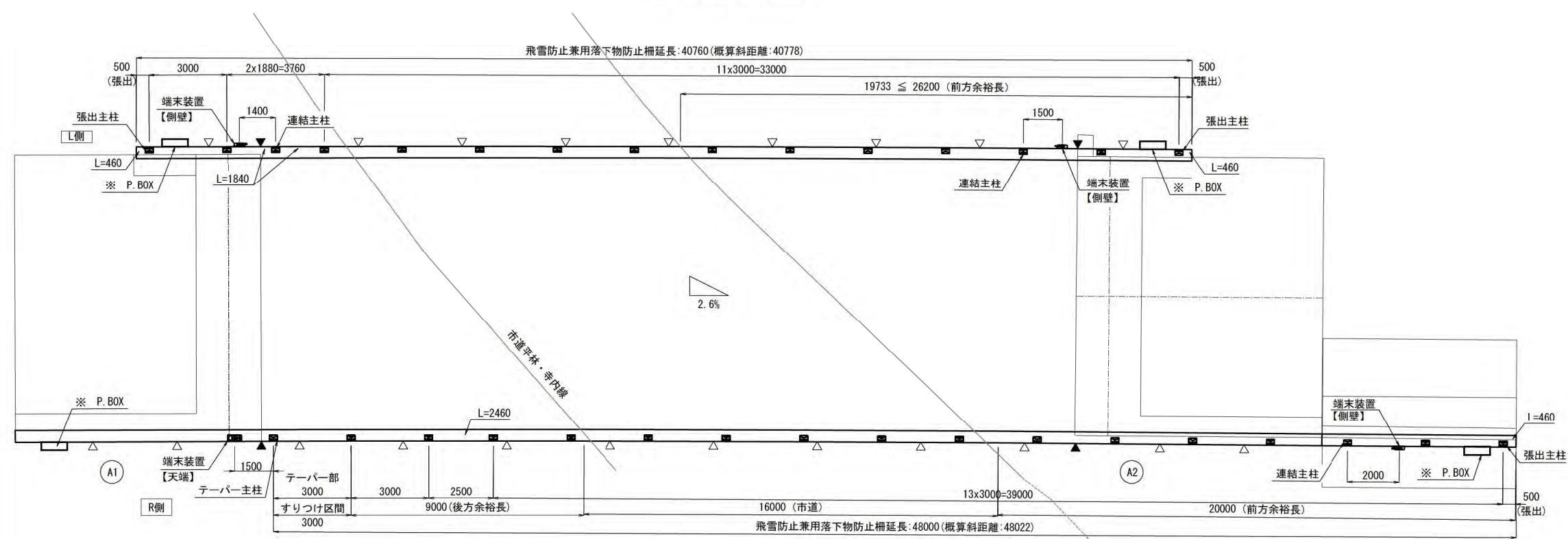
特記事項

- ※1 特記なき材質は全てSS400とする。
- ※2 Uボルト付き以外のナットは、全てゆるみ止めナットを使用すること。
- ※3 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。  
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT77 とする。  
但し、ボルト・ナット及び厚板3.2mm未満の部材はHDZT49 とする。  
また、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、メッキ前にプラステ処理を行うことを標準とする。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（より線） 排水装置詳細図（３）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

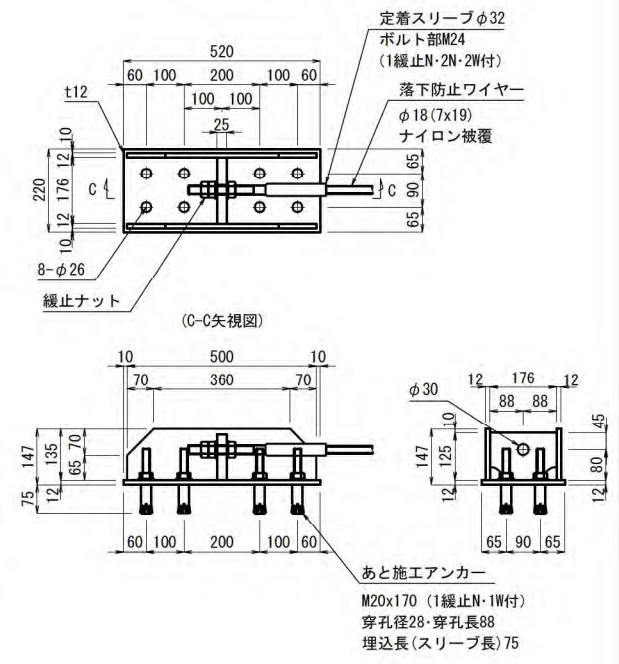


平面割付図 S=1:200



【テーパ部詳細図】

端末装置詳細図 S=1:20

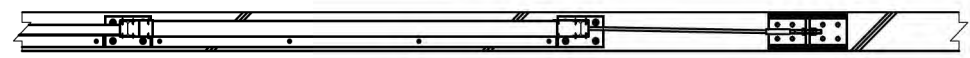


- ※ 1. Lはパネル寸法を示す。
- 2. 落下防止ワイヤーφ18の適用長さは、最短14m～最長238mとする。
- 3. 主柱は縦断勾配レベル用(水勾配加工有り)を壁高欄天端に対して直角に設置する。
- 4. 寸法は水平距離を示す。
- 5. ▽はVカット位置、▼は伸縮目地位置を示す。

【テーパ部詳細図】

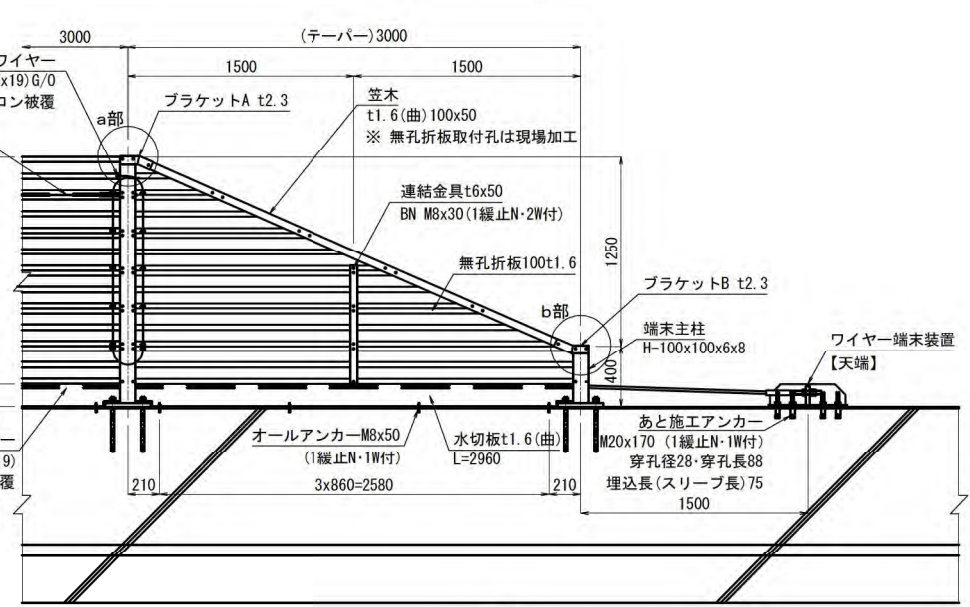
平面図 S=1:50

(本線側)



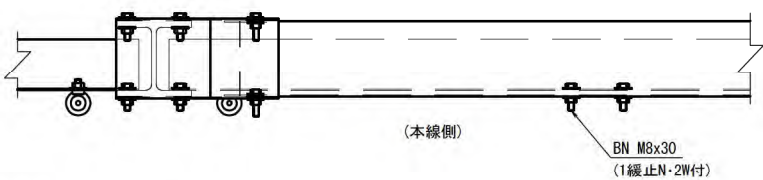
側面図 S=1:50

(本線側から見た図)

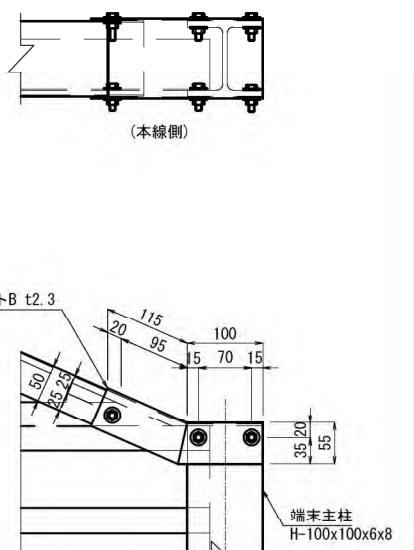


縦断勾配 2.6%

a部詳細図 S=1:10



b部詳細図 S=1:10



数量表

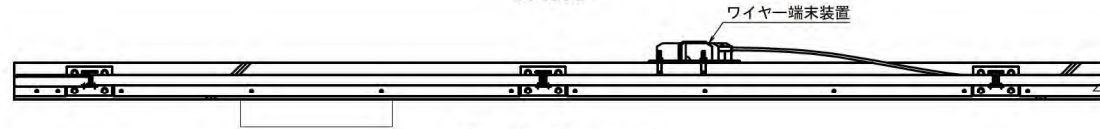
項目	区分	単位	数量
落下物防止柵	G1-2(A)	m	88.8

- 【注記】 ※ 関連工事での施工とする。
1. 主柱は縦断勾配レベル用(水勾配加工有り)を壁高欄天端に対して直角に設置する。
  2. 落下防止ワイヤーφ18の適用長さは、最短14m～最長238mとする。
  3. 緩止ナットは、NAS3350/3354基準適合品とする。
  4. アンカーと壁高欄の鉄筋が干渉する場合は、施工時に鉄筋の位置を調整する。

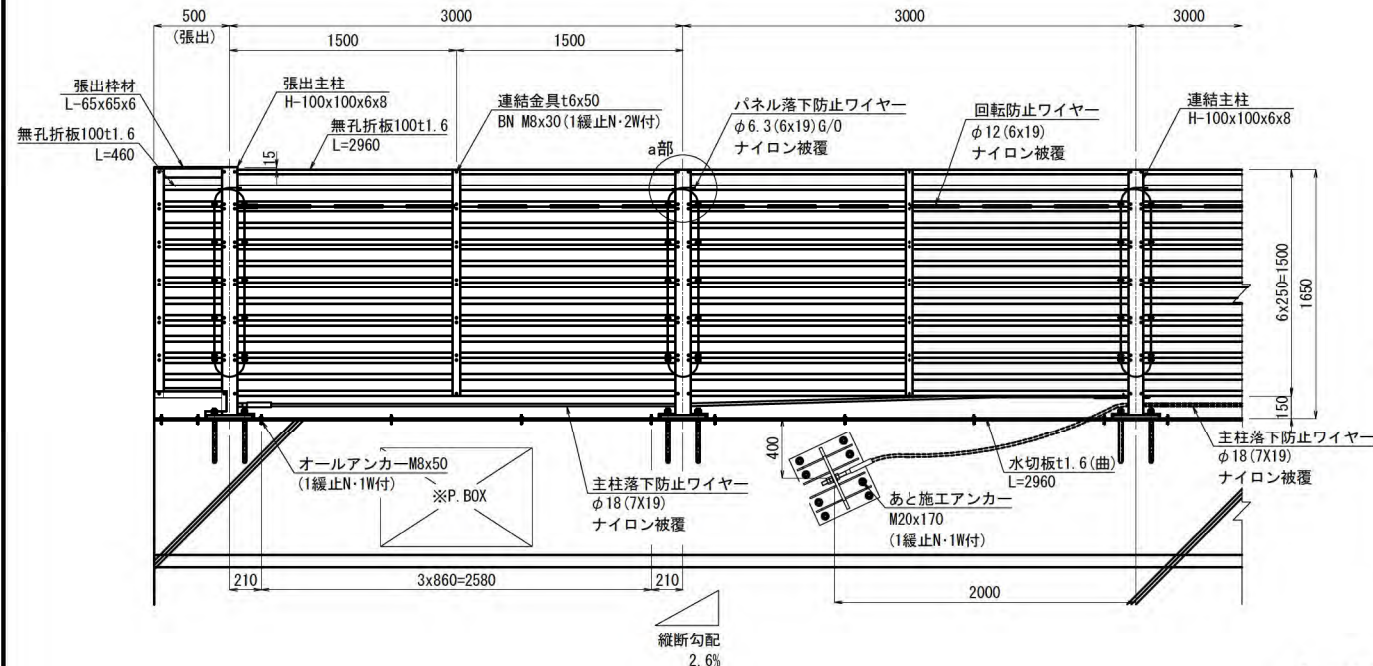
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 落下物防止柵詳細図(飛雪防止柵兼用) (1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



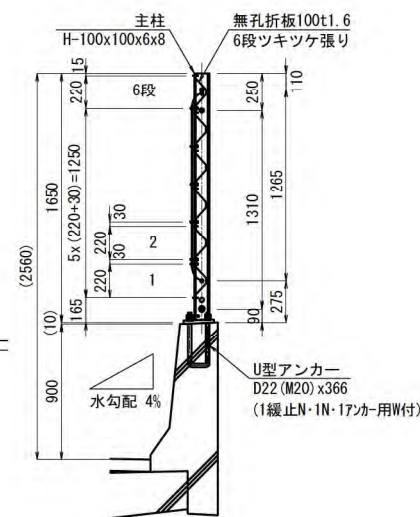
平面図 S=1:50  
(本線側)



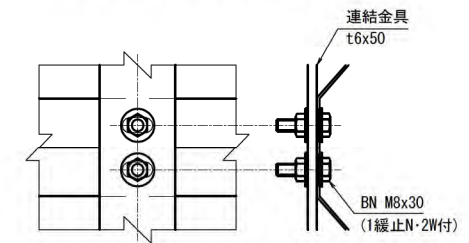
側面図 S=1:50  
(本線側から見た図)



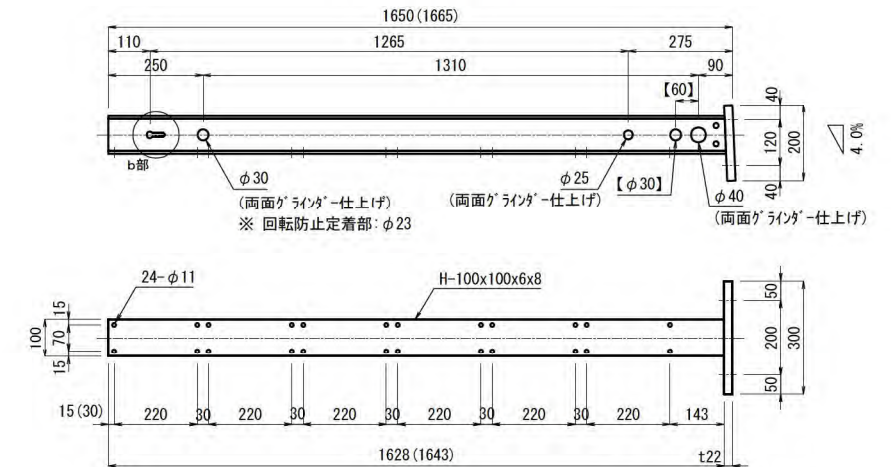
断面図 S=1:50



連結金具取付詳細図 S=1:5

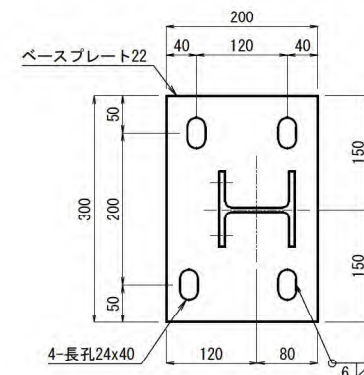


主柱詳細図 S=1:20

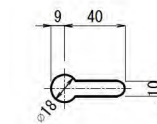


※・本図は4%用主柱を示す。  
・( )内は張出主柱寸法を示す。  
・【】内は連結主柱寸法を示す。

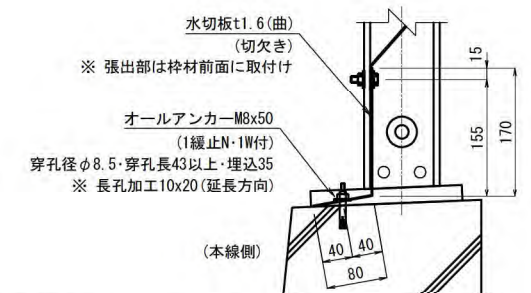
ベースプレート部詳細図 S=1:10



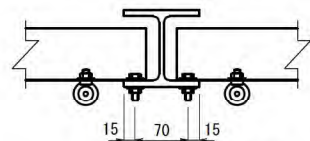
b部詳細図 S=1:5



水切板取付詳細図 S=1:10

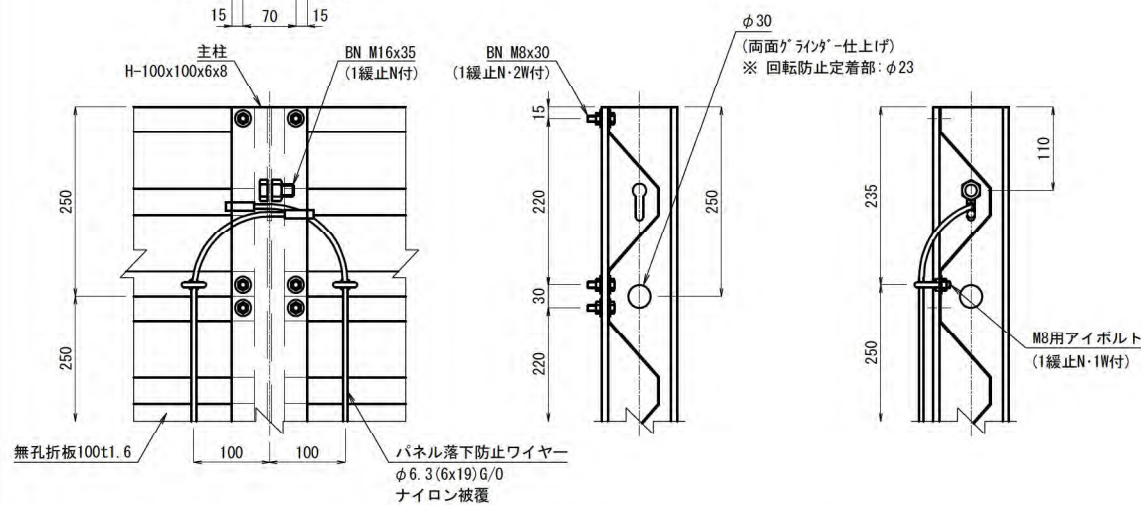


a部詳細図 S=1:10

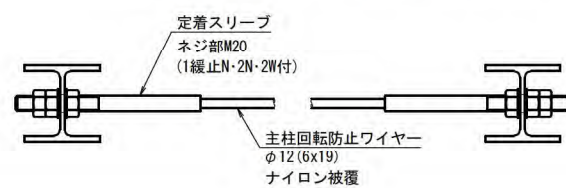


【パネル取付部】

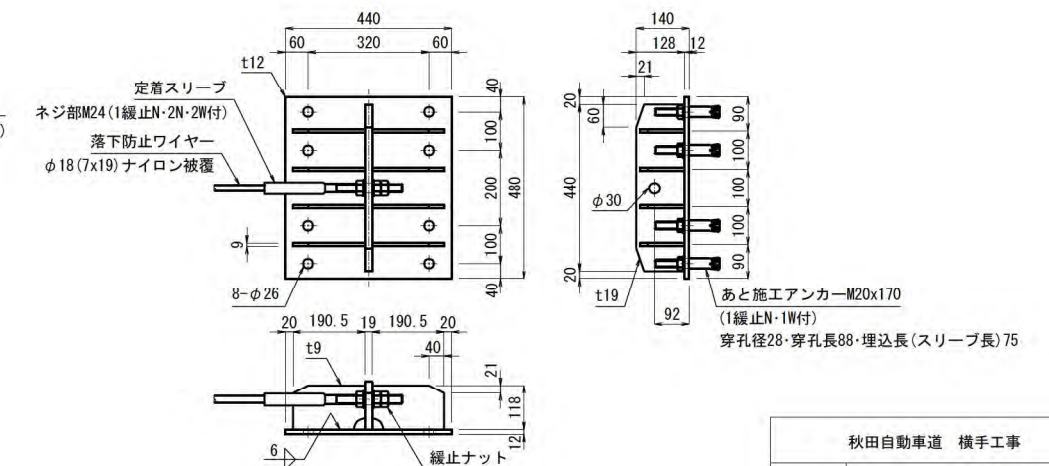
【パネル落下防止ワイヤー取付部】



主柱回転防止ワイヤー詳細図 S=1:10



落下防止ワイヤー端末装置詳細図 S=1:20



【注記】※ 関連工事での施工とする。

1. 主柱は縦断勾配レベル用(水勾配加工有り)を壁高欄天端に対して直角に設置する。
2. 落下防止ワイヤーφ18の適用長さは、最短14m～最長238mとする。
3. 緩止ナットは、NAS3350/3354基準適合品とする。
4. アンカーと壁高欄の鉄筋が干渉する場合は、施工時に鉄筋の位置を調整する。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 落下物防止柵詳細図(飛雪防止柵兼用)(2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



【数量表】

L側材料表

落下物防止柵										L=40.76m (14SP 張出部含む)1連当たり	
材 料 名	形状寸法		数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	材料規格	表面処理			
主柱	H-100x100x6x8	L= 1628	11	本	27.513	302.643	SS400	HDZ177			
連結主柱	H-100x100x6x8	L= 1628	2	本	27.513	55.026	SS400	HDZ177			
張出主柱	H-100x100x6x8	L= 1643	2	本	27.767	55.534	SS400	HDZ177			
ベースプレート	t 22 x 200 x 300		15	枚	10.362	155.430	SS400	HDZ177			
張出枠材	L-65x65x6 H= 1530	L= 497	2	組	14.917	29.834	SS400	HDZ177			
無孔折板100 #3000	t1.6x250	L= 2960	72	枚	11.850	853.200	SS400	HDZ149			
無孔折板100 #1880	t1.6x250	L= 1840	12	枚	7.366	88.392	SS400	HDZ149			
無孔折板100 #500 張出	t1.6x250	L= 460	12	枚	1.842	22.104	SS400	HDZ149			
〃 取付ボルト	M8x30 (1緩止N・2W付)		384	組	0.027	10.368	強度区分4.6相当	HDZ149			
連結金具	t 6 x 50	L= 1500	14	枚	3.533	49.462	SS400	HDZ177			
〃 取付ボルト	M8x30 (1緩止N・2W付)		168	組	0.027	4.536	強度区分4.6相当	HDZ149			
水切板 #3000	t 1.6 x 250	L= 2960	12	枚	9.294	111.528	SS400	HDZ149			
水切板 #1880	t 1.6 x 250	L= 1840	2	枚	5.778	11.556	SS400	HDZ149			
水切板 #500 張出部	t 1.6 x 250	L= 460	2	枚	1.444	2.888	SS400	HDZ149			
パネル落下防止ワイヤー	φ6.3 (6x19) G/O ※両端エンドロック加工	L= 2810	15	本	0.405	6.075	G/O	ナイロン被覆			
〃 抜け防止ボルト	M16x35 (1緩止N付)		15	組	0.130	1.950	強度区分4.6相当	HDZ149			
〃 取付ボルト	M8用7/8”ボルト (1緩止N・1W付)		180	組	0.042	7.560	強度区分4.6相当	HDZ149			
張出主柱落下防止ワイヤー	φ6.3 (6x19) G/O ※両端エンドロック加工	L= 2300	2	本	0.331	0.662	G/O	ナイロン被覆			
ワイヤー固定プレート	t 6 x 44 x 80		2	枚	0.166	0.332	SS400	HDZ177			
〃 抜け防止ボルト	M16x35 (1緩止N・1W付)		2	組	0.140	0.280	強度区分4.6相当	HDZ149			
U型アンカーボルト	D22 (M20) x120x366 (1緩止N・1N・1アソカ用W付)		30	組	2.918	87.540	SD345	HDZ149			
オールアンカー	M8x50 (1緩止N・1W付)		58	組	0.030	1.740	SWCH相当	HDZ149			
					総重量	1858.640					

落下防止ワイヤー							
材 料 名	形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	材料規格	表面処理
落下防止ワイヤー A1側	φ18 (7x19) ※両端エンドクランプ φ32、ネジ部M24 (1緩止N・2N・2W付)	5.20	m	1.280	6.656	ST1470	ナイロン被覆
落下防止ワイヤー	φ18 (7x19) ※両端エンドクランプ φ32、ネジ部M24 (1緩止N・2N・2W付)	32.26	m	1.280	41.293	ST1470	ナイロン被覆
落下防止ワイヤー A2側	φ18 (7x19) ※両端エンドクランプ φ32、ネジ部M24 (1緩止N・2N・2W付)	6.32	m	1.280	8.090	ST1470	ナイロン被覆
ベースプレート	t 12 x 440 x 480	2	枚	2.497	4.994	SCM435H	HDZ149
ワイヤー固定プレート	t 19 x 128 x 440	2	枚	19.895	39.790	SS400	HDZ177
リブプレート	t 9 x 118 x 190.5	16	枚	8.400	16.800	SS400	HDZ177
メタルセーフアンカー	M20x170 (1緩止N・1W付)	16	組	1.588	25.408	SS400	HDZ177
				総重量	9.520	SWCH相当	HDZ149

回転防止ワイヤー							
材 料 名	形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	材料規格	表面処理
回転防止ワイヤー	φ12 (6x19) ※両端エンドクランプ φ20、ネジ部M20 (1緩止N・2N・2W付)	40.09	m	0.524	21.007	G種	ナイロン被覆
		2	組	1.211	2.422	S25C	HDZ149
				総重量	23.429		

※ 落下物防止ワイヤーの長さは、エンドクランプネジ部先端までの全長を表す。  
※ 緩止ナットはNAS3350/3354基準適合品とする。

R側材料表

落下物防止柵					L=48m (16SP 張出部・テーパ-部含む)1連当たり				
材 料 名	形状寸法		数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	材料規格	表面処理	
主柱	H-100x100x6x8	L= 1628	14	本	27.513	385.182	SS400	HDZ177	
連結主柱	H-100x100x6x8	L= 1628	1	本	27.513	27.513	SS400	HDZ177	
張出主柱	H-100x100x6x8	L= 1643	1	本	27.767	27.767	SS400	HDZ177	
端主柱	H-100x100x6x8	L= 3/8	1	本	6.388	6.388	SS400	HDZ177	
ベースプレート	t 22 x 200 x 300		17	枚	10.362	176.154	SS400	HDZ177	
張出枠材	L-65x65x6 H= 1530	L= 497	1	組	14.917	14.917	SS400	HDZ177	
ブラケットA	t 2.3 x 216 x 225		1	ヶ	0.877	0.877	SS400	HDZ149	
ブラケットB	t 2.3 x 216 x 240		1	ヶ	0.936	0.936	SS400	HDZ149	
等本	t 1.6 x 200	L= 3030	1	本	7.611	7.611	SS400	HDZ149	
無孔折板100 #3000	t1.6x250	L= 2960	84	枚	11.850	995.400	SS400	HDZ149	
無孔折板100 #2500	t1.6x250	L= 2460	6	枚	9.848	59.088	SS400	HDZ149	
無孔折板100 テーパー部	t1.6x250		6	枚	11.850	71.100	SS400	HDZ149	
無孔折板100 #500 張出	t1.6x250	L= 460	6	枚	1.842	11.052	SS400	HDZ149	
〃 取付ボルト	M8x30 (1緩止N・2W付)		416	組	0.027	11.232	強度区分4.6相当	HDZ149	
連結金具	t 6 x 50	L= 1500	15	枚	3.533	52.995	SS400	HDZ177	
連結金具 テーパー部	t 6 x 50	L= 780	1	枚	1.837	1.837	SS400	HDZ177	
〃 取付ボルト	M8x30 (1緩止N・2W付)		187	組	0.027	5.049	強度区分4.6相当	HDZ149	
水切板 #3000	t 1.6 x 250	L= 2960	15	枚	9.294	139.410	SS400	HDZ149	
水切板 #2500	t 1.6 x 250	L= 2460	1	枚	7.724	7.724	SS400	HDZ149	
水切板 #500 張出部	t 1.6 x 250	L= 460	1	枚	1.444	1.444	SS400	HDZ149	
パネル落下防止ワイヤー	φ6.3 (6x19) G/O ※両端エンドロック加工	L= 2810	16	本	0.405	6.480	G/O	ナイロン被覆	
〃 抜け防止ボルト	M16x35 (1緩止N付)		16	組	0.130	2.080	強度区分4.6相当	HDZ149	
〃 取付ボルト	M8用7/8”ボルト (1緩止N・1W付)		192	組	0.042	8.064	強度区分4.6相当	HDZ149	
張出主柱落下防止ワイヤー	φ6.3 (6x19) G/O ※両端エンドロック加工	L= 2300	1	本	0.331	0.331	G/O	ナイロン被覆	
ワイヤー固定プレート	t 6 x 44 x 80		1	枚	0.166	0.166	SS400	HDZ177	
〃 抜け防止ボルト	M16x35 (1緩止N・1W付)		1	組	0.140	0.140	強度区分4.6相当	HDZ149	
U型アンカーボルト	D22 (M20) x120x366 (1緩止N・1N・1アソカ用W付)		34	組	2.918	99.212	SD345	HDZ149	
オールアンカー	M8x50 (1緩止N・1W付)		66	組	0.030	1.980	SWCH相当	HDZ149	
					総重量	2122.129			

落下防止ワイヤー							
材 料 名	形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	材料規格	表面処理
落下防止ワイヤー A1	φ18 (7x19) ※両端エンドクランプ φ32、ネジ部M24 (1緩止N・2N・2W付)	48.39	m	1.280	61.939	ST1470	ナイロン被覆
落下防止ワイヤー A2	φ18 (7x19) ※両端エンドクランプ φ32、ネジ部M24 (1緩止N・2N・2W付)	2	組	2.497	4.994	SCM435H	HDZ149
		6.32	m	1.280	8.090	ST1470	ナイロン被覆
		2	組	2.497	4.994	SCM435H	HDZ149
ベースプレート	t 12 x 440 x 480	1	枚	19.895	19.895	SS400	HDZ177
ワイヤー固定プレート	t 19 x 128 x 440	1	枚	8.400	8.400	SS400	HDZ177
リブプレート	t 9 x 118 x 190.5	8	枚	1.588	12.704	SS400	HDZ177
ベースプレート	t 12 x 220 x 520	1	枚	10.776	10.776	SS400	HDZ177
ワイヤー固定プレート	t 25 x 125 x 176	1	枚	4.318	4.318	SS400	HDZ177
リブプレート	t 12 x 135 x 500	2	枚	6.359	12.718	SS400	HDZ177
張出主柱用ブラケット	t 12 x 175 x 410	1	ヶ	7.342	7.342	SS400	HDZ177
メタルセーフアンカー	M20x170 (1緩止N・1W付)	16	組	0.595	9.520	SWCH相当	HDZ149
				総重量	165.690		

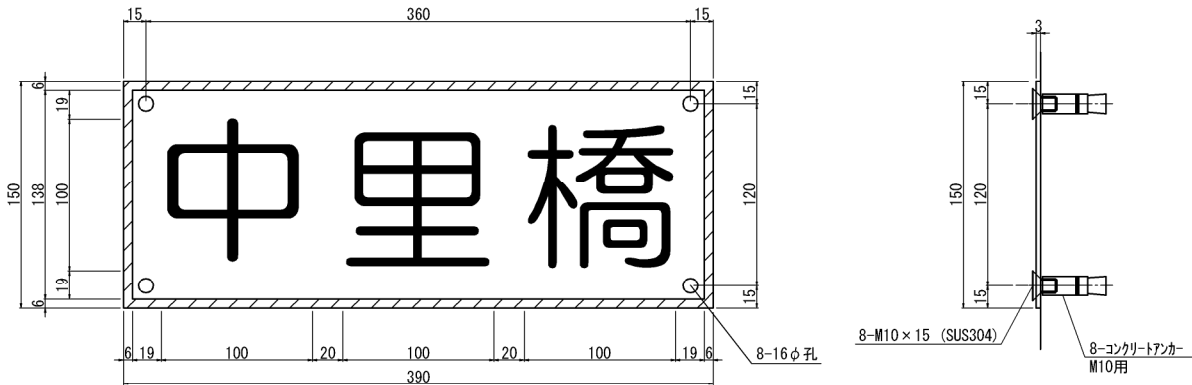
回転防止ワイヤー							
材 料 名	形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	材料規格	表面処理
回転防止ワイヤー	φ12 (6x19) ※両端エンドクランプ φ20、ネジ部M20 (1緩止N・2N・2W付)	44.83	m	0.524	23.491	G種	ナイロン被覆
		2	組	1.211	2.422	S25C	HDZ149
				総重量	25.913		

※ 落下物防止ワイヤーの長さは、エンドクランプネジ部先端までの全長を表す。  
※ 緩止ナットはNAS3350/3354基準適合品とする。

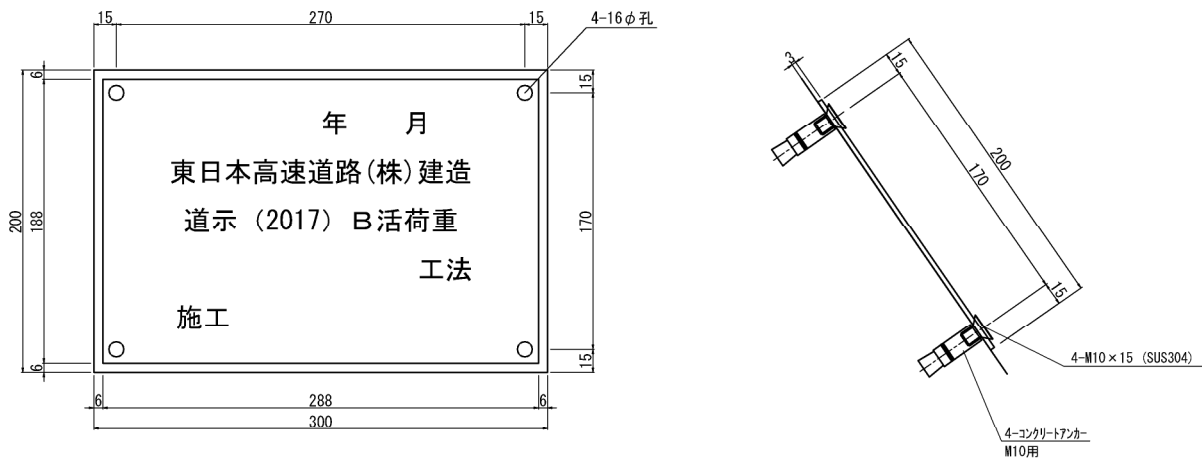
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 落下物防止欄詳細図(飛雪防止柵兼用) (3)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



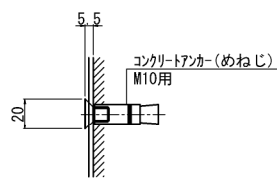
橋名板 S=1:5



橋歴板 S=1:5



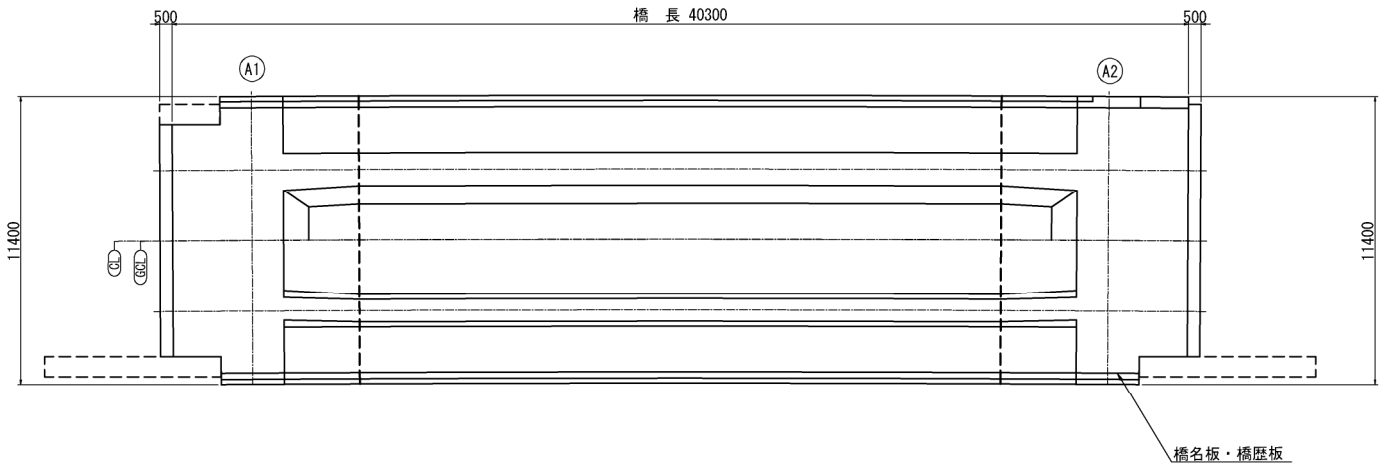
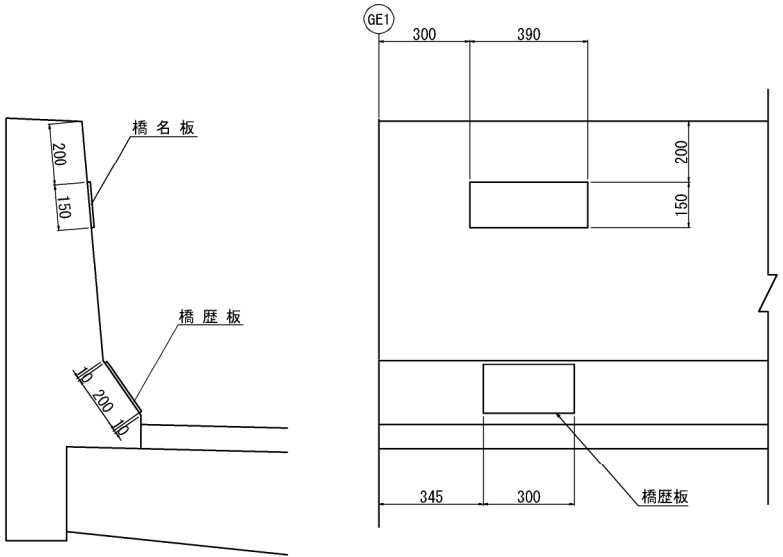
橋歴板 S=1:5



橋名板  
8 - コンクリートアンカー-M10用 (SUS304)  
8 - 皿ボルト M10 x 15 (SUS304)

橋歴板  
4 - コンクリートアンカー-M10用 (SUS304)  
4 - 皿ボルト M10 x 15 (SUS304)

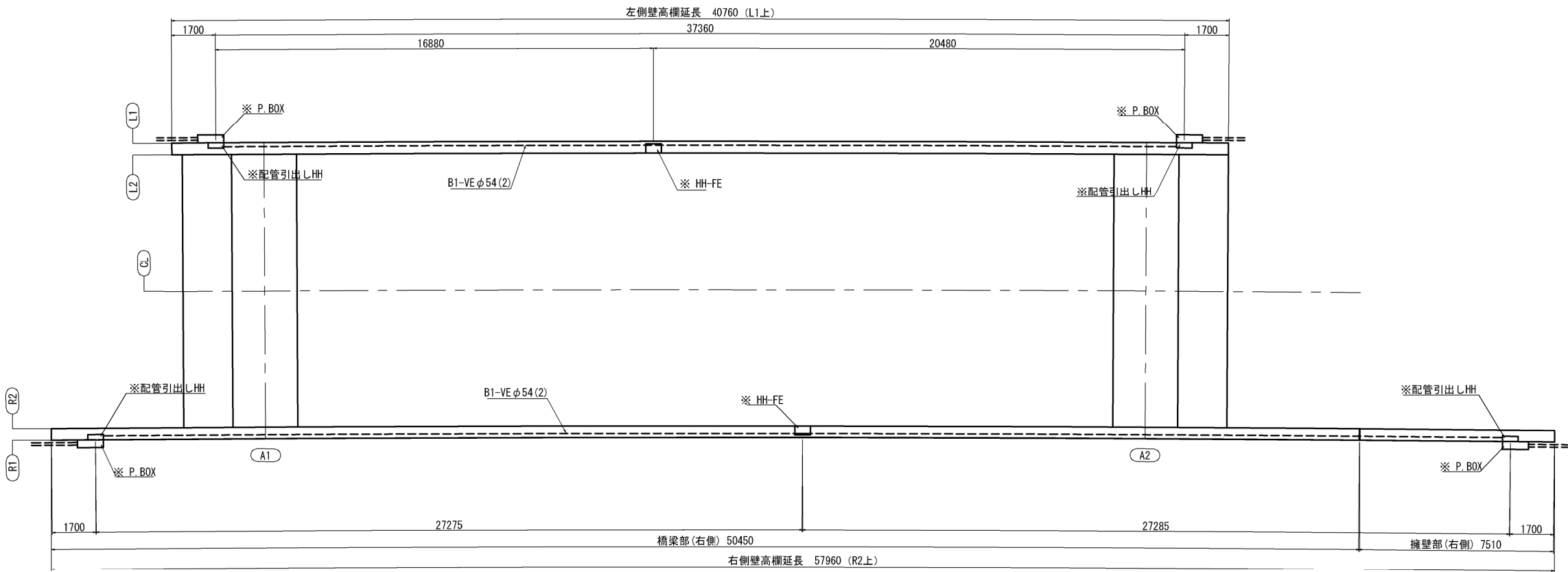
橋名板・橋歴板設置位置図 S=1:25



- 注記
- 橋名板及び橋歴板の材料は、JIS H 4000 A 5052P (アルミニウム板) とする。  
また、表面は透明の高耐候性フィルムにより被覆する。
  - 橋名板及び橋歴板に用いる色は黒地に金色とし、縁6mmについても文字と同様に金色とする。
  - 橋名板の字体は丸ゴシック体とする。
  - 橋歴板の字体はゴシック体とする。
  - 橋名板は、車道側から見て左から記入とする。
  - 橋名板、橋歴板を取付ける際は、他の構造物との取合いを十分に確認した上で行なうこと。

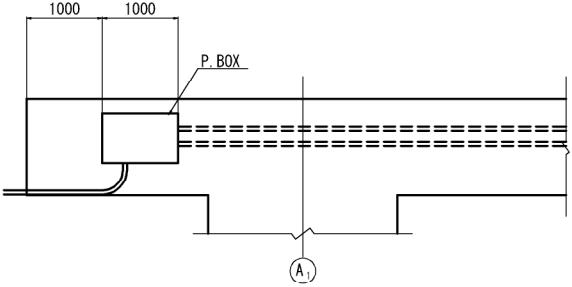
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線） 橋名板・橋歴板詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

平面図 S=1:200

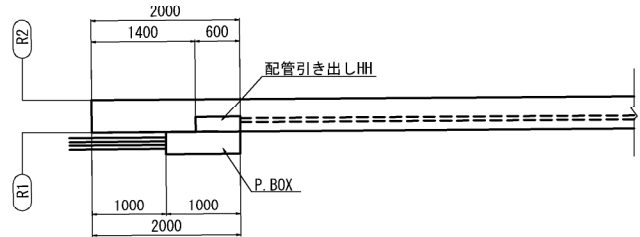


端部詳細図 S=1:100

側面図

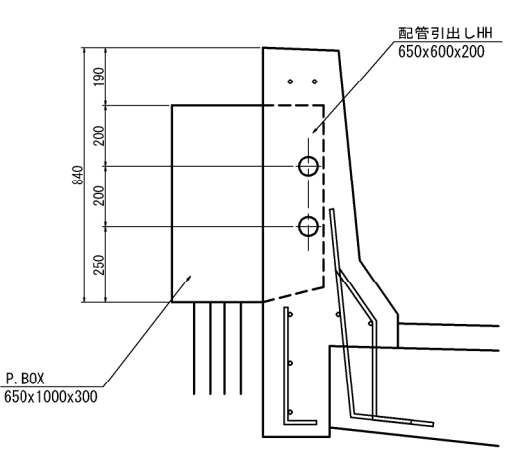


平面図

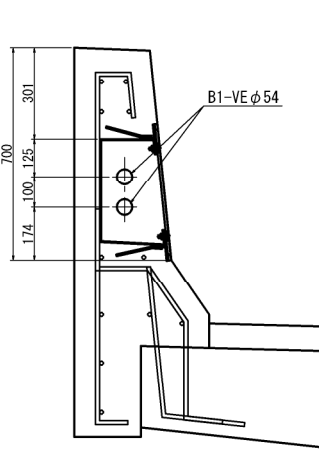


断面図 S=1:25

引出用HH



HH-FE

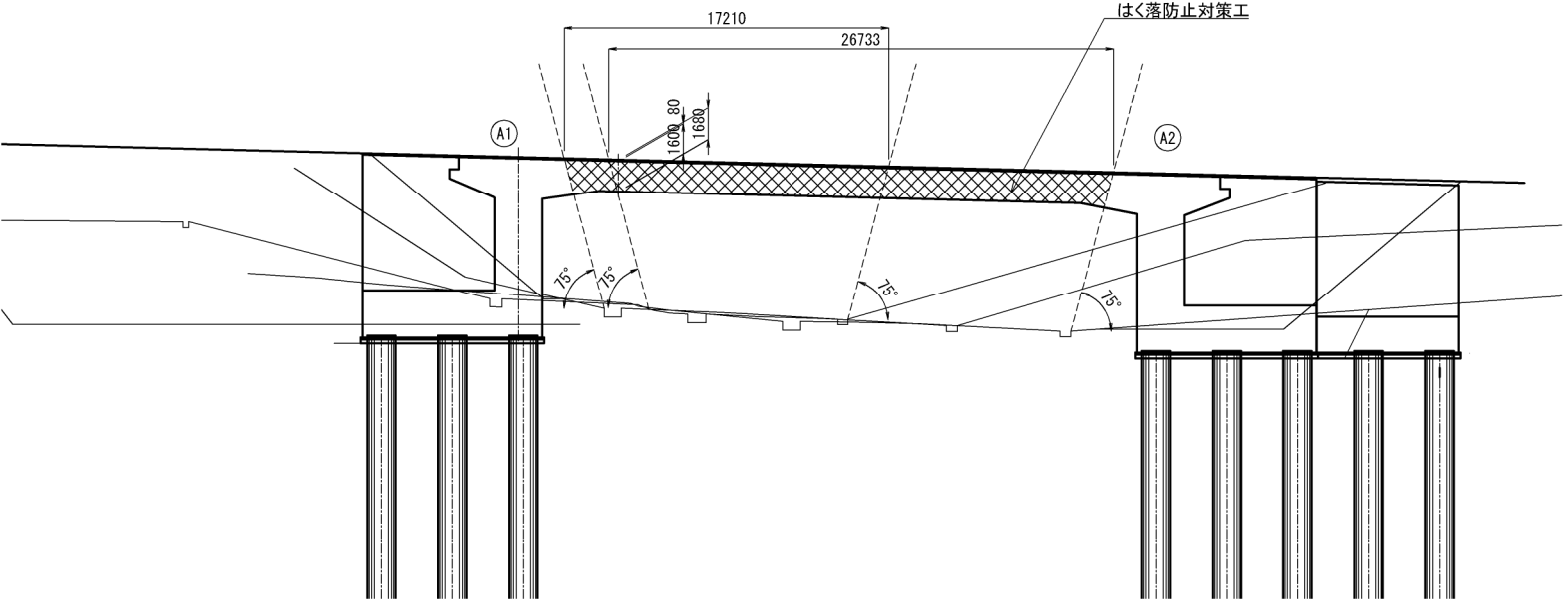


※1 ハンドホール、P.BOXについては関連工事で施工する。

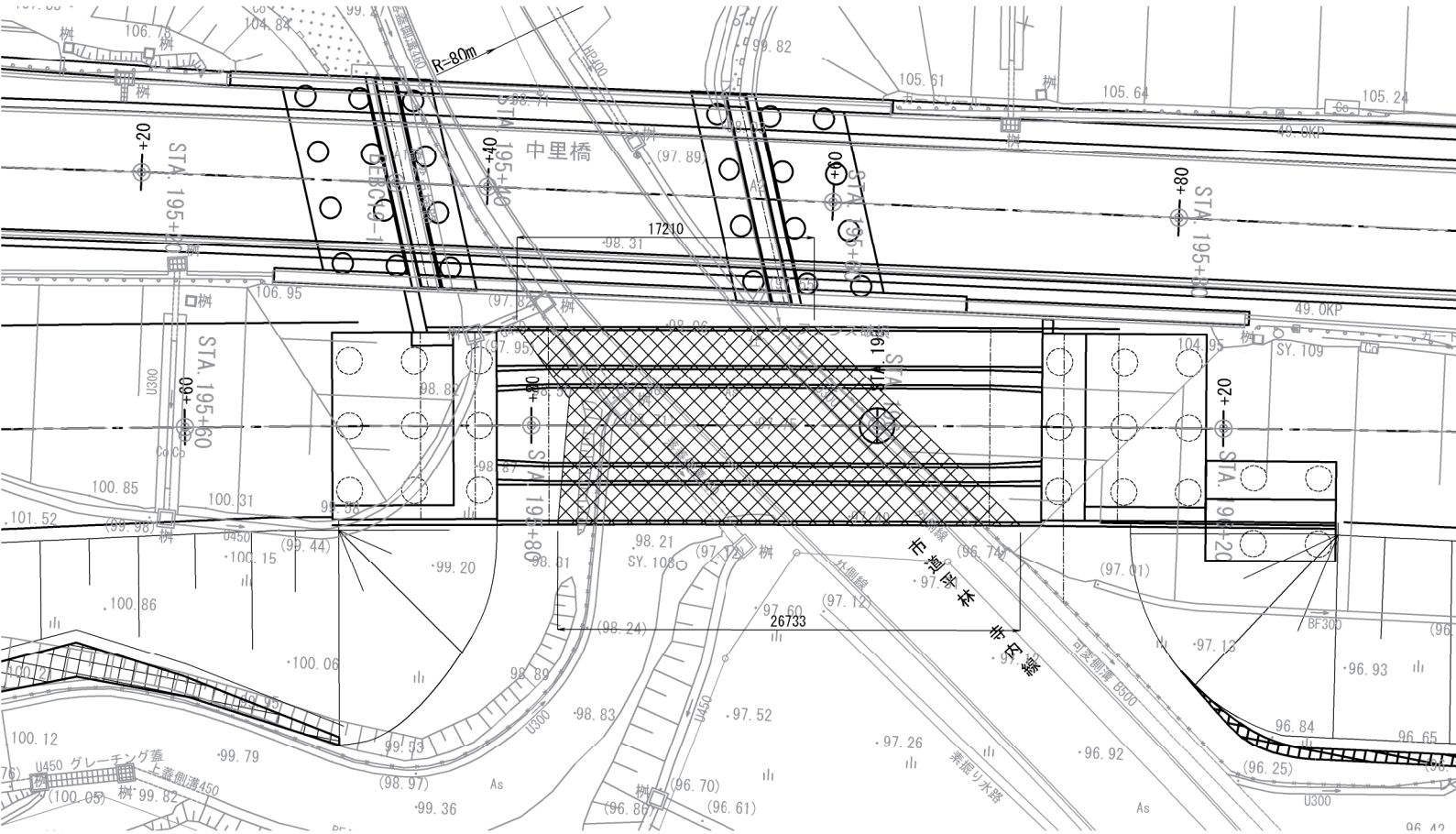
数量表		単位	左側	右側	擁壁(右側)	合計
項目						
橋梁部管路工	B1-VE φ54 (2)	m	40.760	50.450	7.510	98.720

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 通信管路工配置図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

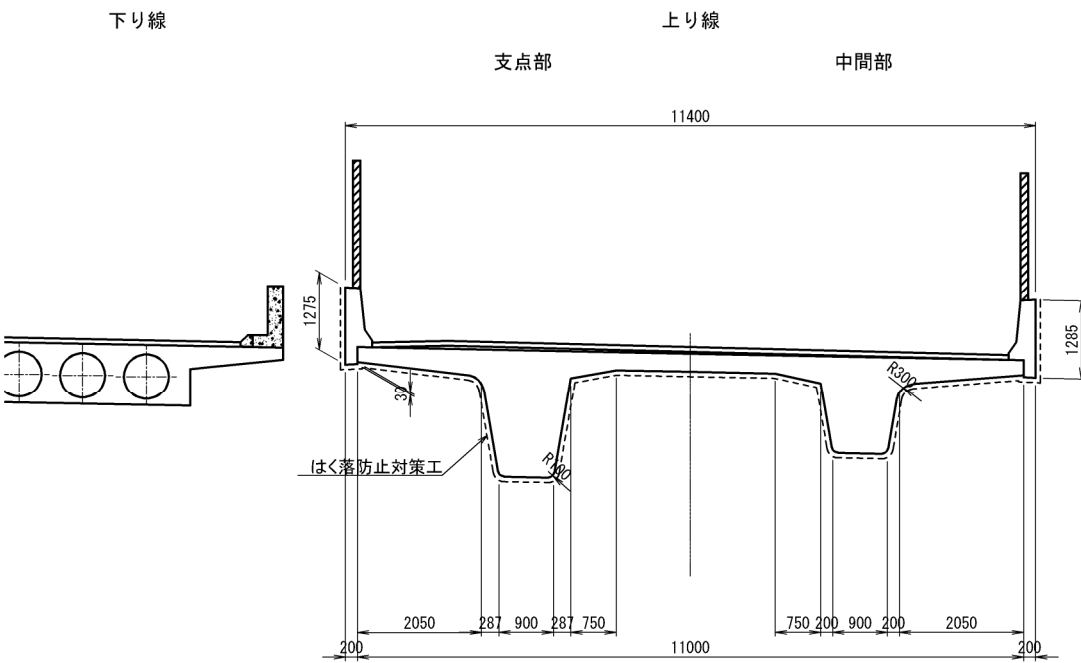
側面図 S=1:400



平面図 S=1:400



断面図 S=1:125



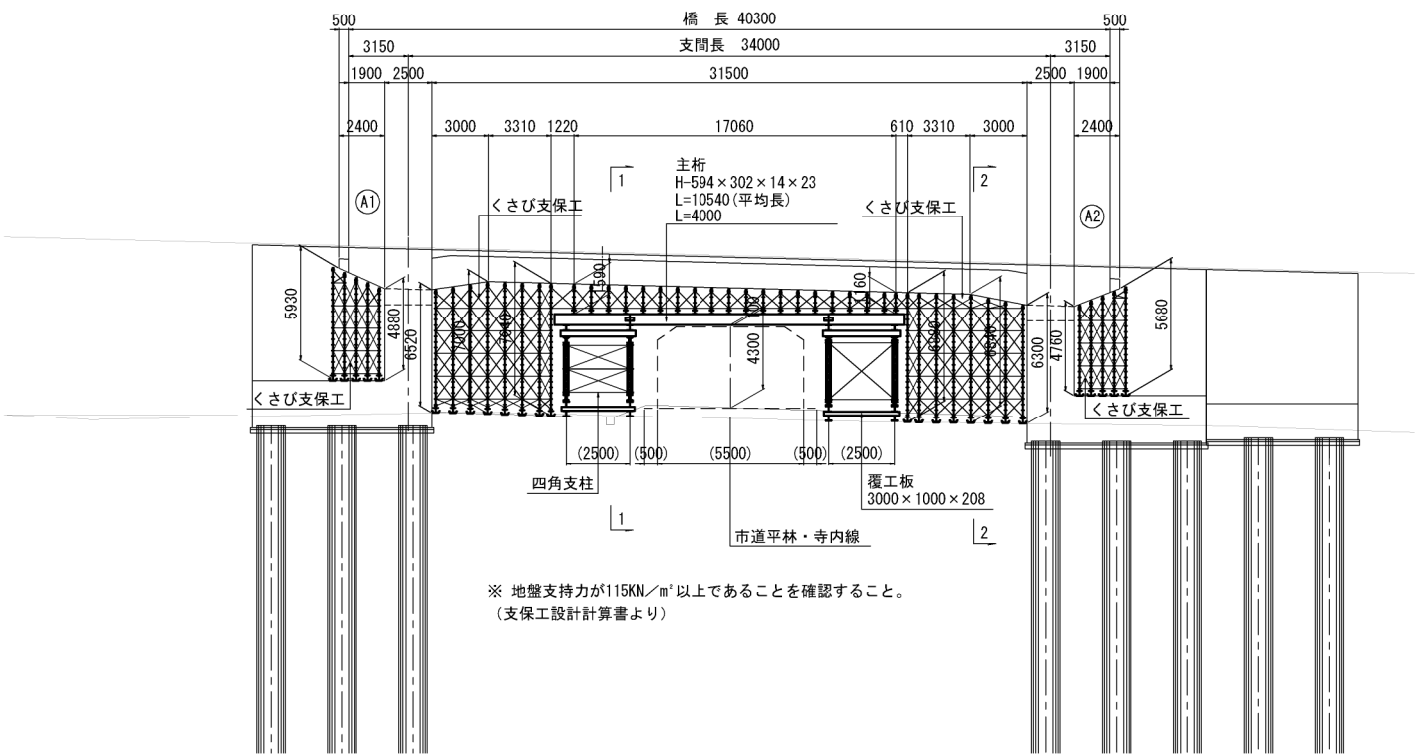
数量表

項 目	区 分	単 位	数 量
はく落防止対策工	A	m <sup>2</sup>	368.4

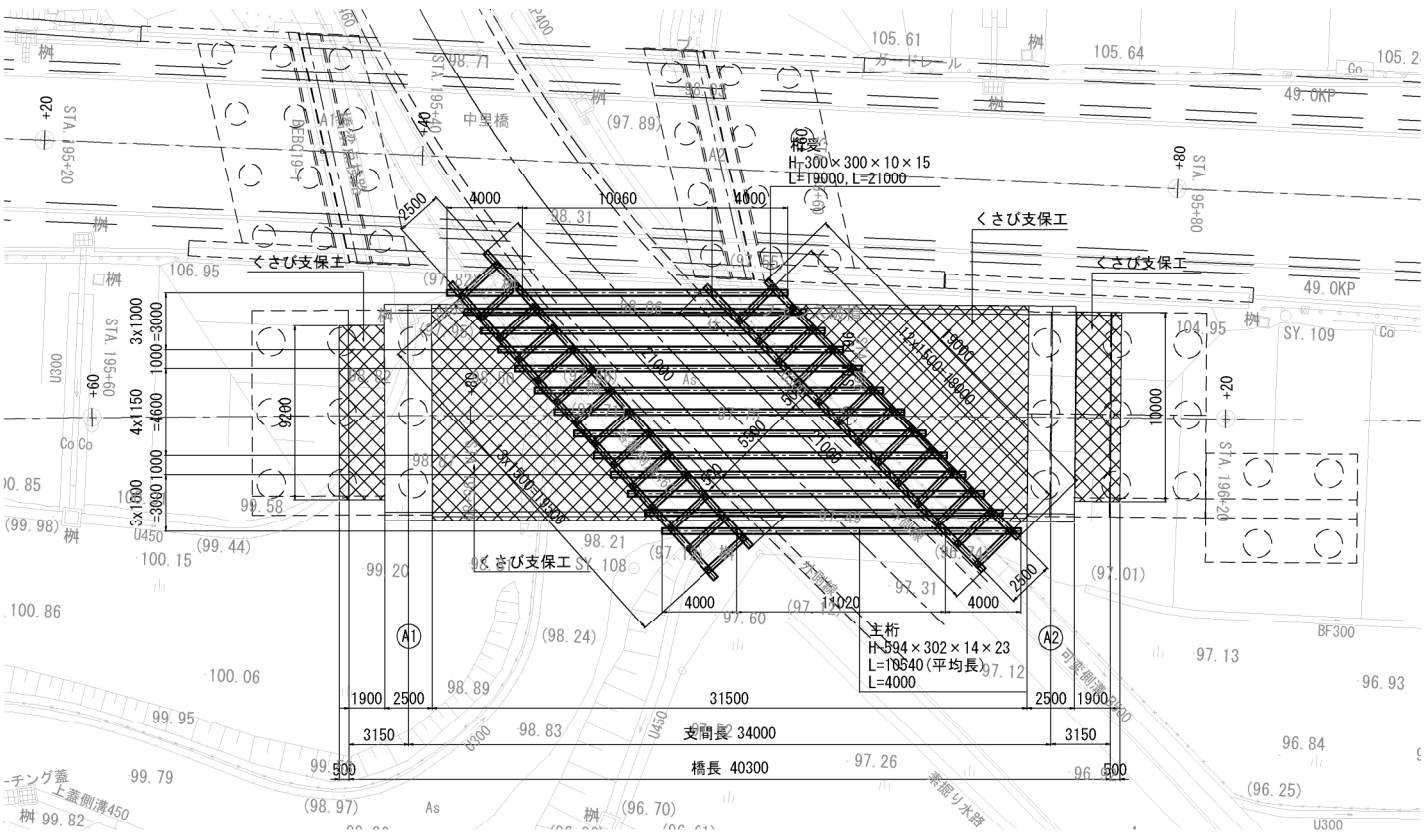
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線） はく落防止対策工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



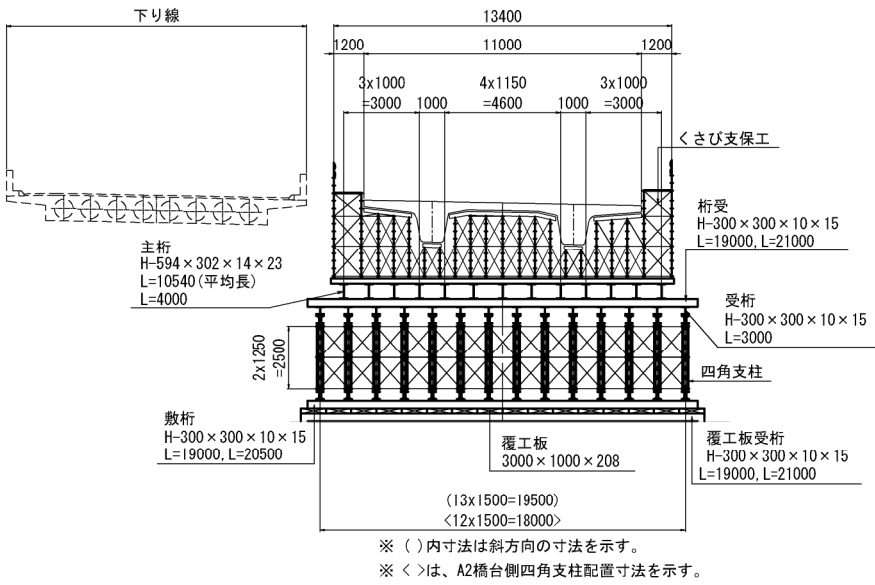
側面図 S=1:400



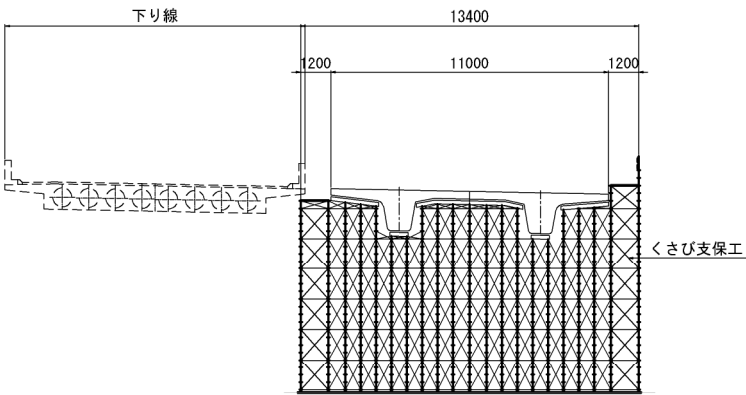
平面図 S=1:400



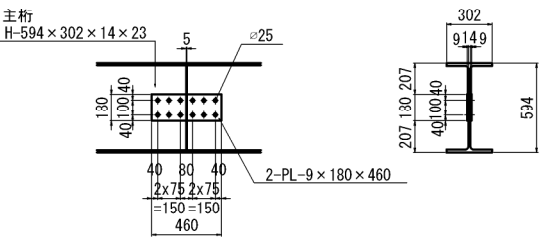
1-1断面図 S=1:300



2-2断面図 S=1:300



主桁継手詳細(参考図) S=1:50

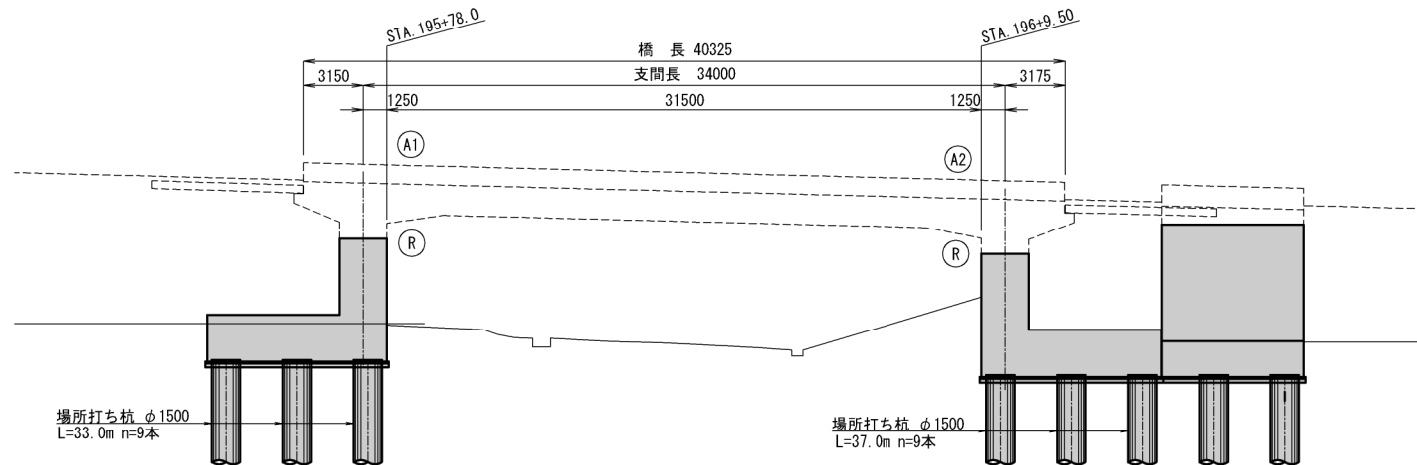


A1橋台～A2橋台間 支保工鋼材重量

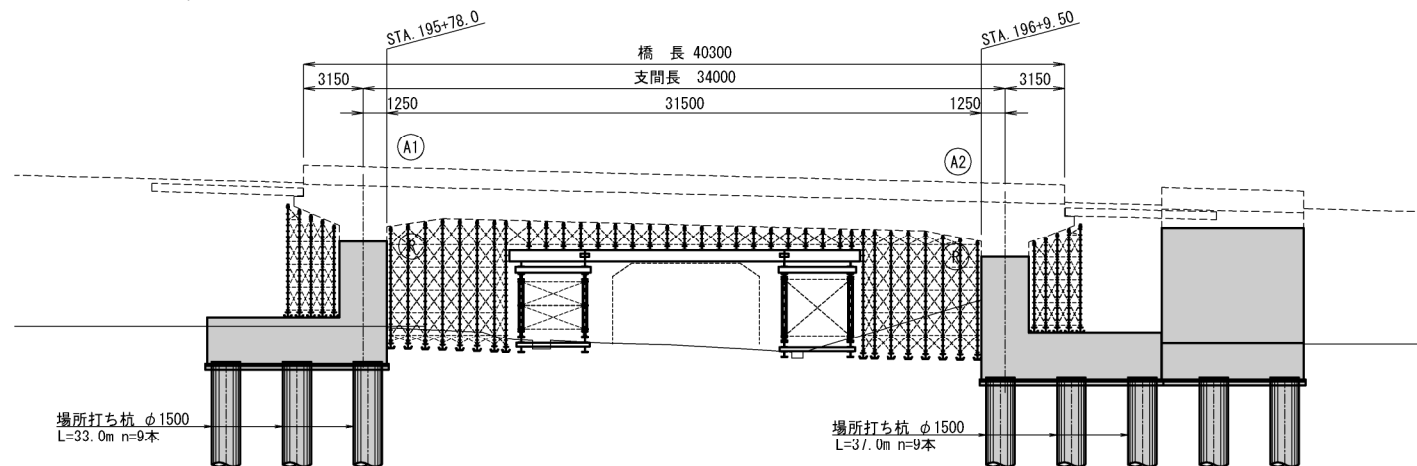
名 称	規 格	寸法		単位重量 (kg/m)	1本当り 質量 (kg)	数量 (本数)	質量 (t)	備 考
		(m)	(kg/m)					
主桁	H-594×302×14×23	10.540	170.0	1792	13	23.296	平均長	リース品
	H-594×302×14×23	4.000	170.0	680	26	17.680		リース品
桁受	H-300×300×10×15	19.000	93.0	1767	1	1.767		リース品
	H-300×300×10×15	21.000	93.0	1953	3	5.859		リース品
受桁	H-300×300×10×15	3.000	93.0	279	27	7.533		リース品
	ジャッキ	-	-	32.6	54	1.760		リース品
四角支柱	L=1250	-	-	30.5	56	1.708		リース品
	L=3000	-	-	54.4	26	1.414		リース品
敷桁	H-300×300×10×15	20.500	93.0	1907	2	3.814		リース品
	H-300×300×10×15	19.000	93.0	1767	2	3.534		リース品
覆工板 受桁	H-300×300×10×15	21.000	93.0	1953	2	3.906		リース品
	H-300×300×10×15	19.000	93.0	1767	2	3.534		リース品
覆工板	3000×1000×208	-	-	210.0	630	24.570	A=117m <sup>2</sup>	
合計		-	-	-	-	100.375		

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) 上部工支保工計画図(参考図)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

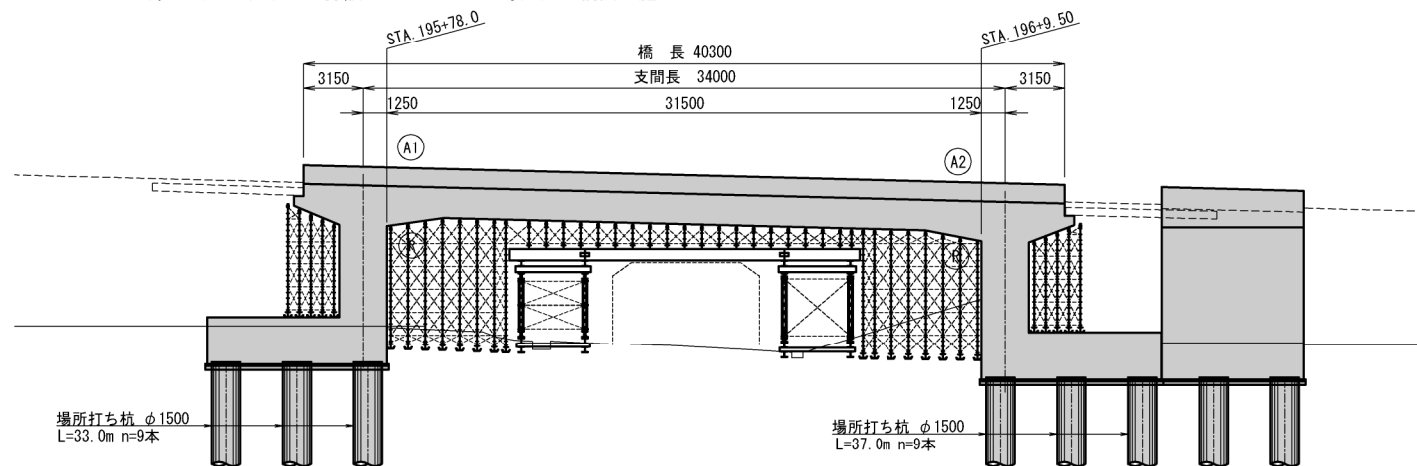
STEP1：下部工施工



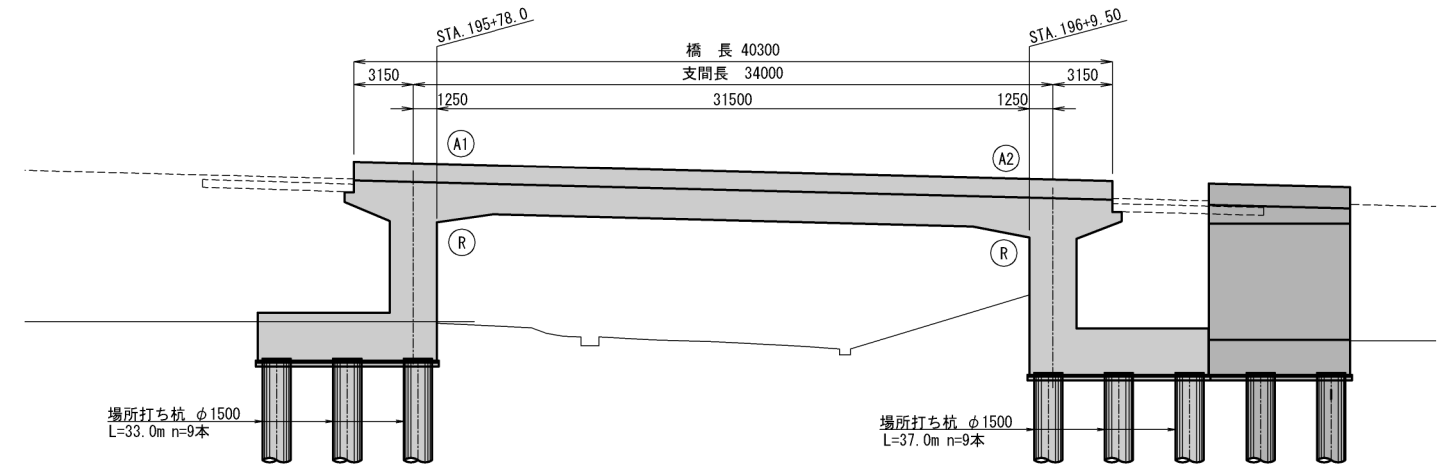
STEP2：支保工設置



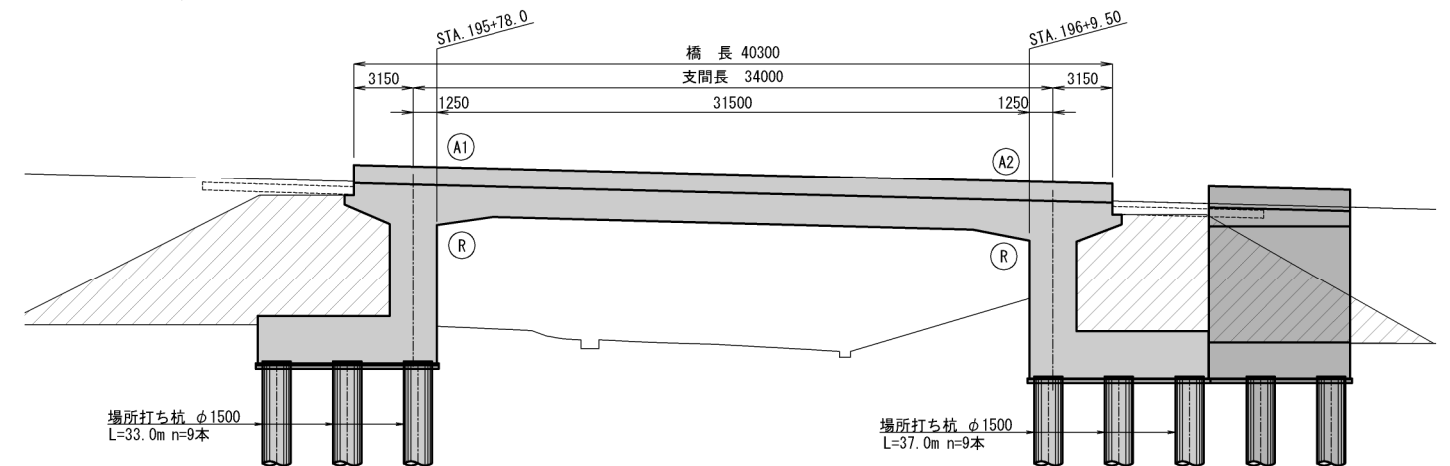
STEP3：上部工（コンクリート打設・プレストレス導入）・橋面施工



STEP4：支保工撤去

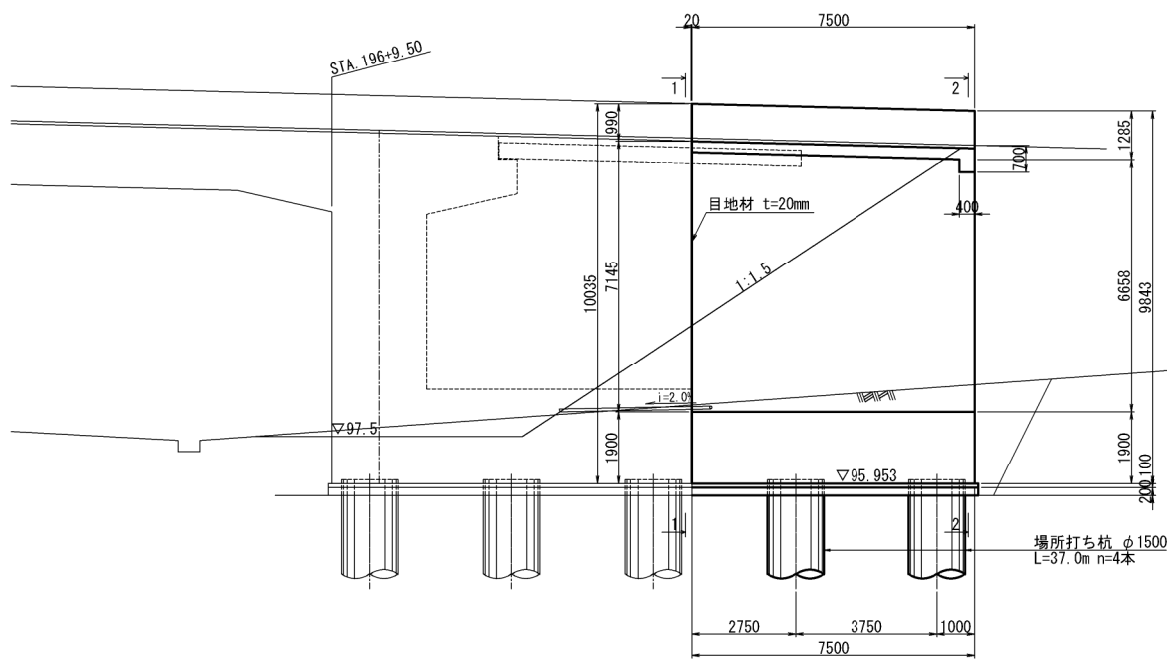


STEP5：裏込め工および踏掛版施工

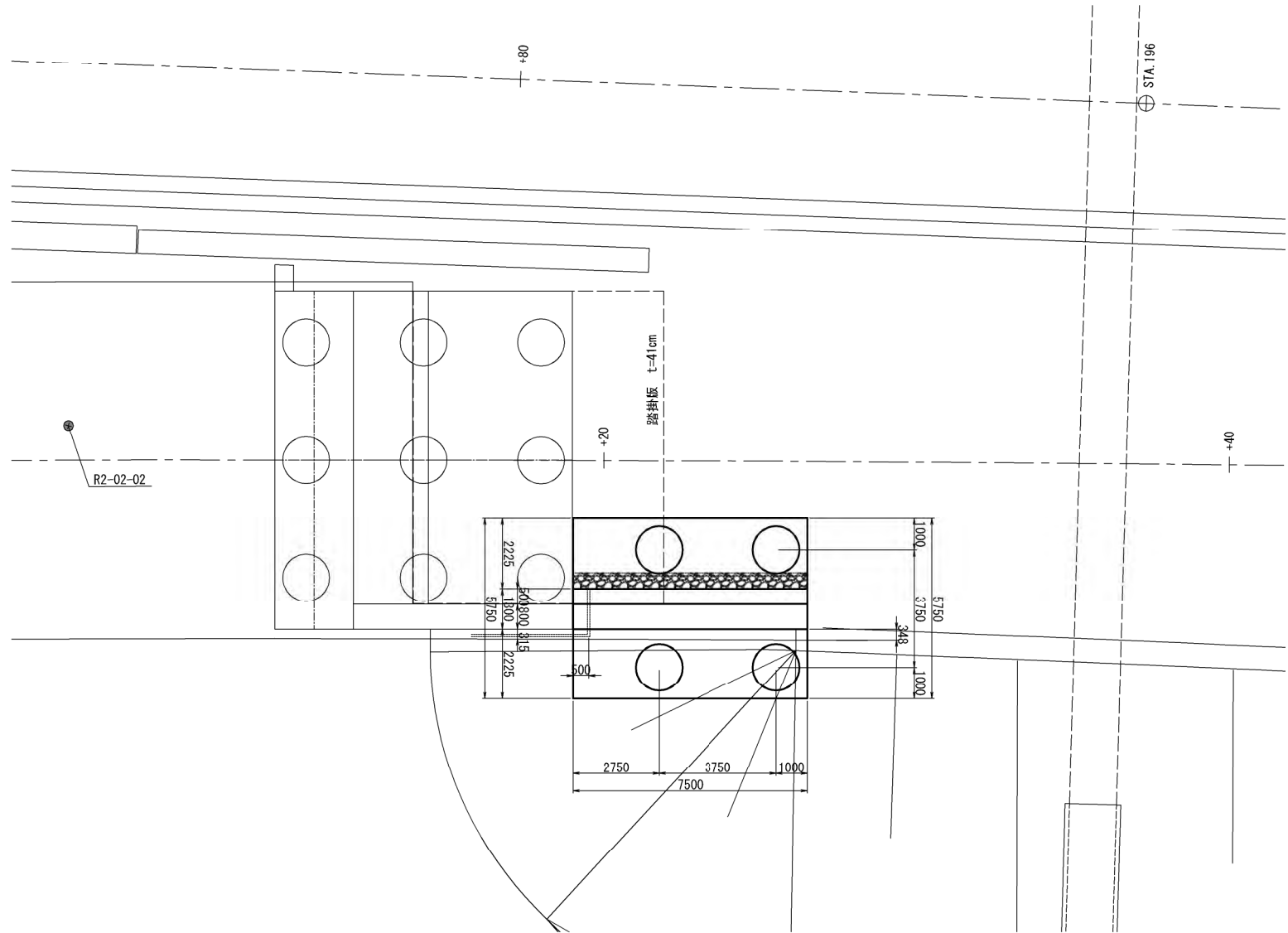


秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線） 上部工架設要領図（参考図）		
縮 尺	1:400	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

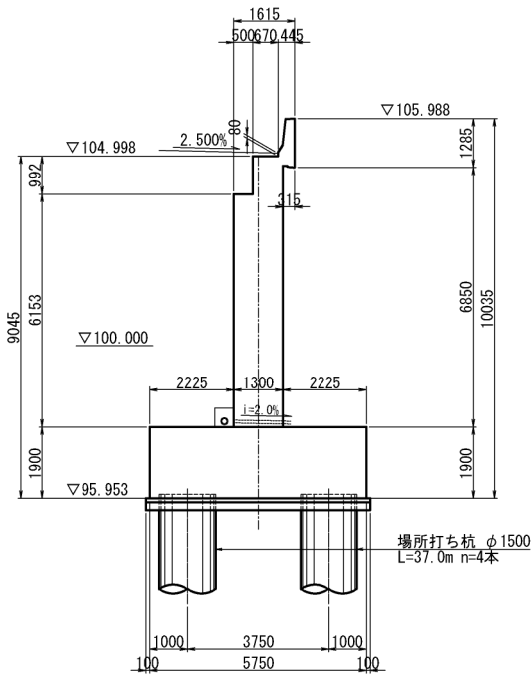
側面図



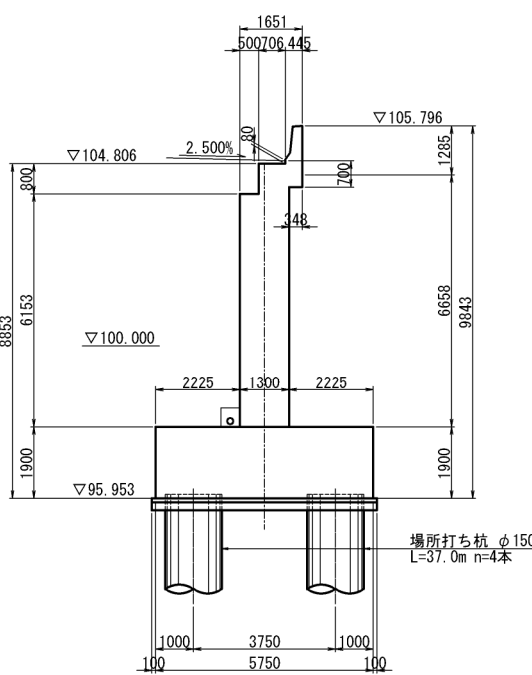
平面図



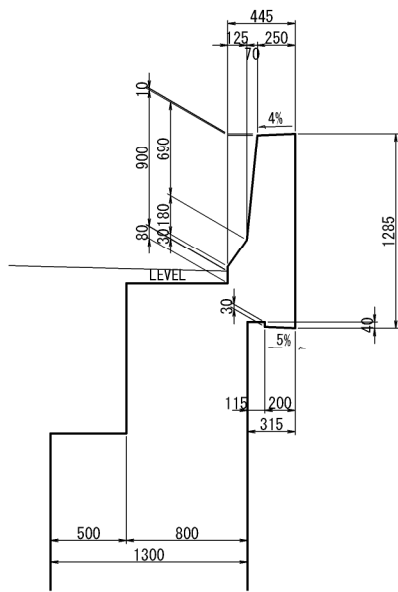
断面図 (1-1)



断面図 (2-2)



擁壁頂部詳細図 S=1:50

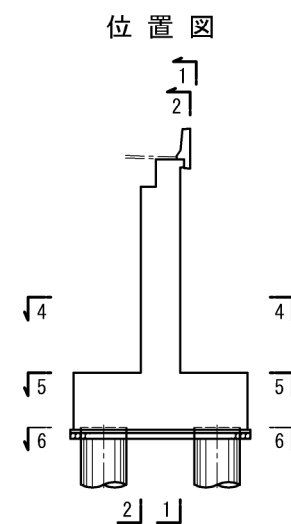
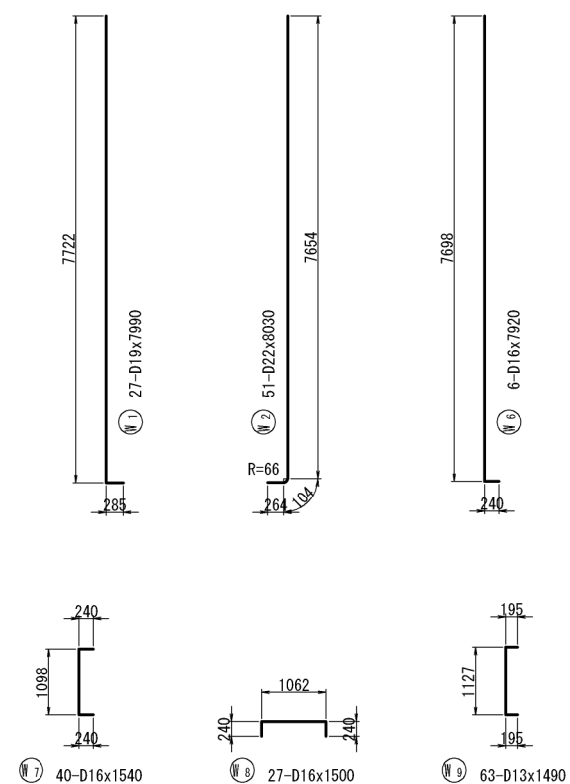
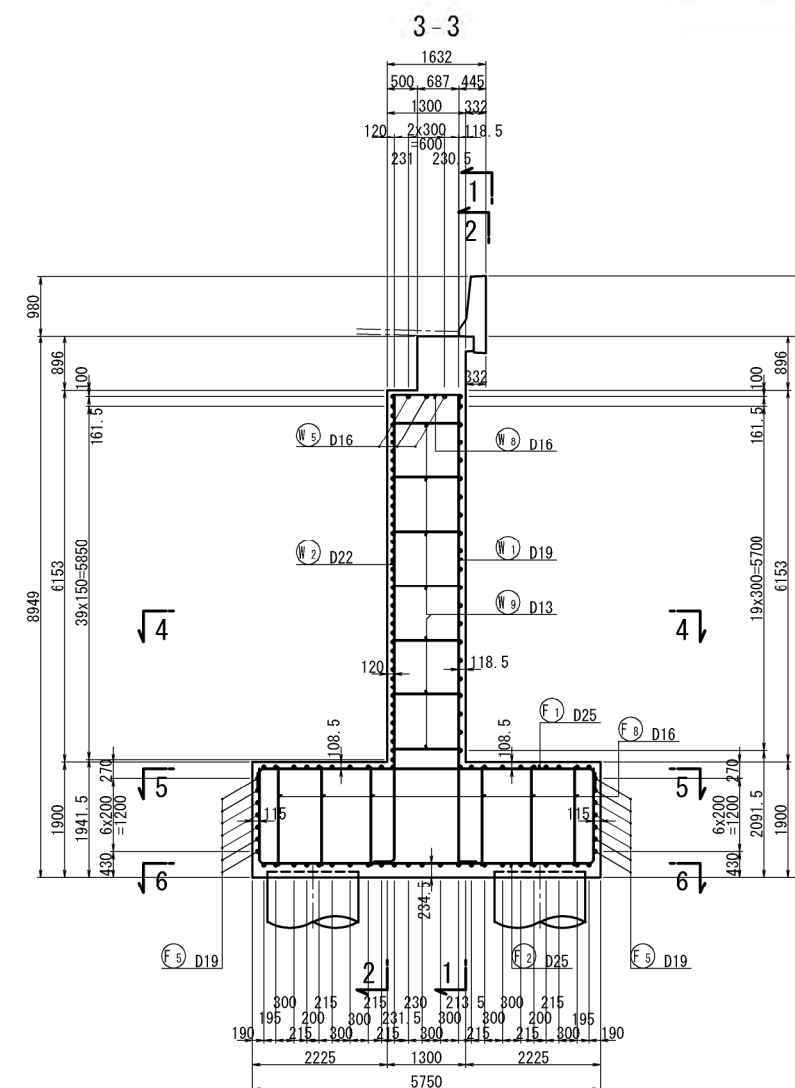


使用材料一覧表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
地覆・壁高欄	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	SD345 (エポキシ被覆)
躯体・土留め壁	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	SD345 (エポキシ被覆)
フーチング	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	SD345
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	

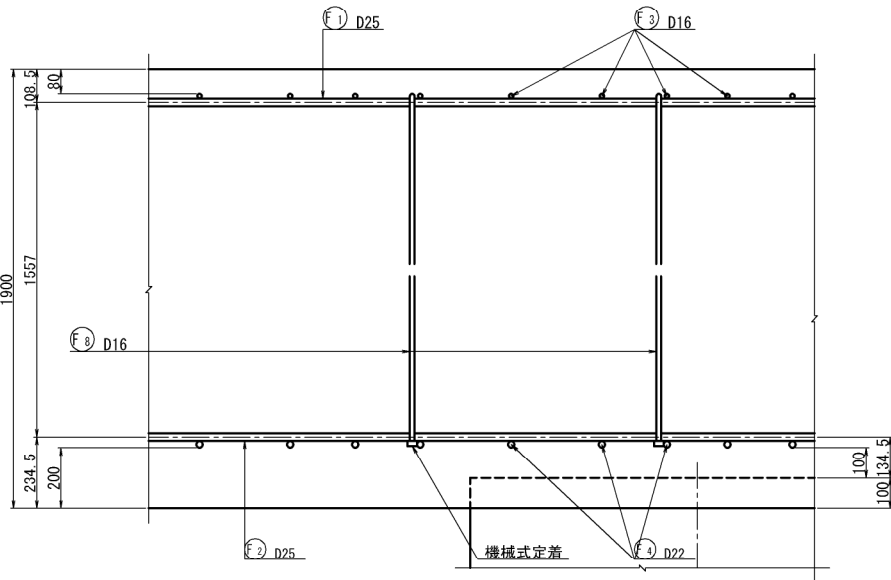
秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台擁壁構造一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



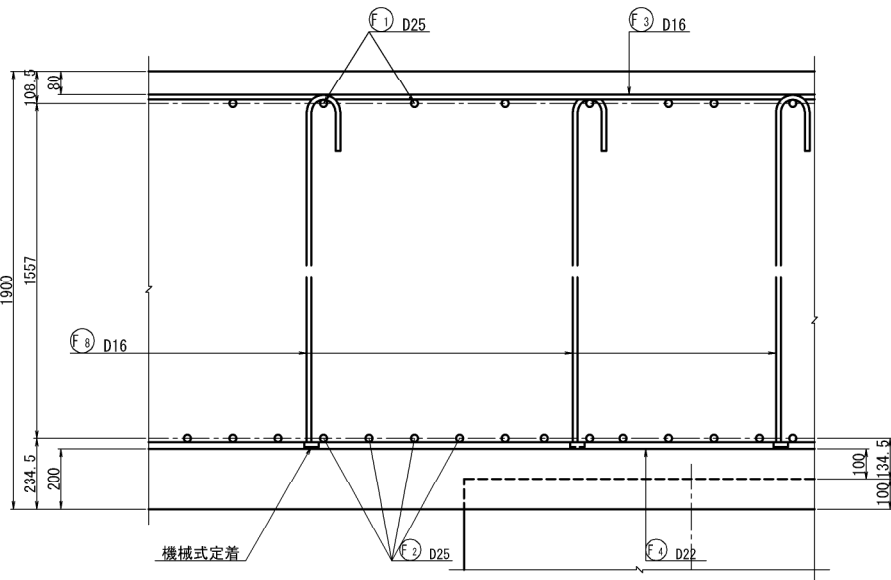


秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中甲橋（上り線） A 2橋台據置配筋図（1）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

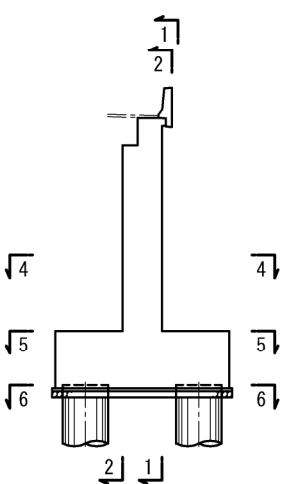
かぶり詳細図 S=1:25  
橋軸方向



直角方向



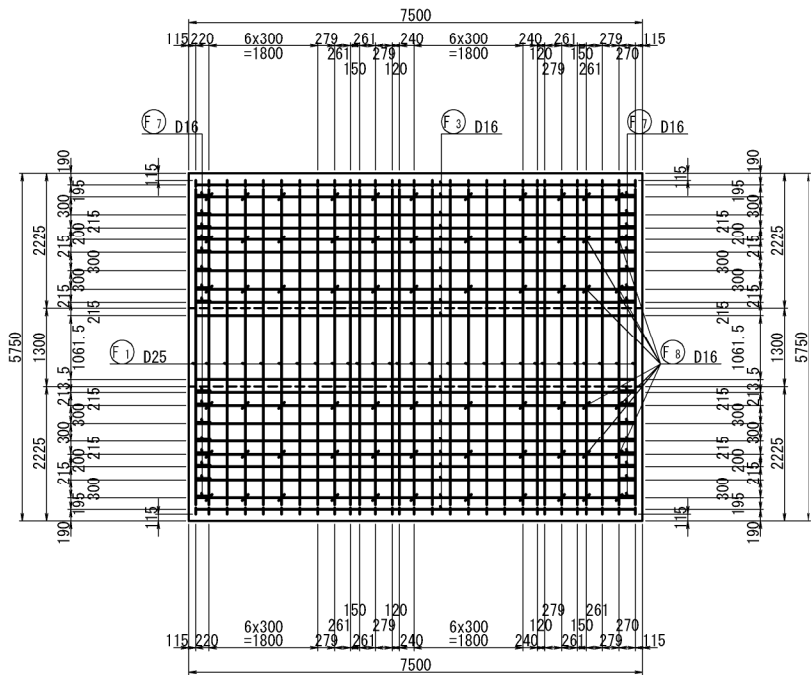
位置図



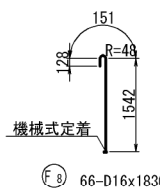
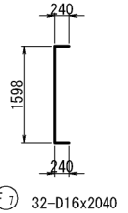
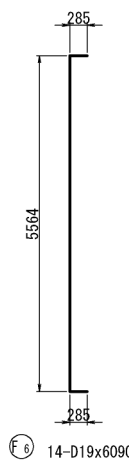
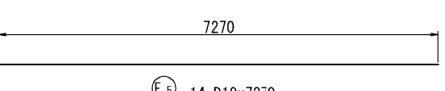
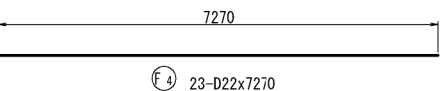
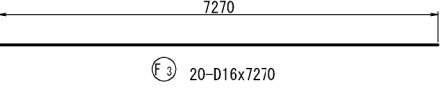
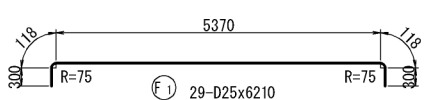
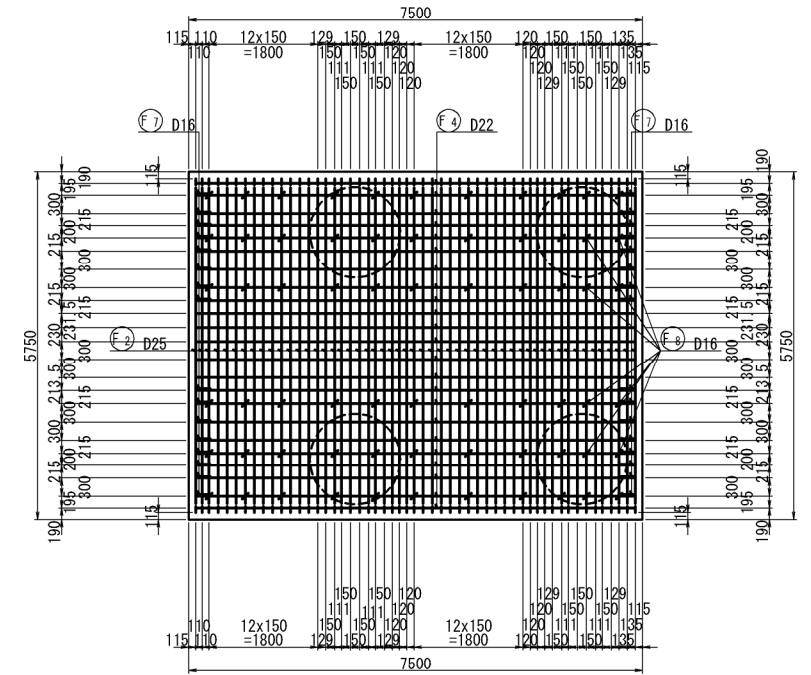
- 特記事項
- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
  - フーチング部材の主鉄筋および配筋鉄筋のピッチは、150mmまたは300mm間隔を基本とし、場所打ち杭の鉄筋との干渉を考慮して決定をしている。
  - 施工時に再度確認の後、調整をすること。
  - フーチング部材の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
  - また、フーチング端部はフーチング端部鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。
  - 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
  - F鉄筋（フーチング）を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線） A 2 橋台擁壁配筋図（2）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		

5-5



6-6



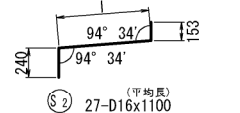
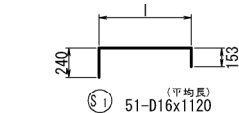
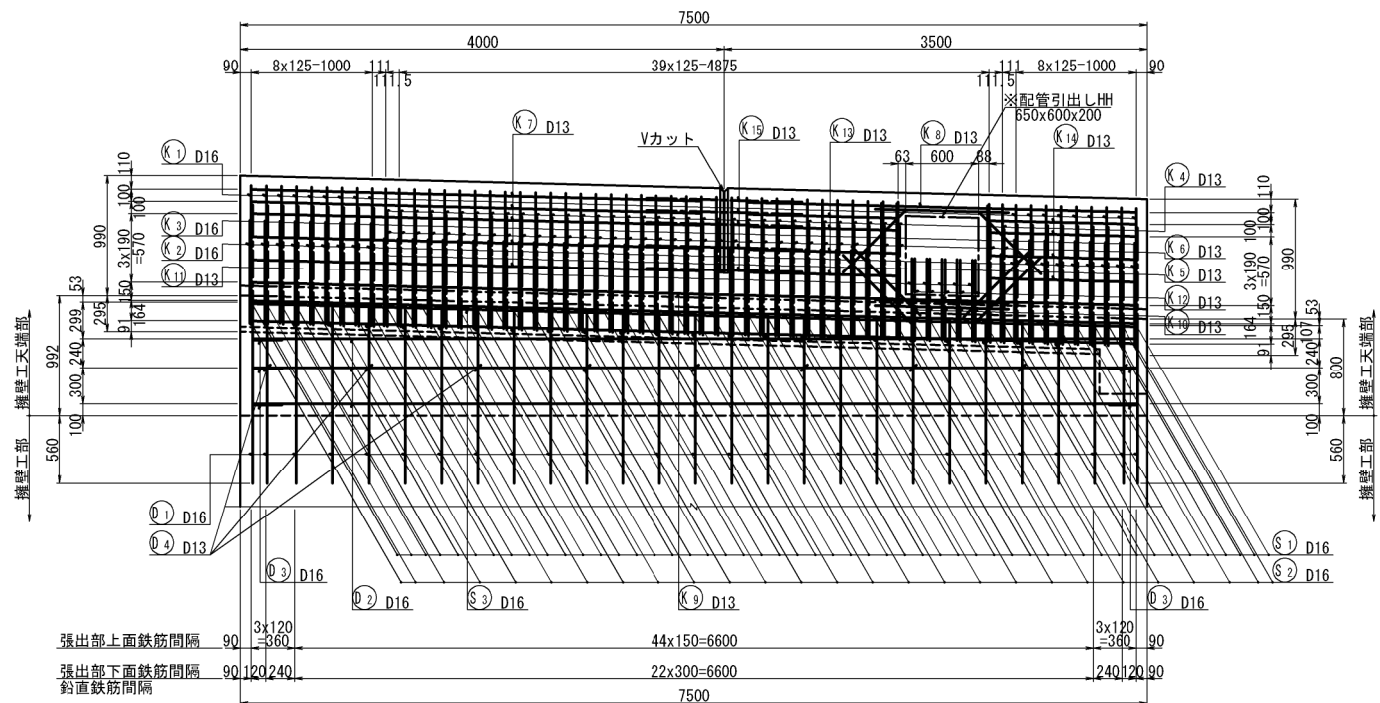
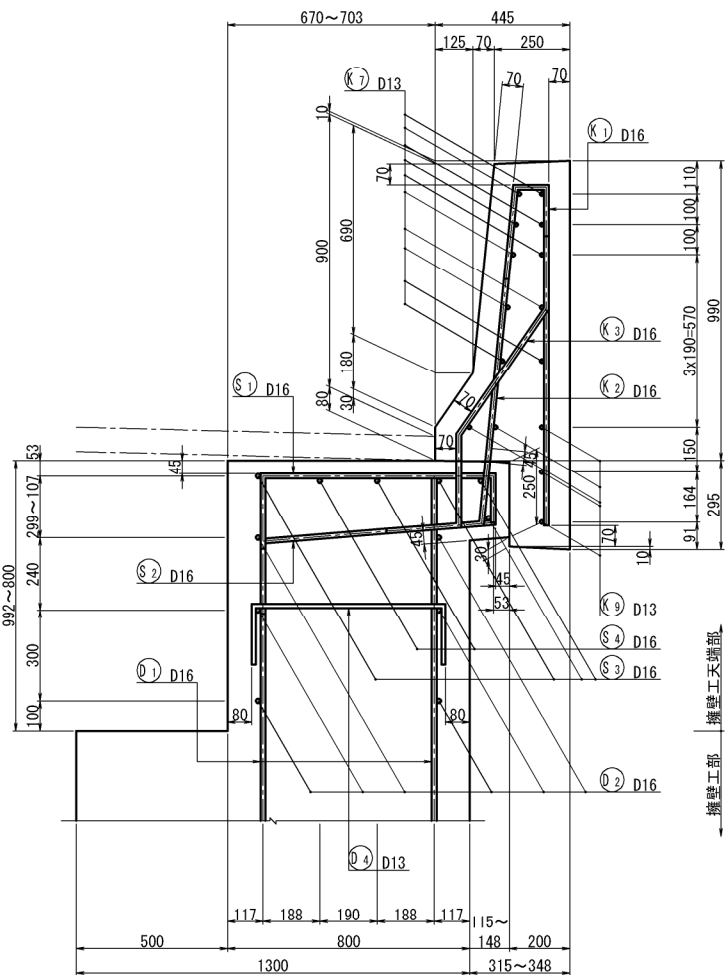
中里橋（上り線）A2橋台擁壁配筋図（3）

76 / 79

擁壁工天端部配筋図

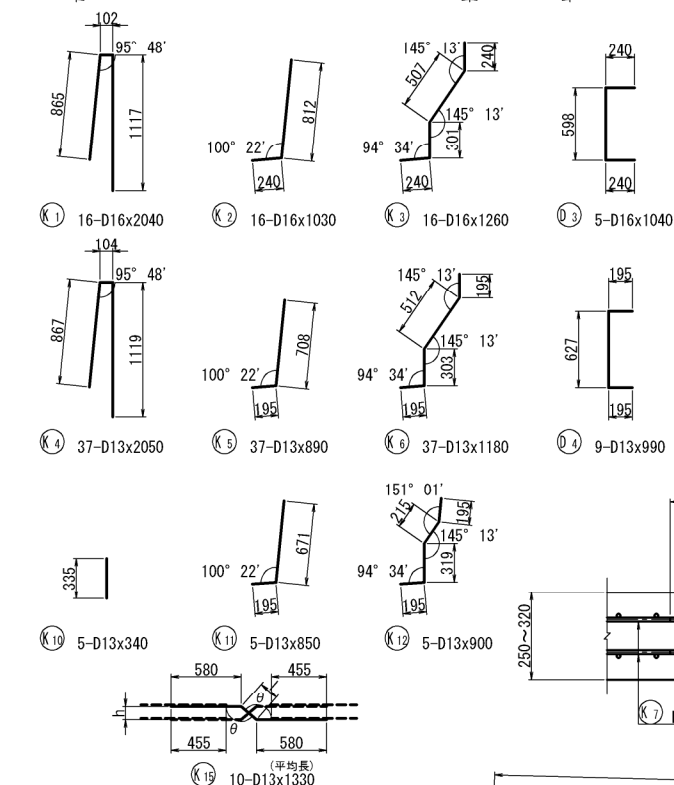
壁高欄正面図 S=1:62.5

壁高欄断面図 S=1:25



記号	径	本数	l	L
1	D16	1	745	1100
2	"	1	746	1100
3	"	1	746	1100
4	"	1	747	1100
5	"	1	747	1100
6	"	1	748	1100
7	"	1	749	1100
8	"	1	749	1100
9	"	1	750	1110
10	"	1	751	1110
11	"	1	751	1110
12	"	1	752	1110
13	"	1	753	1110
14	"	1	753	1110
15	"	1	754	1110
16	"	1	755	1110
17	"	1	755	1110
18	"	1	756	1110
19	"	1	757	1110
20	"	1	757	1110
21	"	1	758	1110
22	"	1	759	1110
23	"	1	759	1110
24	"	1	760	1120
25	"	1	761	1120
26	"	1	762	1120
27	"	1	762	1120
28	"	1	763	1120
29	"	1	764	1120
30	"	1	764	1120
31	"	1	765	1120
32	"	1	766	1120
33	"	1	766	1120
34	"	1	767	1120
35	"	1	768	1120
36	"	1	768	1120
37	"	1	769	1120
38	"	1	770	1130
39	"	1	770	1130
40	"	1	771	1130
41	"	1	772	1130
42	"	1	772	1130
43	"	1	773	1130
44	"	1	774	1130
45	"	1	774	1130
46	"	1	775	1130
47	"	1	776	1130
48	"	1	776	1130
49	"	1	777	1130
50	"	1	777	1130
51	"	1	778	1130
平均		51		1120

記号	径	本数	l	L
1	D16	1	747	1080
2	"	1	748	1080
3	"	1	749	1080
4	"	1	750	1090
5	"	1	751	1090
6	"	1	753	1090
7	"	1	754	1090
8	"	1	755	1090
9	"	1	757	1090
10	"	1	758	1090
11	"	1	759	1090
12	"	1	761	1100
13	"	1	762	1100
14	"	1	764	1100
15	"	1	765	1100
16	"	1	766	1100
17	"	1	768	1100
18	"	1	769	1100
19	"	1	770	1110
20	"	1	772	1110
21	"	1	773	1110
22	"	1	774	1110
23	"	1	776	1110
24	"	1	777	1110
25	"	1	778	1110
26	"	1	779	1110
27	"	1	780	1120
平均		27		1100

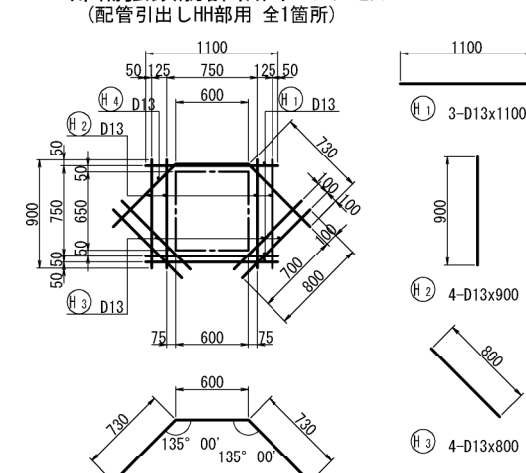
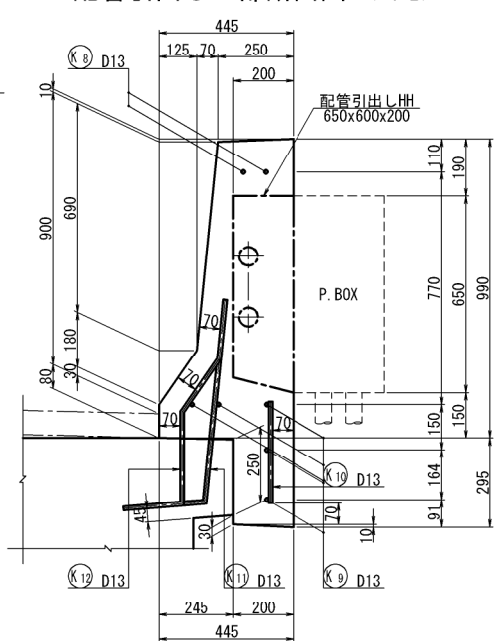
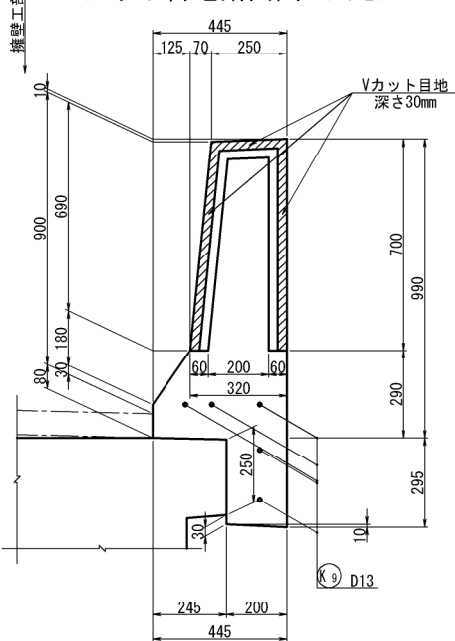


Vカット目地断面図 S=1:25

配管引出しHH部断面図 S=1:25

HH部補強鉄筋詳細図 S=1:62.5

(配管引出しHH部用 全1箇所)

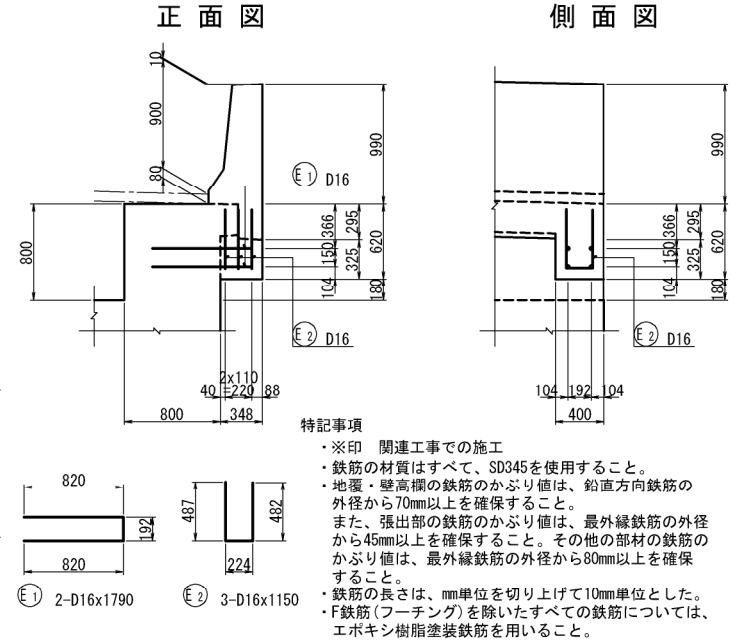
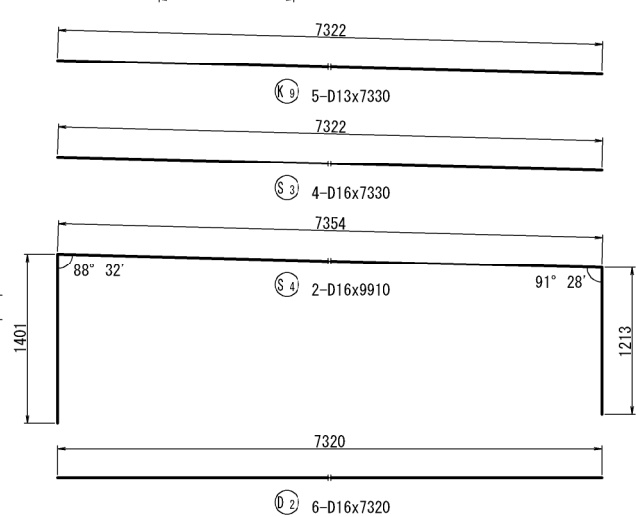
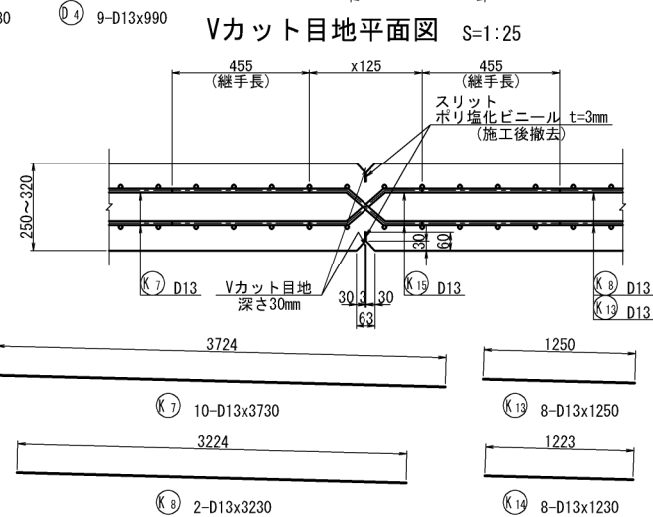


擁壁端部土留壁配筋図 S=1:62.5

正面図

側面図

記号	径	本数	h	l	θ	L
1	D13	2	75	146	149° 02'	1310
2	"	2	85	151	145° 47'	1310
3	"	2	95	157	142° 46'	1320
4	"	2	114	169	137° 38'	1330
5	"	2	134	183	133° 01'	1340
平均		10				1330



特記事項  
・※印 関連工事での施工  
・鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。  
・地盤・壁高欄の鉄筋のかぶり値は、鉛直方向鉄筋の外径から70mm以上を確保すること。  
また、張出部の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外径から45mm以上を確保すること。その他の部材の鉄筋のかぶり値は、最外縁鉄筋の外径から80mm以上を確保すること。  
・鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。  
・F鉄筋（フーチング）を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。

記号	径	本数	l	L
1	D16	2	1309	1310
2	"	2	1312	1320
3	"	2	1318	1320
4	"	2	1326	1330
5	"	2	1334	1340
6	"	2	1341	1350
7	"	2	1349	1350
8	"	2	1357	1360
9	"	2	1364	1370
10	"	2	1372	1380
11	"	2	1380	1380
12	"	2	1388	1390
13	"	2	1395	1400
14	"	2	1403	1410
15	"	2	1411	1420
16	"	2	1418	1420
17	"	2	1426	1430
18	"	2	1434	1440
19	"	2	1442	1450
20	"	2	1449	1450
21	"	2	1457	1460
22	"	2	1465	1470
23	"	2	1472	1480
24	"	2	1480	1480
25	"	2	1488	1490
26	"	2	1494	1500
27	"	2	1497	1500
平均		54		1410

秋田自動車道 横手工事	
図面の種類	中里橋（上り線） A2橋台擁壁配筋図（3）
縮尺	図示 図面番号 /
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所



鉄筋表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
Ⅱ	D19	7990	27	2. 25	18. 0	486	
	D22	8030	51	3. 04	24. 4	1244	
	D16	7270	21	1. 56	11. 3	237	
	"	7270	41	"	11. 3	463	
	"	7710	3	"	12. 0	36	
	"	7920	6	"	12. 4	74	
	"	1540	40	"	2. 40	96	
	"	1500	27	"	2. 34	63	
	D13	1490	63	0. 995	1. 48	93	
2792 kg							
F	D25	6210	29	3. 98	24. 7	716	
	"	8570	53	"	34. 1	1807	
	D16	7270	20	1. 56	11. 3	226	
	D22	7270	23	3. 04	22. 1	508	
	D19	7270	14	2. 25	16. 4	230	
	"	6090	14	"	13. 7	192	
	D16	2040	32	1. 56	3. 18	102	
	"	1830	66	"	2. 85	188	
3969 kg							
D	D16	1410	54	1. 56	2. 20	119	
	"	7320	6	"	11. 4	68	
	"	1040	5	"	1. 62	8	
	D13	990	9	0. 995	0. 985	9	
204 kg							
S	D16	1120	51	1. 56	1. 75	89	
	"	1100	27	"	1. 72	46	
	"	7330	4	"	11. 4	46	
	"	9910	2	"	15. 5	31	
212 kg							
E	D16	1790	2	1. 56	2. 79	6	
	"	1150	3	"	1. 79	5	
11 kg							
K	D16	2040	16	1. 56	3. 18	51	
	"	1030	16	"	1. 61	26	
	"	1260	16	"	1. 97	32	
	D13	2050	37	0. 995	2. 04	75	
	"	890	37	"	0. 886	33	
	"	1180	37	"	1. 17	43	
	"	3730	10	"	3. 71	37	
	"	3230	2	"	3. 21	6	
	"	7330	5	"	7. 29	36	
	"	340	5	"	0. 338	2	
	"	850	5	"	0. 846	4	
	"	900	5	"	0. 896	4	
	"	1250	8	"	1. 24	10	
	"	1230	8	"	1. 22	10	
	"	1330	10	"	1. 32	13	
382 kg							
H	D13	1100	3	0. 995	1. 09	3	
	"	900	4	"	0. 896	4	
	"	800	4	"	0. 796	3	
	"	2060	1	"	2. 05	2	
12 kg							
鉄筋A 鉄筋C <箇所数>							
D25		2523 kg					
D22		1752 kg					
D19		908 kg					
D16		1024 kg		180 kg		< 66>	
D13		387 kg					
小計		7394 kg		188 kg		< 66>	
合計		7582 kg					

鉄筋集計表

種 別	径 (mm)	質 量 (Kg)		合 計 (Kg)	
		SD490	SD345	SD490	SD345
A	D13				
	D16 └ D25	D16	328		
		D19	422		
		D22	508		
		D25	2523		3781
	D29 └ D32	D29			
		D29			
		D32			
	D35				
	D38				
	D41				
	D51				
合 計				3781	
C	D16 └ D25	D16	188		
		D19			
		D22			
		D25			188
	D29 └ D32	D29			
		D29			
		D32			
合 計				188	
総 合 計 (A + C)				3969	
種 別	径 (mm)	鉄 筋 長		箇所数 (箇所)	
機械式鉄筋 定着箇所数	D16	L ≤ 1m			
		1m < L ≤ 2m		66	
		2m < L ≤ 3m			
		3m < L ≤ 4m			
		4m < L ≤ 5m			
		5m < L ≤ 6m			
	合 計		66		

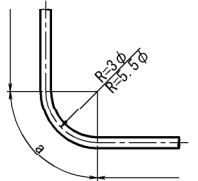
エポキシ樹脂塗装鉄筋 (SD345)

種 別	径(mm)	質 量(Kg)	合 計(Kg)	
A(E)	D13	387	387	
	D16	1496	1496	
	D19 └	D19	486	1730
		D22	1244	
	D25	.....		
	D29	.....		
	D29 └	D29	.....	.....
		D32	.....	
	D35	.....	.....	
	D38	.....	.....	
	D41	.....	.....	
	D51	.....	.....	
合計		3613		

鉄筋加工寸法表

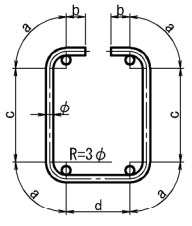
曲げ加工時の減長

径	90°			135°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71. 5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4
D19	57	90	25	104. 5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5
D25	75	118	32	137. 5	108	6
D29	87	137	37	159. 5	125	7
D32	96	151	41	176	138	8
D35	105	165	45	192. 5	151	8
D38	114	179	49	209	164	9
D41	123	193	53	225. 5	177	10
D51	153	240	66	280. 5	220	12



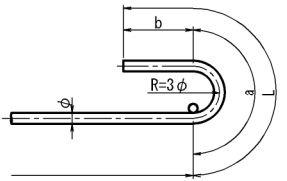
スターラップ

	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
R	39	48	57	66	75	87	96
a	61	75	90	104	118	137	151
b	156	192	228	264	300	348	384
ΔL	17	21	25	28	32	37	41

	
--	--

半円形フック

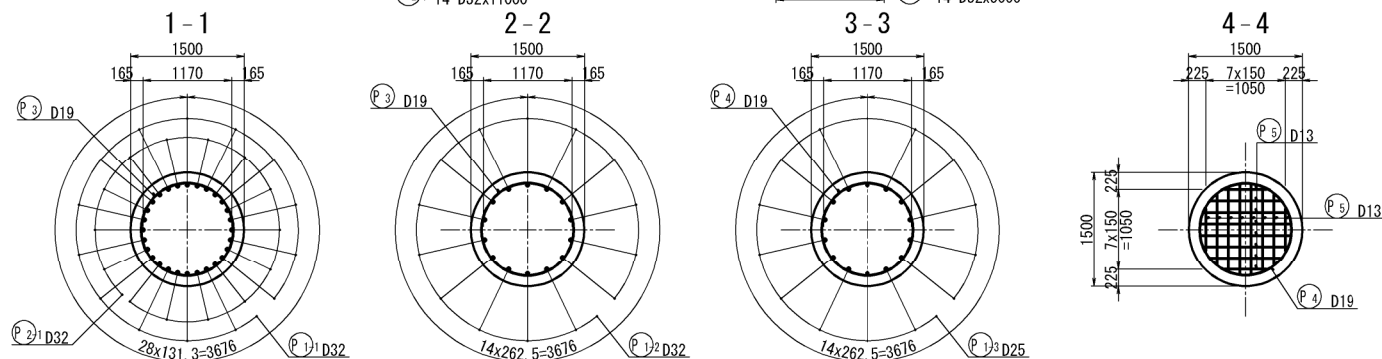
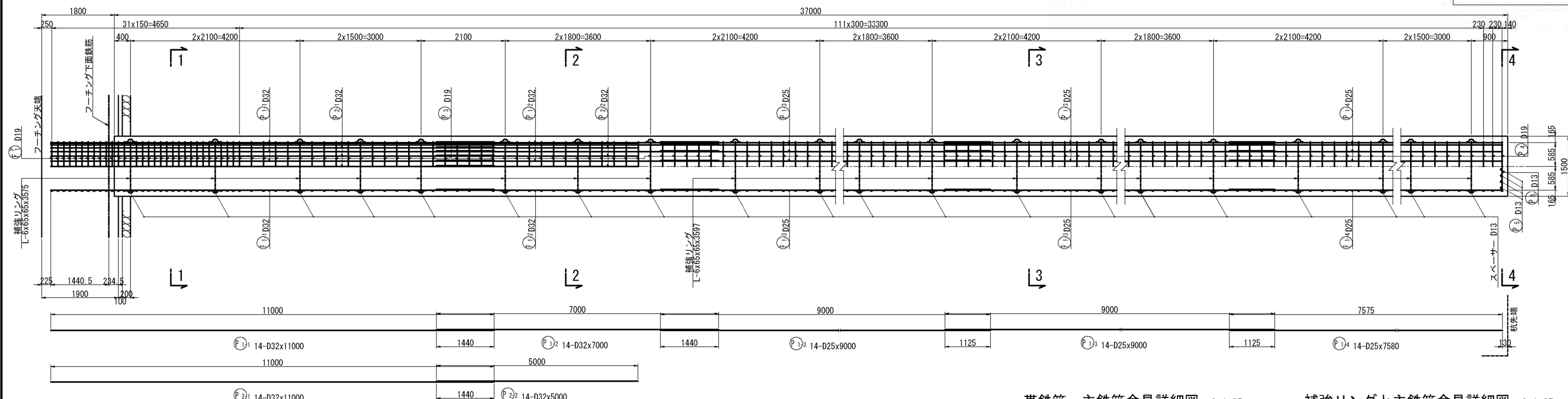
	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
R	39	48	57	66	75	87	96
a	123	151	179	207	236	273	302
b	120	128	152	176	200	232	256
L	243	279	331	383	436	505	558

	
---	--

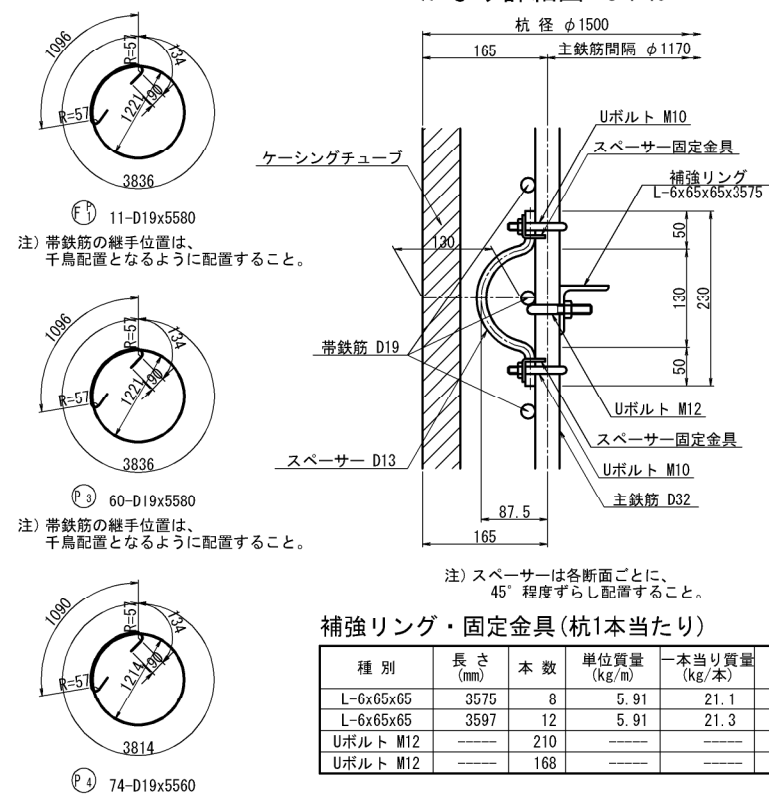
特記事項

- 鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- 鉄筋の長さは、mm単位を切り上げて10mm単位とした。
- F鉄筋(フーチング)を除いたすべての鉄筋については、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いること。
- 鉄筋加工寸法表は、“SD345”の場合を示す。

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋（上り線） A 2 橋台擁壁配筋図（4）		
	縮 尺	-	図面番号 /
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		



かぶり詳細図 S=1:10



補強リング・固定金具(杭1本当たり)

種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
L-6x65x65	3575	8	5.91	21.1	169	補強リング(主鉄筋D32区間)等辺山形鋼
L-6x65x65	3597	12	5.91	21.3	256	補強リング(主鉄筋D25区間)等辺山形鋼
Uボルト M12	-----	210	-----	-----	-----	補強リング固定用(主鉄筋D32用)
Uボルト M12	-----	168	-----	-----	-----	補強リング固定用(主鉄筋D25用)

注) Uボルト規格  
D32用、D25用、SS400、変形時荷重30kN以上  
場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドラインに準拠

鉄筋表(杭1本当たり)

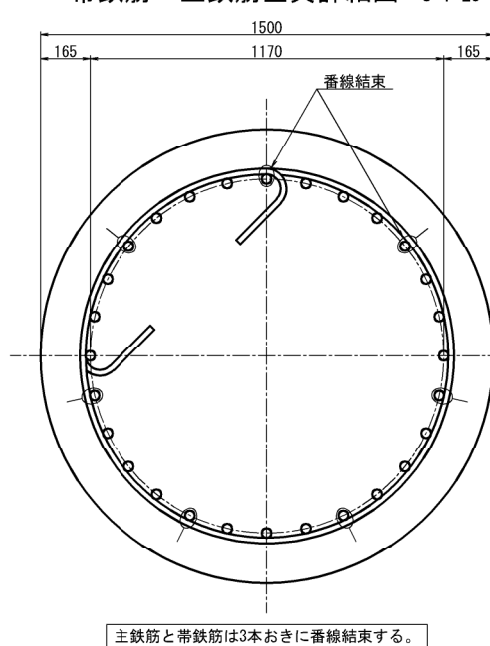
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
場所打ち杭φ1500（鉄筋Y）							
P 1-1	D32	11000	14	6.23	68.5	959	——
1-2	"	7000	14	"	43.6	610	——
1-3	D25	9000	28	3.98	35.8	1002	——
1-4	"	7580	14	"	30.2	423	——
2-1	D32	11000	14	6.23	68.5	959	——
2-2	"	5000	14	"	31.2	437	——
3	D19	5580	60	2.25	12.6	756	○
4	"	5560	74	"	12.5	925	○
5	D13	1290	16	0.995	1.28	20	⌋ 重量
						6091 kg	
鉄筋Y集計							
杭1本当り				擁壁1基当り			
	D32	2965 kg	×	4 本	=	11860 kg	
	D25	1425 kg	×	4 本	=	5700 kg	
	D19	1681 kg	×	4 本	=	6724 kg	
	D13	20 kg	×	4 本	=	80 kg	
	合計	6091 kg	×	4 本	=	24364 kg	
場所打ち杭φ1500（鉄筋A）							
F 1	D19	5580	11	2.25	12.6	139	○
						139 kg	
鉄筋A集計（鉄筋Aにて計上）							
杭1本当り				擁壁1基当り			
	D19	139 kg	×	4 本	=	556 kg	
	合計	139 kg	×	4 本	=	556 kg	

スぺーサー・固定金具(杭1本当たり)

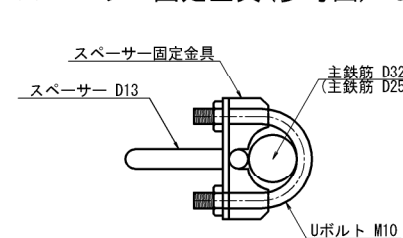
種 別	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
スベーサー D13	310	82	0.995	0.308	25	SD345
Uボルト M10	-----	68	-----	-----	-----	スベーサーと主鉄筋D32の固定(裏当て材含む)
Uボルト M10	-----	96	-----	-----	-----	スベーサーと主鉄筋D25の固定(裏当て材含む)

注) スペーサー固定金具は数量のみ計上

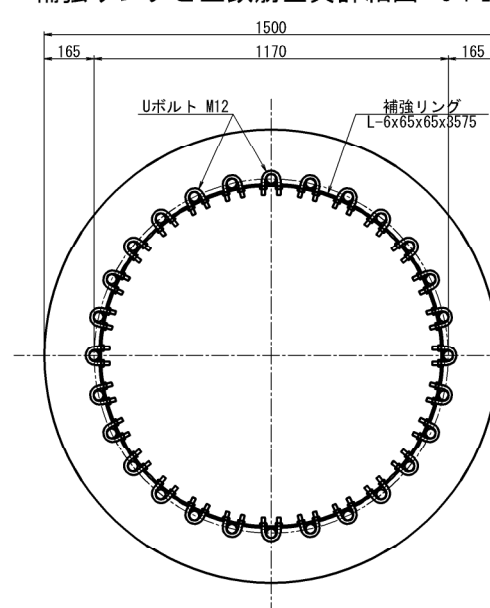
帶鉄筋・主鉄筋金具詳細図 S=1:25



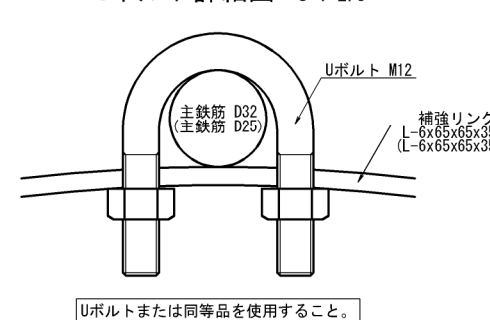
スぺーサー固定金具(参考図) S=1:5



補強リングと主鉄筋金具詳細図 S=1:25



Uボルト詳細図 S=1:2.5



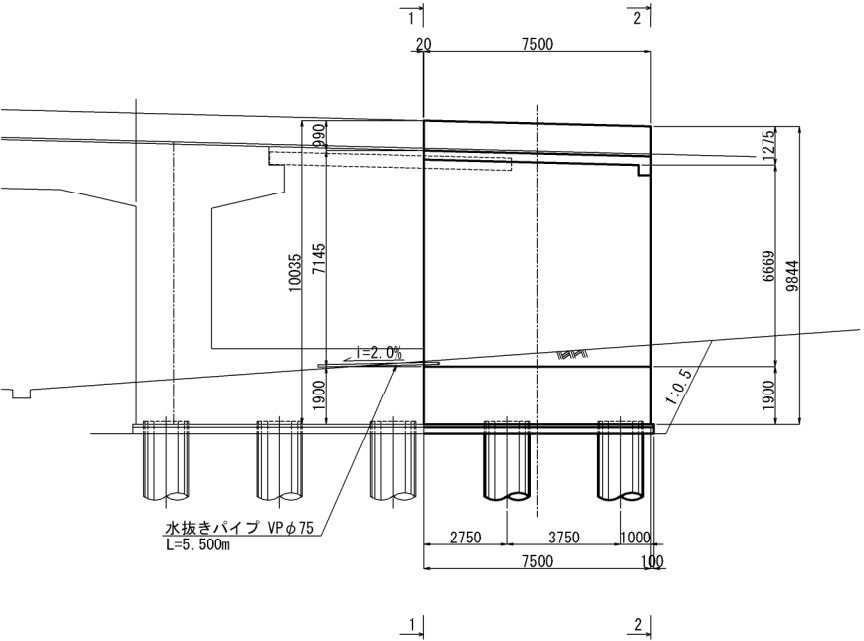
Uボルトまたは同等品を使用すること。

### 特記事項

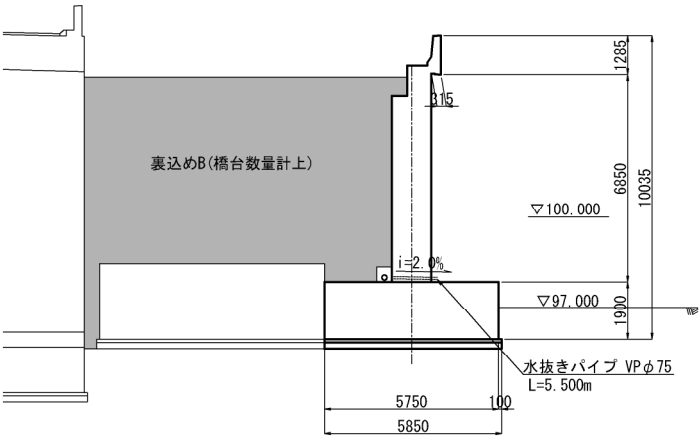
- ・鉄筋の材質はすべて、SD345を使用すること。
- ・杭頭面から鉄筋のかぶり厚は、帯鉄筋の外形から130mm以上を確保すること。
- ・鉄筋の長さ、mm単位を切り上げ10mm単位とした。
- ・杭頭部フーチング内の帯鉄筋は、鉄筋Aとして計上する。
- ・鉄筋の組立において、組立上の形状保持のための溶接は行わないこと。
- ・1段目のスプーサーは、6箇所設置すること。

秋田自動車道 横手工事				
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台杭壁場所打ち杭配筋図			
縮 尺	図示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所			

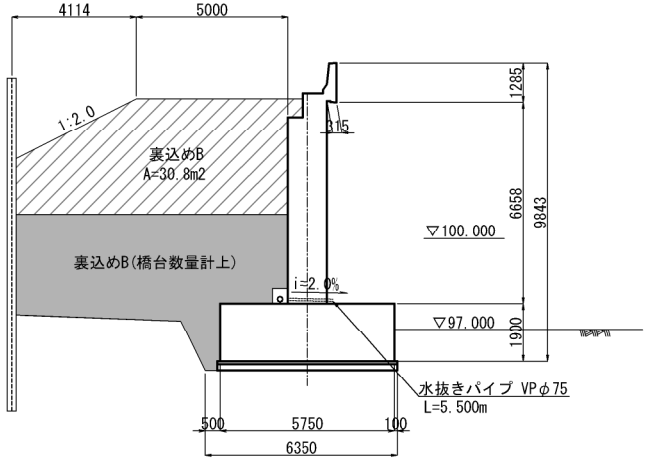
正面図



1 - 1



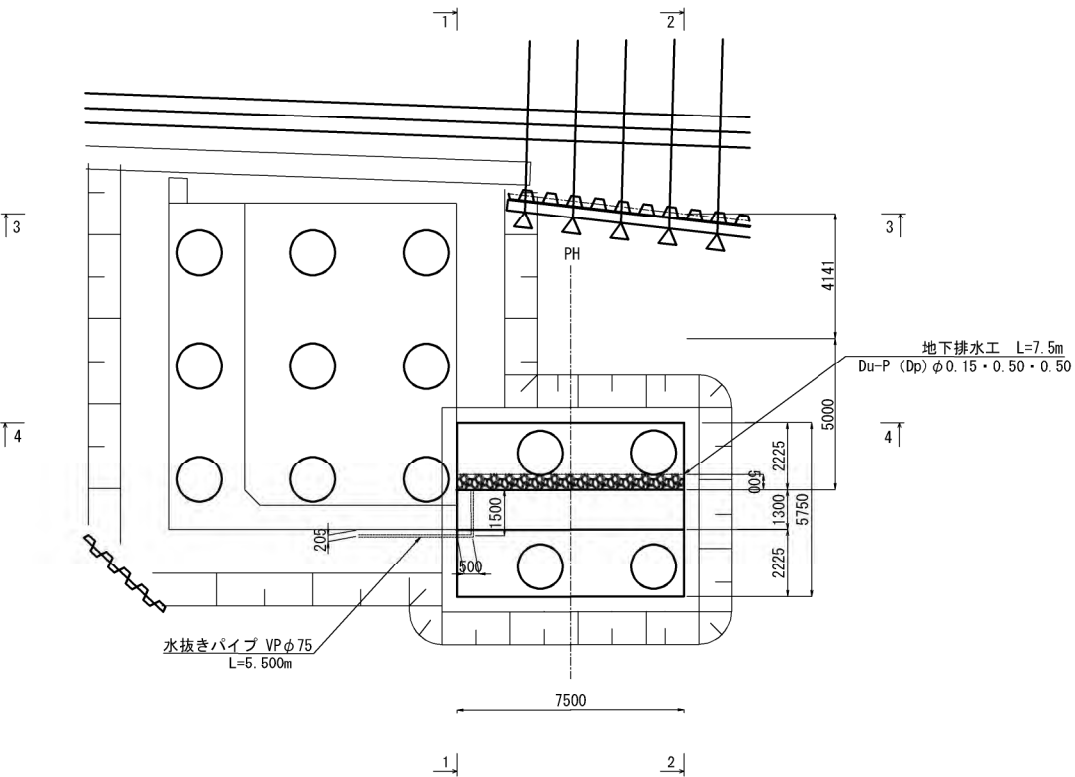
2 - 2



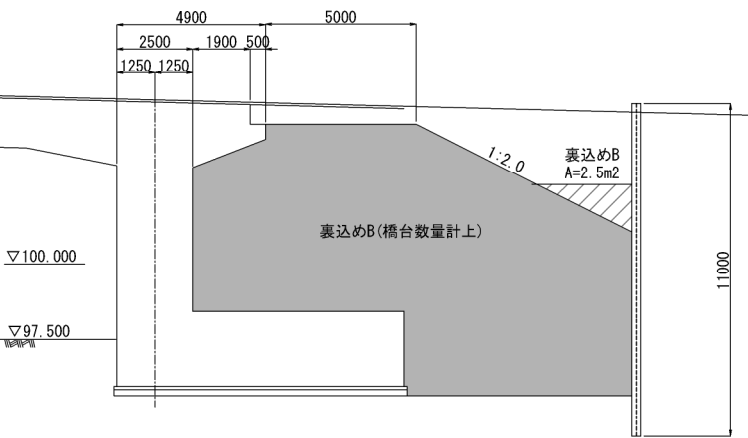
凡例

	裏込めB
	裏込めB (橋台数量計上)

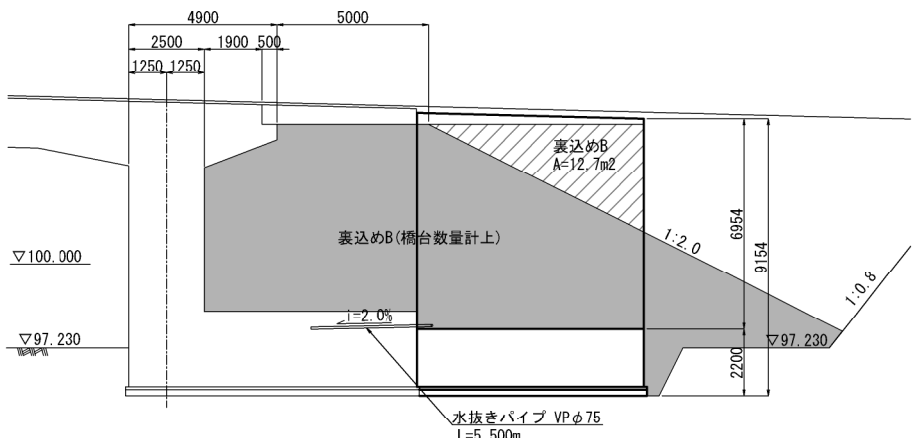
平面図



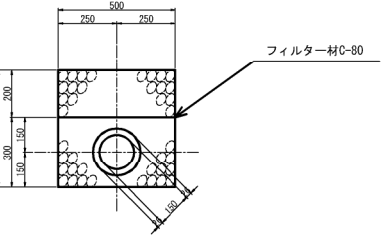
3 - 3



4 - 4



地下排水工詳細図 S=1:20  
Du-P (Dp) φ0.15・0.50・0.50



数量表

項目	種別	単位	数量	備考
構造物裏込め	裏込め B	m <sup>3</sup>	95.0	単価項目「道路掘削数量A2」に含む
地下排水工	Du-P (Dp) φ0.15・0.50・0.50	m	7.5	
水抜きパイプ	VP φ75	m	5.5	

秋田自動車道 横手工事			
図面の種類	中里橋(上り線) A2橋台擁壁裏込め工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 横手工事事務所		